

首里城跡

— 下之御庭首里森御嶽地区発掘調査報告書 —



平成 20 (2008) 年 3 月

沖縄県立埋蔵文化財センター

序

本報告書は、国営沖縄記念公園整備に伴い、内閣府沖縄総合事務局沖縄記念公園事務所より委託を受け、沖縄県教育委員会文化課が平成8年度に発掘調査を実施した成果を、平成19年度に沖縄県立埋蔵文化財センターがまとめたものです。

調査地点は、首里城の10ヶ所存在したとされる御嶽のひとつで、首里森御嶽と称されていた地点です。この首里森御嶽は、現存する各種記録から、特に重要な拝所として位置付けられていたことがわかっています。

発掘調査により、御嶽の遺構は近代以降の開発や沖縄戦による空爆により壊滅的な被害を受けたものの、一部では拝所の痕跡となる石積みや石敷き及び塼敷き遺構等が検出され、復元整備に必要な情報が得られています。また、これと同時に中国産陶磁器、沖縄産陶器をはじめとする陶磁器類や武具等の金属製品等、往事の生活を偲ばせる資料が多数出土し、その一端を明らかにしています。

この成果をまとめた本報告が、沖縄県の歴史・文化を理解する資料として、多くの方々に活用されるとともに、埋蔵文化財の保護・活用について関心を持っていただければ幸いです。

最後に、発掘調査ならびに資料整理作業にあたり、ご指導・ご協力を賜った関係者各位に厚く御礼申し上げます。

平成20（2008）年3月

沖縄県立埋蔵文化財センター
所長 名 嘉 政 修



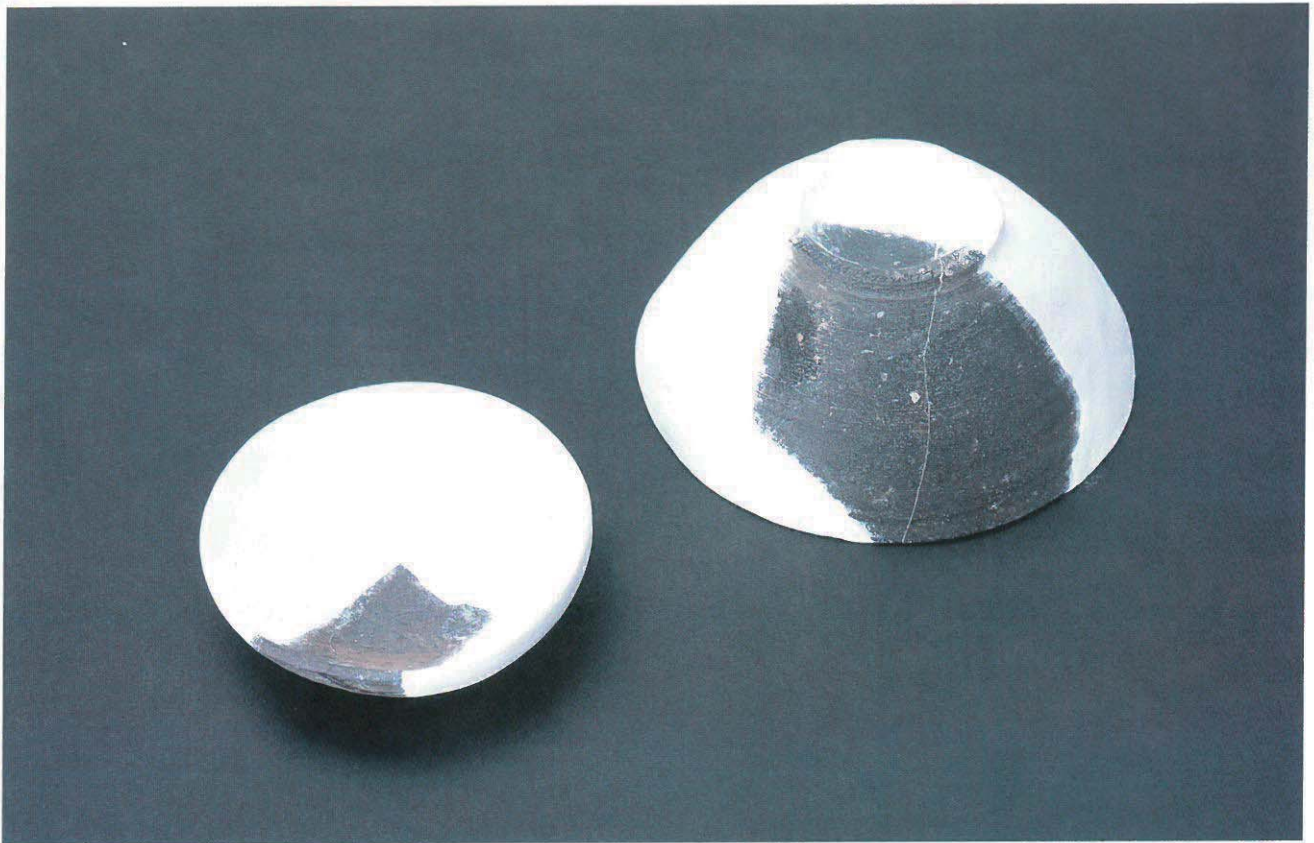
卷頭図版 1 首里城跡 (航空写真)



青磁



その他の輸入陶磁器・本土産陶器



沖縄産無釉陶器



金属製品（飾り金具）

例 言

1. 本報告書は、国営沖縄記念公園首里城地区の整備に伴い、平成8（1996）年度に実施した首里森御嶽地区の埋蔵文化財発掘調査の成果をまとめたものである。
2. 発掘調査は沖縄県教育委員会文化課が平成8（1996）年度に実施し、資料整理作業は沖縄県立埋蔵文化財センターが平成19（2007）年度に実施した。両事業とも内閣府沖縄総合事務局沖縄記念公園事務所より委託を受けての実施である。
3. 資料整理作業にあたり、下記の方々に出土遺物の同定を依頼した。記して謝意を表したい。

屋瓦・埴：上原 静（沖縄国際大学）

中国産・本土産陶磁器：大橋康二（佐賀県立九州陶磁文化館）

金属製品：宇田川武久（国立歴史民俗博物館）

4. 本書に掲載した地図は、国土地理院発行の1／25,000地形図を使用した。
5. 本書に掲載した緯度、経度、平面直角座標は、すべて日本測地系に基づくものである。
6. 土層、出土遺物の色調については、小山忠史・竹原秀夫著『新版標準土色帳29（2007年）版』によるものである。
7. 本報告書の編集は岸本竹美、小橋川剛、天久瑞香ほかの協力により金城透、仲座久宜が行い、各章の執筆は次のとおり行った。

金城 透 第3章、第4章、第6章（遺構）

仲座久宜 第1章、第2章、第5章1・10・11・15・16節、第6章（遺物・考察）

岸本竹美 第5章4～7・14節

小橋川剛 第5章2・3・8・9・12～14節

8. 本書に掲載した調査時の写真撮影は金城透、矢沢秀雄が行い、出土遺物の写真撮影は矢舟章浩、光嶋香が行った。
9. 発掘調査で得られた出土品、図面、写真等の記録は、すべて沖縄県立埋蔵文化財センターに保管している。

目次

序
巻頭図版
例言

| | |
|-----------------------------------|-----|
| 第1章 調査に至る経緯 | 1 |
| 第1節 調査に至る経緯 | 1 |
| 第2節 調査体制 | 1 |
| 第2章 位置と環境 | 3 |
| 第1節 地理的環境 | 3 |
| 第2節 歴史的環境 | 5 |
| 第3章 調査の概要 | 9 |
| 第1節 調査区の設定 | 9 |
| 第2節 発掘の概要 | 9 |
| 第4章 層序と遺構 | 15 |
| 第1節 層序 | 15 |
| 第2節 遺構 | 17 |
| 第5章 遺物 | 25 |
| 第1節 青磁 | 25 |
| 第2節 白磁 | 33 |
| 第3節 染付 | 34 |
| 第4節 中国産褐釉陶器 | 36 |
| 第5節 その他の輸入陶磁器・本土産陶器 | 38 |
| 第6節 沖縄産施釉陶器 | 44 |
| 第7節 沖縄産無釉陶器 | 45 |
| 第8節 陶質土器・瓦質土器・カムイヤキ | 48 |
| 第9節 土器・埴埴 | 49 |
| 第10節 屋瓦 | 51 |
| 第11節 磚 | 64 |
| 第12節 金属製品 | 66 |
| 第13節 銭貨 | 71 |
| 第14節 煙管・円盤状製品・貝製品・骨製品・石器・石製品・石造製品 | 74 |
| 第15節 貝類遺存体 | 77 |
| 第16節 脊椎動物遺存体 | 77 |
| 第6章 総括 | 107 |

報告書抄録

図目次

| | | |
|------|-------------------------|----|
| 第1図 | 沖縄本島の位置 | 3 |
| 第2図 | 首里城跡の位置及び周辺の遺跡 | 4 |
| 第3図 | 「沖縄県首里旧城図」(部分 横内家資料) | 6 |
| 第4図 | 「旧首里城図」 | 7 |
| 第5図 | 「旧琉球大学校舎配置図」 | 7 |
| 第6図 | グリッド設定図 | 10 |
| 第7図 | 調査地区遺構平面図 | 11 |
| 第8図 | 北グリッド中央畦南壁土層図 | 16 |
| 第9図 | 北グリッド中央畦東壁土層図 | 16 |
| 第10図 | 調査区南壁土層図 | 16 |
| 第11図 | 調査区西壁土層図 | 16 |
| 第12図 | 遺構平面図 | 17 |
| 第13図 | 遺構平面図(上部遺構) | 18 |
| 第14図 | 上部石積み西壁立面図 | 19 |
| 第15図 | 上部石積みと下部古石積みの 北壁立面図 | 19 |
| 第16図 | 遺構平面図(下部遺構) | 22 |
| 第17図 | 下部古石積み西壁立面図 | 23 |
| 第18図 | 下部基壇状遺構西壁立面図 | 23 |
| 第19図 | 上部石敷きと下部基壇状遺構の 東西断面図 | 24 |
| 第20図 | 上部石積みと下部古石積みの 東西断面図 | 24 |
| 第21図 | 中国産青磁(1) | 31 |
| 第22図 | 中国産青磁(2) | 32 |
| 第23図 | 白磁・染付 | 35 |
| 第24図 | 中国産褐釉陶器 | 37 |
| 第25図 | その他の輸入陶磁器(1) | 41 |
| 第26図 | その他の輸入陶磁器(2) | 42 |
| 第27図 | その他の輸入陶磁器(3)・本土産陶器 | 43 |
| 第28図 | 沖縄産施釉、無釉陶器 | 47 |
| 第29図 | 陶質土器・カムイヤキ・土器・埴塼 | 50 |
| 第30図 | 屋瓦(1) | 59 |
| 第31図 | 屋瓦(2) | 60 |
| 第32図 | 屋瓦(3) | 61 |
| 第33図 | 屋瓦(4) | 62 |
| 第34図 | 屋瓦(5) | 63 |
| 第35図 | 塼 | 65 |
| 第36図 | 金属製品(1) | 69 |
| 第37図 | 金属製品(2) | 70 |
| 第38図 | 銭貨(1) | 72 |

| | | |
|------|---------------------------------|-----|
| 第39図 | 銭貨(2) | 73 |
| 第40図 | 煙管・円盤状製品・貝製品・骨製品 石器・石製品・石造製品 | 76 |
| 第41図 | 「冠船之時御座構之図」(部分) | 108 |
| 第42図 | 「首里城図」(部分 友寄筑登之親雲上 喜恒図) | 109 |

表目次

| | | |
|------|----------------------------|----|
| 第1表 | 中国産青磁観察一覧(1) | 26 |
| 第2表 | 中国産青磁観察一覧(2) | 27 |
| 第3表 | 中国産青磁観察一覧(3) | 28 |
| 第4表 | 中国産青磁観察一覧(4) | 29 |
| 第5表 | 中国産青磁観察一覧(5) | 30 |
| 第6表 | 白磁観察一覧 | 33 |
| 第7表 | 中国産染付観察一覧 | 34 |
| 第8表 | 中国産褐釉陶器観察一覧 | 36 |
| 第9表 | その他の輸入陶磁器・本土産陶器観察 一覧(1) | 38 |
| 第10表 | その他の輸入陶磁器・本土産陶器観察 一覧(2) | 39 |
| 第11表 | その他の輸入陶磁器・本土産陶器観察 一覧(3) | 40 |
| 第12表 | 沖縄産施釉陶器観察一覧 | 44 |
| 第13表 | 沖縄産無釉陶器観察一覧(1) | 45 |
| 第14表 | 沖縄産無釉陶器観察一覧(2) | 46 |
| 第15表 | 陶質土器、カムイヤキ観察一覧 | 48 |
| 第16表 | 土器・埴塼観察一覧 | 49 |
| 第17表 | 高麗系瓦遺存状況 | 52 |
| 第18表 | 大和系瓦遺存状況 | 52 |
| 第19表 | 大和系瓦(現代)遺存状況 | 52 |
| 第20表 | 明朝系丸瓦遺存状況 | 53 |
| 第21表 | 明朝系丸瓦端部(凹面)遺存状況 | 53 |
| 第22表 | 明朝系丸瓦玉縁部(凸面)遺存状況 | 53 |
| 第23表 | 明朝系平瓦遺存状況 | 54 |
| 第24表 | 明朝系平瓦凹面の紐圧痕遺存状況 | 54 |
| 第25表 | 明朝系軒丸・軒平瓦遺存状況 | 54 |
| 第26表 | 屋瓦観察一覧(1) | 55 |
| 第27表 | 屋瓦観察一覧(2) | 56 |
| 第28表 | 屋瓦観察一覧(3) | 57 |
| 第29表 | 屋瓦観察一覧(4) | 58 |
| 第30表 | 塼観察一覧 | 64 |
| 第31表 | 金属製品観察一覧(1) | 66 |
| 第32表 | 金属製品観察一覧(2) | 67 |
| 第33表 | 金属製品観察一覧(3) | 68 |

| | | |
|------|----------------------------------------|-----|
| 第34表 | 錢貨観察一覧 | 71 |
| 第35表 | 煙管・円盤状製品・貝製品・骨製品 石器・石製品・石造製品観察一覧(1) | 74 |
| 第36表 | 煙管・円盤状製品・貝製品・骨製品 石器・石製品・石造製品観察一覧(2) | 75 |
| 第37表 | 首里森御嶽地区遺物出土状況一覧 | 78 |
| 第38表 | 中国産青磁出土状況一覧 | 82 |
| 第39表 | 白磁出土状況一覧 | 84 |
| 第40表 | 中国産染付出土状況一覧 | 84 |
| 第41表 | 中国産褐釉陶器出土状況一覧 | 85 |
| 第42表 | その他の輸入陶磁器出土状況一覧 | 86 |
| 第43表 | タイ産褐釉陶器出土状況一覧 | 87 |
| 第44表 | 本土産陶磁器出土状況一覧 | 88 |
| 第45表 | 沖縄産施釉陶器出土状況一覧 | 89 |
| 第46表 | 沖縄産無釉陶器出土状況一覧 | 90 |
| 第47表 | 陶質土器・瓦質土器・土器 カムイヤキ・埴塙出土状況一覧 | 91 |
| 第48表 | 高麗系瓦出土状況一覧 | 92 |
| 第49表 | 大和系瓦出土状況一覧 | 93 |
| 第50表 | 大和系瓦(現代)出土状況一覧 | 93 |
| 第51表 | 軒瓦出土状況一覧 | 93 |
| 第52表 | 明朝系丸瓦出土状況一覧 | 94 |
| 第53表 | 明朝系平瓦土状況一覧 | 95 |
| 第54表 | 埴出土状況一覧 | 96 |
| 第55表 | 金属製品出土状況一覧 | 97 |
| 第56表 | 錢貨出土状況一覧 | 98 |
| 第57表 | 煙管・円盤状製品・貝製品・骨製品・石器 石製品・石造製品出土状況一覧 | 99 |
| 第58表 | 巻貝出土状況一覧 | 100 |
| 第59表 | 二枚貝出土状況一覧 | 102 |
| 第60表 | 魚骨出土状況 | 104 |
| 第61表 | ウミガメ出土状況 | 104 |
| 第62表 | ニワトリ出土状況 | 105 |
| 第63表 | トリ出土状況 | 105 |
| 第64表 | ネズミ出土状況 | 105 |
| 第65表 | ブタ出土状況 | 105 |
| 第66表 | ウシ出土状況 | 106 |
| 第67表 | ヤギ出土状況 | 106 |
| 第68表 | 不明動物出土状況 | 106 |

図版目次

| | | |
|------|-------------|----|
| 図版 1 | 調査前の状況(南から) | 13 |
|------|-------------|----|

| | | |
|------|---------------------------------|-----|
| 図版 2 | 発掘調査状況① | 13 |
| 図版 3 | 発掘調査状況② | 14 |
| 図版 4 | 発掘調査状況③ | 14 |
| 図版 5 | 上部石積み検出状況 | 19 |
| 図版 6 | 上部石積み・下部古石積み検出状況 | 19 |
| 図版 7 | 石敷き検出状況 | 20 |
| 図版 8 | 埴敷き検出状況 | 20 |
| 図版 9 | 上部・下部遺構検出状況 1 | 21 |
| 図版10 | 上部・下部遺構検出状況 2 | 21 |
| 図版11 | 下部基壇状遺構検出状況 | 23 |
| 図版12 | 発掘状況 | 115 |
| 図版13 | 遺構検出状況 1 | 116 |
| 図版14 | 遺構検出状況 2 | 117 |
| 図版15 | 上部遺構検出状況 1 | 118 |
| 図版16 | 上部遺構の検出状況 2 | 119 |
| 図版17 | 下部遺構の検出状況 | 120 |
| 図版18 | 上部・下部遺構の検出状況 | 121 |
| 図版19 | 下部遺構の検出状況 | 122 |
| 図版20 | 中国産青磁(1) | 123 |
| 図版21 | 中国産青磁(2) | 124 |
| 図版22 | 白磁・染付 | 125 |
| 図版23 | 中国産褐釉陶器 | 126 |
| 図版24 | その他の輸入陶磁器(1) | 127 |
| 図版25 | その他の輸入陶磁器(2)・本土産陶器 | 128 |
| 図版26 | 沖縄産施釉・無釉陶器 | 129 |
| 図版27 | 陶質土器・カムイヤキ・土器・埴塙 | 130 |
| 図版28 | 屋瓦(1) | 131 |
| 図版29 | 屋瓦(2) | 132 |
| 図版30 | 屋瓦(3) | 133 |
| 図版31 | 屋瓦(4) | 134 |
| 図版32 | 埴 | 135 |
| 図版33 | 金属製品(1) | 136 |
| 図版34 | 金属製品(2) | 137 |
| 図版35 | 錢貨(1) | 138 |
| 図版36 | 錢貨(2) | 139 |
| 図版37 | 煙管・円盤状製品・貝製品・骨製品 石器・石製品・石造製品 | 140 |
| 図版38 | 貝類遺存体(1) | 141 |
| 図版39 | 貝類遺存体(2) | 142 |
| 図版40 | 貝類遺存体(3) | 143 |
| 図版41 | 骨(1) | 144 |
| 図版42 | 骨(2) | 145 |

第1章 調査に至る経緯

第1節 調査に至る経緯

首里城内郭地区の整備は、1986（昭和61）年に国営沖縄記念公園首里城地区として整備されることが閣議決定されたことにより始まる。以降、年次的に発掘による遺構確認調査が実施され、その調査成果及び1984（昭和59）年に沖縄県により策定された首里城公園基本計画の理念に基づき復元整備が行われ、現在に至っている。今回の調査はこれまでの経緯をふまえ、内閣府沖縄総合事務局沖縄記念公園事務所の委託により、首里城の中心的な拝所として重要な位置を占めていた首里森御嶽の遺構を確認する目的で、平成8（1996）年度に実施された。

第2節 調査体制

本報告書に係る発掘調査業務は、平成8（1996）年度に実施し、調査報告書作成に係る資料整理業務は平成19（2007）年度に実施した。その体制は次のとおりである（職名は当時のもの）。

平成8（1996）年度（発掘調査）

| | |
|------|----------------------------------------------------------|
| 事業主体 | 沖縄県教育委員会 教育長 仲里長和 |
| 事業総括 | 沖縄県教育庁文化課 課長 大城将保 課長補佐 日越国昭・稲嶺靖子 副参事 川満一成 |
| 事業事務 | 沖縄県教育庁文化課 管理係 主幹兼係長 比屋根正治、主査 村山佐代、副主査 新垣敏子 主任 當間保智 |
| 事業実施 | 沖縄県教育庁文化課 |
| 事業担当 | 史跡整備係 係長 上原 静 埋蔵文化財係 係長 大城 慧 |
| 調査担当 | 埋蔵文化財係 主任 金城 透 |
| 調査補助 | 発掘調査嘱託員 矢沢秀雄 |

発掘調査作業員

大城輝子、大嶺愛子、小波津ヨシ子、呉我フジ子、瑞慶覧繁美、中塚末子、仲程喜美子、永吉弘子
外間徳男、宮国恵子、与那嶺勢津子

調査協力

真榮平房敬（那覇市在住）
佐藤一郎（福岡市教育委員会文化財部埋蔵文化財課）

平成19（2007）年度（資料整理）

事業主体 沖縄県教育委員会
教育長 仲村守和

事業所管 沖縄県教育庁文化課
課長 千木良芳範
記念物班 班長 島袋 洋
指導主事 金城 透
専門員 瀬戸哲也

事業総括・実施 沖縄県立埋蔵文化財センター
所長 名嘉政修
副所長兼庶務課長 瑞慶覧康博
庶務課 主査 玉寄秀人、主査 山田美恵子、主任 村吉由美子
調査課 課長 岸本義彦
調査課 主任 仲座久宜

資料整理作業 文化財調査嘱託員 天久瑞香、岸本竹美、小橋川剛、比嘉優子
資料整理嘱託員 喜屋武朋子、金城克子、照屋利子、仲地和美、野村知子、比嘉なおみ
資料整理作業員 玉城幸子

資料整理指導

上原 静（沖縄国際大学）
大橋康二（佐賀県立九州陶磁文化館）
宇田川武久（国立歴史民俗博物館）

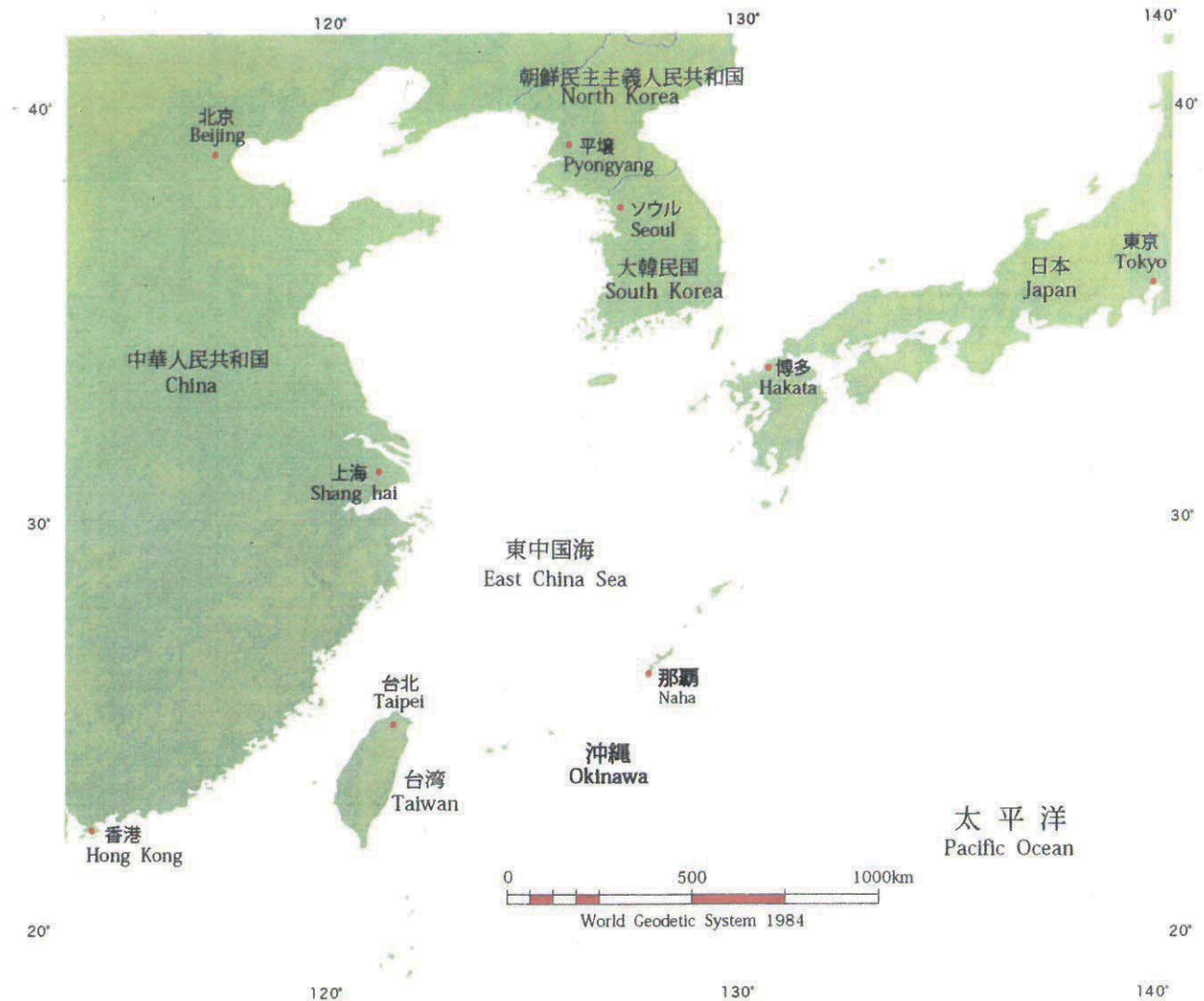
第2章 位置と環境

第1節 地理的環境

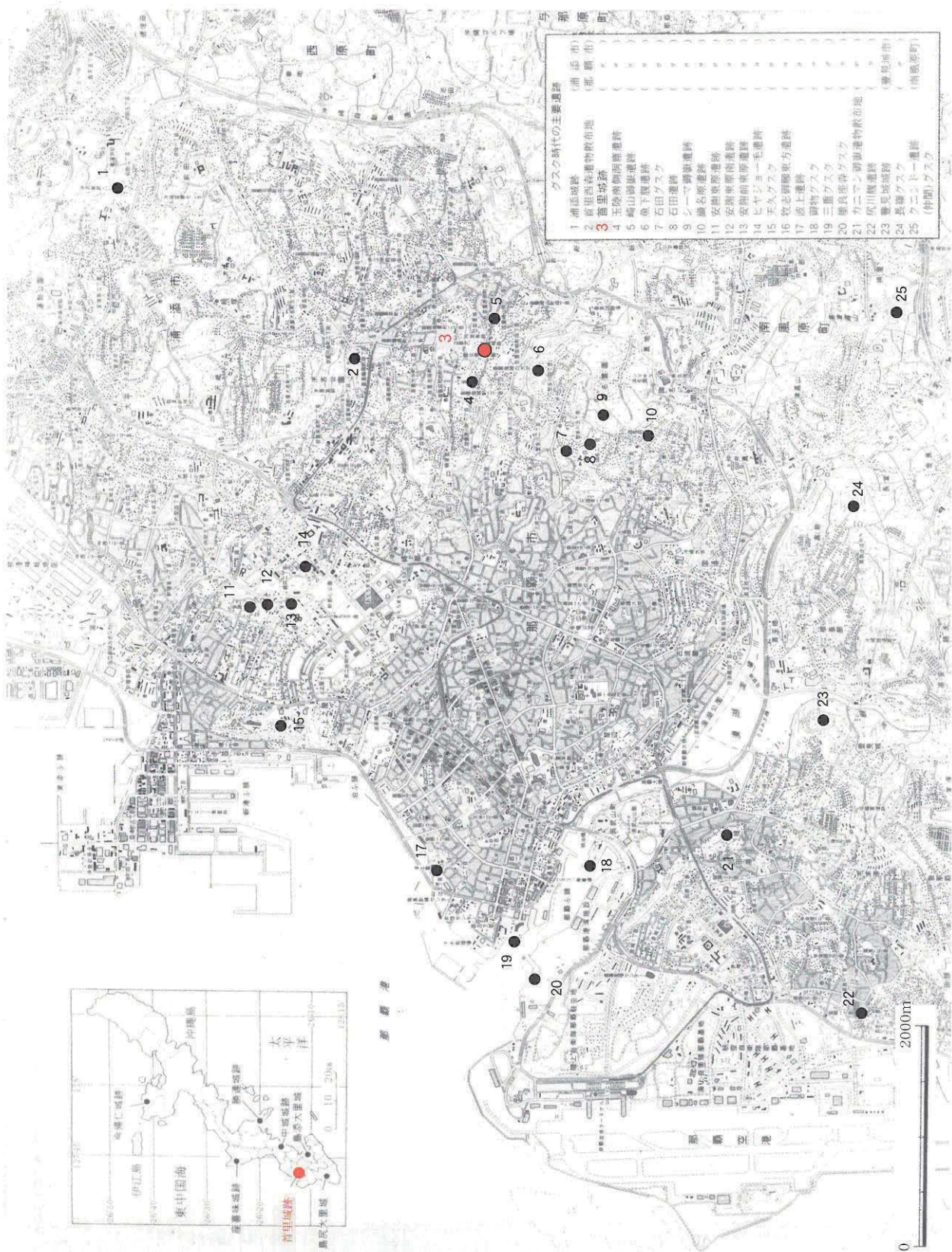
首里城は、沖縄本島の南部、那覇市首里に所在する城跡である。標高は最高で136mを測り、那覇市内では弁ヶ嶽に次いで高所に位置している。そのため、首里城からは周辺の町並みや近隣市町村、那覇港及び東中国海を臨むことができる（第1・2図）。

この首里城の基盤を構成するのは、地質時代区分により第四紀更新世（180－160万年前～1万年前）に区分される琉球石灰岩で、その下位には、鮮新世（500万年前～160万年前）から中新世（2,300万年前～500万年前）に区分される島尻層群が堆積している。表層の琉球石灰岩層に浸透した雨水は、不透水層である島尻層のクチャと称される泥岩・砂岩でせき止められ、両者の境界から泉として湧き出すこととなる。この湧水を利用した井泉・樋川は首里の各地に点在し、今日も豊富な湧水量を誇っている。

首里城はその北側に虎頭山及び真嘉比川を配し、東に弁ヶ嶽及びナゲーラ川、南に安里川を擁して立地しており、風水思想の観点からも蔵風得水の地として優れた条件を備えているとされる。



第1図 沖縄本島の位置



- クスの時代の主要遺跡
- | | | |
|----|----------|-------|
| 1 | 浦添遺跡 | (浦添市) |
| 2 | 新里遺跡 | (浦添市) |
| 3 | 鳥里塚跡 | (浦添市) |
| 4 | 玉陵南側陪葬墓跡 | (浦添市) |
| 5 | 崎山陪葬墓跡 | (浦添市) |
| 6 | 魚下陪葬墓跡 | (浦添市) |
| 7 | 石田ツツケ | (浦添市) |
| 8 | 石田遺跡 | (浦添市) |
| 9 | シーマ遺跡 | (浦添市) |
| 10 | 鶴名原遺跡 | (浦添市) |
| 11 | 安部原遺跡 | (浦添市) |
| 12 | 安部原遺跡 | (浦添市) |
| 13 | 安部原遺跡 | (浦添市) |
| 14 | ヒヤジヨール遺跡 | (浦添市) |
| 15 | 天入ツツケ | (浦添市) |
| 16 | 牧志御師方遺跡 | (浦添市) |
| 17 | 成上遺跡 | (浦添市) |
| 18 | 朝陽ツツケ | (浦添市) |
| 19 | 三重ツツケ | (浦添市) |
| 20 | 鎌倉原ツツケ | (浦添市) |
| 21 | カニマツコ遺跡 | (浦添市) |
| 22 | 成川遺跡 | (浦添市) |
| 23 | 豊島ツツケ | (浦添市) |
| 24 | 長崎ツツケ | (浦添市) |
| 25 | クニツツケ | (浦添市) |

第2図 首里城跡の位置及び周辺の遺跡

第2節 歴史的環境

首里城

首里城の創建について、現時点で明確な記録は確認されていないが、文献上最初に表れるのは、1427年建立の安国山樹華木碑記においてである。碑文の概要は、首里城周辺に池（龍潭）を掘り、山を築いて華木を植えたことが記され、今日でいう都市計画・環境整備がすでに行われていたことを示している。この碑文の年代から推して、首里城は尚巴志王代（1422～1439）にはすでに王城としての構えを確立していたと考えられている。その後、1879（明治12）年の首里城明け渡しまで何世紀にもわたり、歴代の王により幾度ももの拡張工事が行われるとともに、数回に及ぶ焼失・重修を経て、現在の首里城のフォルムが完成したとされている。

このように首里城は、15世紀前半とされる築城から、約500年間のながきにわたり、琉球王国として栄華を誇ってきた。この王国の崩壊後、正殿をはじめとするこれらの建造物群は、1896（明治29）年まで、熊本鎮台沖縄分遣隊の兵舎として使用されたほか、その後は首里市立女子工芸学校、県立工業徒弟学校、首里第一尋常高等小学校などの校舎としても転用され、各所がその都度改変された。その間に建物は老朽化により解体される危機を乗り越え、中心的建造物数件については、その沖縄独自の歴史や意匠から、1925（大正14）年に特別保護建造物に指定される。また、その3年後の1927（昭和2）年には解体修理が行われ、1929（昭和4）年には正殿や付随する主要な城門についても国宝となった。

しかし、これらの建造物群も、太平洋戦争に伴い日本軍第32軍司令部の陣地壕が首里城の地下深くに構築されたことで、1945（昭和20）年に米軍の集中砲火を浴び、その一帯は焦土と化すこととなる。

終戦後は、米国琉球軍政本部教育部の計画により、1950（昭和25）年に琉球大学が創設され、校舎等施設の造成・建設工事で首里城の痕跡はさらなるダメージを受けることとなる。しかし、このような状況においても首里城の威容は衰えることなく、規模・内容ともに沖縄を代表するに相応しい城跡として、1972（昭和47）年の日本復帰と同時に国の史跡として指定され、その後2000（平成12）年12月には「琉球王国のグスク及び関連遺産群」の一部として世界遺産に登録された。今日では年間182万人（平成18年度実績）もの観光客が訪れる沖縄の一大観光地として、常に賑わいを見せている。

首里森御嶽

今回報告を行う首里森御嶽は、首里城奉神門の西側、下之御庭のやや南東寄りに位置していた。かつて首里城内には10ヶ所の御嶽（十嶽）が存在したとされるが、首里森御嶽は、その中でも首里城の中心に近い“へそ”とも言える場所に位置することから、特に重要な拝所として位置付けられていた。

文献記録上はどうであろう。王府編纂の正史である『中山世鑑』（1650年）においては、開闢神である阿摩美久が最初に創造した御嶽と記され、また、古歌謡集『おもろさうし』（1531年～1623年）の中では、首里城を代表する聖地として謡われている。また、『女官御双紙』（1706～1713年頃）では、「きやうの内の前の御庭首里の御いべ」として首里城十嶽のひとつとして記載され、『琉球国由來記』（1713年）には「キャウノ内ノ前ノ御ミヤ首里ノ御イベ」と称し、九嶽のひとつとして記されている。なお、添継御門（継世門）前の碑文によると、1546年に継世門両翼の石積み修復の際に、首里森、真玉森も整備したことが刻まれていることから、前記した文献に見られる首里森御嶽の姿は、概ね1546年の整備以降のものになると思われる。

その形状については、古くは17世紀末から各種の絵図によって描かれているが、ここでは明治前～中期とされる『沖縄県首里旧城図』（横内家資料・第3図）を基に解説してみたい。この平面図によると、首里森御嶽は約7m四方の隅丸方形の石積みにより囲まれ、北側に門を有している。この門に接する形で、奉神門から広福門へつながるように参道と思われる区画が見えることから、国王らの参拝に係る順路の一端を想定することができる。

門の形状については、『冠船之時御座構之図』（1866年・第41図）ほかに見ることができる。これによると、開口部は円覚寺右掖門や首里城白銀門に見られるような、間口の上部に横材を渡す「まぐさ形式」であったと考えられ、同絵図にはそのまぐさの役割を成す石製入母屋の左右に鴟吻、中央に火炎宝珠を

沖繩首里舊城番



此圖係根據
古蹟調查會
之測量圖
繪成之

第3図 「沖繩首里旧城図」(部分) 横内家資料 明治前~中期) 那霸市歴史資料室所蔵



第 4 図 「旧首里城図」(昭和 6 年頃 阪谷良之進原図) 県立図書館所蔵



第 5 図 「旧琉球大学校舎配置図」(1950年～1984年)

配している。扉の部分は、左右の扉を固定するような形で、横位にかんぬきが描かれており、木製であったと考えられる。

この首里森御嶽は、王国が崩壊した1879（明治12）年以降も存在したと考えられるが、首里第一尋常高等小学校が1910（明治43）年から下之御庭に新校舎の建設を着工する際に撤去されたと伝えられている。このため、1931（昭和6）年頃に引かれた『旧首里城図』（阪谷図・第4図）に首里森御嶽の姿は見えない。その後首里城は、1945（昭和20）年の沖縄戦により、周辺も含めて灰燼に帰すこととなる。その廃墟の中、1950（昭和25）年には琉球大学が開学し、首里森御嶽周辺の敷地は、大学が西原町に移転を終える1984（昭和59）年まで、守礼門方面から本館西側駐車場を結ぶ通路として舗装整備されていたようである（第5図）。

御嶽周辺は、平成元（1989）年～2（1990）年度にかけて「下之御庭地区」として沖縄県教育委員会文化課による発掘調査が行われ、その際に首里森御嶽の基盤を成していたと考えられる石灰岩の露頭が確認されている。

その後、首里森御嶽は平成8（1996）年度に御嶽の遺構確認を目的とした発掘調査が行われ、その成果や現存する配置図、絵図、文献資料等を基に、平成9（1997）年に復元整備が行われ、往時の姿を取り戻している。

第3章 調査の概要

第1節 調査区の設定

今回の調査は首里森御嶽の復元整備に伴うもので、御嶽の位置・形状・規模や付随する遺構等、復元整備のための基礎資料を得るために実施することになった。

御嶽周辺は平成元年～2（1989～1990）年度にかけて「下之御庭地区」として調査が行われ、首里森御嶽に附随する遺構の一部と考えられる石灰岩（岩盤）の露頭が確認されている。調査地は過去の調査成果を基に『沖縄県首里旧城図』（横内家資料・第3図）等の古絵図を参考として、御嶽の位置と規模を推測して実施することとなったが、下之御庭地区はすでに一般開放されていることから、必要最小限の範囲として約64m²（8m×8m）の面積で発掘調査を実施した（第6・7図・図版1～4・12）。

第2節 発掘の概要

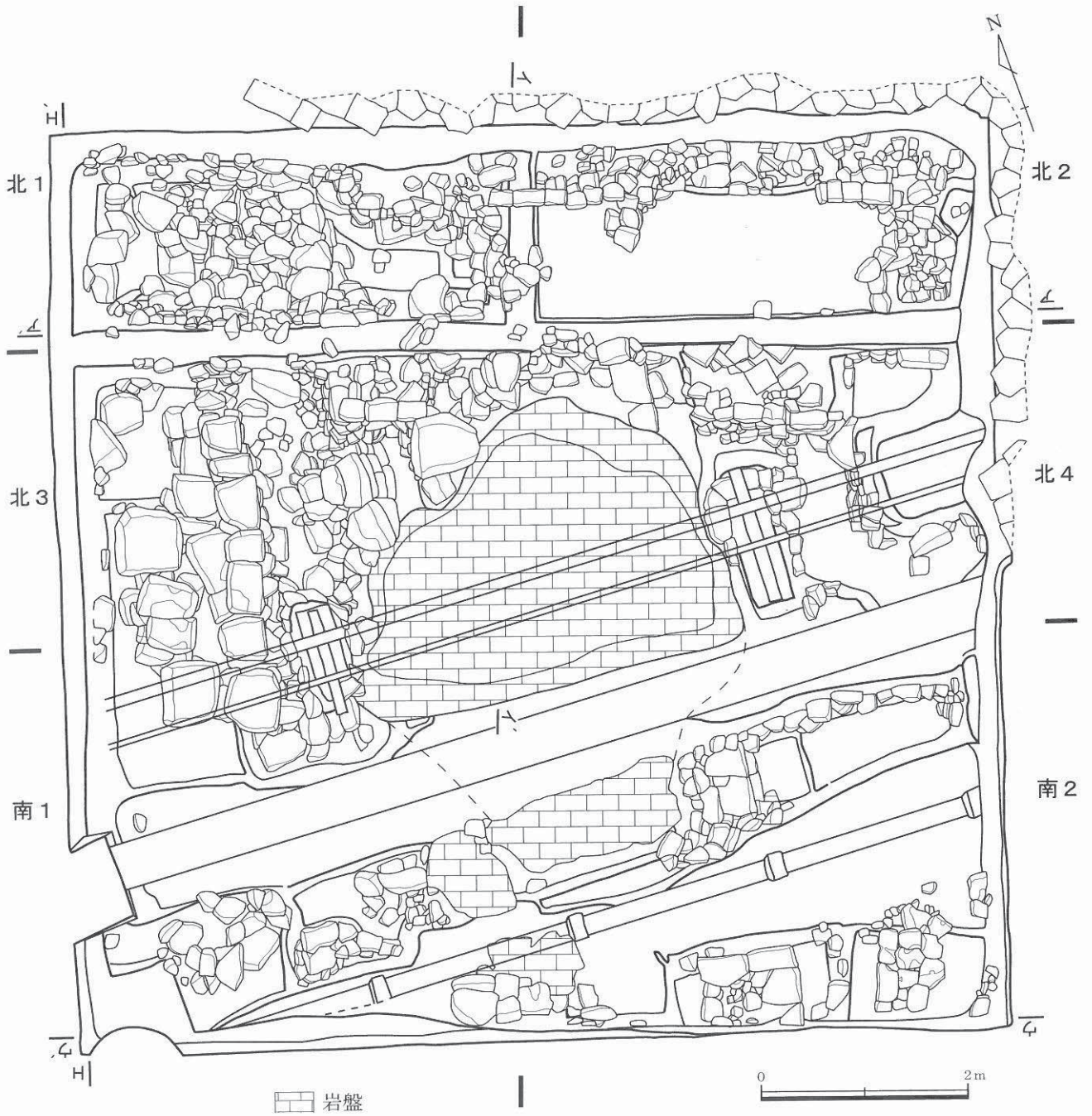
首里森御嶽は、明治初期頃までは下之御庭に位置していたが、後の首里第一尋常高等小学校等の建築の際に城内の西南高台に移されたと伝えられ、その遺構も戦後の琉球大学建設時に撤去され現存しない。その後、幾重にもわたる開発により跡地は攪乱を受けた。

調査地は、公園整備に伴い全面がアスファルトや路盤材等で覆われていたことから、ひとまず、以前の調査後に埋め戻された往時の地表面まで、重機による表土除去を行い、岩盤を露出させた。以前の調査において、調査地区の北側では遺構の残存が確認されていたが、南側では南東隅にわずかに遺構が残る程度で、旧琉球大学・公園整備の工事により著しく攪乱されていることが判明した。そのため、調査地区のほぼ中央に位置する岩盤を基準に、遺構の確認された箇所を北区、攪乱されている箇所を南区とし、さらに北区で十字の観察用畦を設けて4グリッド、南区を東西に2グリッドに区画して調査を進めた（第6図）。

調査開始後、すぐに磚敷き・石敷き遺構が確認できた。しかし、御嶽の位置や形状等を示す遺構は確認できなかったことから、上部の磚敷き・石敷き遺構を残し、さらに周辺を掘り下げて残存遺構の確認を行った。その結果、古絵図に見えるものと考えられる石積みの一部と、岩盤に接して南北にのびる石積み等、新旧の石積みが重複して確認された。

検出された遺構からは、御嶽の復元整備に必要な正確な位置や形状等を把握することはできなかった。しかし、『沖縄県首里旧城図』等の古絵図から推測した御嶽の位置とほぼ一致する石積みの一部が検出されたことから、神の依代と考えられる岩盤を取り囲むように、石積みが構築されていたことを確認することができた。

今回の調査成果は、首里森御嶽の復元整備を含め、今後の「下之御庭地区」の整備における基礎資料になるものと考えられる。



第6図 グリッド設定図



第7図 調査地区遺構平面図 (H2年度首里城下之御庭地区発掘調査遺構平面図との重ね図)



図版1 調査前の状況（南から）



図版2 発掘調査状況①



図版3 発掘調査状況②



図版4 発掘調査状況③

第4章 層序と遺構

第1節 層序（第8～11図、図版13下・19中・下）

首里森御嶽を擁する下之御庭地区は、平成元（1989）年度から翌年度にかけて発掘調査を実施しており、その際に首里森御嶽の一部と推察される石灰岩岩盤の露頭が確認されている。今回の調査では、この石灰岩岩盤周辺の掘り下げを実施した。前述したとおり、この地区は尋常高等小学校建築に始まり、先の大戦、琉球大学建設から公園整備工事など幾度となく破壊を受けており、攪乱層が何枚も確認された。そのため、これらの堆積土層は一括して攪乱層とした。また、過去の調査後に埋め戻され、重機で取り上げた土は客土とした。

南区の大半が攪乱層であることから、北区で設けた十字の観察用畦の層序を基本層として略述する。

首里森御嶽北区十字観察用畦の基本層序（第8・9図参照）

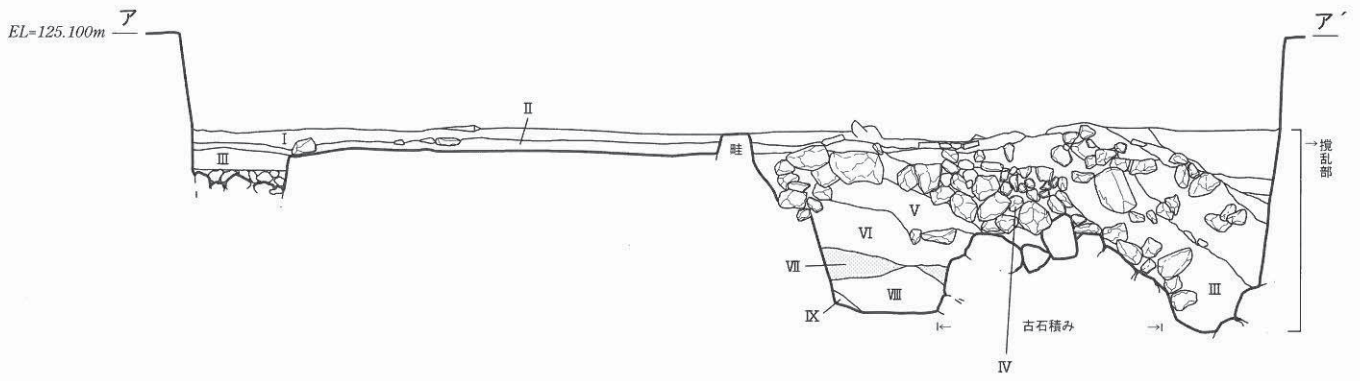
- I層・・・淡灰色土層
- II層・・・黄褐色砂利混土層
- III層・・・褐色土層
- IV層・・・礫層
- V層・・・褐色砂利混土層
- VI層・・・黄褐色土層
- VII層・・・黒色土層
- VIII層・・・褐色土層
- IX層・・・赤褐色土層

上記の基本層は、上層・中層・下層と大別することも可能である。上層のI層・II層は、主に北2グリッドで確認された塼敷き遺構の下に堆積している近代の造成層である。

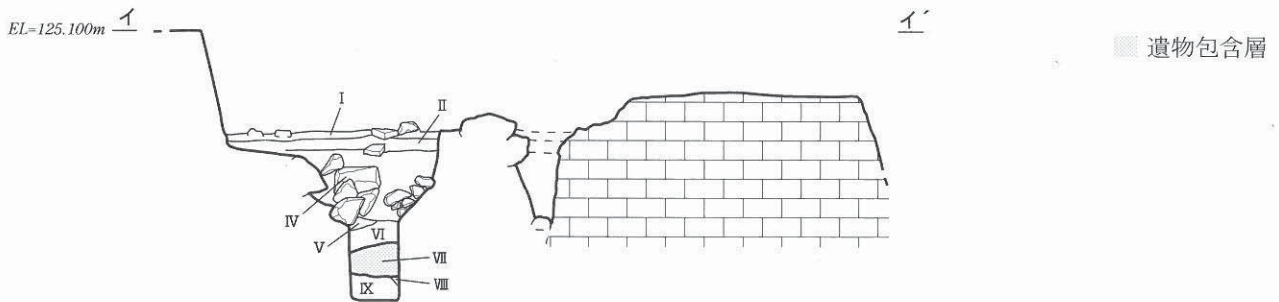
中層のIII層は、少量の砂利が混ざる土層であり、上部遺構である石積みに乗っていることから造成層と考えられるが判然としない。調査区西側のIII層直上は攪乱層である。IV層は、大小様々な礫が堆積し、隙間に褐色土が入る。下部遺構の古石積み直上に堆積している。調査区西側では近代から現代までの攪乱層が直上に堆積している。

下層のV層～VIII層は岩盤と古石積みの間に堆積している。各層からは少量の遺物が出土したが、時期の把握はできなかった。IX層は地山である。調査範囲が狭く、遺構が重複しており、掘り下げる場所が限定されたことから、地山面の確認は一部にとどまった。

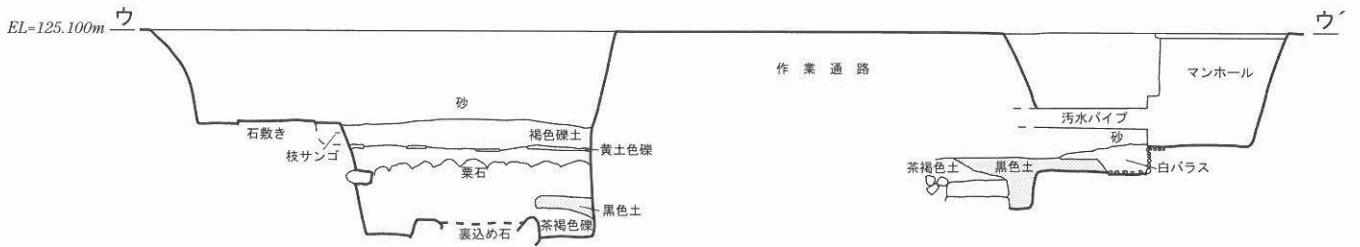
調査南区は前述したとおり、大半が琉球大学建設や公園整備工事等で破壊されていたが、一部で黒色土・黒褐色土の遺物包含層が確認された。この層の広がり把握することはできなかったが、北区で確認されているVIII層と同一層の可能性はある。



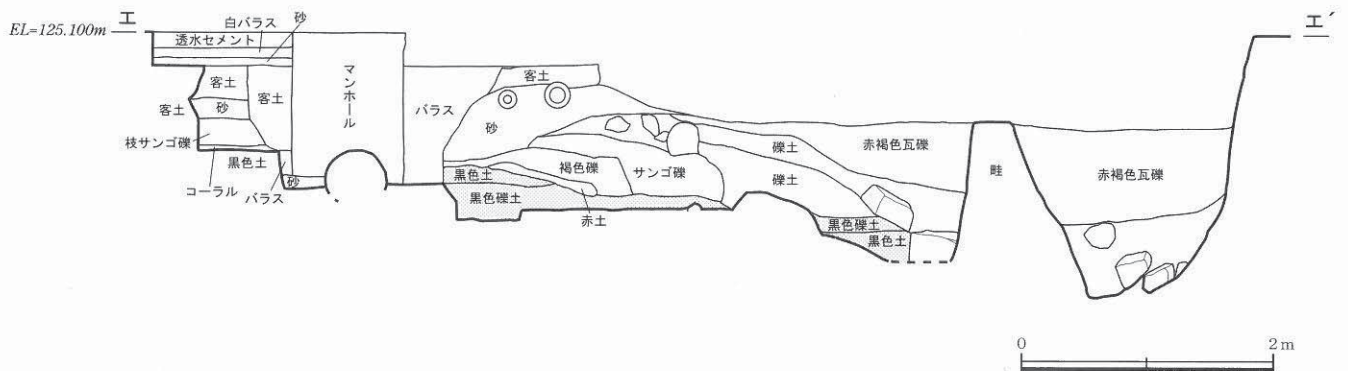
第8図 北グリッド中央畦南壁土層図



第9図 北グリッド中央畦東壁土層図



第10図 調査区南壁土層図

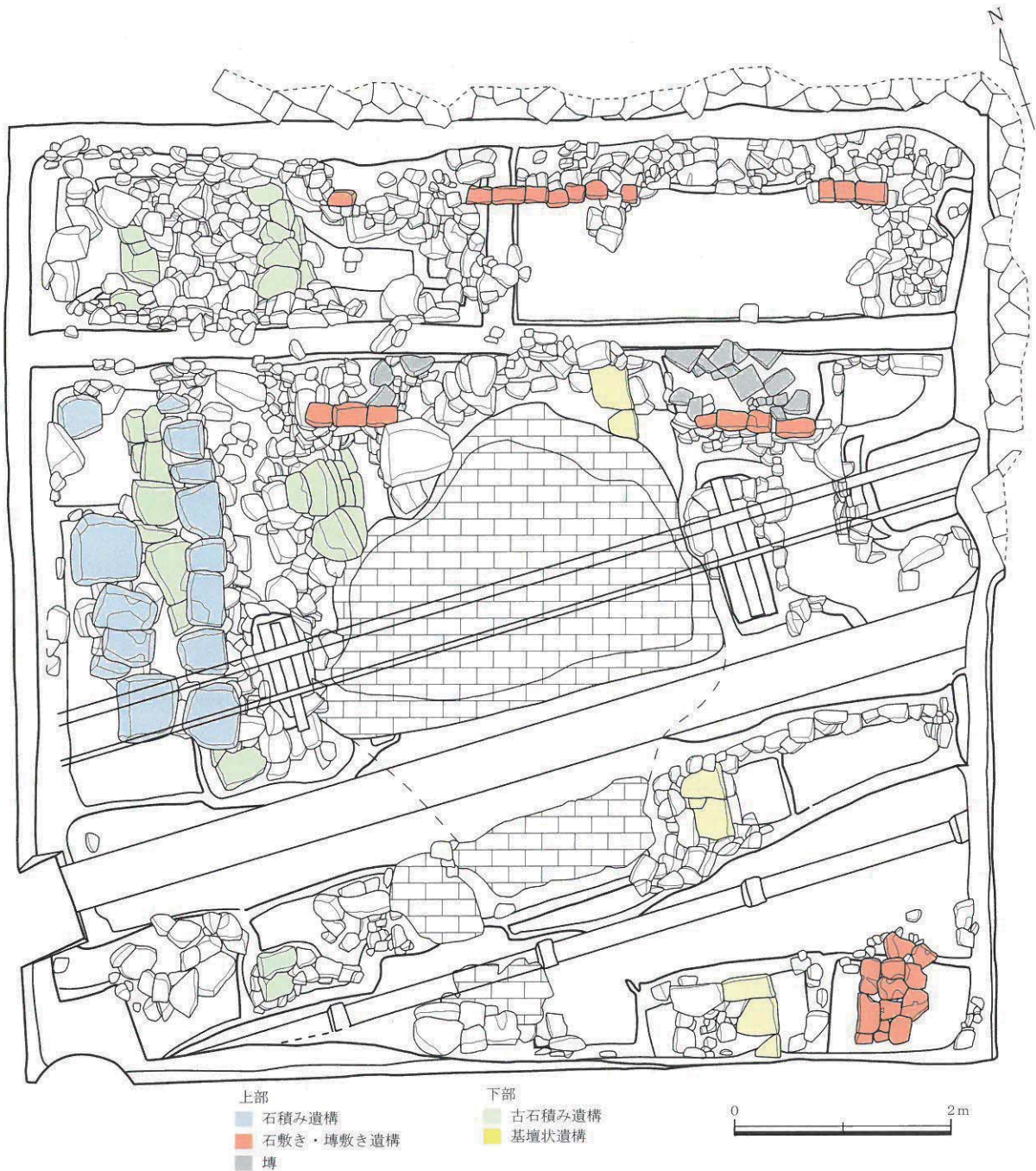


第11図 調査区西壁土層図

第2節 遺構 (第12～20図、図版5～11・13～19)

首里森御嶽の周辺は、先の大戦による破壊、戦後の旧琉球大学及び公園整備工事時伴う開発のため、当初は遺構がほとんど残存していないものと思われた。ところが、狭い範囲での調査であったにもかかわらず、新旧の遺構が重複した形で検出された(第12図)。近代まで残存していたと推定される上部遺構の石積み、石敷き、塼敷き、地山面に近く古手と推定される下部遺構の古石積み、基壇状遺構が確認され、多くの成果を得ることができた。しかし、これらの遺構にかかる明確な構築の時期は判然としなかった。

以下、遺構の検出状況から上部遺構と下部遺構に分けて略述する。

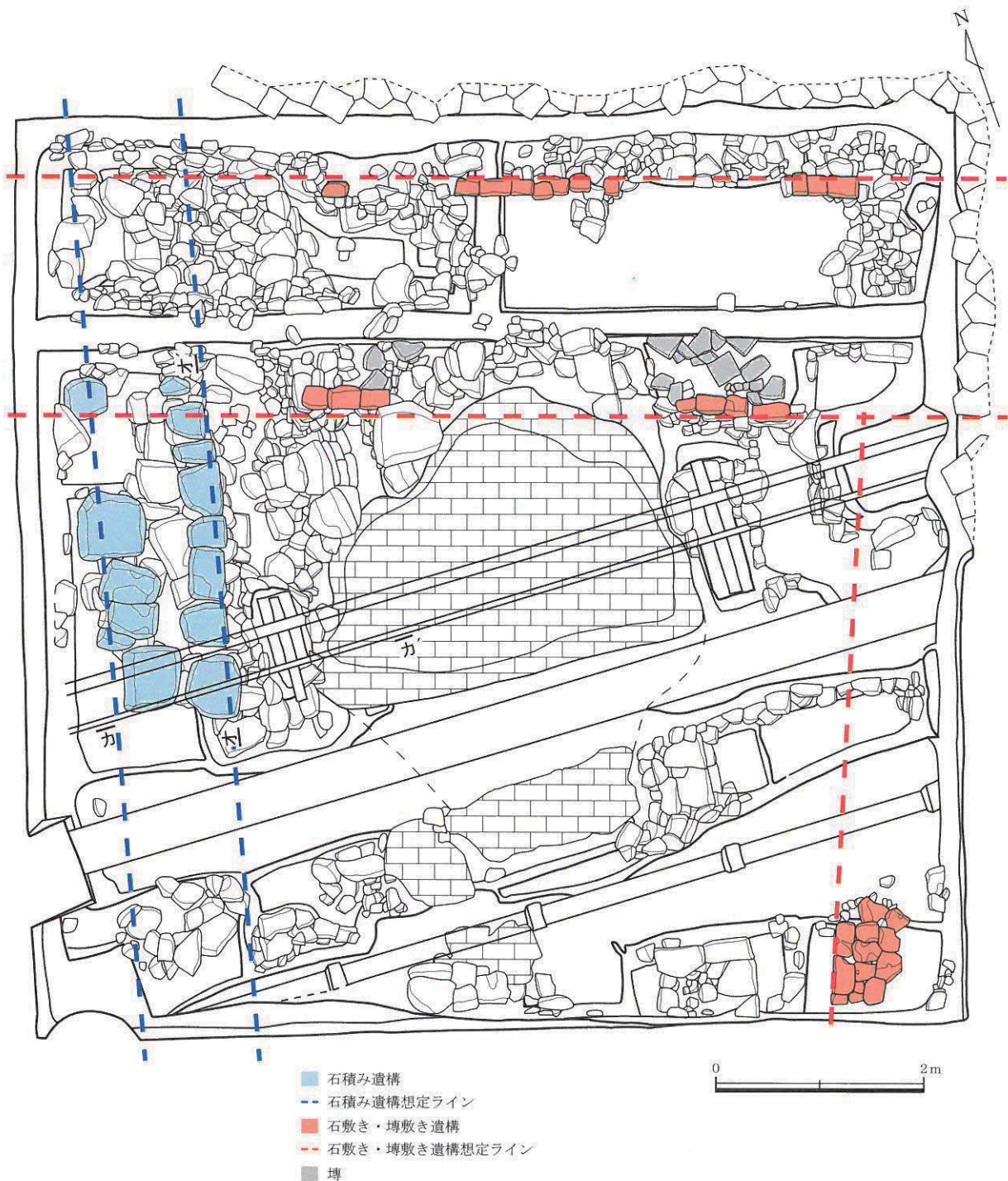


第12図 遺構平面図

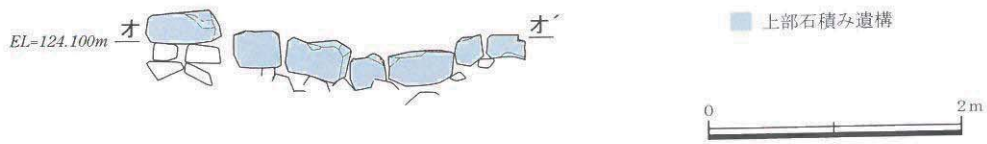
上部遺構

1) 石積み (第13～15図、図版5・6・9・10・13中・14上・15)

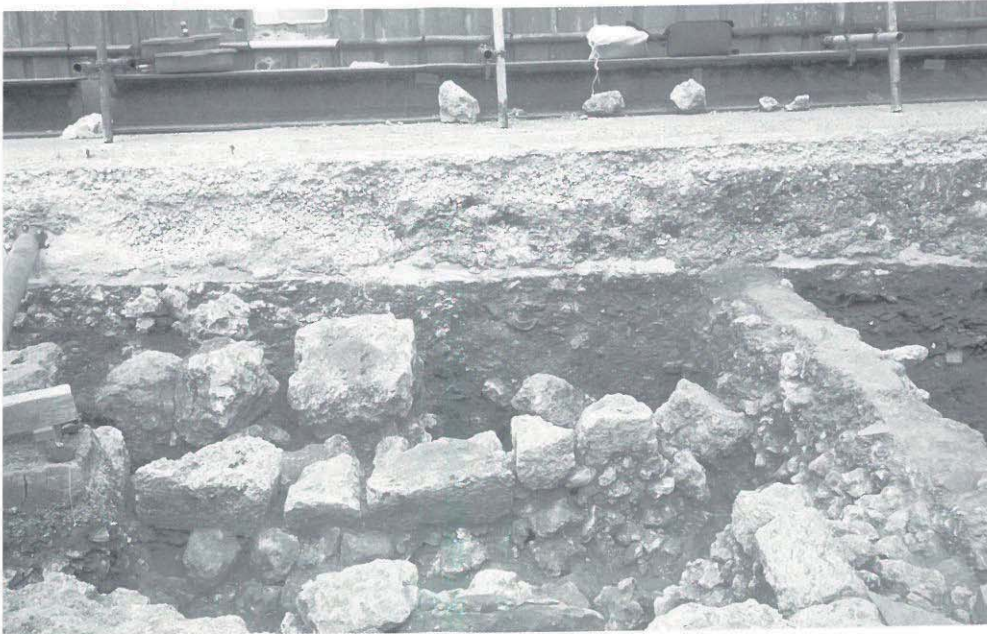
岩盤の西側で石積みが確認された。両列とも面を持つ一対の石積みである。石幅約40～60cm、高さ約30cmの大きめの雑切石で、南北に約320cm、幅約140cmを計る。両列とも配し方が雑で外に孕んだ状態で検出された。造成したと考えられる礫層の直上に積まれていることから根石であると考えられる。この石積みが明治前～中期作成とされる『沖縄県首里旧城図』（横内家資料・第3図）に描かれた石積みの一部と推測される。



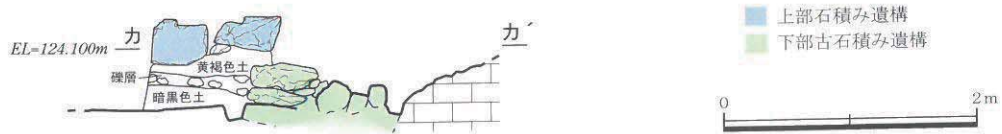
第13図 遺構平面図（上部遺構）



第14図 上部石積み西壁立面図



図版5 上部石積み検出状況



第15図 上部石積みと下部古石積みの北壁立面図



図版6 上部石積み・下部古石積み検出状況

2) 石敷き (第13図、図版7・16上)

調査地南区の南東側で石敷きが確認された。幅約40cm前後の石灰岩が敷き詰められている。残存範囲がわずかで道幅は不明であるが、面を持つ縁石から南北に延びている石敷きであると確認できた。石積みの表面は摩耗している。奉神門前に南北に配された石敷きの一部と考えられる。



図版7 石敷き検出状況

3) 塼敷き (第13図、図版8・9・13下・16中・下)

調査地北区で塼敷きの通路と推測される遺構が確認された。長方形の石灰岩を東西の方向へ列し、内側の一部で縁石に接して灰色系の塼が残存している。残存する範囲は、両側の縁石から長さ約520cm、道幅約240cmを計る。東側への伸びは、位置的に奉神門の塼敷き中央階段と関連のある遺構と推測される。



図版8 塼敷き検出状況



- ①上部 磚敷き (縁石)
- ②上部 石積み
- ③下部 古石積み

図版9 上部・下部遺構検出状況 1



- ②上部 石積み
- ③下部 古石積み

図版10 上部・下部遺構検出状況 2

下部遺構

4) 古石積み (第16・17図、図版9・10・14上・15・16・18・19中・下)

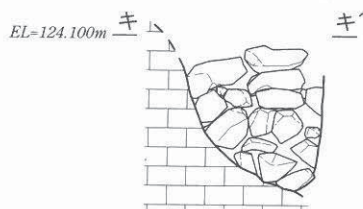
岩盤の西側で石積みを確認された。東西に面を持つ一対の石積みと考えられる、幅約50cm前後の雑切石を3段～7段積んだ石積みが残存している。石積みの残りが良い箇所では高さ約120cm、傾斜角度は約20度である。南北方向に延びており、長さ約340cm、幅140cmを計る。上部の石積みと比べると縁取りの仕上げ・積み方は丁寧である。



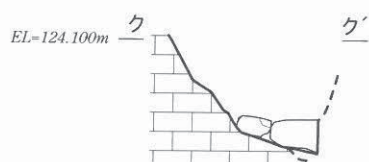
第16図 遺構平面図 (下部遺構)

5) 基壇状遺構 (第16・18図、図版11・14中・17・19上)

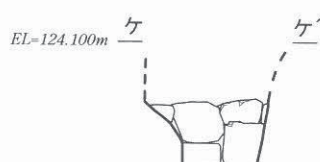
中央石灰岩の東側で石積みが確認された。岩盤に接して南北に延びる片面石積みで、東側に面を持っている。調査区の南側は排水管が3本通ることから、これに分断された状態で3箇所に分断されている。しかし、石材の大きさや積み方の状況が類似し、延長方向も一致することから一連の遺構であると考えられ、また、石積みが片面のみであることから、何らかの建物に付随する基壇になる可能性がある。北側への伸びは、上部遺構の礎敷きに潜り込んでいる。



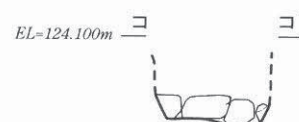
第17図 下部古石積み西壁立面図



北

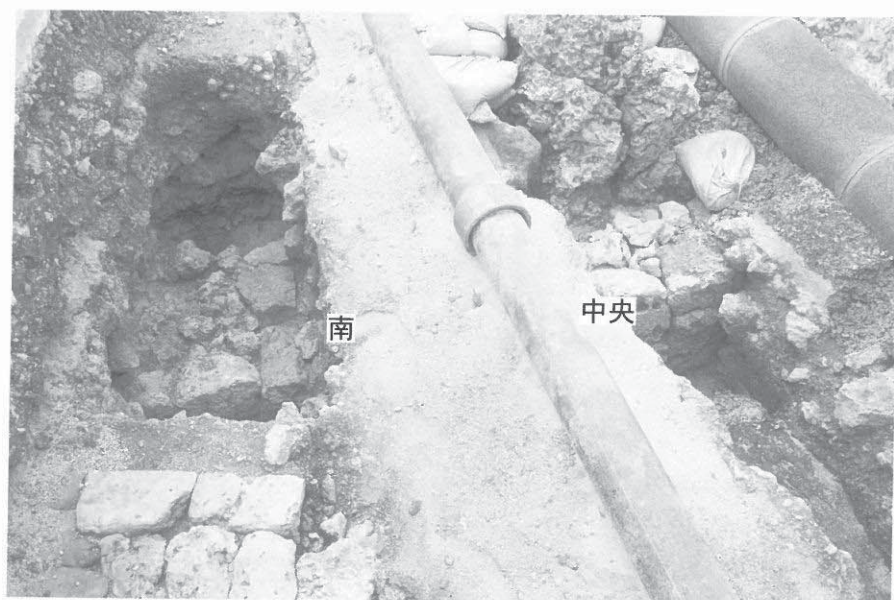


中央



南

第18図 下部基壇状遺構西壁立面図



図版11 下部基壇状遺構検出状況

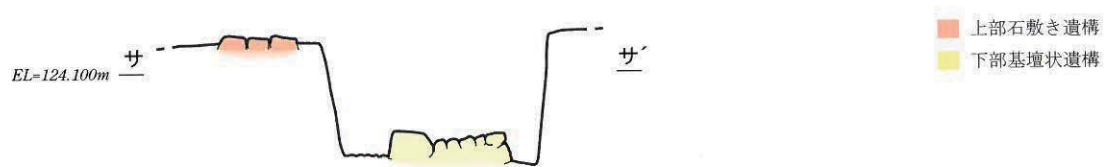
遺構考察

今回の調査は、首里城を描いた古絵図の中でも、測量技術の基に製作され、信憑性が高いとされている『沖縄県首里旧城図』（横内家資料・第3図）に描かれた首里森御嶽の残存遺構確認を目的として進めたが、御嶽の正確な位置・形状・規模の確定には至らなかった。しかし、検出された上部遺構の石積みは、いくつかの古絵図に描かれている石積みの一部と推測されることから、首里森御嶽復元整備の基礎情報として有効と思われる。

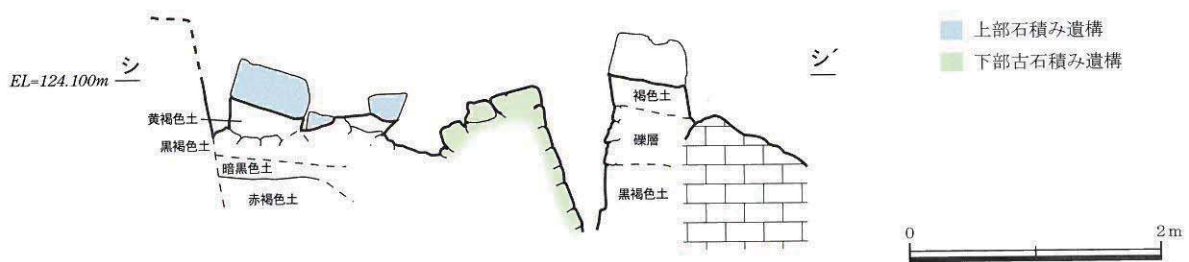
検出された遺構は便宜上、上部遺構と下部遺構とに区分した。上部遺構は古絵図等に描かれている遺構の一部と考えられるが、下部遺構は古絵図により確認できない古い時期の遺構であると考えられる（第19・20図、図版18）。

上部遺構のうち、塼敷き及び石敷きは、遺構縁石のレベル高がほぼ同じであることから同時期の可能性があるが、石積み遺構の時期については判然としなかった。

下部遺構の古石積み・基壇状遺構は、神の依代とされる石灰岩岩盤の周囲に配した遺構と考えられる。今調査では、両遺構の時間差を遺物から確認することはできなかったが、これらの性格をより詳細に把握するためには、御嶽周辺を構成する「下之御庭地区」での広範な追加調査と、「京の内地区」発掘調査で検出されている遺構との比較検討が必要である。



第19図 上部石敷きと下部基壇状遺構の東西断面図



第20図 上部石積みと下部古石積みの東西断面図

第5章 遺物

今回の調査により得られた遺物の量は、遺物収納用コンテナで25箱と、これまでの首里城跡発掘調査における遺物量に比すると少ないように思えるが、調査面積が64㎡という小規模な範囲の中での出土数ということでは、決して少量といえない量である。その種類も多様で、様々な輸入陶磁器をはじめ、瓦類、沖縄産陶器、金属製品、石造製品等、多岐にわたる遺物が出土している。

遺物の年代としては、青磁・白磁で15世紀前半から16世紀前半、染付で15世紀から18世紀までの数値が得られており、数量的に15世紀前半から16世紀の資料が多いことから、この年代が中心になるものと思われる。

次に、遺物の種別ごとに節を立てて報告を行うが、総合及び個々の集計表及び図版は巻末にまとめて掲載した。

第1節 青磁 (第1～5・37・38表、第21・22図、図版20・21)

青磁は小規模発掘ながら碗、皿、盤、鉢、瓶、壺、水注、人形等の大小多様な器種が得られ、総数で225点を数える。年代的には13世紀から16世紀代までに及ぶが、数量的に14世紀後半から15世紀前半の製品が中心になるものと思われる。焼成地は31の泉州窯系以外は、その特徴から概ね龍泉窯系の製品と思われる。

器種ごとの出土数では、碗が最も多く(152点/67.5%)、次いで盤(22点/9.7%)、皿(20点/8.8%)、瓶・壺(18点/8%)、その他(13点/5.7%)となっている。この中で14点(6.2%)の資料において被熱により釉が溶解し、変形・発泡・変色していることから、火災・戦災の影響が考えられ、その内11点に瓶・壺類が含まれる。

次に、出土した青磁の中から碗、皿、その他製品について特徴を記す。

碗： 碗の口縁部は59点を得られているが、その形状として直口(24点/40.6%)、外反(29点/49.2%)、玉縁(6点/10.2%)がみられ、玉縁は少ない。文様は蓮弁文、雷文、草花文等が確認できるが、比較的雷文の数が多く、これらの文様は直口碗に多く施文され、外反碗は横線文か草花文が見られる。玉縁碗は無文である。

底部は21点を得られており、高台の断面形状は外側を削った台形が多い。釉の範囲は高台脇までの資料が多いが、高台内までかけて釉剥ぎを施す資料も見られる。見込は施釉・無釉とがあり、印花文や圏線が巡らされた資料は施釉されている。

時期的には13世紀前半から16世紀前半までと考えられるが、14世紀後半から16世紀前半の製品が中心になるものと思われる。

皿： 皿の口縁部は8点得られており、形状は口折、外反、稜花の3種が確認できる。文様は口折、外反で外体に片切り彫りによる蓮弁文が施され、内体では、口折皿は無文で、外反皿で丸彫りの蓮弁が見える。稜花皿については、内外面に施文され、文様は両面で草花文を施すものと、外体に蓮弁文、内体に草花文を施文する資料とがある。

底部は角高台で、施釉範囲は高台脇、高台内釉剥ぎ、畳付までと定まらない。見込みは無文だが、円形に露胎を成す資料も見られる。

年代は14世紀後半から15世紀前半と考えられる。しかし、これら資料は出土数が希少なことから、数量的な傾向を読み取るに至らない。

その他製品： 碗、皿以外の製品で目立つ存在なのが、壺、瓶、水注等の大型製品及び型作りによる人形である。壺、瓶についても破片資料のため、そのどちらか判別が困難な資料も含まれるが、これ

と蓋の破片を合わせると18点出土しており、青磁出土総数の8%を占め、少ないとはいえ量である。

水注や人形の破片は各1点ずつと少ないが、今回の約64m²という小規模な発掘の中でこれだけの多様な資料が出土したということは、この周辺も含めて相当数の大型かつ希少な陶磁器が存在したことが想定できる。

また、被熱を受けた青磁の総数14点中、11点が壺・瓶に含まれていることから、首里城の火災との関連が考えられるとともに、調査区の南西約20mの地点には、多量の陶磁器が出土したことで知られる京の内倉庫跡（1459年失火か）が存在しており、その関連も想定できる。

第1表 中国産青磁観察一覧（1）

| 図・図版 番号 | 器 種 | 器 形 | 部 位 | 口径 器高 高台径 (cm) | 観察事項 | | | 出土 地点・層 | |
|-------------------|--------|--------|--------|-------------------------|--------------------------------|-----------------------|-----------------|---------------------------------------|-----------|
| | | | | | 文様構成 | 釉 (色・範囲・貫入) | 素地(色・質・ 混和材) | | 所見 |
| 第21図 図版20 1 | 碗 | 直口 | 口縁部 | 12.2 - - | 外体面:片切彫蓮弁文で粗い 内体面:無文 | 灰青色で光沢なし。粗い貫入が不規則に入る。 | 黄褐色～灰青色で隙間が多い。 | 口唇がやや内側に舌状に尖る碗。14世紀後半～15世紀前半。 | 北2 II層 |
| 2 | 碗 | 直口 | 口縁部 | - - - | 外体面:剣先蓮弁文 内体面:無文 | 灰緑色の透明釉。粗い貫入。 | 灰白色で密。 | 被熱のためか表面がやや発泡。15世紀前半～16世紀前半。 | 客土 |
| 3 | 碗 | 直口 | 口縁部 | 15.6 - - | 外体面:片切彫雷文・ラマ式蓮弁文 内体面:圏線二条 | 暗オリーブ色の失透釉。表面ざらつく。 | 灰白色で密。 | 外体に縦線2本と弧状の弁先の一部が見える。14世後半～15世紀中葉。 | 北2 II層 |
| 4 | 碗 | 直口 | 口縁部 | 15.2 - - | 外体面:片切彫雷文・ラマ式蓮弁文 内体面:片切彫草花文 | オリーブ色の半透明釉が厚く気泡多い。 | 灰白色で密。 | 口唇はやや外反。施文は丁寧。14世紀後半～15世紀中葉。 | 南2 攪乱層 |
| 5 | 碗 | 直口 | 口縁部 | 14.6 - - | 外体面:印花雷文・蓮弁文 内体面:印花雷文・草花文 | 光沢のない緑白色の半透明釉が厚い。 | 灰白色で密。 | 雷文は内外ともに密だが、外体の蓮弁は間隔が広い。口唇はやや内傾。15世紀。 | 南2 攪乱層 |
| 6 | 碗 | 直口 | 口縁部 | 16.3 - - | 外体面:印花雷文・波頭文 内体面:印花雷文 | 褐色の透明釉。貫入は全体に密に入る。 | 黄白色で密。 | 口唇断面は丸く破片下部より厚手。15世紀前半。 | 北1 IV層 |
| 7 | 碗 | 外反 | 口縁部 | - - - | 外体面:片切彫草花文 内体面:片切彫四方襷 | オリーブ色の透明釉が厚く気泡多い。 | 灰白色で密。 | 口唇断面は外反し舌状に尖る。施文は繊細。14世紀後半～15世紀前半。 | 南2 攪乱層 |
| 8 | 碗 | 外反 | 口縁部 | - - - | 外体面:弦文 内体面:無文 | オリーブ色の透明釉が厚く気泡多い。 | 灰白色で密。 | 口唇外面下部を僅かに凹ませ、外反を強調。14世紀後半～15世紀中葉。 | 北1 VI層 |
| 9 | 碗 | 外反 | 口縁部 | - - - | 外体面:弦文 内体面:無文 | 艶無しオリーブ色の半透明釉が薄くかかる。 | 明灰色と白色の斑状で若干軟質。 | 口唇が緩やかに外反する碗。器厚は一定。14世紀後半～15世紀中葉。 | 北4 IV層 |

第2表 中国産青磁観察一覧(2)

| 図・図版 番号 | 器 種 | 器 形 | 部 位 | 口径 器高 高台径 (cm) | 観察事項 | | | 出土 地点・層 | |
|--------------------|--------|--------|--------|-------------------------|----------------------------------|------------------------------|-----------------|--------------------------------------------------------------------|------------------|
| | | | | | 文様構成 | 釉 (色・範囲・貫入) | 素地(色・質・ 混和材) | | 所見 |
| 第21図 図版20 10 | 碗 | 外反 | 口縁部 | 14.7 - - | 断面から内外面ともに施文が確認できるが、器面白濁のため詳細不明。 | オリーブ色の半透明釉が厚く気泡多い。表面白濁。 | 灰白色で密。 | 口唇が丸くやや厚い外反の碗。14世紀後半～15世紀中葉。 | 北3 IV層 |
| 11 | 碗 | 玉縁 | 口縁部 | 16.4 - - | 無文 | 気泡を含む明緑色釉が厚い。貫入は粗く裏面に石灰分が付着。 | 灰褐色で気泡あり。 | 口唇が玉縁状で外傾する碗。14世紀後半～15世紀中葉。 | 北4 IV層 |
| 12 | 碗 | 外反 | 口縁部 | 13.8 - - | 無文 | 光沢のあるオリーブ色の透明釉が厚い。口唇端は褐色。 | 灰白色で密。 | 口唇端のみを外傾させる。14世紀後半～15世紀。 | 北4 IV層 |
| 13 | 碗 | 外反 | 口縁部 | 14.2 - - | 無文 | 灰オリーブ色の失透釉。細かい貫入。 | 灰色・淡黄色の斑状で軟質。 | 口唇端は丸く、やや外反する碗。14世紀後半～15世紀中葉。 | 北1 VI層 |
| 14 | 碗 | 玉縁 | 口縁部 | - - - | 無文 | 暗オリーブ色の失透釉が薄い。細かい貫入。 | 灰白色で隙間多い。 | 口唇外面下部を僅かに凹ませ、玉縁を強調。14世紀後半～15世紀中葉。 | 北1 VI層 |
| 15 | 碗 | - | 底部 | - - 5.7 | 鎬蓮弁文に伴う底部資料 | オリーブ色の半透明釉が内面と高台脇までかかる。 | 灰白色で僅かに隙間あり。 | 見込が僅かに盛り上がる。高台断面は台形で面取りがされ、外側のみ接地。高台内の削りは粗い。13世紀～14世紀。 | 南2 黒色土 (上) |
| 16 | 碗 | - | 底部 | - - 6.8 | 見込:円形に露胎 | 凹凸のある灰青色の失透釉が高台脇まで。見込は環状に露胎。 | 灰白色で僅かに隙間あり。 | 断面台形の高台。見込中央に釉剥ぎ具の支点痕及び同心円状に擦痕あり。成形・施釉・焼成ともに雑。龍泉か福建産。14世紀末～15世紀中葉。 | 北4 VI層 |
| 17 | 碗 | - | 底部 | - - 5.3 | 内外面:無文 内底面:圈線一条 | 灰白色の薄い釉が高台脇まで。高台内に飛沫。 | 灰白色で密。 | 断面方形の高台。成形は丁寧だが高台内中央は削り残しあり。見込は浅く渦巻状に轆轤痕が残る。14世紀後半～15世紀中葉。 | 客土 |

第3表 中国産青磁観察一覧(3)

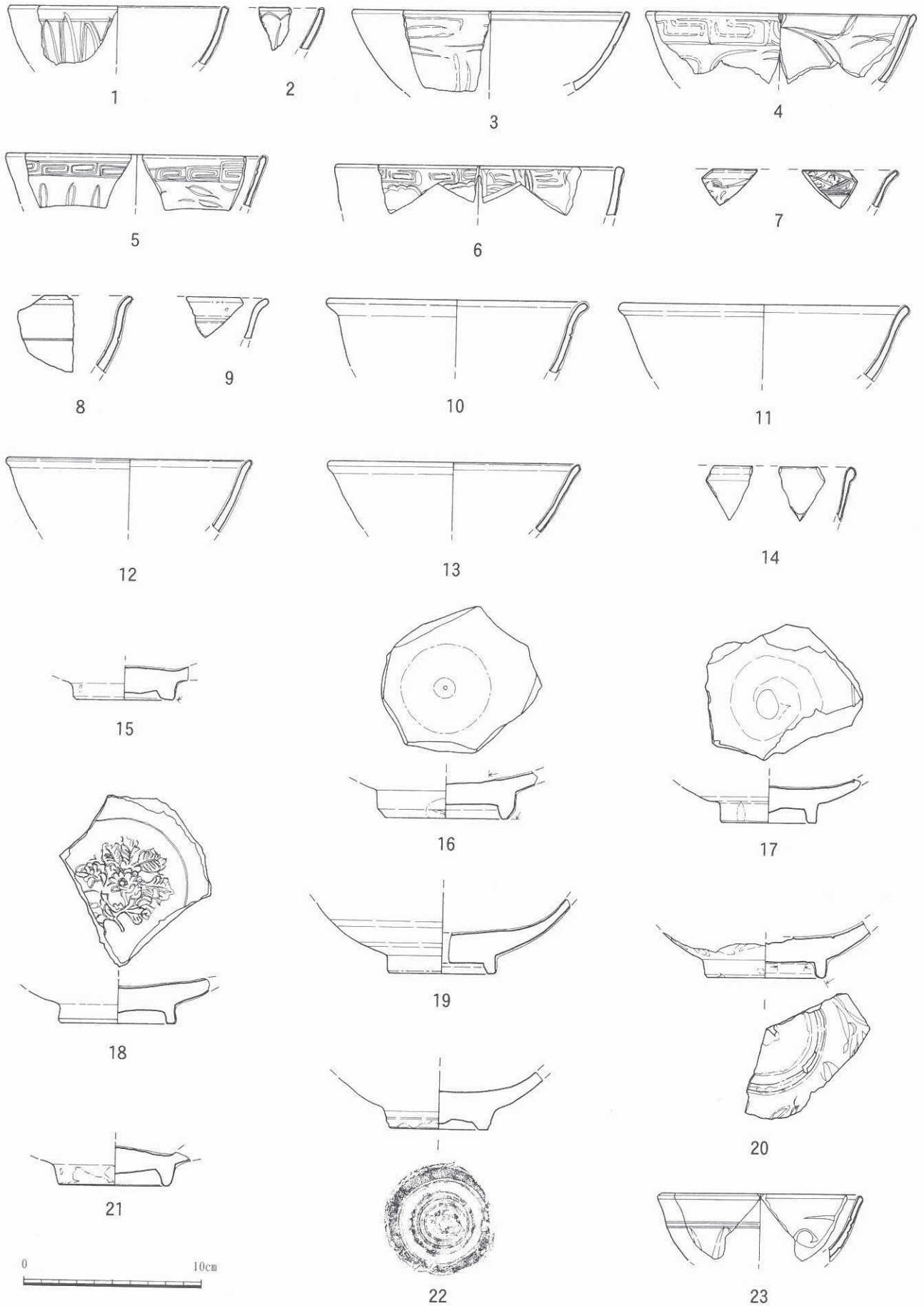
| 図・図版 番号 | 器 種 | 器 形 | 部 位 | 口径 器高 高台径 (cm) | 観察事項 | | | 出土 地点・層 | |
|--------------------|--------|--------|--------|-------------------------|--------------------------------|----------------------------------------|--------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|---------------------|
| | | | | | 文様構成 | 釉 (色・範囲・貫入) | 素地(色・質・ 混和材) | | 所見 |
| 第21図 図版20 18 | 碗 | — | 底部 | — — 6.3 | 内底面:印花文 | オリーブ灰色の釉が高台内面までかかるが、内面はまばら。貫入多い。 | 灰白色で密だが一部で橙色に変色。白色微粒子混入。 | 内底面に菊の草花と思われる印花のスタンプが押される。成形は丁寧だが施釉が高台内面まで及び雑。高台断面は隅丸方形で接地面が外側に少々開く。14世紀後半～15世紀中葉。 | 南2 攪乱層 |
| 19 | 碗 | — | 底部 | — — 6.2 | 無文 | オリーブ灰色の釉が高台脇までかかる。 | 灰白色で隙間が多く一部で橙色に変色。 | 高台の断面形状は台形で外側角部が面取りされる。14世紀後半～15世紀中葉。 | 北4 VI層 |
| 20 | 碗 | — | 底部 | — — 6.8 | 外体面:草花文 内体面:文様不明 内底面:印花文 | 光沢のあるオリーブ灰色の釉を全面にかけ高台内を蛇の目釉剥ぎ、壘付を釉剥ぎ。 | 灰色・灰白色の互層状で密。 | 高台断面は台形だが釉が厚くかかるため丸く見える。施文は深く丁寧だが厚い釉の影響で判然としない。14世紀後半～15世紀中葉。 | 北4 攪乱層+ 北4VI層 |
| 21 | 碗 | — | 底部 | — — 6 | 内底面:圏線一条 | オリーブ灰色の釉が高台脇までかかる。釉の端部は褐色に変色。釉裏に褐色の粒子。 | 灰色で密。黒色の微粒子混入。 | 見込みが盛り上がる形状。高台内は粗く削られ、内側角に亀裂が走る。表面に石灰分付着。14世紀末～15世紀中葉。 | 北1 IV層 |
| 22 | 碗 | — | 底部 | — — 5.4 | 外体面:無文 内体面:不明 内底面:無文 | 被熱のため煤けた灰黄色の釉が高台脇までかかる。 | 黄褐色で隙間が多い。被熱のため軟質化。 | 壘付が幅広の碗。高台内は同心円状に削りの痕が残る。14世紀後半～15世紀中葉。 | 北1 IV層 |
| 23 | 小碗 | 直口 | 口縁部 | 11.6 — — | 外体面:蓮弁文 内体面:草花文 | 厚い透明な緑灰色釉。 | 灰白色で密。 | 口径から小碗と思われる。口縁部はやや外傾し、口唇は丸い。14世紀後半～15世紀中葉。 | 北4 III層 |
| 第22図 図版21 24 | 皿 | 口折 | 口 底 | 11.1 3.1 4.6 | 外体面:片切彫蓮弁文 内体面:無文 | 灰オリーブ色の釉が壘付までかかる。 | 灰白色で密。 | 外体面に丸みを帯びた幅広の蓮弁が彫られる。弁先は5mmほど離れる。口唇上面は水平で角部は厚手。角高台。14世紀後半～15世紀前半。 | 北2 II層 |
| 25 | 皿 | 口折 | 口縁部 | 6.5 — — | 外体面:片切彫蓮弁文 内体面:無文 | 暗オリーブ色の失透釉が厚い。 | 灰白色で密。 | 鋭い蓮弁が間隔をあけて施文。口縁は胴部と同様な厚さで緩やかに折れる。14世紀後半～15世紀前半。 | 南2 攪乱層 |

第4表 中国産青磁観察一覧(4)

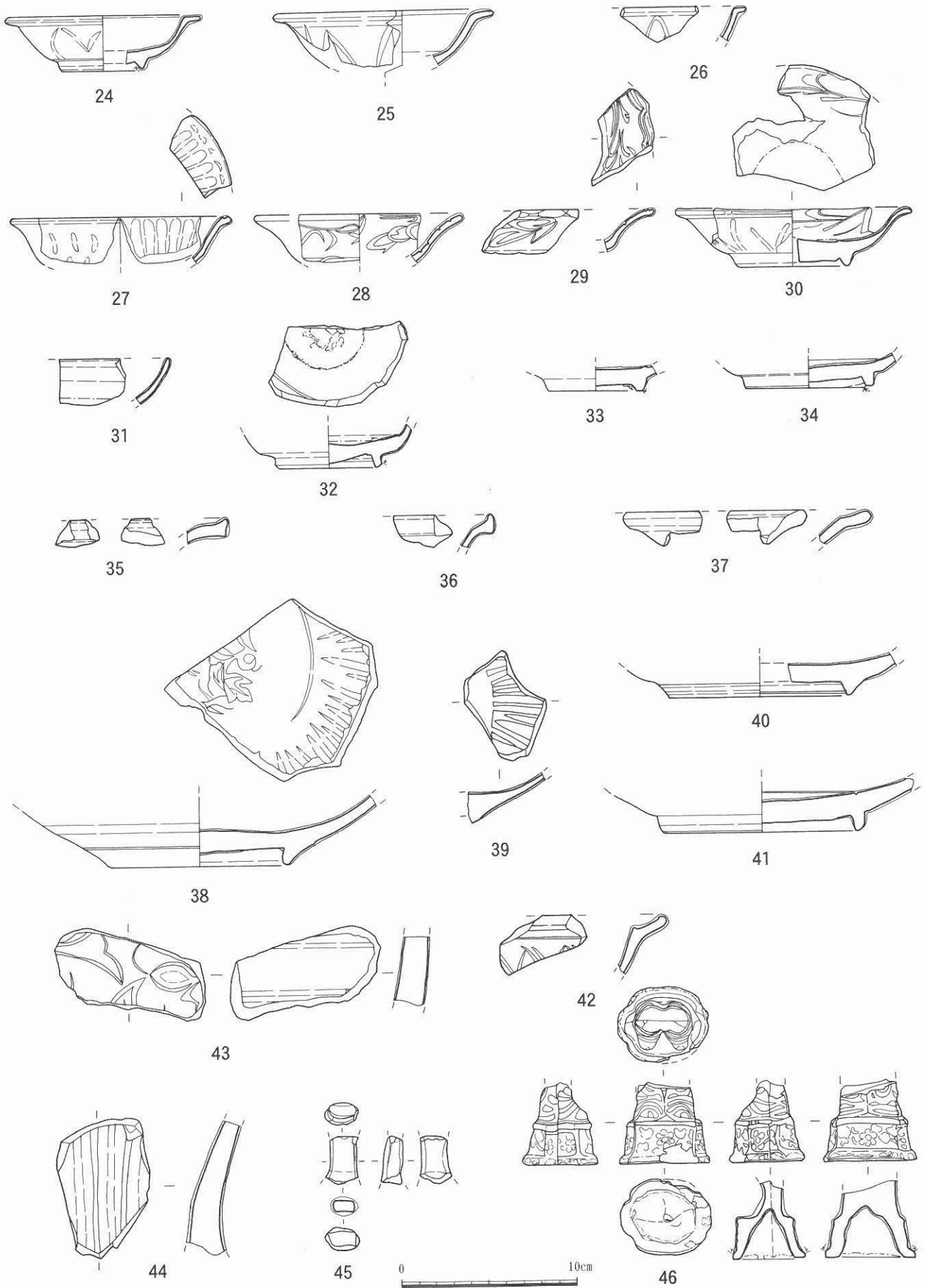
| 図・図版 番号 | 器種 | 器形 | 部位 | 口径 器高 高台径 (cm) | 観察事項 | | | | 出土 地点・層 |
|--------------------|----|----|-----|-------------------------|--------------------------------------|---------------------------|----------------------|------------------------------------------------------------------------|-------------------|
| | | | | | 文様構成 | 釉 (色・範囲・貫入) | 素地(色・質・ 混和材) | 所見 | |
| 第22図 図版21 26 | 皿 | 口折 | 口縁部 | - - - | 外体面:片切彫蓮弁文 内体面:無文 | オリーブ色の半透明釉が厚い。 | 灰白色で密。 | 生地は口唇で角を付けて外に折れるが施釉により丸みを帯びる。14世紀後半～15世紀前半。 | 南2 攪乱層 |
| 27 | 皿 | 外反 | 口縁部 | 12.5 - - | 外体面:片切彫蓮弁文 内体面:丸子彫蓮弁文 | 明緑色の透明釉が厚い。 | 灰白色で密。施文により部分的に断面薄い。 | 文様は簡素化された印象。腰・口縁は緩やかにS字状に折れる。14世紀後半～15世紀前半。 | 北2 II層 |
| 28 | 皿 | 稜花 | 口縁部 | 11.8 - - | 内外面:片切彫草花文 | 被熱により荒れた暗オリーブ色の釉が厚い。 | 被熱により灰色に変色。 | 口唇端は稜花に沿って又状具で縁取りされる。腰は「く」の字状に折れる。被熱により表面ただれる。15世紀前半頃。 | 不明 |
| 29 | 皿 | 稜花 | 口縁部 | - - - | 内外面:片切彫草花文 | 被熱により荒れたオリーブ色の釉。 | 灰白色で密。 | 口唇端は稜花に沿って又状具で縁取りされる。腰は「く」の字状に折れる。被熱により表面ただれる。15世紀代。 | 南2 攪乱層 |
| 30 | 皿 | 稜花 | 口縁部 | 13.4 3.4 5.2 | 外体面:片切彫蓮弁文 内体面:片切彫草花文 内底面:見込露胎 | 明緑色の透明釉が高台内側まで。見込露胎。 | 灰白色で密。 | 台形高台の稜花皿。腰・口縁は緩やかにS字状に折れる。14世紀後半～15世紀代。 | 北1 IV層 |
| 31 | 皿 | 直口 | 口縁部 | - - - | 無文 | 艶消し灰緑色の薄い釉が胴部まで。 | 粒子の粗い灰色の生地に黒色粒子が多い。 | 泉州窯系の浅手皿。口唇端は丸く胴から緩やかに立つ。胴下部の露胎部に轆轤痕及び被熱による煤付着。14・15世紀。 | 南1 切石南 黒色土層 |
| 32 | 皿 | 腰折 | 底部 | - - 5.6 | 内外面:不明 内底面:見込露胎 | 表面白濁の明緑色。畳付脇まで。見込は円形に露胎。 | 灰白色で粗い。 | 高台はやや外側に開く方形で外側角が面取りされる。高台内は円形に削り痕が明瞭。14世紀後半～15世紀中葉。 | 南2 攪乱層 |
| 33 | 皿 | - | 底部 | - - 5.2 | 内外面:不明 内底面:凸圏線 | オリーブ色の失透釉が高台内側まで。被熱で発泡。 | 灰白色で密。僅かに隙間あり。 | 高台断面は方形で外側角を面取りする。高台内面に砂目痕。14世紀後半～15世紀前半。 | 南2 攪乱層 |
| 34 | 皿 | - | 底部 | - - 7.4 | 内外面:不明 内底面:凸圏線 | 明緑色の失透釉が高台脇まで。被熱により濁る。 | 灰白色で密。 | 被熱により釉の表面がただれ、砂礫等が付着する。高台は角形で脇に削りを入れて角を形成。高台内面は同心円状に削り痕。14世紀後半～15世紀中葉。 | 捨土 |
| 35 | 盤 | 鏝縁 | 口縁部 | - - - | 外体面:無文 内体面:蓮弁文 | 灰オリーブ色の釉。微細な貫入が全面に走る。 | 橙色の素地に白色微粒子。 | 鏝の先端をつまみ上げるタイプの盤。14世紀後半～15世紀中葉。 | 北1 IV層 |
| 36 | 盤 | 鏝縁 | 口縁部 | - - - | 無文 | オリーブ灰色の透明釉。全面に貫入。釉裏に黒色粒子。 | 灰白色で密。 | 鏝の先端をつまみ上げるタイプの盤。鏝の幅は15mmと狭い。14世紀後半～15世紀中葉。 | 南2 攪乱層 |
| 37 | 盤 | 鏝縁 | 口縁部 | - - - | 無文 | オリーブ灰色の釉が厚手。全面に細かい貫入。 | 灰色で密。 | 鏝が平坦な盤。口唇端は僅かに反り上がる。端部は丸い。14世紀後半～15世紀中葉。 | 北3 攪乱層 |

第5表 中国産青磁観察一覧(5)

| 図・図版 番号 | 器 種 | 器 形 | 部 位 | 口径 器高 高台径 (cm) | 観察事項 | | | | 出土 地点・層 |
|--------------------|--------|--------|---------------|----------------------------|----------------------------------------|------------------------------------------|-----------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------|
| | | | | | 文様構成 | 釉 (色・範囲・貫入) | 素地(色・質・ 混和材) | 所見 | |
| 第22図 図版21 38 | 盤 | — | 底部 | — — 10 | 外外面:下部凸圏線 内外面:丸子彫蓮弁 文 内底面:印花文 | 暗緑色の透明釉 を全面施釉後に 高台内面を環状 に釉剥ぎ。 | 灰白色で密。 | 畳付部がやや内側に尖る臥 足形の盤底部。胴部は緩や かに立ち上がる。15世紀代。 | 北1 攪乱層 |
| 39 | 盤 | — | 底部 | — — — | 外外面:無文 内外面:櫛描蓮弁文 | 灰オリーブ色の 釉が畳付脇まで。 細かい貫入。 | 黄橙色で軟 質。僅かに隙 間あり。 | 畳付がやや尖る臥足形の盤 底部。胴部の器壁は薄手。 15世紀代。 | 北1 VI層 |
| 40 | 盤 | — | 底部 | — — 10.4 | 無文 | 暗緑色の失透釉 が高台脇まで。 釉は被熱により 全面発泡。 | 被熱により灰 色～橙色に 変色。橙色部 は軟質。 | 被熱により表面はただれ、釉 は一部で剥落。高台はやや 立ち上がる臥足形で畳付は 平坦。高台内面は同心円状 に削り痕。15世紀代。 | 北1V層 + 北1IV層 |
| 41 | 盤 | — | 底部 | — — 11.2 | 内外面:不明 内底面:凹圏線 | 明緑色の透明釉 が高台裏面中央 以外で施釉。全 面に貫入。 | 灰白色、部分 的に橙色。僅 かに隙間あり。 | 高台断面は外側を円く成形 し、内側の角部が接地。高台 内面中央は円形に鉋痕。15 世紀代。 | 北4II層 + 北4 攪乱層 |
| 42 | 盤 | 鏝 縁 | 口 縁部 | — — — | 外外面:片切彫蓮弁 文 内外面:無文 | 明緑色の失透釉 が厚く貫入粗い。 | 灰白色で僅 かに隙間あり。 | 口縁が鏝縁で斜位に立ち上 がり、胴は深い。口唇は玉縁 状に成形。外外面の蓮弁は 叉状工具により施文。 | 北1 IV層 |
| 43 | 壺 | — | 胴部 | — — — | 外外面:片切彫草花 文 内外面:無文(轆轤 痕) | 明緑色の透明釉 が厚い。被熱を 受けて表面が溶 解。貫入粗い。 | 灰白色で密。 | 壺の胴下部片。破片下部は 厚手。被熱により外体表面の み溶解し変形・発泡する。 | 北4 攪乱層 |
| 44 | 壺 | — | 胴部 | — — — | 外外面:鎬蓮弁文 内外面:無文(轆轤 痕) | 明緑色の透明釉 が厚い。被熱を 受けて釉表面が 溶解。 | 灰白色で密。 | 壺の胴下部片。大降りの鎬 蓮弁が深く彫られる。破片下 部は厚手で上部へ薄く緩や かに外傾する。内外面には 浅い轆轤痕。 | 不明 |
| 45 | 水注 | — | 把 手か接 手 | — — — | 無文 | 暗オリーブ色の 失透釉が厚手。 | 灰白色で隙 間多い。 | 生地横断面は長方形で施釉 により楕円を呈す。破片両端 が近距離で撥状に広がるこ から、注ぎ口と頸部を繋ぐ接 ぎ手の可能性あり。 | 北3 IV層 |
| 46 | 人形 | — | 脚部 | — — 短径:4.2 長径:5.1 | 型押し成形。台座に 草花文。 | 接地面を除く内 外面にオリーブ 色の透明釉が厚 く貫入粗い。 | 灰白色で密。 | 立像の脚部。稜花状の台座 に脚を揃えて立つ。衣装はズ ボンに靴を履く唐子か。前後 で型成形し接合後、撫でて 境界を消す。無釉部分は橙 色。 | 表採 |



第21图 中国産青磁 (1)



第22図 中国産青磁 (2)

第2節 白磁 (第6・37・39表、第23図、図版22)

白磁は出土総数41点と比較的少ない。ほとんどが小破片で全形をうかがえるような資料はない。そのうち10点を図化した。全体に精巧な作りの物は少ない。詳細は観察表に譲る。

第6表 白磁観察一覧

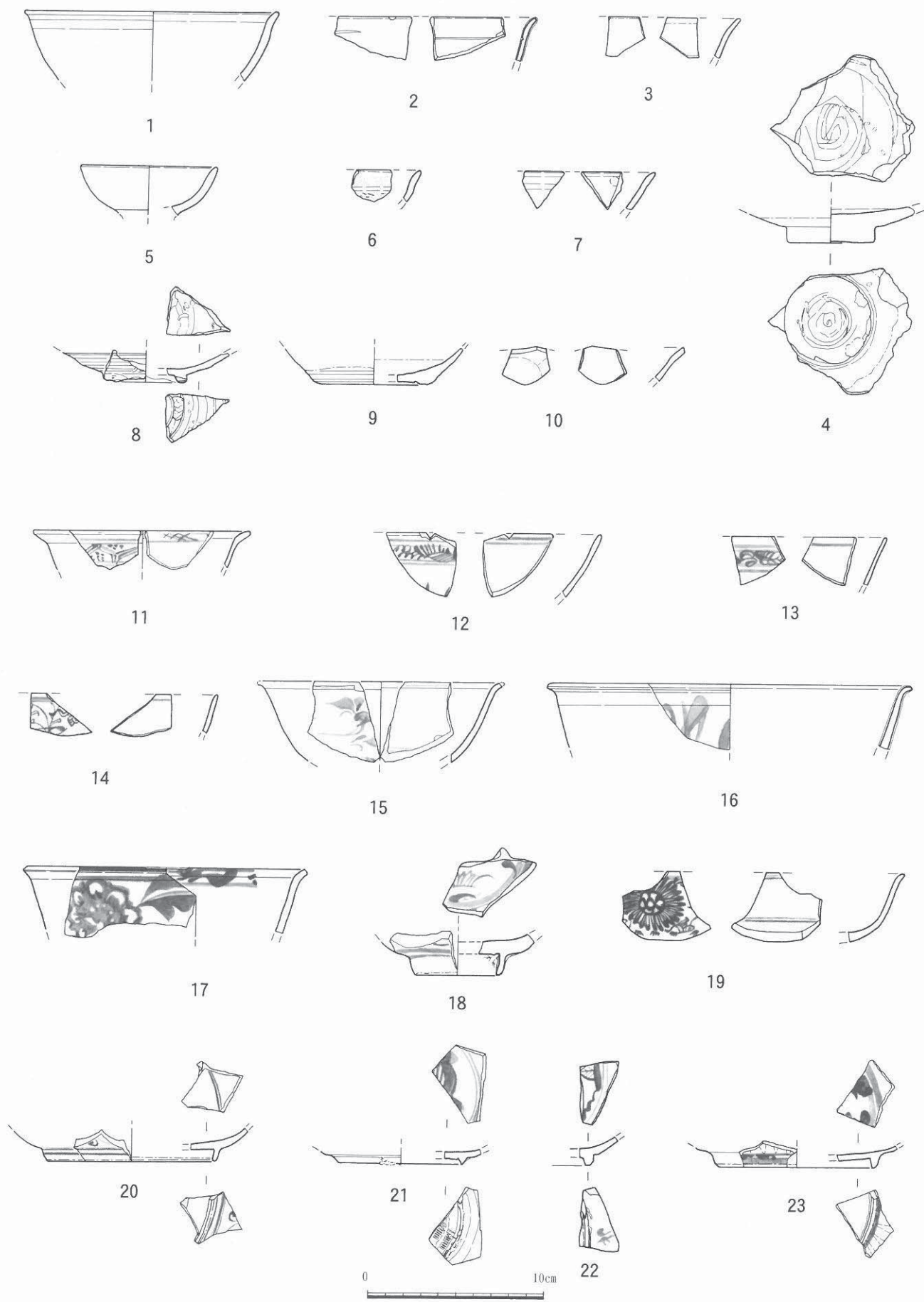
| 図・図版 番号 | 器 種 | 器 形 | 部 位 | 口径 器高 高台径 (cm) | 観察事項 | | | 出土 地点・層 | |
|-------------------|--------|--------|--------|-------------------------|--------------|-----------------|------------------|------------------------------------------------------|-------------------|
| | | | | | 文様構成 | 釉 (色・範囲・貫入) | 素地 (色・質・混和材) | | 所見 |
| 第23図 図版22 1 | 碗 | 外反 | 口縁部 | 14.2 - | - | 透明釉。貫入は見られない。 | 灰白色で緻密。 | 外反する碗。口縁下部に窪みが見られる。14世紀。 | 攪乱層 |
| 2 | 碗 | 外反 | 口縁部 | - - | 口縁部内面に圈線を施す。 | 青みを帯びた透明釉。 | 灰白色で緻密。 | 口縁部から屈曲し外反する碗。14世紀か。 | 南1 切石南 黒色土層 |
| 3 | 小碗 | - | 口縁部 | - - | - | 釉は白灰色で貫入は見られない。 | 白色で緻密。 | 口禿げの端反口縁碗。口唇部から口縁内面にかけて露胎。13世紀～14世紀中葉。 | 南1 切石南 黒色土層 |
| 4 | 香炉 | - | 底部 | - 4.9 | - | 釉は青灰色で貫入が見られる。 | 灰白色。 | 内底は露胎する。外面も高台脇まで露胎。高台内は削らず平らで中央部が若干窪む。明代。 | 客土 |
| 5 | 小碗 | 直口 | 口縁部 | 7.6 - | - | 釉は白色で貫入は見られない。 | 白色で緻密。 | 底部から緩やかに膨らむ型作りの小碗。福建系。17世紀頃か。 | 北3 攪乱層 |
| 6 | 碗 | 外反 | 口縁部 | - - | - | 釉は白色で薄く施釉される。 | 白色で緻密。 | 外反する碗。口縁下部に窪みが見られる。被熱を受ける。14～15世紀代か。 | 南2 攪乱層 |
| 7 | 皿 | 直口 | 口縁部 | - - | - | 釉は白色で貫入が見られる。 | 白色。 | 胴部から口縁部に向かって直口する碗。14～15世紀。 | 客土 |
| 8 | 皿 | - | 底部 | - 4.8 | - | 釉は灰白色で薄く施釉する。 | 白色。茶褐色の混入物が見られる。 | 高台には抉りが施される。高台と内底面に目跡が見られる。全面施釉。15～16世紀。 | 北1 攪乱層 |
| 9 | 皿 | - | 底部 | - 6 | - | 釉は白色で貫入が見られる。 | 乳白色。 | 高台内側は薄く削られ高台は低い。内底・外底は露胎。明代。 | 北3 IV層 |
| 10 | 小杯 | - | 口縁部 | - - | - | 無釉。 | 白色。 | 切高台になる小杯である。外面には面取りを施し口縁部は山形になる。焼成は悪く被熱を受ける。15～16世紀。 | 北1 IV層 |

第3節 中国産染付 (第7・37・40表、第23図、図版22)

中国産染付は総数71点が出土している。主となるのは碗、皿などで瓶、壺、盤などの出土は少ない。白磁と同様に小破片のため全形をうかがえるような資料はない。

第7表 中国産染付観察一覧

| 図・図版 番号 | 器 種 | 器 形 | 部 位 | 口径 器高 高台径 (cm) | 観察事項 | | | 出土 地点・層 | |
|--------------------|--------|--------|--------|-------------------------|---------------------|---------------------|-----------------|------------------------------------------------------------|-------------------------|
| | | | | | 文様 | 釉・呉須 (色・範囲) | 素地 (色・質・混和材) | | 所見 |
| 第23図 図版22 11 | 碗 | 外反 | 口縁部 | 12.2 — — | 外面: 亀甲文 内面: 四方襷文 | 釉: 淡灰白色 呉須: やや鮮明 | 灰白色 | 外反する碗の口縁部片。外面は2条の圈線に挟まれた部分に亀甲文を描く。景德鎮窯。15世紀中葉～16世紀初頭。 | 南1 攪乱層 |
| 12 | 碗 | 直口 | 口縁部 | — — — | 外面: 波濤文 | 釉: 白灰色 呉須: やや鮮明 | 白色 | 直口する碗の口縁部片。外面には2条一組の圈線に挟まれた波濤文を描く。胴部には芭蕉文か。景德鎮窯。16世紀前半～中葉。 | 北1 攪乱層+ 北3 攪乱層 |
| 13 | 碗 | 直口 | 口縁部 | — — — | 外面: 波濤文 | 釉: 透明釉 呉須: やや鮮明 | 灰白色 | 胴部から直線的に開く直口の碗。外面は圈線に挟まれた部分に波濤文を描く。景德鎮窯。16世紀前半～中葉。 | 北3 攪乱層 |
| 14 | 小碗 | 直口 | 口縁部 | — — — | 外面: 唐草文 | 釉: 青灰色 呉須: 鮮明 | 白色 | 直口する小碗の口縁部片。外面には唐草文を描く。景德鎮窯。16世紀後半～17世紀前半か。 | 南2 攪乱層 |
| 15 | 碗 | 外反 | 口縁部 | 13.8 — — | 外面: 花唐草文 | 釉: 淡灰白色 呉須: やや鮮明 | 灰白色 | 外反する碗の口縁部片。外面は口唇下部に圈線を巡らし胴部には花唐草文を描く。福建系。18世紀。 | 北1 攪乱層 |
| 16 | 鉢 | 外反 | 口縁部 | 20.6 — — | — | 釉: 青灰色 呉須: やや鮮明 | 灰白色 | 外反する鉢の口縁部片。釉は青みがかつた灰色。外面に文様を描くが形態は不明。福建系。18世紀。 | 北3 攪乱層 |
| 17 | 鉢 | 外反 | 口縁部 | 16 — — | 外面: 花唐草文 | 釉: 灰白色 呉須: やや鮮明 | 淡灰黄色 | 外反する鉢の口縁部片。外面は口唇直下に圈線。胴部に花唐草文を描く。口唇部は釉剥ぎ。福建系。17世紀末～18世紀前半。 | 南2 攪乱層 |
| 18 | 碗 | — | 底部 | — — 4.8 | 内面: 草花文 | 釉: 灰白色 呉須: やや鮮明 | 灰白色 | 高台は薄く高い。畳付は露胎する。見込は草花文を施す。景德鎮窯。15世紀末～16世紀前半。 | 北3 攪乱層 |
| 19 | 小碗 | 外反 | 口縁部 | — — — | 外面: 菊唐草文 | 釉: 淡灰白色 呉須: 鮮明 | 白灰色 | 外反する小碗の口縁部片。外面は口唇直下に圈線を巡らし胴部に菊唐草文を描く。景德鎮窯。18世紀末～19世紀前半。 | 南2 攪乱層 |
| 20 | 皿 | — | 底部 | — — 9.5 | 外面: 草花文 | 釉: 灰白色 呉須: 鮮明 | 白色 | 高台は薄く畳み付けは露胎する。内面に圈線、外面に圈線と草花文を描く。畳付は露胎。景德鎮窯。15世紀末～16世紀前半。 | 不明 |
| 21 | 皿 | — | 底部 | — — 7 | — | 釉: 灰白色 呉須: やや鮮明 | 灰白色 | 高台は低く畳付には砂の付着が見られる。高台内には内削りの痕跡が飛び鉋状に残る。景德鎮窯。16世紀末～17世紀前半。 | 北4 攪乱層 |
| 22 | 皿 | — | 底部 | — — — | — | 釉: 灰白色 呉須: やや鮮明 | 灰色 | 高台は低く畳付は露胎する。呉須の発色は良くない。景德鎮窯。16世紀。 | 北1 IV層 |
| 23 | 皿 | — | 底部 | — — — | — | 釉: 透明釉 呉須: やや鮮明 | 灰色 | 高台は低く畳付は露胎する。高台脇には蓮弁と思われる陽刻が見られる。釉はやや濁る。景德鎮窯。16世紀前半～中葉。 | 南2 攪乱層 |



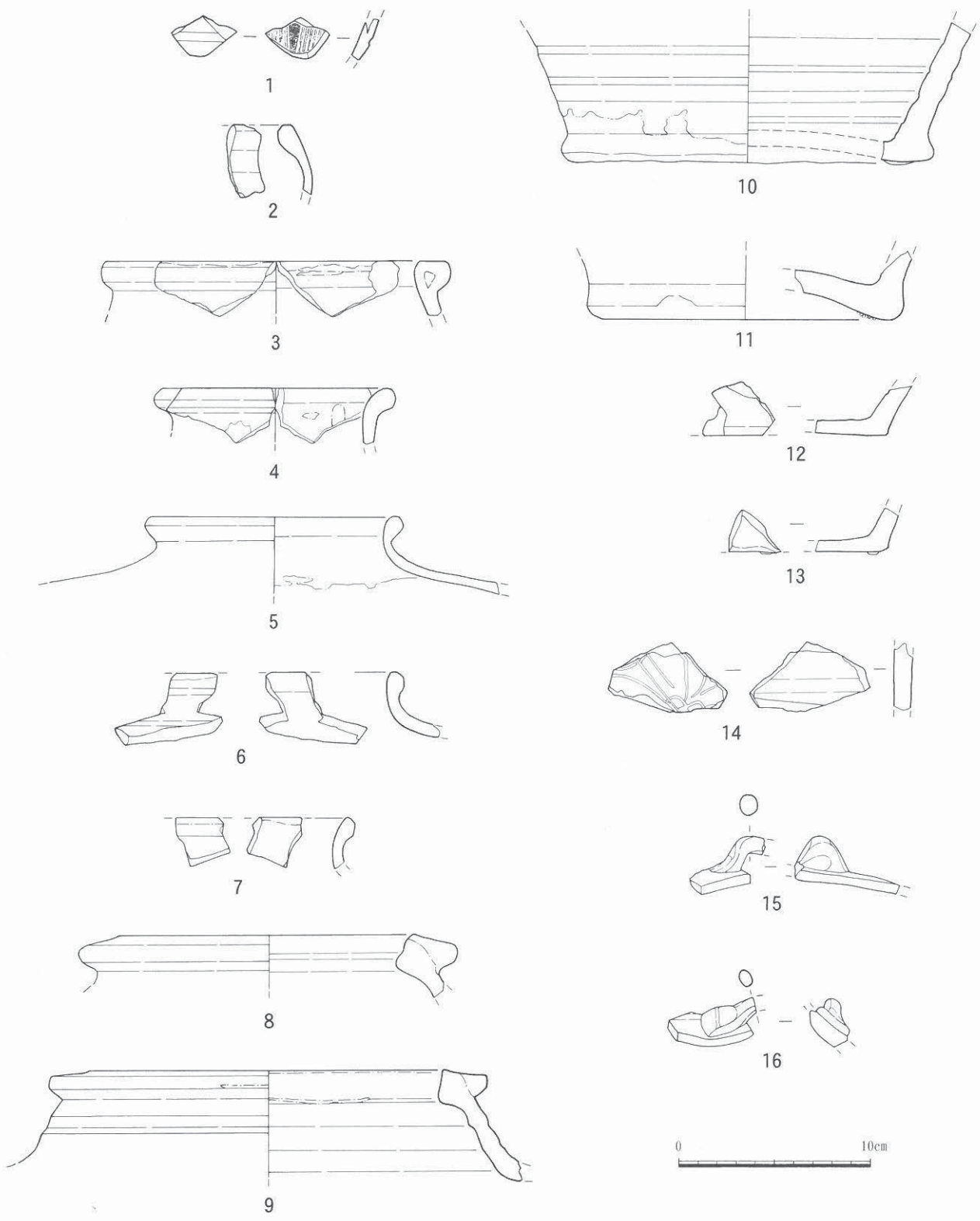
第23图 白磁・染付

第4節 中国産褐釉陶器 (第8・37・41表、第24図、図版23)

中国産褐釉陶器は器種別にみると挿鉢(1)、鉢(2)、壺(3~16)などがみられる。そのうち、壺は口縁部が方形を呈するもの(3、8、9)と玉縁状を呈するもの(4~7)に分かれる。個々の詳細については観察表に譲る。

第8表 中国産褐釉陶器観察一覧

| 図・図版 番号 | 器種 | 器形 | 部位 | 口径 器高 底径 (cm) | 観察事項 | | | 出土 地点・層 | |
|--------------|----|----|-----|------------------------|----------|-------------------|-------------------------|-------------------------------|-----------------------------|
| | | | | | 文様 構成 | 釉 (色・範囲・貫入) | 素地 (色・質・混和材) | | 所見 |
| 第24図 図版23 | 1 | 挿鉢 | 胴部 | — — — | 無文 | 外面:淡茶色 内面:無釉 | 素地:淡茶色 混和材:白色微粒子 | 7本単位の櫛目をほどこす。外面にヘラ削りがみられる。明代。 | 北3 IV層 |
| | 2 | 鉢 | 口縁部 | — — — | 無文 | 外面:淡黄色 内面:淡黄色 | 素地:淡橙色 混和材:白色・黒色微粒子 | 釉薬の大部分が剥落。黄釉鉄絵の可能性あり。13~15世紀。 | 北2 II層 |
| | 3 | 壺 | 口縁部 | 17.6 — — | 無文 | 外面:茶褐色 内面:無釉 | 素地:淡橙色 混和材:白色・黒色微粒子 | 内面に轆轤痕がみられる。14~15世紀。 | 南1 切石西 黒色礫層 |
| | 4 | 壺 | 口縁部 | 11.6 — — | 無文 | 外面:褐色 内面:褐色 | 素地:淡茶色 混和材:白色微粒子 | 丁寧な成形。明代。 | 北4 VII層 |
| | 5 | 壺 | 口縁部 | 13 — — | 無文 | 外面:灰色 内面:茶色 | 素地:暗灰色 混和材:白色・黒色微粒子 | 白化粧に透明釉。裏面に轆轤痕。胴部に鉄絵か。 | 北1 IV層 |
| | 6 | 壺 | 口縁部 | — — — | 無文 | 外面:淡茶色 内面:淡灰色 | 素地:淡茶褐色 混和材:白色・黒色微粒子 | 裏面に轆轤痕が残る。 | 北1IV層 +北4 攪乱層 |
| | 7 | 壺 | 口縁部 | — — — | 無文 | 外面:淡灰色 内面:淡灰色 | 素地:茶褐色 混和材:白色・黒色微粒子 | — | 北1 IV層 |
| | 8 | 甕 | 口縁部 | 19.4 — — | 無文 | 外面:褐色 内面:褐色 | 素地:淡灰色 混和材:白色・黒色微粒子 | 口縁部内面にヘラ削りが入る。15~16世紀。 | 北4 II層 |
| | 9 | 甕 | 口縁部 | 22.8 — — | 無文 | 外面:褐色 内面:褐色 | 素地:淡茶色 混和材:白色・黒色微粒子 | 口縁部内面にヘラ削りが入る。15~16世紀。 | 南2 攪乱層 |
| | 10 | 壺 | 底部 | — — 19.2 | 無文 | 外面:褐色 内面:褐色 | 素地:淡灰色 混和材:白色・黒色微粒子 | 轆轤痕が明瞭に残る。15~16世紀。 | 北2II層+南 2黄褐色礫層 +北4攪乱層 |
| | 11 | 壺 | 底部 | — — 14.8 | 無文 | 外面:茶褐色 内面:茶褐色 | 素地:淡灰色 混和材:白色・黒色微粒子 | 内底に轆轤痕が明瞭に残る。15~16世紀。 | 北4 II層 |
| | 12 | 壺 | 底部 | — — — | 無文 | 外面:淡茶色 内面:暗褐色 | 素地:灰色 混和材:白色・黒色微粒子 | 内面に轆轤痕がみられる。 | 北1 IV層 |
| | 13 | 壺 | 底部 | — — — | 無文 | 外面:淡茶色 内面:暗褐色 | 素地:灰色 混和材:白色・黒色微粒子 | 内面に轆轤痕がみられる。 | 北1 IV層 |
| | 14 | 壺 | 胴部 | — — — | 有文 不明 | 外面:茶褐色 内面:無釉 | 素地:灰色 混和材:白色・黒色微粒子 | 内面に轆轤痕がみられる。14~15世紀。 | 北3 攪乱層 |
| | 15 | 壺 | 耳 | — — — | 無文 | 外面:淡灰色 内面:褐色 | 素地:茶褐色 混和材:白色・黒色微粒子 | 内面に轆轤痕がみられる。 | 北1 IV層 |
| | 16 | 壺 | 耳 | — — — | 無文 | 外面:褐色 内面:一部茶褐色 | 素地:淡茶色 混和材:白色・黒色微粒子 | 内面に轆轤痕がみられる。明代。 | 北1 攪乱層 |



第24图 中国産褐釉陶器

第5節 その他の輸入陶磁器・本土産陶器（第9～11・37・42～44表、第25～27図、図版24・25）

その他の輸入陶磁器として、瑠璃釉、鉄釉磁器、無釉陶器、黒釉陶器、三彩、ベトナム産染付、タイ産陶器、本土産陶器が出土している。器種別にみると、瑠璃釉・鉄釉磁器は小碗（1、2、3）無釉陶器は袋物（4）、黒釉陶器は天目茶碗（5）、三彩は水注（6～13）と水滴（14～22）、ベトナム産染付は碗（23、24）と壺（25）、タイ産陶器は壺（26～30）で、バンブーン村窯産の無釉壺（27）が含まれる。本土産陶器は碗（33）と土鍋（34）がみられる。個々の詳細については観察表に譲る。

第9表 その他の輸入陶磁器・本土産陶器観察一覧（1）

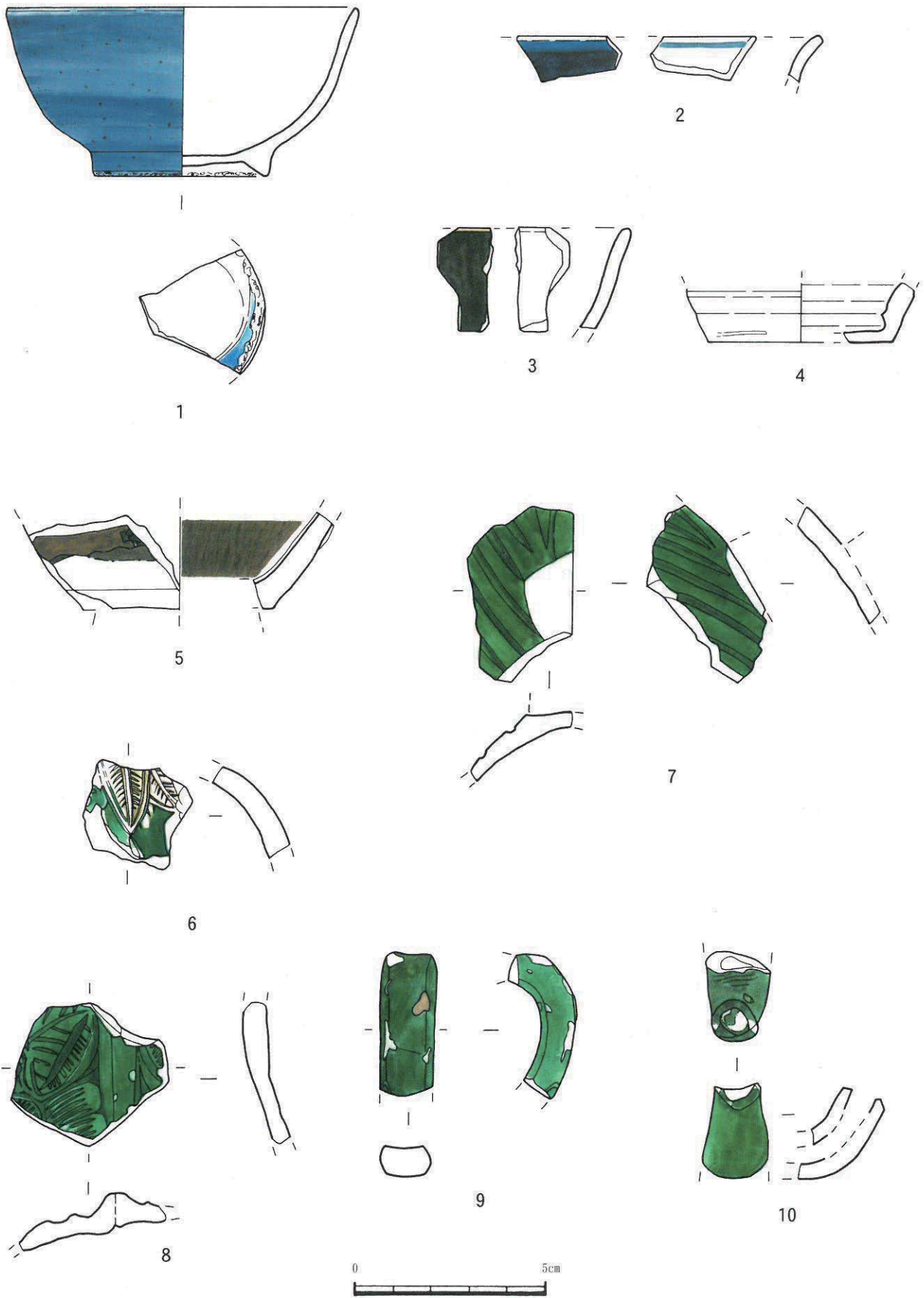
| 図・図版 番号 | 種類・ 産地 | 器種 | 器形 | 部位 | 口径 器高 底径 (cm) | 観察事項 | | | 出土 地点・層 | |
|--------------------|-----------|--------|---------------------|--------------|------------------------|--------------|------------------------------|-------------------------|--------------------------------|-----------|
| | | | | | | 文様 構成 | 釉 (色・範囲・貫入) | 素地 (色・質・混和材) | | 所見 |
| 第25図 図版24 1 | 瑠璃釉 | 小碗 | 直口口縁。腰部に丸みを持つ器形。 | 口縁 底 部 | 13 4.2～4.4 4.5 | 無文 | 釉色:外面青灰色、内面白色 範囲:外面蛇の目釉剥ぎ | 素地:白色 | 畳付けにアルミナが付着。徳化窯。18世紀後半～19世紀前半。 | 北3 Ⅲ層 |
| 2 | 瑠璃釉 | 小碗 | 外反口縁 | 口縁部 | — — — | 口縁部内面に圈線を一条。 | 釉色:外面青灰色、内面白色 | 素地:淡茶色 | 器面はピンホールが多い。景德鎮。16世紀後半～17世紀前半。 | 南2 攪乱層 |
| 3 | 鉄釉磁器 | 小碗 | 直口口縁 | 口縁部 | — — — | 無文 | 釉色:外面茶色、内面白色 | 素地:白色 | 口剥げ。徳化窯。鉄釉部は艶消し。18世紀後半～19世紀前半。 | 埋土 |
| 4 | 無釉陶器 | 袋物(小壺) | 外底部は平坦に仕上げられている。 | 底部 | 4.8 | 無文 | — | 素地:暗茶褐色 混和材:白色・黒色微粒子 | 内面に轆轤痕が明瞭に残る。宜興窯産。明代。 | 北4 攪乱層 |
| 5 | 黒釉陶器 | 天目茶碗 | 胴部に丸みを持つ器形になると思われる。 | 胴部 | — — — | 無文 | 釉色:茶色 範囲:外面は胴部下側まで | 素地:淡茶色 混和材:黒色微粒子 | 腰部に篋削りがはいる。外面に轆轤痕が明瞭。明代。 | 南2 攪乱層 |
| 6 | 三彩 | 水注 | 果実形か | 胴部 | — — — | 草文 | 釉色:草文部分は黄、無文部分は緑釉 | 素地:淡茶色 混和材:白色・黒色微粒子 | 型作り。草文は浮き出る。明代。 | 南1 攪乱層 |
| 7 | 三彩 | 水注 | 鶴型水注か | 胴部 | — — — | 背の部分か | 釉色:緑色 範囲:内面無釉 | 素地:淡茶色 混和材:黒色微粒子 | 鶴形水注の背面。把手の接合面が残る。明代。 | 北1 Ⅳ層 |
| 8 | 三彩 | 水注 | 鶴型水注か | 胴部 | — — — | 草花文 | 釉:緑色 範囲:内面無釉 | 素地:淡黄白色 混和材:黒色微粒子 | 鶴形の下部。型作り後接合した境界が見える。明代。 | 北3 Ⅲ層 |
| 9 | 三彩 | 水注 | 不明 | 把手 | — — — | 無文 | 釉色:緑色(白化粧土) 範囲:全面施釉 | 素地:淡茶色 | 断面方形の把手片。明代。 | 北4 攪乱層 |
| 10 | 三彩 | 水注 | 不明 | 注口 | — — — | 無文 | 釉色:緑色 範囲:全面施釉 | 素地:淡茶色 | S字状管の注口部。端部成形は粗い。明代。 | 北1 攪乱層 |
| 第26図 図版24 11 | 三彩 | 水注 | 鳥型水注か | 胴部 | — — — | 羽状文 | 釉色:緑色 範囲:内面無釉 | 素地:茶色 | 尾部右側面。型割の境界が見える。明代。 | 北3 Ⅳ層 |

第10表 その他の輸入陶磁器・本土産陶器観察一覧（2）

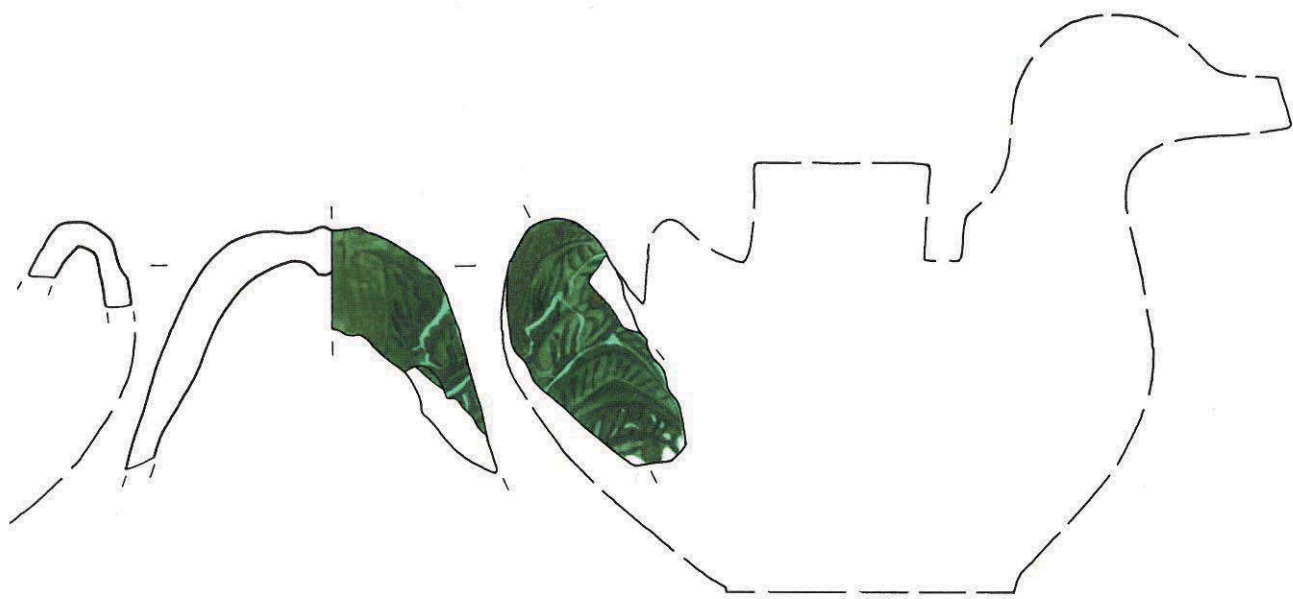
| 図・図版 番号 | 種類・ 産地 | 器種 | 器形 | 部位 | 口径 器高 底径 (cm) | 観察事項 | | | | 出土 地点・層 |
|--------------------|-----------|----|--------------|----|------------------------|-----------|-------------------------------|---------------------------|--------------------------------------------|------------|
| | | | | | | 文様 構成 | 釉 (色・範囲・貫入) | 素地 (色・質・混和材) | 所見 | |
| 第26図 図版24 12 | 三彩 | 水注 | 鳥型水注か | 胴部 | — — — | 羽状文 | 釉色:上部は緑色、 下部は黄色 範囲:内面無釉 | 素地:薄茶色 | 鳥形の右側 面下部と思 われる。明 代。 | 北1 攪乱層 |
| 13 | 三彩 | 水注 | 不明 | 肩 | — — — | 羽状文 | 釉色:緑色(銀化) 範囲:内面無釉 | 素地:茶色 混和材:白色・黒 色微粒子 | 水注の肩部 と思われるが 器形は不明。 明代。 | 北1 攪乱層 |
| 14 | 三彩 | 水滴 | 不明 | 耳 | — — — | 不明 | 釉色:緑色 範囲:内面無釉 | 素地:茶色 混和材:白色微 粒子 | 水滴の焼成 孔か。明代。 | 北1 攪乱層 |
| 15 | 三彩 | 水滴 | 魚形水滴か | 胴部 | — — — | 魚尾 | 釉色:緑色・黄色 範囲:全面施釉 | 素地:茶色 混和材:白色微 粒子 | 魚形の尾部 と思われる破 片。型割の 接合が明 瞭。明代。 | 北1 Ⅲ層 |
| 16 | 三彩 | 水滴 | 琴高仙人形 か魚形 | 底部 | — — — | 波濤文 鱗文 | 釉色:緑色 範囲:外底無釉 | 素地:茶色 混和材:白色微 粒子 | 破片下部に 波濤文、上 部に鱗文が 見える。明 代。 | 北1 攪乱層 |
| 17 | 三彩 | 水滴 | 不明 | 底部 | — — — | 不明 | 釉色:緑色 範囲:外底無釉 | 素地:灰色 混和材:黒色微 粒子 | 型割境界が 残る。接合面 は厚い。明 代。 | 北3 Ⅲ層 |
| 18 | 三彩 | 水滴 | 魚形か | 底部 | — — — | 鱗文 | 釉色:緑色 範囲:外底無釉 | 素地:茶色 混和材:白色微 粒子 | 破片下部に 波濤文、上 部に鱗文が 見える。明 代。 | 北1 攪乱層 |
| 19 | 三彩 | 水滴 | 鳥形 | 底部 | — — — | 不明 | 釉色:緑色 範囲:外底無釉 | 素地:茶色 混和材:白色微 粒子 | 内面に素地 を型に押し つけた指頭 痕。明代。22 と接合。 | 北1 攪乱層 |
| 20 | 三彩 | 水滴 | 不明 | 底部 | — — — | 不明 | 釉色:緑色 範囲:外底無釉 | 素地:茶色 混和材:白色微 粒子 | 波濤文らしき 陽刻が見え るが細片の ため不明。明 代。 | 北1 攪乱層 |
| 21 | 三彩 | 水滴 | 不明 | 底部 | — — — | 不明 | 釉色:緑色 範囲:外底無釉 | 素地:茶色 混和材:白色微 粒子 | 内面には粘 土皸と指紋 が見える。明 代。 | 北1 Ⅴ層 |
| 22 | 三彩 | 水滴 | 鳥形 | 底部 | — — — | 鱗文 | 釉色:緑色 範囲:外底無釉 | 素地:茶色 混和材:白色微 粒子 | 型割の境界 が見える。底 面は白化 粧。明代。19 と接合。 | 客土 |

第11表 その他の輸入陶磁器・本土産陶器観察一覧（3）

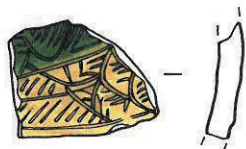
| 図・図版 番号 | 種類・ 産地 | 器種 | 器形 | 部位 | 口径 器高 底径 (cm) | 観察事項 | | | | 出土 地点・層 |
|--------------------|-------------|----|-------------------------------------------------------|------------------|------------------------|---------------------------------------------|----------------------------------|------------------------------|-----------------------------------------------------------|---------------------------|
| | | | | | | 文様 構成 | 釉 (色・範囲・貫入) | 素地 (色・質・混和材) | 所見 | |
| 第27図 図版25 23 | ベトナム 産染付 | 碗 | 外反口縁で、 腰部の張りが 弱い器形。 | 口 縁部 | 13.5 - - | 外面及び 内面口縁 部に簡略 化された 草花文。 | 釉色:乳白色 範囲:両面施釉 | 素地:淡灰色 混和材:白色・黒 色微粒子 | 被熱により釉 は斑状に なっている。 15世紀頃。 | 攪乱層 |
| 24 | ベトナム 産染付 | 碗 | 外反口縁。胴 部に丸みを持 つ器形にな ると思われ る。 | 口 縁部 | 16 - - | 外面及び 内面口縁 部に簡略 化された 草花文。 | 釉色:乳白色 範囲:両面施釉 | 素地:淡茶色 混和材:白色・黒 色微粒子 | 口唇部の釉 が薄い。15 世紀頃。 | 攪乱層 |
| 25 | ベトナム 産染付 | 壺 | 胴下部に張り を持つ器形。 | 底 部 | - - 8 | 竜文と思 われる。 胴下部に 圏線を一 条めぐら せる。 | 釉色:淡黄灰色 範囲:内底無釉 | 素地:淡茶色 混和材:白色・黒 色微粒子 | 内面に轆轤 痕が明瞭に 残る。15世紀 頃。 | 北4Ⅱ層 + 南2黒色土 (上) |
| 26 | タイ産褐 釉陶器 | 壺 | 口縁部が逆 三角形に肥 厚。 | 口 縁部 | - - - | 無文 | 釉色:灰色 範囲:両面施釉 | 素地:灰色 混和材:白色・黒 色微粒子 | 被熱により釉 の剥落が激 しい。明代。 | 客土 |
| 27 | タイ産無 釉陶器 | 壺 | 口縁部を強く 外反、口唇下 部が下方に せり出す。口 唇上部に3条 の圏線。 | 口 縁部 | 28 - - | 頸部に突 帯を一条 めぐらせ る。 | 無釉 | 素地:灰色 混和材:白色・黒 色・赤色微粒子 | 両面に轆轤 痕が明瞭。 バンブーン 村窯産。14 世紀後葉～ 15世紀初 頭。 | 北2 Ⅱ層 |
| 28 | タイ産褐 釉陶器 | 壺 | 肩部が強く張 り出す器形。 | 頸 部 | - - - | 頸部に突 帯を一条 めぐらせ る。 | 釉色:暗褐色 範囲:内面無釉 | 素地:暗赤褐色 混和材:白色・黒 色微粒子 | 両面に轆轤 痕が明瞭に 残る。15世紀 代。 | 北1 Ⅳ層 |
| 29 | タイ産褐 釉陶器 | 壺 | 外底面が平 坦に仕上げら れている | 底 部 | - - 22.4 | 無文 | 釉色:茶褐色 範囲:内面無釉 | 素地:赤褐色 混和材:白色・黒 色微粒子 | 両面に轆轤 痕が明瞭に 残る。15世紀 代。 | 北1 Ⅳ層 |
| 30 | タイ産褐 釉陶器 | 壺 | 外底面が平 坦に仕上げら れている | 底 部 | - - 18 | 無文 | 釉色:茶褐色、外面 の一部に灰緑色釉 範囲:内面無釉 | 素地:灰色 混和材:白色・黒 色微粒子 | 両面に轆轤 痕が明瞭に 残る。15世紀 代。 | 北2 攪乱層 |
| 31 | 中国 | 小碗 | 外反口縁。胴 部に丸みを持 つ器形にな ると思われ る。 | 口 縁部 | - - - | 無文 | 釉色:茶褐色 範囲:両面施釉 | 素地:灰色 混和材:白色・黒 色微粒子 | 鉄釉を施釉。 タイ産磁器の 可能性もあ り。明代。 | 南1 切石南 黒色土層 |
| 32 | 中国 | 壺 | 外底面がや や盛り上がる 器形。 | 底 部 | - - 12.2 | 無文 | 釉色:茶褐色 範囲:内面無釉 | 素地:暗赤褐色 混和材:白色・黒 色微粒子 | 両面に轆轤 痕が明瞭に 残る。明代。 | 北4Ⅱ層 +北4攪乱層 |
| 33 | 本土産 陶器 | 碗 | 外反口縁で、 腰部に丸み を持つ器形。 | 口 縁 底 部 | 8.4 4.3～4.5 3.4 | 無文 | 釉色:外面灰白色、 内面乳白色 範囲:畳付無釉 | - | 丁寧な成 形。内面に 轆轤跡がみ られる。九州 南部産。18 ～19世紀。 | 南1 攪乱層 |
| 34 | 本土産 陶器 | 土鍋 | 撮の上部がく ぼむ。 | 撮 | - - - | 無文 | 釉色:茶褐色 範囲:内面無釉 | 素地:茶色 混和材:白色・黒 色微粒子 | 内面に轆轤 痕が明瞭に 残る。 | 北3 攪乱層 |



第25図 その他の輸入陶磁器 中国産 瑠璃釉、鉄釉磁器、無釉陶器、黒釉陶器、三彩 (1)



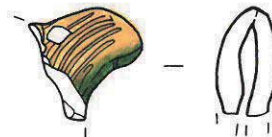
11



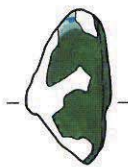
12



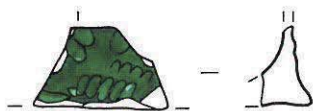
14



15



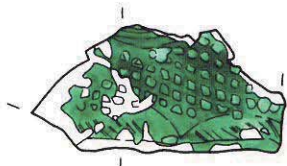
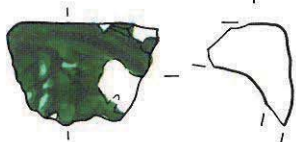
13



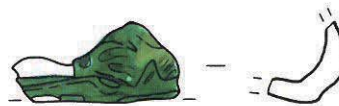
16



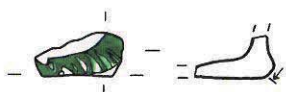
17



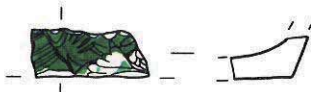
18



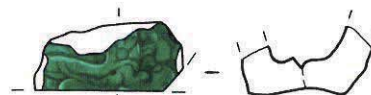
19



20



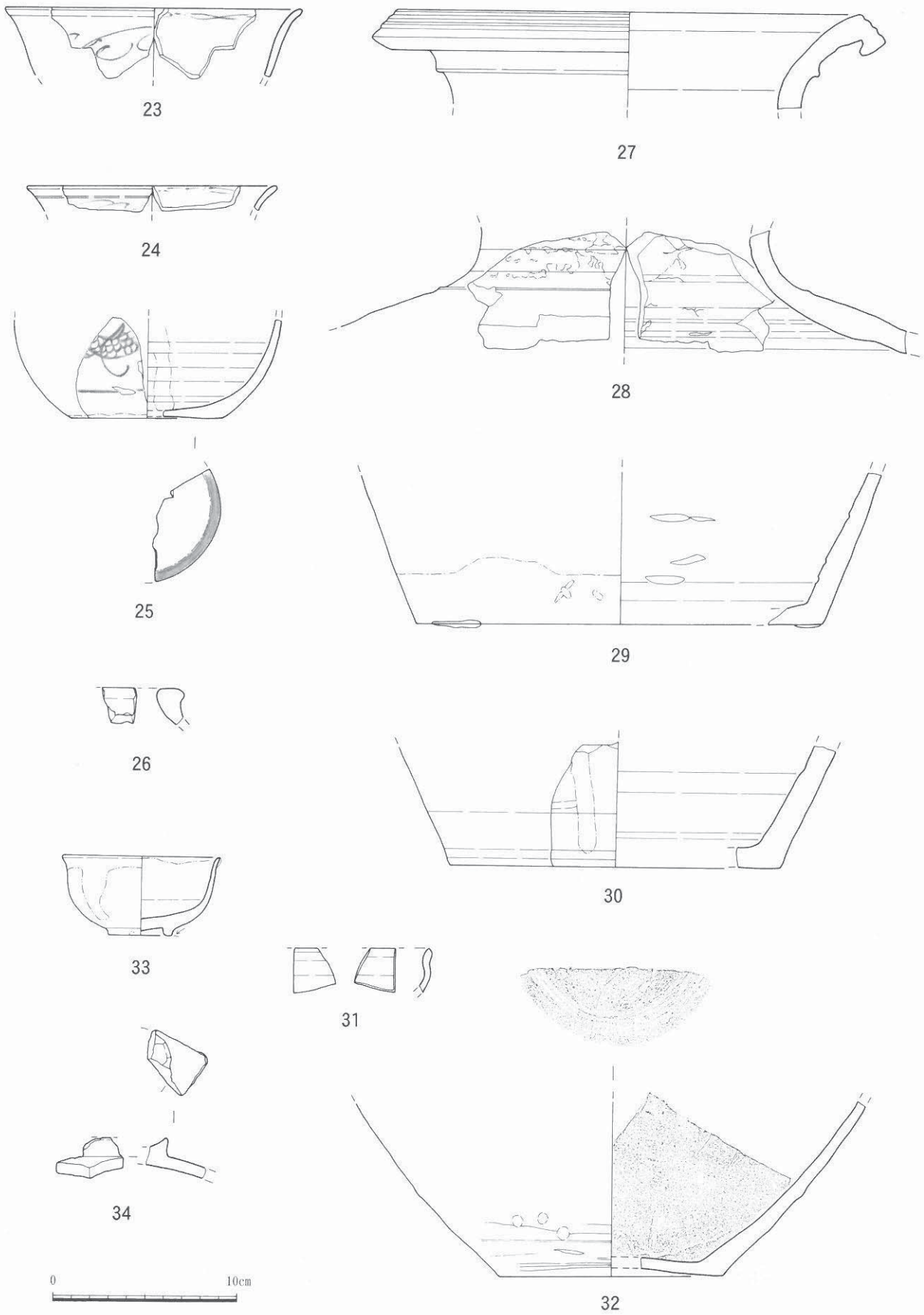
21



22



第26図 その他の輸入陶磁器 中国産 三彩(2)



第27図 その他の輸入陶磁器 ベトナム産染付・タイ産無釉、褐釉陶器(3)・本土産陶器

第6節 沖縄産施釉陶器 (第12・37・45表、第28図、図版26)

沖縄産施釉陶器を器種別にみると、小碗(1~4)、皿(5、6)、鉢(7、8)、急須の蓋(9、10)、急須(11、12)、鍋(13)、火炉(14)が出土している。そのうち小碗は胴部に丸みを持つ器形(2、4)、胴部の丸みが弱い器形(1)、胴部を六角形に面取りする器形(3)に分類される。個々の詳細については観察表に譲る。

第12表 沖縄産施釉陶器観察一覧

| 図・図版 番号 | 器種 | 器形 | 部位 | 口径 器高 高台径 (cm) | 観察事項 | | | | 出土 地点・層 |
|--------------|------------|-----------------------|------|-------------------------|------------------|-------------------------------------------|--------------------------|--------------------|--------------------------|
| | | | | | 文様・ 呉須 | 釉 (色・範囲) | 素地 (色・質・混和材) | 所見 | |
| 第28図 図版26 | 1 小碗 | 直口口縁・胴部の丸みが弱い。 | 口縁部 | 9.4 - - | 草文 | 釉色:淡茶色 範囲:両面施釉 | 素地:淡灰色 混和材:白色微粒子 | 灰釉を施釉 | 北4 IV層 |
| | 2 小碗 | 胴部がやや丸みを持つ。 | 底部 | - 4.1 | 無文 | 釉色:灰緑色 範囲:外面は胴部下端まで施釉、内面は全面施釉 | 素地:淡橙色 混和材:白色・黒色微粒子 | 灰釉を施釉 | 攪乱層 |
| | 3 小碗 | 外面胴部に六角形の面取りが施される。 | 底部 | - 3.4 | 無文 | 釉色:灰白色 範囲:両面施釉、畳付けのみ無釉 | 素地:灰色 混和材:白色・黒色微粒子 | 白釉を施釉 | 北4 攪乱層 |
| | 4 小碗 | 胴部にやや丸みを持つ器形になると思われる。 | 底部 | - 4.1 | 無文 | 釉色:淡茶色 範囲:外面は胴半ばまで施釉、内底は蛇の目釉剥ぎ | 素地:淡茶色 混和材:白色・黒色微粒子 | 鉄釉を施釉 | 北3 IV層 |
| | 5 皿 | 高台が台形を呈する。 | 底部 | - 7 | 無文 | 釉色:乳白色 範囲:両面施釉、畳付けのみ無釉 | 素地:淡茶色 混和材:白色微粒子 | 白釉を施釉 | 北3 攪乱層 |
| | 6 皿 | 高台が台形を呈する。 | 底部 | - 6 | 無文 | 釉色:乳白色 範囲:全面施釉、内底は蛇の目釉剥ぎ | 素地:淡茶色 混和材:白色・黒色微粒子 | 白釉を施釉 | 北3 IV層 |
| | 7 鉢 | 玉縁口縁。 | 口縁部 | - - | 無文 | 釉色:灰緑色 範囲:両面施釉 | 素地:灰色 混和材:白色微粒子 | 鉄釉を施釉 | 攪乱層 |
| | 8 鉢 | 高台が高く、台形を呈す。 | 底部 | - 9 | 無文 | 釉色:内面は白色、外面は暗緑色 範囲:外面は高台のみ無釉 内底は蛇の目釉剥ぎ | 素地:赤褐色 混和材:白色・黒色微粒子 | 高台脇に耐火粘土(メーガニク)が付着 | 北3 III層 |
| | 9 急須の蓋 | 口蓋が平たく、蓋端部が玉縁状を呈す。 | 甲口縁部 | 10.6 - | 無文 | 釉色:黒色 範囲:外面は全面施釉、内面は無釉 | 素地:灰色 混和材:白色・黒色微粒子 | 鉄釉を施釉 | 北1皿層+ 北3攪乱層 |
| | 10 急須の蓋 | - | 縁部 | 7.9 - | 無文 | 釉色:黒色 範囲:外面は全面施釉、内面は無釉 | 素地:灰色 混和材:白色・黒色微粒子 | 鉄釉を施釉 | 北4 攪乱層 |
| | 11 急須 | 口縁部が逆三角形を呈し、胴部の丸みが弱い。 | 口縁部 | 7 - | 口縁内面に約2mm間隔で斜線刻む | 釉色:茶色 範囲:口縁部のみ無釉 | 素地:灰色 混和材:白色・黒色微粒子 | | 北3 攪乱層 |
| | 12 急須 | 両端をつまみ、突起をつくる。 | 耳 | - - | 外面に唐草文か | 釉色:茶色 範囲:両面施釉 | 素地:灰白色 混和材:白色微粒子 | 攪乱層 | 北1 攪乱層 |
| | 13 鍋 | 口縁部が逆L字状を呈す。 | 口縁部 | 14.8 - | 無文 | 釉色:外面は黒色、内面は白色 範囲:両面施釉 | 素地:茶色 混和材:白色微粒子 | 鉄釉と白釉の掛けわけ | 北1V層+ 北1IV層+ 北1攪乱層 |
| | 14 火炉 | 口縁部が逆L字状で胴部が直に立ち上がる。 | 口縁部 | 31.6 - | 無文 | 釉色:黒色 範囲:両面施釉 | 素地:灰色 混和材:白色微粒子・黒色微粒子 | 鉄釉を施釉 | 北3 攪乱層 |

第7節 沖縄産無釉陶器 (第13・37・46表、第28図、図版26)

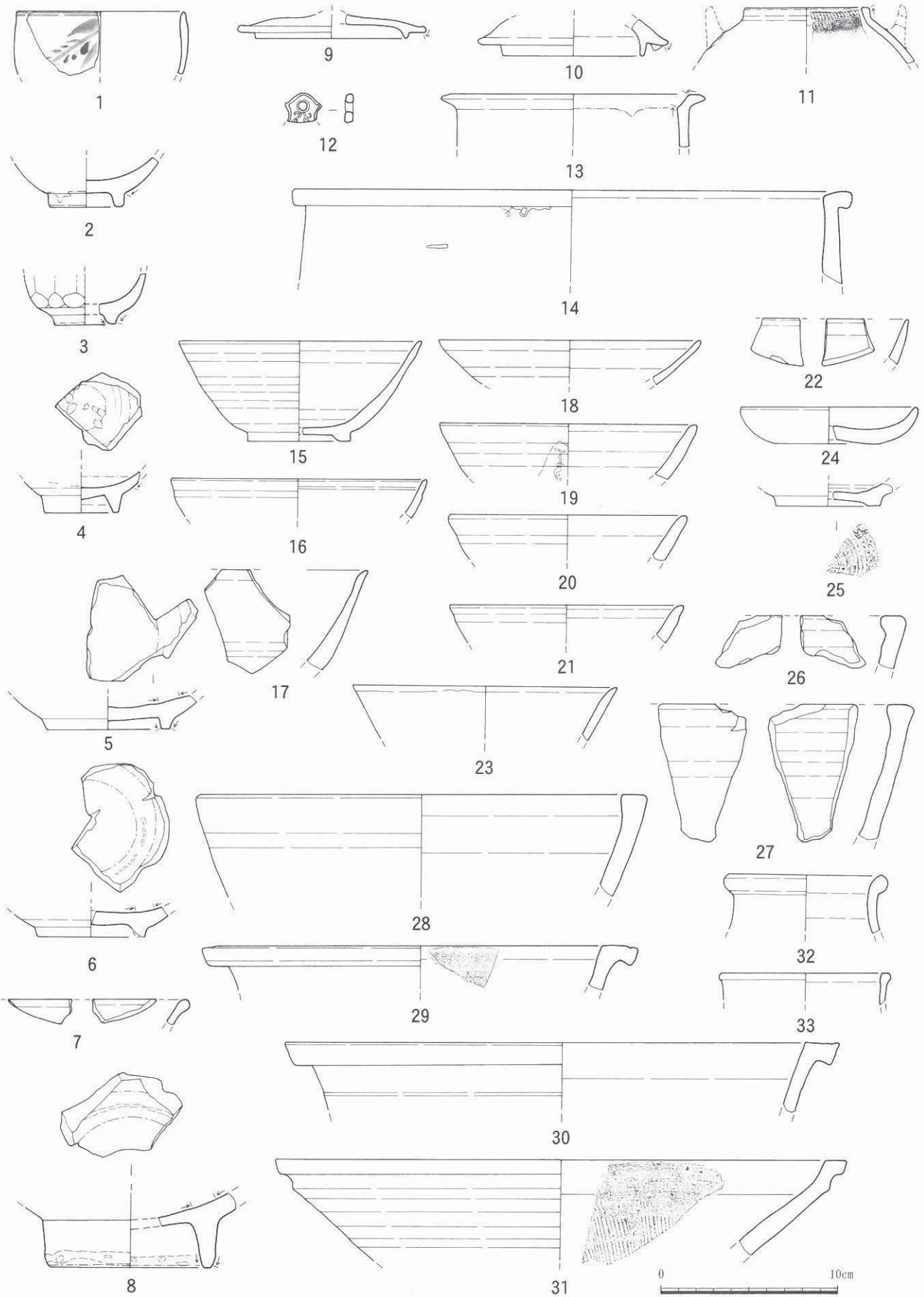
沖縄産無釉陶器は、喜納・知花焼 (16, 17, 19～24)、湧田焼 (15, 18)、壺屋焼 (25～33) が出土しており、器種別に見ると、碗、皿、鉢、瓶などがみられる。碗は口縁部が直口のもの (15～20, 23) と外反するもの (21, 22) とに分類される。鉢は口縁部が「く」の字状を呈するもの (26)、逆三角形を呈するもの (27, 28)、逆L字状を呈するもの (29～31) に分類される。個々の詳細については観察表に譲る。

第13表 沖縄産無釉陶器観察一覧 (1)

| 図・図版 番号 | 器種 | 器形 | 部位 | 口径 器高 底径 (cm) | 観察事項 | | | | 出土 地点・層 |
|--------------------|----|------------------------------------------|-------------|------------------------|-----------------|---------------------------------------------------|-----------------------------------------|---------------------------------------------|------------|
| | | | | | 文様 構成 | 器色・素地 | 調整法 | 所見 | |
| 第28図 図版26 15 | 碗 | 直口口縁 で、腰部から 直に立ち上 がる器形。 | 口 縁 部 | 13.7 | 無文 | 器色:暗褐色 | 両面に轆轤成形 痕が残る。内面腰 部にへら削りがみ られる。 | 湧田焼。器壁が薄 く、堅く焼き締めら れている。成形は丁 寧。 | 北4 II層 |
| | | | | 5.7 | | | | | |
| | | | | 5.8 | | | | | |
| 16 | 碗 | 直口口縁。 | 口 縁 部 | 14.4 | 外面に 圏線一 条 | 器色:茶褐色 素地:茶褐色 混和材:白色・黒色 微粒子 | 両面に轆轤成形 痕が残る。 | 喜名・知花焼。成形 は丁寧。 | 北4 攪乱層 |
| | | | | - | | | | | |
| 17 | 碗 | 口唇部が舌 状を呈し、腰 部からほぼ 直に立ち上 がる。 | 口 縁 部 | - | 無文 | 器色:赤褐色 素地:赤褐色 混和材:白色微粒子 | 両面に轆轤成形 痕がみられる。 | 喜名・知花焼。器壁 が厚く、成形はやや 雑。 | 北4 II層 |
| | | | | - | | | | | |
| 18 | 碗 | 直口口縁。 | 口 縁 部 | 14.8 | 無文 | 器色:暗赤褐色 素地:暗赤褐色 混和材:白色・黒色 微粒子 | 両面に轆轤成形 痕がみられる。 | 湧田焼。器壁が薄 く、堅く焼き締めら れている。成形は丁 寧。 | 北3 IV層 |
| | | | | - | | | | | |
| 19 | 碗 | 口唇部が舌 状を呈し、腰 部からほぼ 直に立ち上 がる。 | 口 縁 部 | 14.6 | 無文 | 器色:暗茶褐色 素地:灰色 混和材:白色・黒色 微粒子 | 両面に轆轤成形 痕がみられる。 | 喜名・知花焼。器壁 が厚く、形がややい びつ。 | 磔層 |
| | | | | - | | | | | |
| 20 | 碗 | 口唇部が舌 状を呈し、腰 部からほぼ 直に立ち上 がる。 | 口 縁 部 | 13 | 無文 | 器色:暗茶褐色 素地:暗茶褐色 混和材:白色微粒子 | 両面に轆轤成形 痕がみられる。 | 喜名・知花焼。器壁 が厚く、堅く焼き締 められている。成形は 丁寧。 | 北4 IV層 |
| | | | | - | | | | | |
| 21 | 碗 | 外反口縁 で、胴部に やや丸み を持つ器形。 | 口 縁 部 | 13 | 無文 | 器色:茶褐色 素地:暗茶褐色 混和材:白色微粒子 | 両面に轆轤成形 痕が残る。 | 喜名・知花焼。器壁 が厚く、成形は丁 寧。 | 北2 II層 |
| | | | | - | | | | | |
| 22 | 碗 | 外反口縁 で、胴部に やや丸み を持つ器形。 | 口 縁 部 | - | 内面に 圏線一 条 | 器色:茶褐色 素地:暗褐色 混和材:白色微粒子 | 両面に轆轤成形 痕がみられる。 | 喜名・知花焼。器壁 が厚い。 | 北4 攪乱層 |
| | | | | - | | | | | |
| 23 | 碗 | 口唇部が舌 状を呈し、腰 部からほぼ 直に立ち上 がる。 | 口 縁 部 | 14.6 | 無文 | 器色:外面暗褐色、 内面淡茶色 素地:暗赤褐色 混和材:白色・黒色 微粒子 | 両面に轆轤痕が みられる。 | 喜名・知花焼。 | 北1 攪乱層 |
| | | | | - | | | | | |

第14表 沖縄産無釉陶器観察一覧(2)

| 図・図版 番号 | 器種 | 器形 | 部位 | 口径 器高 底径 (cm) | 観察事項 | | | 出土 地点・層 | |
|--------------------|----|-------------------------------------------|-------------|------------------------|-------------------|--------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------|---------------------|-----------|
| | | | | | 文様 構成 | 器色・素地 | 調整法 | | 所見 |
| 第28図 図版26 24 | 皿 | 直口口縁で 高台を持た ない。 | 口 胴 部 | 10.1 2.05 7 | 無文 | 器色:暗赤褐色 | 両面に轆轤痕が みられる。 | 喜名・知花焼。 | 北4 攪乱層 |
| 25 | 碗 | 高台が低い。 | 底 部 | - - 5.8 | 内底に 沈線2本 | 器色:外面赤褐色、 内面に鉄釉 素地:赤褐色 混和材:白色・黒色 微粒子 | 両面に轆轤成形 痕が残る。 | 壺屋焼。 | 北3 Ⅲ層 |
| 26 | 鉢 | 口縁部が 「く」の字形 を呈する。 | 口 縁 部 | - - - | 無文 | 器色:外面茶色、内 面赤褐色 素地:赤褐色 混和材:白色・黒色 微粒子 | 両面に轆轤成形 痕が残る。口縁部 直下はへらで削ら れ稜を持つ。 | 壺屋焼。 | 北4 Ⅳ層 |
| 27 | 鉢 | 口唇両端が やや張り出 し、口縁部 が逆三角形 を呈する。 | 口 縁 部 | - - - | 無文 | 器色:赤褐色 素地:赤褐色 混和材:白色・黒色 微粒子 | 両面に轆轤成形 痕がみられる。 | 壺屋焼。 | 北3 攪乱層 |
| 28 | 鉢 | 直口口縁 で、口縁部 が逆三角形 を呈する。 | 口 縁 部 | 25.3 - - | 無文 | 器色:赤褐色 素地:赤褐色 混和材:白色・黒色 微粒子 | 両面に轆轤成形 痕がみられる。 | 壺屋焼。 | 北3 攪乱層 |
| 29 | 鉢 | 口縁部が逆 L字状を呈 する。 | 口 縁 部 | 24.6 - - | 無文 | 器色:外面は泥釉が 掛かり暗褐色、内面 は赤褐色 素地:赤褐色 混和材:白色・黒色 微粒子 | 両面に轆轤成形 痕がみられる。 | 壺屋焼。 | 南2 攪乱層 |
| 30 | 鉢 | 口縁部が逆 L字状を呈 する。 | 口 縁 部 | 31 - - | 口唇上 部に圈 線一条 | 器色:赤褐色 素地:赤褐色 混和材:白色・黒色 微粒子 | 両面に轆轤成形 痕がみられる。 | 壺屋焼。 | 南1 攪乱層 |
| 31 | 播鉢 | 口縁部が逆 L字状を呈 する。 | 口 縁 部 | 32 - - | 無文 | 器色:赤褐色 素地:赤褐色 混和材:白色・黒色 微粒子 | 両面に轆轤成形 痕がみられる。口 縁部直下はへら で削られ稜を持 つ。 | 壺屋焼。八本単位の 櫛目を施す。 | 北3 Ⅳ層 |
| 32 | 瓶 | 口縁部が玉 縁状を呈す る。 | 口 縁 部 | 9.2 - - | 無文 | 器面:外面は泥釉が 掛かり暗褐色、内面 は赤褐色 素地:赤褐色 混和材:白色・黒色 微粒子 | 両面に轆轤成形 痕がみられる。 | 壺屋焼。 | 北1 Ⅲ層 |
| 33 | 瓶 | 口縁部がや や肥厚す る。 | 口 縁 部 | 9.7 - - | 無文 | 器色:暗赤褐色 素地:赤褐色 混和材:白色・黒色 微粒子 | 両面に轆轤成形 痕がみられる。 | 壺屋焼。成形は雑。 | 北4 攪乱層 |



第28図 沖縄産施釉、無釉陶器

第8節 陶質土器・瓦質土器、カムイヤキ（第15・37・47表、第29図、図版27）

陶質土器は36点が出土している。鉢、火炉、土瓶、鍋蓋の5点を図化した。瓦質土器は4点が出土している。カムイヤキは2点が出土している。図化したものは壺の胴部片1点のみである。

第15表 陶質土器・カムイヤキ観察一覧

| 図・図版 番号 | 器 種 | 器 形 | 部 位 | 口 径 器 高 底 径 (cm) | 観 察 事 項 | | | 出 土 地 点 ・ 層 |
|-------------------|--------|--------|--------|------------------------------------|------------------|-----------------------|--------------------------------------------------------|-----------------------------|
| | | | | | 種 別 | 器 色 ・ 素 地 | 所 見 | |
| 第29図 図版27 1 | 鉢 | — | 底部 | — — 9.2 | 陶質土器 | 暗橙色 | 胴部内面には轆轤痕が明瞭に残る。底部の立ち上りはへら削りを施すが調整は雑である。外底面には糸切痕が残る。 | 北1 IV層 + 北4 攪乱層 |
| 2 | 火炉 | — | 口縁部 | 11.2 — — | 陶質土器 | 黄橙色 | 内面には轆轤痕が明瞭に残る。耳の貼り付け部は撫で消さず接合部が明瞭に残る。 | 北1 V層 |
| 3 | 火炉 | — | 底部 | — — 5.6 | 陶質土器 | 暗橙色 | 内外面とも擦痕が残る。 | 北2 攪乱層 |
| 4 | 土瓶 | — | 耳 | — — — | 陶質土器 | 橙色 | 胴部から口縁部に向かって内湾する器形で口縁部は若干膨らむ。口縁部に三角形の突起を有し胴部には把手を貼付する。 | 南2 攪乱層 |
| 5 | 鍋蓋 | — | 口縁部 | — — — | 陶質土器 | 橙色 | 全体的に摩滅している。底部の立ち上りには二条の圏線を沈線で施す。 | 北3 攪乱層 |
| 6 | 壺 | — | 胴部 | — — — | カムイヤキ | 黒灰色と赤褐色のサンドウイッチ状 | カムイヤキ。内面には当て具痕、外面には叩き目痕が残る。 | 南1 攪乱層 |

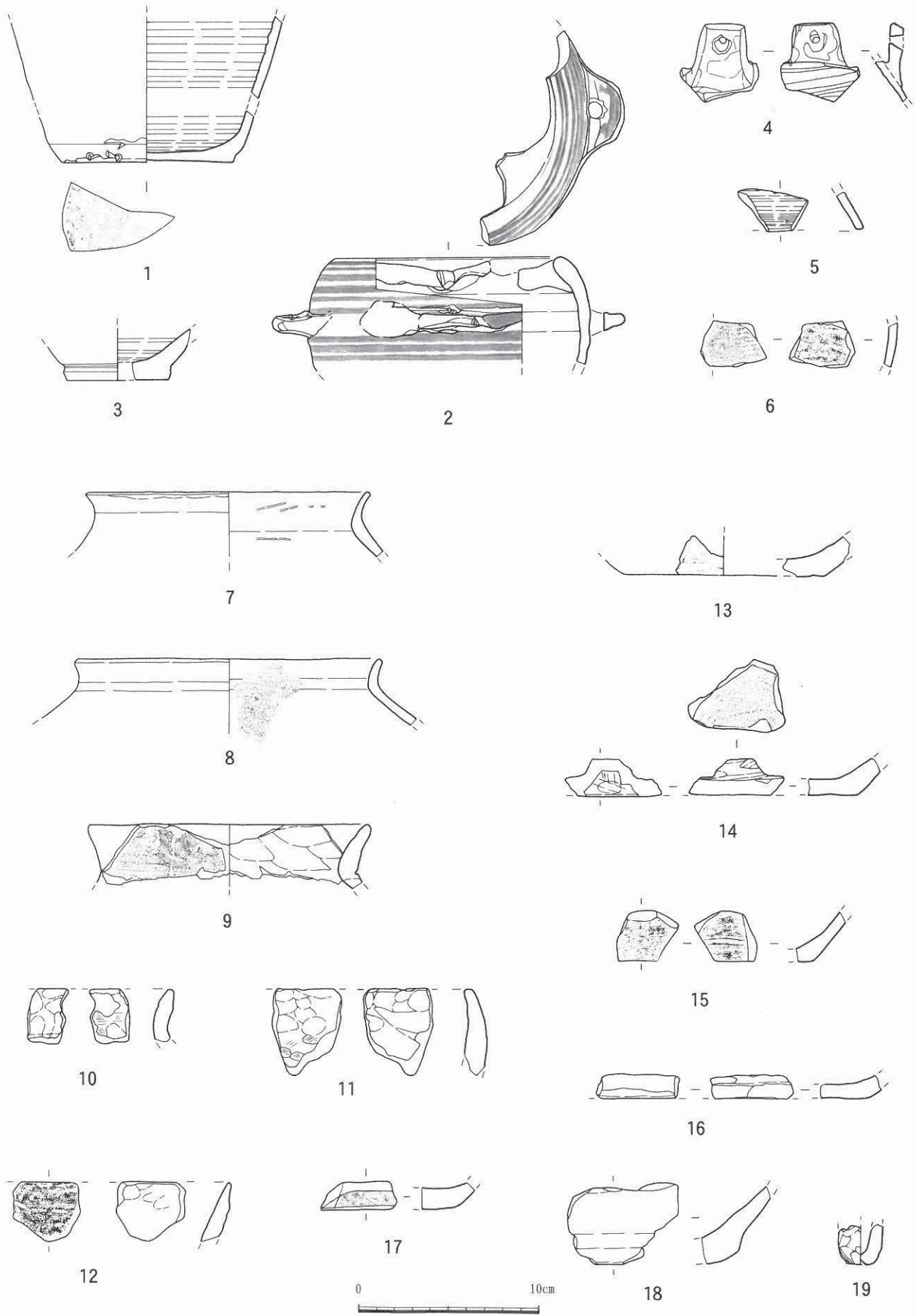
第9節 土器、埴埴 (第16・37・47表、第29図、図版27)

土器は205点が出土している。図化したものは18点で古い様相のものは見られない。口縁部は全体的に丁寧な撫で調整を施している。底部は撫で調整を施すものと工具調整を残すものがある。第29図13の製品は底部の立ち上がりにはヘラによると思われる調整痕を残す。

第29図19は埴埴である。全体的に発泡しており、使用した痕跡が見受けられる。

第16表 土器・埴埴観察一覧

| 図・図版 番号 | 器種 | 器形 | 部位 | 口径 器高 底径 (cm) | 観察事項 | | | | 出土 地点・層 |
|-------------------|----|----|-----|------------------------|-------------------|------------------|---------|------------------------------------------------------|---------------------|
| | | | | | 器色 | 素地 | 調整法 | 所見 | |
| 第29図 図版27 7 | 甕 | 外反 | 口縁部 | 15.6 - - | 橙色 | 黒色粒と少量の赤色粒を含む。 | 撫で調整 | 口縁部は「く」の字状に外反し口唇部は平坦。内外面とも丁寧な撫で調整を施し滑らか。 | 南1 攪乱層 |
| 8 | 壺 | 外反 | 口縁部 | 17 - - | 鈍い赤褐色 | 赤色粒を含む。 | 撫で調整 | 口縁部は外反し口唇部は舌状。内外面とも丁寧な撫で調整を施す。内面には横位の擦痕が残る。 | 南1 攪乱層 |
| 9 | 壺 | 外反 | 口縁部 | 15.6 - - | 鈍い橙色 | 赤色粒と少量の黒色粒を含む。 | 撫で調整 | 口縁部は外反。器壁は厚く、内外面は撫で調整を施すが比較的雑で外面は粒子の引きずり痕、内面は指頭痕を残す。 | 北1IV層 + 北3VI層 |
| 10 | 壺 | 直行 | 口縁部 | - - - | 鈍い橙色 | 赤色粒を含む。 | | 口縁部の屈曲は弱くほぼ直立する。 | 北1 VI層 |
| 11 | 鍋 | 内湾 | 口縁部 | - - - | 赤褐色 | 黒色粒を含む。 | 撫で調整 | 胴部から口縁部に向かって内湾。内面は撫で調整を施すが比較的雑で指頭痕を残す。外面は調整を施さない。 | 北3 VI層 |
| 12 | 鍋 | 内湾 | 口縁部 | - - - | 鈍い赤褐色 | 荒い赤色粒と黒色粒を含む。 | 撫で調整 | 胴部から口縁部に向かって内湾する。内外面とも撫で調整を施すが比較的雑。 | 南1 攪乱層 |
| 13 | 不明 | - | 底部 | - - 11 | 鈍い橙色 | 混入物をほとんど含まない。 | 撫で、工具調整 | 底部外面の立ち上がり部に工具による調整を施す。内面は撫で調整を施す。 | 南1 切石南 黒色土層 |
| 14 | 不明 | - | 底部 | - - - | 外面:暗赤褐色 内面:灰褐色 | 黒色粒と少量の荒い赤色粒を含む。 | 撫で調整 | 内外面とも撫で調整を施す。内面は横位の調整痕が残る。 | 南1 切石南 黒色土層 |
| 15 | 不明 | - | 底部 | - - - | 外面:鈍い黄褐色 内面:黒色 | 荒い赤色粒を含む。 | 工具調整 | 内外面とも工具による調整痕が明瞭に残る。内面は回転擦痕と思われる。内面に煤が付着する。 | 北3 VI層 |
| 16 | 不明 | - | 底部 | - - - | 外面:黒色 内面:橙色 | 赤色粒を含む。 | 撫で調整 | 内面は丁寧な撫で調整を施す。 | 北1 III層 |
| 17 | 不明 | - | 底部 | - - - | 鈍い橙色 | 赤色粒を含む。 | 撫で調整 | 内外面とも丁寧な撫で調整を施す。 | 北3 VI層 |
| 18 | 不明 | - | 底部 | - - - | 外面:赤褐色 内面:灰褐色 | 細かい貝殻片を含む。 | 撫で調整 | 底部の立ち上がりから胴部にかけては屈曲。調整は内外面とも比較的雑。 | 北1 IV層 |
| 19 | 埴埴 | - | 底部 | - - - | 暗灰色 | 混入物をほとんど含まない。 | - | 全体的に発泡して凹凸が激しい。付着物等は見られない。 | 北1 IV層 |



第29図 陶質土器、カムイヤキ・土器・埴埴

第10節 屋瓦 (第17～29・37・48～53表、第30～34図、図版28～31)

屋瓦は総数で1,085点が出土しているが、すべて破片資料のため、全体を窺うことができる資料は得られていない。これらの屋瓦を、文様・形態の特徴から造瓦系統別に分類・集計したところ、高麗系(112点/10.3%)、中世大和系(58点/5.3%)、明朝系(914点/84.3%)、現代大和系(1点/0.1%・第18・49表)の4系統に分けることができた。この割合から、明朝系瓦が本調査区での主体となる瓦であることがわかる。

次に、主な造瓦系統ごとの特徴を記す。

高麗系瓦 (第17・26・48表、第30・31図、図版28)

高麗系瓦と分類された資料は112点得られている。出土した屋瓦全体の総数からすると10.3%と1割程度だが、次項の大和系瓦より多く出土している点で興味深い。出土した瓦の種類と数量は、丸瓦が13点(11.6%)、平瓦が90点(80.3%)、細片9点(8.0%)となり、平瓦が多く出土している状況で、軒瓦は得られていない。文様は丸瓦で羽状打捺文のみが確認でき、平瓦で羽状打捺文、格子状目が見られ、摩滅により浅いが「大天」、「癸酉年高麗瓦匠造」の一部を読み取ることができる。

中世大和系瓦 (第18・26・27・49表、第31図、図版28)

本資料は58点が得られ、内訳は丸瓦15点(25.8%)、平瓦41点(70.6%)、軒丸瓦、雁振瓦が各1点ずつ得られている。色調は灰色と褐色が見られ、灰色が占める。文様は丸瓦で羽状打捺文、網目打捺文が見られ、平瓦では凸面は無文だが、凹面に砂目と縄目が見られる資料が多い。

明朝系瓦 (第20～25・27～29・51～53表、第32～34図、図版29～31)

本調査区の主体瓦である明朝系瓦は914点得られ、その内、丸瓦は308点(33.6%)、平瓦は590点(64.5%)、軒丸瓦14点(1.5%)、軒平瓦2点(0.2%)、飾り瓦1点(0.1%)という集計結果が得られた。色調は灰色と赤色の2種があり、縁辺に漆喰が付着するのは丸・平瓦に共通するが、マンガンが塗布されるのは平瓦に限られている。

次に、種別ごとの特徴を概観してみる。

丸瓦 (第20～22・25・27・28・51・52表、第32・33図、図版29・30)

丸瓦の色調は、灰色と赤色がほぼ半数ずつで、端部片73点中で面取りを有する資料は45点と62.5%を占め、赤色瓦で面取りが見られない資料が多い傾向にある。この端部面取りの幅を、1cm未満～5cm未満まで1cm毎に分類すると(第21表)、灰色瓦で2～3cm未満が多く、赤色瓦で1～2cm未満幅が多い。この結果から、端部面取りは灰色瓦で顕著に見られ、赤色瓦では面取りを施さないか、面取幅を狭く削る程度のものが多いことが見て取れる。続いて玉縁部形状の分類では(第22表)、灰色瓦で全てのタイプが確認できるものの、赤色瓦ではAタイプの出土がなく、B・Cタイプが占める。瓦頭文様は3種に分類できたが(第25表)、出土量が少ないため傾向を読み取ることはできない。

平瓦 (第23～25・29・51・53表、第34図、図版31)

平瓦は灰色が69点、赤色が134点と赤色瓦が多く、凹面の桶板留紐圧痕を見ると(第23表)、灰色・赤色共に丸形のaタイプが大部分を占め、その間隔は灰色瓦で3～4cm未満が多く、赤色瓦で2～4cm未満が多い。また、紐圧痕が帯状に連なる資料は赤瓦にのみ見られる。

第17表 高麗系瓦遺存状況

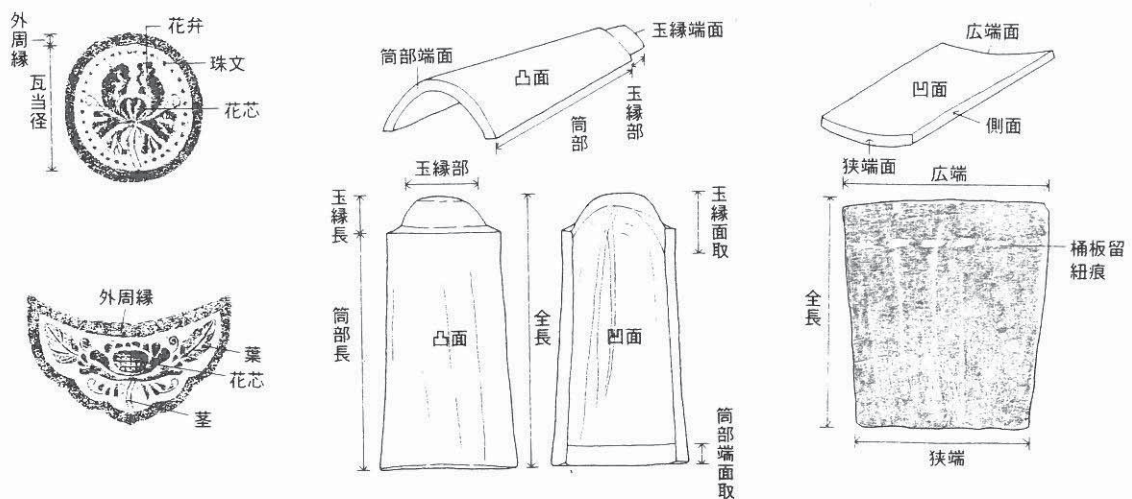
| 種類 | 部位 | 文様 | 合計 | |
|----|-------|--------------|-----|---|
| 丸瓦 | 側面破片 | 羽状打捺文 | 4 | |
| | | 羽状打捺文 | 1 | |
| | 上下端破片 | 羽状打捺文 | 1 | |
| | | 玉縁 | 1 | |
| | 筒部破片 | 羽状打捺文 | 6 | |
| 小計 | | | 13 | |
| 平瓦 | 広端片 | 羽状打捺文 | 2 | |
| | 狭端片 | 羽状打捺文 | 1 | |
| | | 羽状打捺文 | 2 | |
| | 狭端右片 | 羽状打捺文 | 1 | |
| | | | | 2 |
| | | | | 1 |
| | 側面破片 | 格子状目 | 1 | |
| | | 天 | 1 | |
| | | 羽状打捺文 | 11 | |
| | 上下端破片 | 上 | 1 | |
| | | 下 | 2 | |
| | | 羽状打捺文 | 1 | |
| | 筒部破片 | | | 1 |
| | | 有孔 | 1 | |
| | | 大天 | 1 | |
| | | 癸酉年 高麗瓦匠造 | 3 | |
| | | 羽状打捺文 | 59 | |
| 小計 | | | 90 | |
| 細片 | | | 9 | |
| 合計 | | | 112 | |

第18表 大和系瓦遺存状況

| 種類 | 部位 | 文様 | 合計 |
|-----|-------|-------|----|
| 軒丸瓦 | | 巴 | 1 |
| 軒平瓦 | | | 0 |
| 丸瓦 | 側面破片 | 羽状打捺文 | 4 |
| | | 網目打捺文 | 2 |
| | | | 3 |
| | 筒部破片 | 羽状打捺文 | 1 |
| | | 網目打捺文 | 3 |
| | | その他 | 1 |
| | 小計 | | |
| 平瓦 | 広端左片 | | 2 |
| | 広端右片 | | 2 |
| | 側面破片 | | 10 |
| | 上下端破片 | 上 | 3 |
| | | 下 | 1 |
| | 筒部破片 | | 23 |
| | 小計 | | |
| 雁振瓦 | | 玉縁有り | 1 |
| 合計 | | | 58 |

第19表 大和系瓦（現代）遺存状況

| 種類 | 部位 | 合計 |
|----|------|----|
| 平瓦 | 筒部破片 | 1 |
| 合計 | | 1 |



各部の名称及び計測ヵ所

第23表 明朝系平瓦遺存状況

| 種類 | 色 | 部位 | 面取り | 付着物 | 合計 | 種類 | 色 | 部位 | 面取り | 付着物 | 合計 | | | | | |
|----|----|-------|-----------|---------|------|----------|------|----|-------|------|---------|-----------|------|------|----|---|
| 飾瓦 | 灰色 | | 雲形 | 漆喰付着 | 有 | 1 | | | | | 4 | | | | | |
| 平瓦 | 灰色 | 広端 | aタイプ | 2~3cm未満 | 右片 | 漆喰付着 | 有 | 1 | 広端 | aタイプ | 2~3cm未満 | 左片 | 漆喰付着 | 有 | 1 | |
| | | | | | 左片 | 漆喰付着 | 有 | 4 | | | | 右片 | 漆喰付着 | 有 | 6 | |
| | | | | 3~4cm未満 | 右片 | 漆喰付着 | 有 | 1 | | | 左片 | 漆喰付着 | 有 | 10 | | |
| | | | | | 不明 | 左片 | 漆喰付着 | 有 | | | 1 | 右片 | 漆喰付着 | 有 | 1 | |
| | | | | 3~4cm未満 | 不明 | 左片 | 漆喰付着 | 有 | | | 1 | 広端左片+広端右片 | 左片 | 漆喰付着 | 有 | 2 |
| | | | | | | 右片 | 漆喰付着 | 有 | | | 7 | | 右片 | 漆喰付着 | 有 | 3 |
| | | | | | 不明 | 右片 | 漆喰付着 | 有 | | | 1 | 4~5cm未満 | 右片 | 漆喰付着 | 有 | 1 |
| | | | bタイプ | 3~4cm未満 | 右片 | 漆喰付着 | 有 | 1 | | 不明 | 左片 | 漆喰付着 | 有 | 3 | | |
| | | | | | 左片 | 漆喰付着 | 有 | 1 | | | 右片 | 漆喰付着 | 有 | 2 | | |
| | | | | 不明 | 左片 | 漆喰付着 | 有 | 1 | | 右片 | 漆喰付着 | 有 | 11 | | | |
| | | | 紐圧痕無し・小破片 | 3~4cm未満 | 左片 | 漆喰付着 | 無 | 1 | | bタイプ | 3~4cm未満 | 右片 | 漆喰付着 | 有 | 1 | |
| | | | | | 左片 | 漆喰付着 | 無 | 1 | | | | 4~5cm未満 | 右片 | 漆喰付着 | 有 | 1 |
| | | | | 不明 | 左片 | 漆喰付着 | 無 | 1 | | 不明 | 不明 | 左片 | 漆喰付着 | 有 | 6 | |
| | | | 幅広帯状 | 左片 | 漆喰付着 | 無 | 1 | 右片 | | | | 漆喰付着 | 有 | 3 | | |
| | | 不明 | 不明 | 左片 | 漆喰付着 | 無 | 2 | 不明 | 不明 | 左片 | 漆喰付着 | 有 | 1 | | | |
| | | | | 左片 | 漆喰付着 | 無 | 4 | | | 右片 | 漆喰付着 | 有 | 2 | | | |
| | | 狭端 | 不明 | 左片 | 漆喰付着 | 無 | 3 | 狭端 | 不明 | 左片 | 漆喰付着 | 有 | 22 | | | |
| | | | | 右片 | 漆喰付着 | 有 | 4 | | | 右片 | 漆喰付着 | 有 | 3 | | | |
| | | 側面破片 | 不明 | 不明 | 左片 | 漆喰付着 | 無 | 3 | 側面破片 | 不明 | 左片+右片 | 漆喰付着 | 有 | 1 | | |
| | | | | | | 漆喰・マカシ付着 | 有 | 1 | | | 右片 | 漆喰付着 | 有 | 26 | | |
| | | 上下端破片 | 不明 | 不明 | 左片 | 漆喰付着 | 有 | 14 | 側面破片 | 不明 | 右片 | 漆喰・マカシ付着 | 有 | 4 | | |
| | | | | | | 漆喰付着 | 有 | 20 | | | | 漆喰付着 | 有 | 63 | | |
| | | | | | | 漆喰付着 | 有 | 5 | | | | 漆喰・マカシ付着 | 有 | 24 | | |
| | | | | | | 漆喰付着 | 有 | 7 | | | | マカシ付着 | 有 | 4 | | |
| | | 筒部破片 | 不明 | 不明 | 左片 | 漆喰付着 | 有 | 22 | 上下端破片 | 不明 | 上 | 漆喰付着 | 有 | 17 | | |
| | | | | | | マカシ付着 | 有 | 55 | | | | 下 | 漆喰付着 | 有 | 17 | |
| | | 不明 | 不明 | 不明 | 左片 | 漆喰付着 | 有 | 22 | 筒部破片 | 不明 | 下 | 漆喰付着 | 有 | 2 | | |
| | | | | | | マカシ付着 | 有 | 3 | | | | 漆喰付着 | 有 | 56 | | |
| | | 小計 | | | | | 227 | 小計 | | | | | 363 | | | |
| | | 合計 | | | | | 590 | 合計 | | | | | 590 | | | |

第24表 明朝系平瓦 凹面の紐圧痕遺存状況

| 分類 | 間隔 | ①類2~3cm未満 | ②類3~4cm未満 | ③類4~5cm未満 | ④類5~6cm未満 | ⑤類6cm以上 | 带状 | 不明 | 合計 |
|----|------|-----------|-----------|-----------|-----------|---------|----|-----|-----|
| | | 灰色 | aタイプ | 5 | 12 | 3 | 1 | 0 | 0 |
| 灰色 | bタイプ | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 5 | 7 |
| | 不明 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 17 | 18 |
| | 小計 | 5 | 14 | 3 | 2 | 0 | 0 | 45 | 69 |
| | 赤色 | aタイプ | 15 | 28 | 3 | 0 | 1 | 1 | 28 |
| 赤色 | bタイプ | 0 | 2 | 3 | 0 | 0 | 2 | 6 | 13 |
| | 不明 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 44 | 45 |
| | 小計 | 15 | 31 | 6 | 0 | 1 | 3 | 78 | 134 |
| 合計 | | 20 | 45 | 9 | 2 | 1 | 3 | 123 | 203 |

凡例 aタイプ: ○ bタイプ: ○

第25表 明朝系軒丸・軒平瓦遺存状況

| 種類 | 色調 | 部位 | 文様分類(右表参照) | 合計 |
|-----|----|----|------------|----|
| 軒丸瓦 | 灰色 | 瓦当 | I | 1 |
| | | | II | 3 |
| | | | 不明 | 3 |
| | 赤色 | 瓦当 | III | 3 |
| | | | 不明 | 3 |
| | | | 側面 | 1 |
| 小計 | | | | 14 |
| 軒平瓦 | 赤色 | 瓦当 | 不明 | 2 |
| 合計 | | | | 16 |

| 分類 | 文様系統 | 色調 | 文様例 |
|-----|----------------|----|-----|
| I | 第I文様系 I B 03 | 灰色 | |
| II | 第III文様系 III 08 | 灰色 | |
| III | 第IV文様系 C 02 | 赤色 | |

軒丸瓦瓦当文様分類凡例(上原静による)

第26表 屋瓦観察一覧(1)

| 図・図版 番号 | 系統 | 種類 | 部位 | 分類 | 色調 | 焼成 | 観察事項 | | | | 出土 地点・層 |
|-------------------|----|-------|------|----|----|----|--------------------|----------------------------|--------------------------------|------------------------------------------------------------|------------|
| | | | | | | | 文様・文字 | 形態・法量 | 成形・調整 | 所見 | |
| 第30図 図版28 1 | 高麗 | 丸瓦 | 筒部破片 | - | 灰色 | 良好 | 浅い羽状打捺文 | 裏面下部に筒部端面取。 厚:1.64cm | 凸面:叩き・撫で 凹面:布目・面取 | 凸面は叩き後に撫でて叩き目が浅くなる。凹面下部に筒部端面取の一部が見え、桶板の境界らしき段差あり。 | 北2 II層 |
| 2 | 高麗 | 丸瓦 | 筒部破片 | - | 灰色 | 良好 | 浅い羽状打捺文 | 厚:1.64cm | 凸面:叩き・撫で 凹面:布目・糸切り痕・桶板留紐圧痕 | 凸面は叩き後に撫でて叩き目が浅くなる。凹面は布目・糸切り痕・桶板留紐圧痕と思われる浅いくぼみが連続する。 | 南2 攪乱層 |
| 3 | 高麗 | 丸瓦 | 筒部破片 | - | 灰色 | 良 | 浅い羽状打捺文 | 厚:2cm | 凸面:叩き・撫で 凹面:布目・糸切り痕 | 凸面は叩き後に撫でて叩き目が浅くなる。凹面は布目が浅く、糸切り痕が明瞭。胎土に黒、茶褐色粒子混入。 | 南2 攪乱層 |
| 4 | 高麗 | 平瓦 | 側面 | - | 灰色 | 良好 | 羽状打捺文のみ(小) | 左側面角は面取り 厚:1.97cm | 凸面:叩き 凹面:布目・糸切り痕 左側面角は面取 | 凸面は叩きが明瞭。凹面は布目が明瞭、糸切り痕が浅く、漆喰が薄く残る。 | 北4 III層 |
| 5 | 高麗 | 平瓦 | 側面 | - | 灰色 | 良好 | 羽状打捺文のみ(大) | 厚:2.18cm | 凸面:叩き 凹面:布目・糸切り痕 | 凸面は叩きが明瞭。凹面は布目が浅く糸切り痕が明瞭。胎土に黑色粒子混入。 | 客土 |
| 6 | 高麗 | 平瓦 | 側面 | - | 灰色 | 良好 | 摩滅するが「天」の文字 | 右側面角は面取り 厚:2.21cm | 凸面:叩き 凹面:布目 右側面角は面取 | 凸面は叩きが明瞭。凹面は布目が明瞭。胎土に黑色粒子混入。 | 北3 攪乱層 |
| 7 | 高麗 | 平瓦 | 広端右片 | - | 灰色 | 良好 | 格子状目 | 右側面角は面取り 厚:1.66cm | 凸面:叩き 凹面:布目・糸切り痕 右側面角は面取 | 凸面は叩きが明瞭。凹面は布目・糸切り痕共に浅い。胎土に褐色粒子混入。 | 北3 V層 |
| 8 | 高麗 | 平瓦 | 筒部 | - | 灰色 | 良 | 摩滅するが「癸酉年高麗瓦匠造」の一部 | 厚:1.65cm | 凸面:叩き 凹面:糸切り痕 | 凸凹面共に摩滅により叩き・糸切り痕浅い。胎土に茶褐色粒子が混入。 | 北3 攪乱層 |
| 第31図 図版28 9 | 高麗 | 平瓦 | 筒部 | - | 褐色 | 良 | 摩滅するが「癸酉年高麗瓦匠造」の一部 | 厚:1.76cm | 凸面:叩き 凹面:布目・糸切り痕 | 凸面は叩きがやや明瞭。凹面は布目が明瞭で糸切り痕が浅い。赤色粒子混入。 | 北3 攪乱層 |
| 10 | 高麗 | 平瓦 | 筒部 | - | 灰色 | 良好 | 摩滅するが「大天」の文字 | 厚:2.18cm | 凸面:叩き 凹面:布目・糸切り痕 | 凸面は叩きがやや明瞭。凹面は布目が浅くて糸切り痕が明瞭。褐色粒子混入。 | 北1 V層 |
| 11 | 大和 | 軒丸瓦当部 | 瓦当部 | - | 灰色 | 良好 | 左巴文か | 外縁・裏面を欠失するが文様は繊細 | 瓦当部:型整形・白砂 裏面:不明 | 瓦当部に白砂が付着。左巴文と見られるが巴の頭部は欠失。尾は長い。珠文は小型。 | 南1 攪乱層 |
| 12 | 大和 | 丸瓦 | 側面 | - | 褐色 | 良好 | 羽状打捺文 | 凹面端部から側面を丁寧に面取 厚:2.45cm | 凸面:叩き・撫で 凹面:布目・糸切り痕・縄目痕・面取 | 凸面は叩き後撫で調整。凹面は浅い布目に明瞭な縄目痕が約2.2cmの格子状に残る。凹面端部から側面にかけて面取が丁寧。 | 南2 攪乱層 |

第27表 屋瓦観察一覧(2)

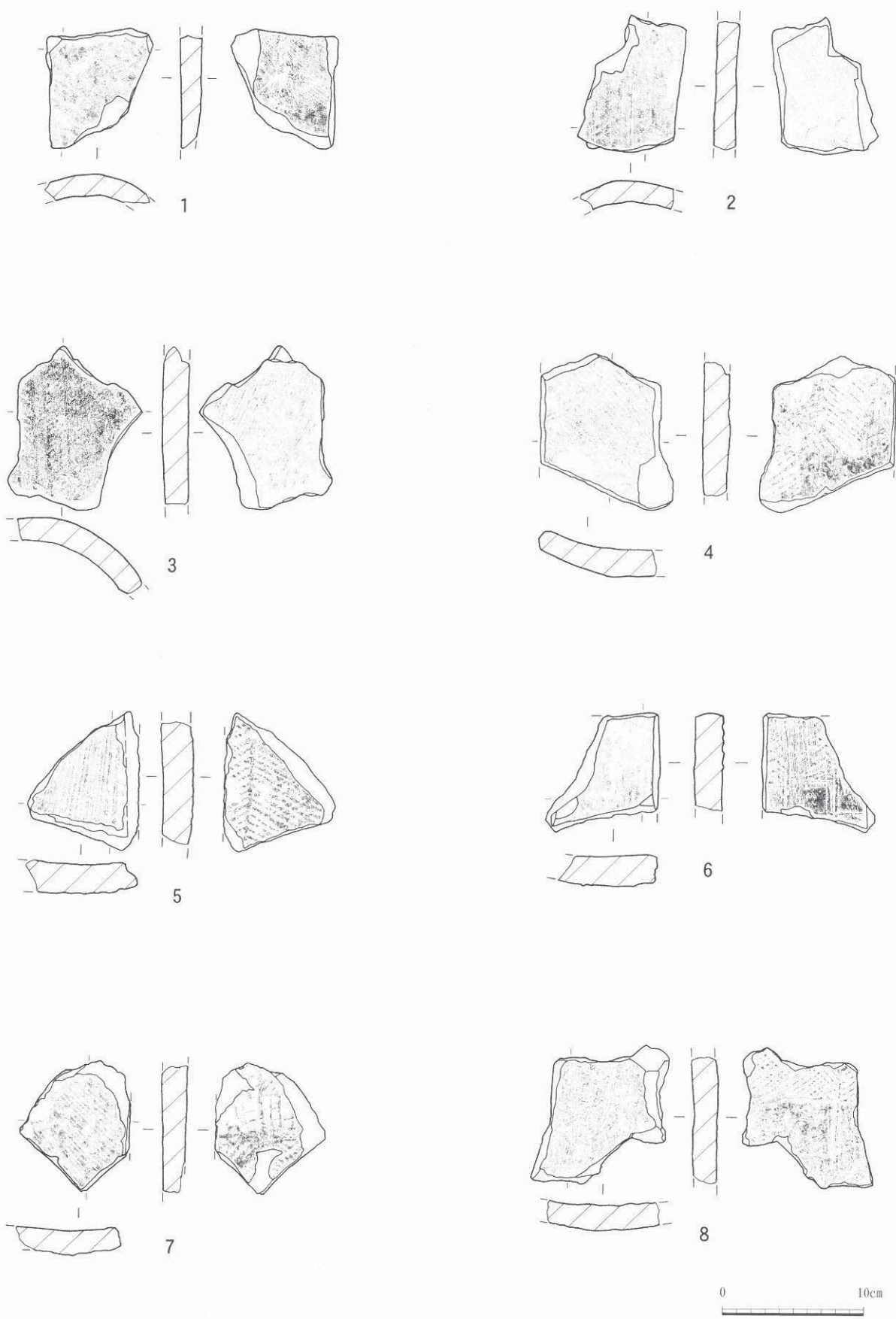
| 図・図版 番号 | 系統 | 種類 | 部位 | 分類 | 色調 | 焼成 | 観察事項 | | | | 出土 地点・層 |
|--------------------|----|----|------|--------------|----|----|-------------|-------------------------------------------------|--------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------|---------------------------|
| | | | | | | | 文様・文字 | 形態・法量 | 成形・調整 | 所見 | |
| 第31図 図版28 13 | 大和 | 丸瓦 | 側面 | - | 灰色 | 良好 | 網目状捺文 | 凹面端部から側面を丁寧に面取 厚:1.93cm | 凸面:叩き・撫で 凹面:糸切り痕・面取・白砂少し | 凸面は網目状捺文施文後に撫で調整。凹面は浅い糸切り痕に明瞭な縄目痕が残る。凹面端部から側面に掛けて面取が丸く丁寧に施される。凹面に白砂がつく。 | 北1 VI層 |
| 14 | 大和 | 雁振 | 丸瓦部 | - | 褐色 | 良好 | 網目状捺文 | 玉縁を僅かに残す 厚:2.8cm | 凸面:叩き・撫で 凹面:縄目痕 | 凸面は撫でにより消されるが浅く縄目が残る。凹面は摩耗するが縄目痕が数条確認できる。凸面に漆喰付着。 | 北2 II層 |
| 15 | 大和 | 平瓦 | 広端右片 | - | 灰色 | 良好 | 無文 | 凹面端部から側面を粗く面取 厚:1.67cm | 凸面:撫で・糸切り痕 凹面:布目・糸切り痕・白砂 側面:面取 広端部:撫で調整 | ほぼ平坦な平瓦。凹凸面とも糸切り痕が明瞭。凹面に白砂と漆喰が少し付着する。 | 北4 III層 |
| 16 | 大和 | 平瓦 | 狭端左片 | - | 灰色 | 良好 | 無文 | 凹面端部を斜位に面取 厚:1.72cm | 凸面:糸切り痕 凹面:糸切り痕・白砂 側面・狭端:面取 | ほぼ平坦な平瓦。凹凸面とも糸切り痕が浅い。凹面に白砂。 | 客土 |
| 第32図 図版29 17 | 明朝 | 軒丸 | 瓦当部 | I B | 灰色 | 良好 | 珠文ほか | 外縁は角を丸くし鏝は文様より厚く突出 | 瓦当面:型整形 裏面:撫で調整 | 丸瓦端部に接する部分。瓦当面は型整形、裏面は撫で調整。瓦当中央の文様は欠失するが珠文が二点確認できる。 | 北3 IV層 |
| 18 | 明朝 | 軒丸 | 瓦当部 | I A | 灰色 | 良好 | 花卉先端尖る花文・珠文 | 外縁部を欠く瓦当面 | 瓦当面:型整形 裏面:剥離により不明 | 丸瓦の接合部から剥離し外縁部も欠失。胎土に橙色粒子混入。 | 北3 IV層 |
| 19 | 明朝 | 軒丸 | 瓦当部 | II B a | 赤色 | 良好 | 牡丹文・珠文 | 丸瓦の接合面が剥離する瓦当面 | 瓦当面:型整形 裏面:撫で | 丸瓦の接合部から剥離し外縁が一部残る。外縁は外側角が丸く、鏝は文様より厚い。 | 北4 II層 |
| 20 | 明朝 | 軒丸 | 瓦当部 | I B | 灰色 | 良好 | 牡丹文・珠文 | 丸瓦の接合面が剥離する瓦当面。瓦当裏下部の角は丸く整形。 | 瓦当面:型整形 裏面:撫で | 丸瓦の接合部から剥離し外縁が一部残る。外縁角は丸く、鏝は文様より厚い。胎土に茶褐色粒子混入。 | 北4 II層 |
| 21 | 明朝 | 丸瓦 | 玉縁右片 | b | 灰色 | 良好 | 無文 | 玉縁平面は台形、断面は斜めで玉縁長は3.5cm。面取は頂部で8mmと浅く側面で21mmと厚い。 | 凸面:撫で 凹面:布目・縄目痕 玉縁端部:面取 | 玉縁の面取はシャープでハの字状に削る。胎土に褐色粒子混入。凹面の縄目は浅い。 | 北4 II層 |
| 22 | 明朝 | 丸瓦 | 玉縁左片 | c 長 | 赤色 | 良好 | 無文 | 玉縁平面は台形、断面は丸く成形。玉縁長は3.3cm。面取は玉縁に沿って17mm幅。 | 凸面:撫で 凹面:布目 玉縁端部:面取 | 玉縁の面取は粗く玉縁形状に沿って削られる。胎土に赤色粒子混入。筒部凸面玉縁側に沿って漆喰が約4cm幅で残る。 | 北1 攪乱層 |
| 23 | 明朝 | 丸瓦 | 玉縁筒部 | a | 灰色 | 良好 | 無文 | 玉縁断面は凸面角が面取りされた台形状。玉縁長は3.7cm。玉縁凹面の面取はない。 | 凸面:撫で・面取 凹面:布目・縄目痕 | 湾曲の浅い丸瓦。胎土に赤褐色の粒子混入。焼成が良好で凹凸面の調整痕は明瞭に残る。 | 北3攪乱層 +北3VI層 +北3IV層 |

第28表 屋瓦観察一覧(3)

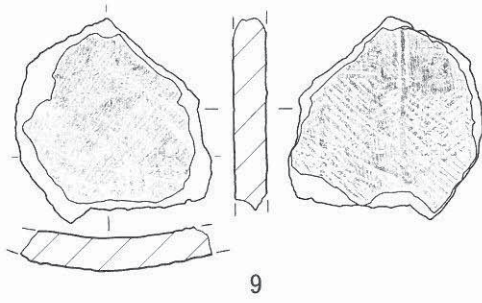
| 図・図版 番号 | 系統 | 種類 | 部位 | 分類 | 色調 | 焼成 | 観察事項 | | | 出土地点・層 | |
|--------------------|----|----|------|----|----|----|-------|------------------------------------------------|------------------------------|-------------------------------------------------------------|-----------|
| | | | | | | | 文様・文字 | 形態・法量 | 成形・調整 | | 所見 |
| 第32図 図版29 24 | 明朝 | 丸瓦 | 玉縁左片 | b長 | 赤色 | 良好 | 無文 | 玉縁平面は台形、断面は丸く成形。玉縁長は5cm。面取は玉縁に沿い15mm幅。 | 凸面:撫で 凹面:布目・面取 | 玉縁の面取は粗く玉縁形状に沿い筒部まで広く削られる。胎土に赤色粒子混入。筒部凸面縁辺に沿い漆喰が約4~5cm幅で残る。 | 北1 攪乱層 |
| 25 | 明朝 | 丸瓦 | 玉縁筒部 | b短 | 赤色 | 良好 | 無文 | 玉縁平面は丸形、断面はカマボコ状。玉縁長は4cm。面取は玉縁に沿い約2cm幅。 | 凸面:撫で 凹面:布目 玉縁端部:面取 | 玉縁の面取は玉縁形状に沿って削られる。胎土に赤色粒子混入。筒部凸面縁辺に沿い漆喰が薄く約4cm幅で残る。 | 北1 攪乱層 |
| 26 | 明朝 | 丸瓦 | 玉縁右片 | c長 | 灰色 | 良好 | 無文 | 玉縁平面は丸形、断面不明。玉縁長は5cm以上。面取は玉縁に沿い約3cm幅。 | 凸面:撫で 凹面:布目 玉縁端部:面取 | 玉縁の面取は玉縁形状に沿って削られる。筒部凸面縁辺に沿い漆喰が幅約5cm厚めに残る。 | 北4 II層 |
| 第33図 図版30 27 | 明朝 | 丸瓦 | 玉縁片 | b短 | 灰色 | 良好 | 無文 | 玉縁平面は丸形、断面不明。玉縁長不明は4.5cm以上。面取は玉縁に沿い約1.5cm幅。 | 凸面:撫で 凹面:布目・面取 | 玉縁の面取は玉縁形状に沿って削られる。胎土に赤色粒子混入。 | 北4 攪乱層 |
| 28 | 明朝 | 丸瓦 | 玉縁左片 | c短 | 赤色 | 良好 | 無文 | 玉縁平面は丸形、断面は両面面取により尖る。玉縁長3.5cm。面取は玉縁に沿い約1.8cm幅。 | 凸面:撫で 凹面:布目・面取 | 玉縁の面取は玉縁形状に沿って削られる。胎土に赤色粒子混入。筒部凸面縁辺に沿い漆喰が残る。 | 北1 攪乱層 |
| 29 | 明朝 | 丸瓦 | 端部左片 | - | 灰色 | 良好 | 無文 | 玉縁形状は不明。面取は端部のみ残存し2.2cm幅。 | 凸面:撫で 凹面:布目・面取 | 玉縁端部欠失のため形状は不明。胎土に褐色粒子混入。筒部凸面縁辺に沿い漆喰が残る。 | 北4 II層 |
| 30 | 明朝 | 丸瓦 | 端部左片 | - | 赤色 | 良好 | 無文 | 玉縁及び筒部端右角欠失。玉縁部面取の端部が残る。 | 凸面:撫で 凹面:布目・縄目痕 玉縁部:面取 | 玉縁部欠失のため形状は不明。筒部凸面縁辺に沿い漆喰が厚く残る。側面・筒部端は未調整。 | 北1 攪乱層 |
| 31 | 明朝 | 丸瓦 | 端部左片 | - | 赤色 | 良好 | 無文 | 筒部端のみ。面取は1.2cm前後の幅。 | 凸面:撫で 凹面:布目・縄目痕 筒部端:面取 | 筒部凸面縁辺に沿い4cm内外の幅で漆喰が残る。側面は未調整。 | 北3 攪乱層 |
| 32 | 明朝 | 丸瓦 | 端部左片 | - | 灰色 | 良好 | 無文 | 筒部端のみ。面取は2cm幅。 | 凸面:撫で 凹面:布目・縄目痕 筒部端:面取 | 筒部凸面の破片中央付近に薄く漆喰が残る。凹面下部は5cm幅で布目が見られない。側面は未調整。 | 南2 攪乱層 |
| 33 | 明朝 | 丸瓦 | 端部左片 | - | 灰色 | 良好 | 無文 | 筒部端のみ。面取なし。側面未調整。 | 凸面:撫で 凹面:布目 | 筒部凸面の縁辺に約3cm幅で漆喰が残る。側面は未調整。 | 北3 攪乱層 |

第29表 屋瓦観察一覧(4)

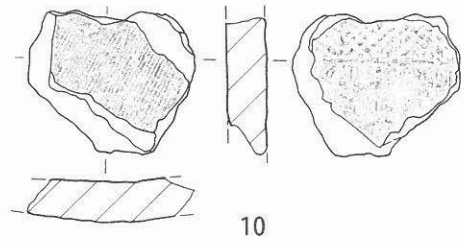
| 図・図版 番号 | 系 統 | 種 類 | 部 位 | 分 類 | 色 調 | 焼 成 | 観察事項 | | | | 出土 地点・層 |
|--------------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------------------|---------|--------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|
| | | | | | | | 文様・文字 | 形態・法量 | 成形・調整 | 所見 | |
| 第34図 図版31 34 | 明朝 | 平瓦 | 広端左片 | a | 赤色 | 良好 | 凹面破片下部に斜位に沈線が1条。 | 厚:1.5cm | 凸面:撫で 凹面:布目・撫で・桶板留紐圧痕 | 広端部片。側面は折られたまま。桶板留紐圧痕は楕円形で深く3点見られ、間隔は左が1cm右が2cm。 | 北4 II層 |
| 35 | 明朝 | 平瓦 | 上下端 | a | 灰色 | 良好 | 凹面破片右側に縦位に沈線が1条。 | 厚:1.2cm | 凸面:撫で 凹面:布目・撫で・桶板留紐圧痕 | 広端部片。側面は折られたまま。桶板留紐圧痕は円形で深く2点見られ、間隔は2.5cm。 | 客土 |
| 36 | 明朝 | 平瓦 | 上下端 | a | 灰色 | 良好 | 無文 | 厚:1.6cm | 凸面:撫で 凹面:布目・撫で・桶板留紐圧痕 | 広端部片。側面は折られたまま。凹面下部は4cm幅で布目が見られない。桶板留紐圧痕は楕円形で深く2点見られ、間隔は0.5cm。 | 北3 攪乱層 |
| 37 | 明朝 | 平瓦 | 広端片 | a | 赤色 | 良好 | 無文 | 厚:1.4cm | 凸面:撫で 凹面:布目・撫で・桶板留紐圧痕 | 広端部片。側面は折られたまま。凹面下部は布目が撫で消される。桶板留紐圧痕は小型の楕円形で浅く、約2.5cm間隔で連続する。中央亀裂部は桶板分離後に接合したと見られ、亀裂に沿い3cm幅の撫でが認められる。 | 北1 攪乱層 |
| 38 | 明朝 | 平瓦 | 広端右片 | a | 赤色 | 良好 | 無文 | 厚:1.2cm | 凸面:撫で 凹面:布目・撫で・桶板留紐圧痕 | 広端部片。側面は折られたまま。凹面下部は1.5cm幅で布目を撫で消す。桶板留紐圧痕は小型の楕円形で浅く1.5cm間隔で連続。 | 北3 攪乱層 |
| 39 | 明朝 | 平瓦 | 広端右片 | a | 灰色 | 良好 | 無文 | 厚:1.5cm | 凸面:撫で 凹面:布目・撫で・桶板留紐圧痕 | 広端部片。側面は折られたまま。凹面下部は1.5cm幅で布目を撫で消す。桶板留紐圧痕は小型の楕円形で深く0.5cm間隔で連続。 | 北4 II層 |
| 40 | 明朝 | 平瓦 | 広端部 | a | 灰色 | 良好 | 無文 | 厚:1.6cm | 凸面:撫で 凹面:布目・撫で・桶板留紐圧痕 | 広端部片。凹面下部は2cm幅で布目を撫で消す。桶板留紐圧痕は楕円形で深い間隔は不明。 | 北3 攪乱層 |
| 41 | 明朝 | 平瓦 | 狭端部 | - | 灰色 | 良好 | 破片上部に弧状の二重線が刻印 | 厚:1.5cm | 凸面:撫で 凹面:布目 | 狭端部片。凸面破片上部に刻印と思われる弧状の沈線が2条確認できるが構図は不明。端部は丁寧に成形。 | 北1 攪乱層 |
| 42 | 明朝 | 飾瓦 | - | - | 灰色 | 良好 | 粘土紐を貼り付けて撫で延ばし雲形を形成 | 厚:5cm | 表面:撫で 裏面:撫で | 正殿の棟の装飾として貼り付けられていたと考えられる雲形の飾り瓦。平面雲形、断面長方形の土台に粘土紐を貼り付けて指で撫で延ばし、断面三角形の凸帯で文様を形成。漆喰付着。裏面に棟に取り付けるための突起が2ヶ所あったと見られるが欠失。 | 北3 IV層 |



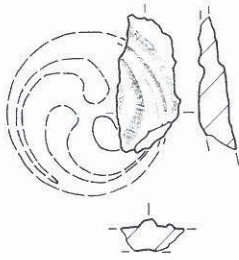
第30図 屋瓦（1）高麗系瓦 1



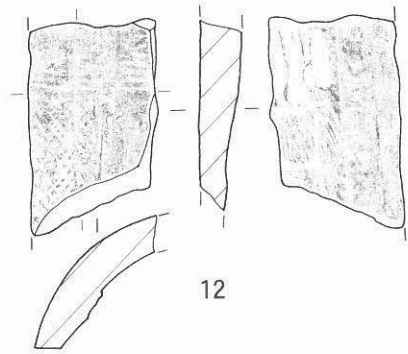
9



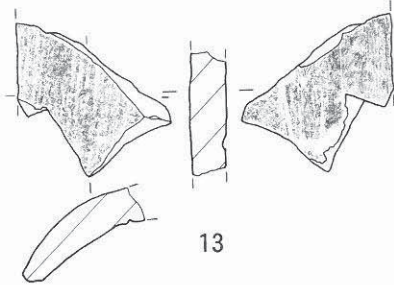
10



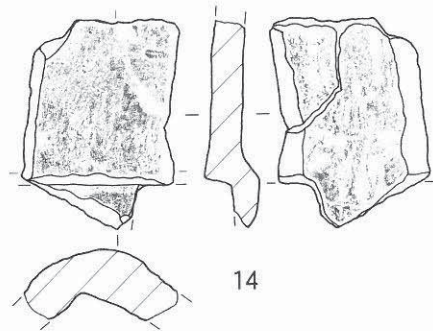
11



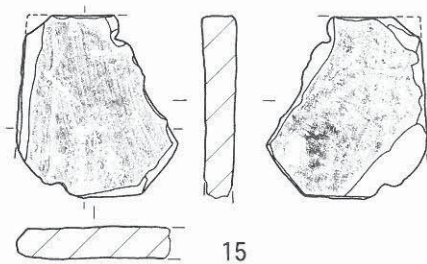
12



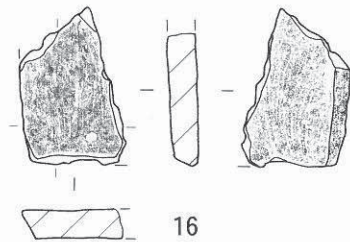
13



14



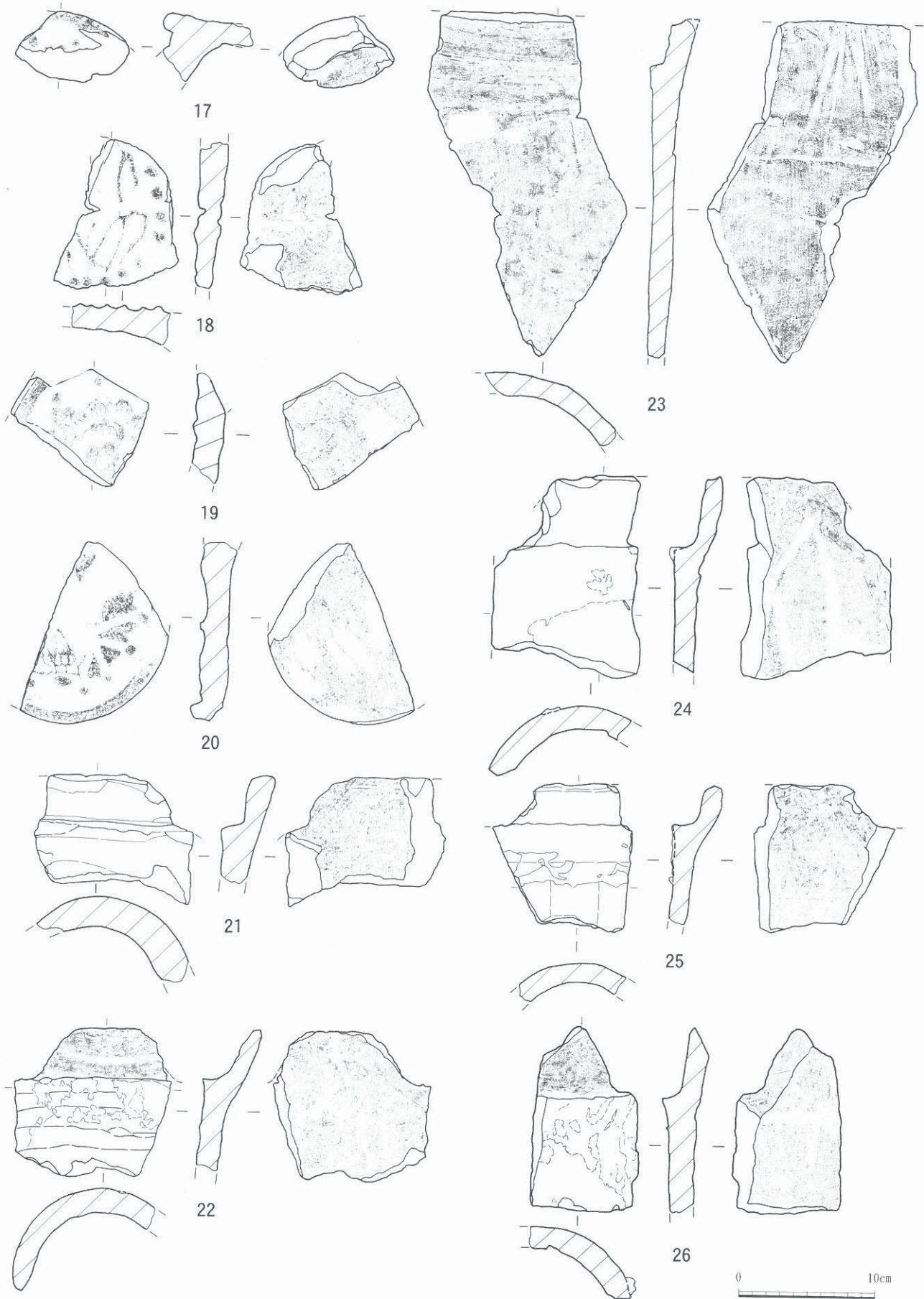
15



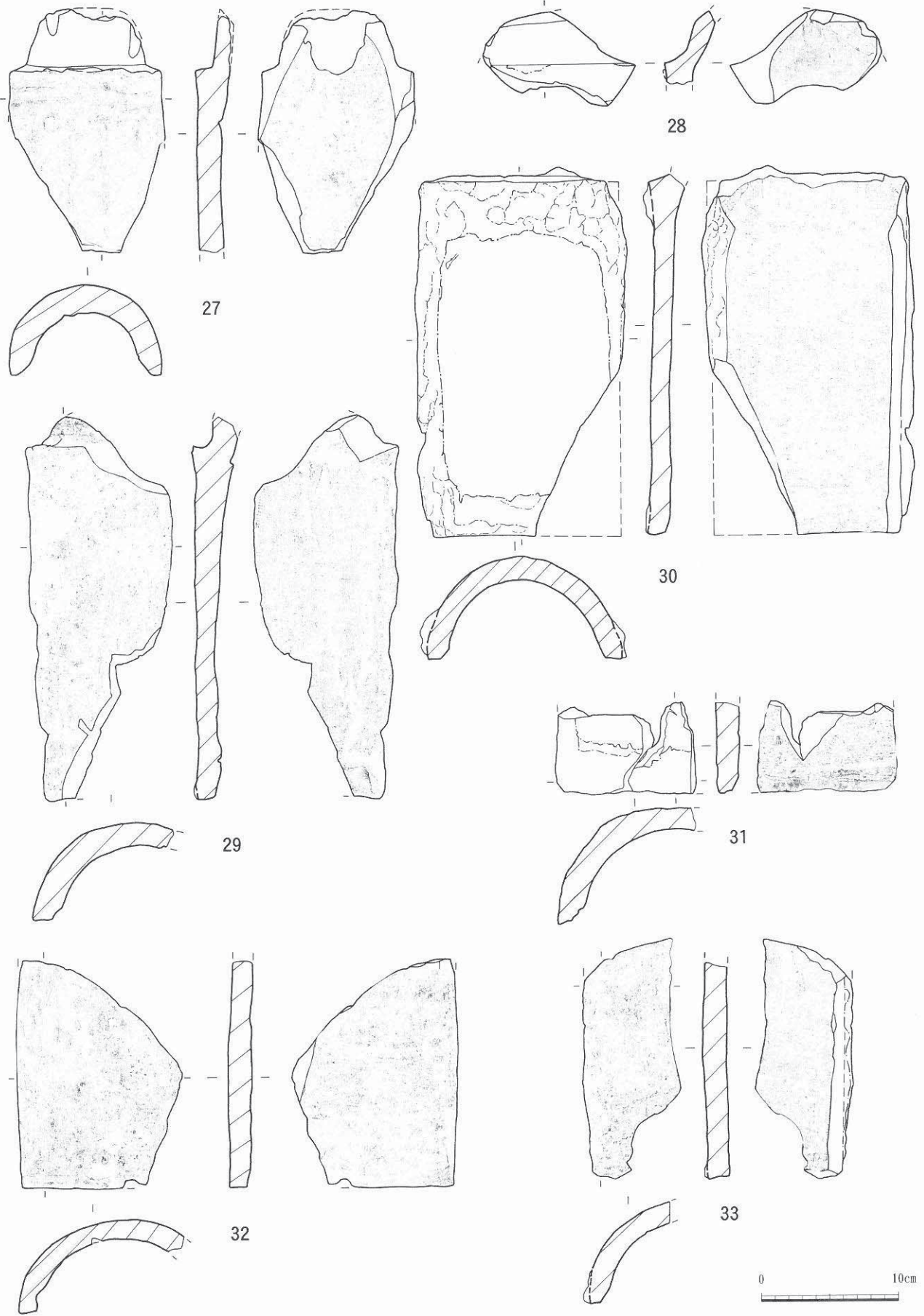
16



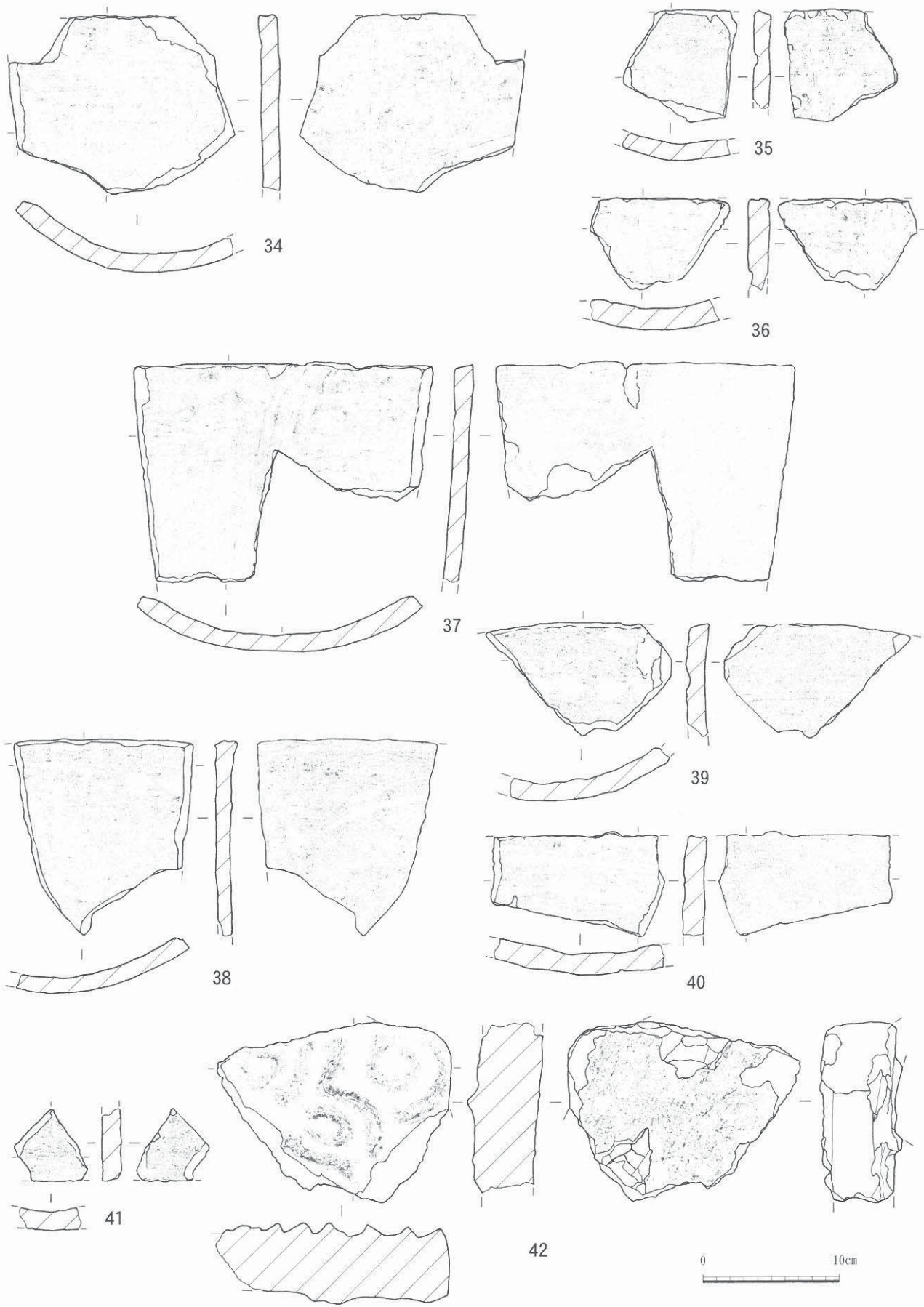
第31図 屋瓦（2）高麗系瓦2・大和系瓦



第32図 屋瓦（3）明朝系軒丸瓦・丸瓦 1



第33图 屋瓦（4）明朝系丸瓦 2



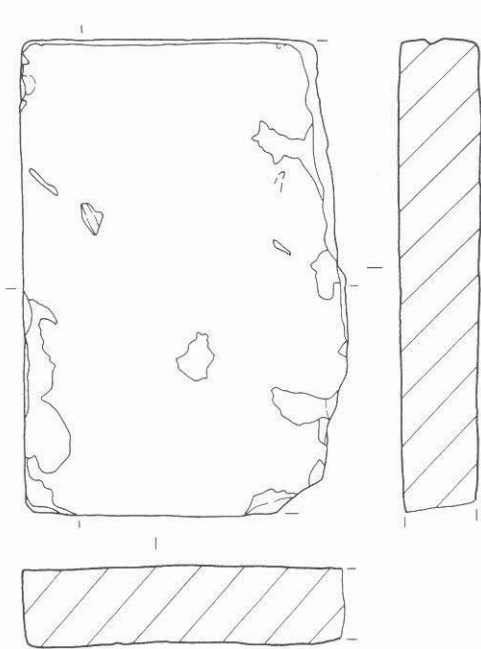
第34図 屋瓦（5）明朝系平瓦・飾り瓦

第11節 塼 (第30・37・54表、第35図、図版32)

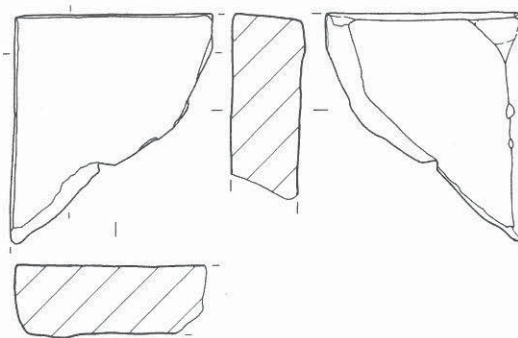
塼は100点の破片が得られ、形状は方形、三角形、有段の3種に分けることができる。この3種の中で共通する特徴として、表面は撫で磨かれ、裏面は粗い撫で調整が施される。また、裏面縁辺角は丸く成形、角部は面取りがされている。あわせて断面を逆台形状にすることにより、施工面に隙間なく密着する構造に調整している。色調は灰色と褐色の2種があり、灰色が多い。厚さは5～6cmの厚手と3cm前後の薄手、4cm前後の中間が認められ、中間タイプが多数を占めている。なお、ここでは三角形の塼が24点と全体の32.6%を占めているが、この割合は往事の首里森御嶽における塼の敷設法を想定する材料になるものと思われる。

第30表 塼観察一覧

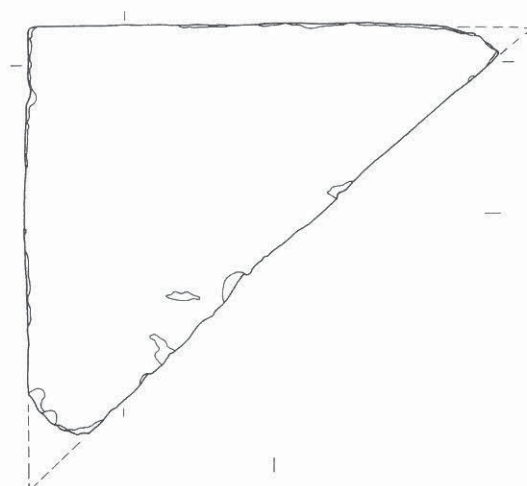
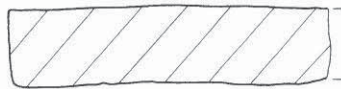
| 図・図版 番号 | 系 統 | 種 類 | 部 位 | 色 調 | 焼 成 | 観察事項 | | | 出土 地点・層 | |
|-------------------|--------|--------|---------|--------|--------|-------|--------------------|--------------------|-------------------------------------------|------------|
| | | | | | | 文様・文字 | 形態・法量 | 成形・調整 | | 所見 |
| 第35図 図版32 1 | 明 朝 | 方 形 | 角 部 | 褐 色 | 良 好 | 無文 | 角2ヶ所残存 厚:4.1cm | 表面:撫で 裏面:粗い撫で | 表面は撫で調整、裏面角 は丸く成形。 | 北4 II層 |
| 2 | 明 朝 | 不 明 | 角 部 | 灰 色 | 良 好 | 無文 | 角1ヶ所残存 厚:3.76cm | 表面:撫で磨き 裏面:撫で | 表面は撫で磨き、裏面縁辺 は丸く成形、角部は面取。 | 北3 III層 |
| 3 | 明 朝 | 不 明 | 角 部 | 褐 色 | 良 好 | 無文 | 角1ヶ所残存 厚:4.19cm | 表面:撫で磨き 裏面:粗い撫で | 表面は撫で磨き、裏面縁辺 は丸く成形、角部は面取後 丸く仕上げる。 | 北4 IV層 |
| 4 | 明 朝 | 三 角 | 角 部 | 褐 色 | 良 好 | 無文 | 角1ヶ所残存 厚:3.92cm | 表面:撫で磨き 裏面:粗い撫で | 表面は撫で磨き、裏面角は 成形されず、断面は逆台 形。 | 北3 III層 |
| 5 | 明 朝 | 有 段 | 有 段部 | 灰 色 | 良 好 | 無文 | 厚:3.28cm | 表面:撫で・削り 裏面:撫で | 破損前の縦断面は凸の字 状か。表面右側が2.5cm幅 で浅く削られる。 | 北1 攪乱層 |



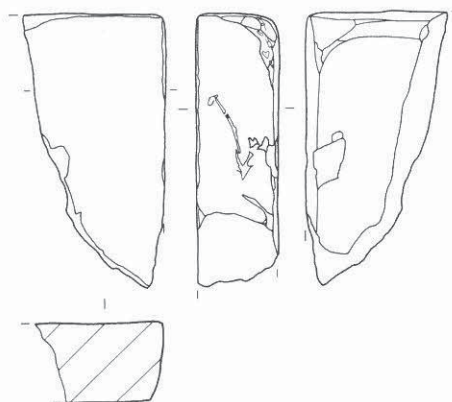
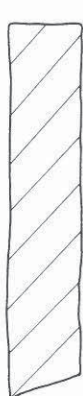
1



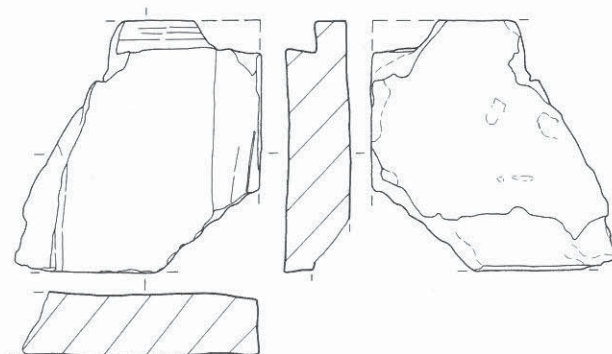
2



4



3



5



第35図 埴

第12節 金属製品 (第31～33・37・55表、第36・37図、図版33・34)

金属製品は、錆による腐食が激しく不明な製品が多い。48点を図化し1点(37)を写真で掲載している(図版34)。種類は飾り金具、武器、武具、鋌、釘など豊富である。銅製品は透かし彫りや魚々子文、唐草文などを施した飾り金具や、鍍金を施した鋌などが出土している。鉄製品では、特に鎖製品や小札などが多く見られ、錆により製品複数が付着している状況が多く見られた。釘類は鉄製のもので保存状態は比較的良好である。

第31表 金属製品観察一覧(1)

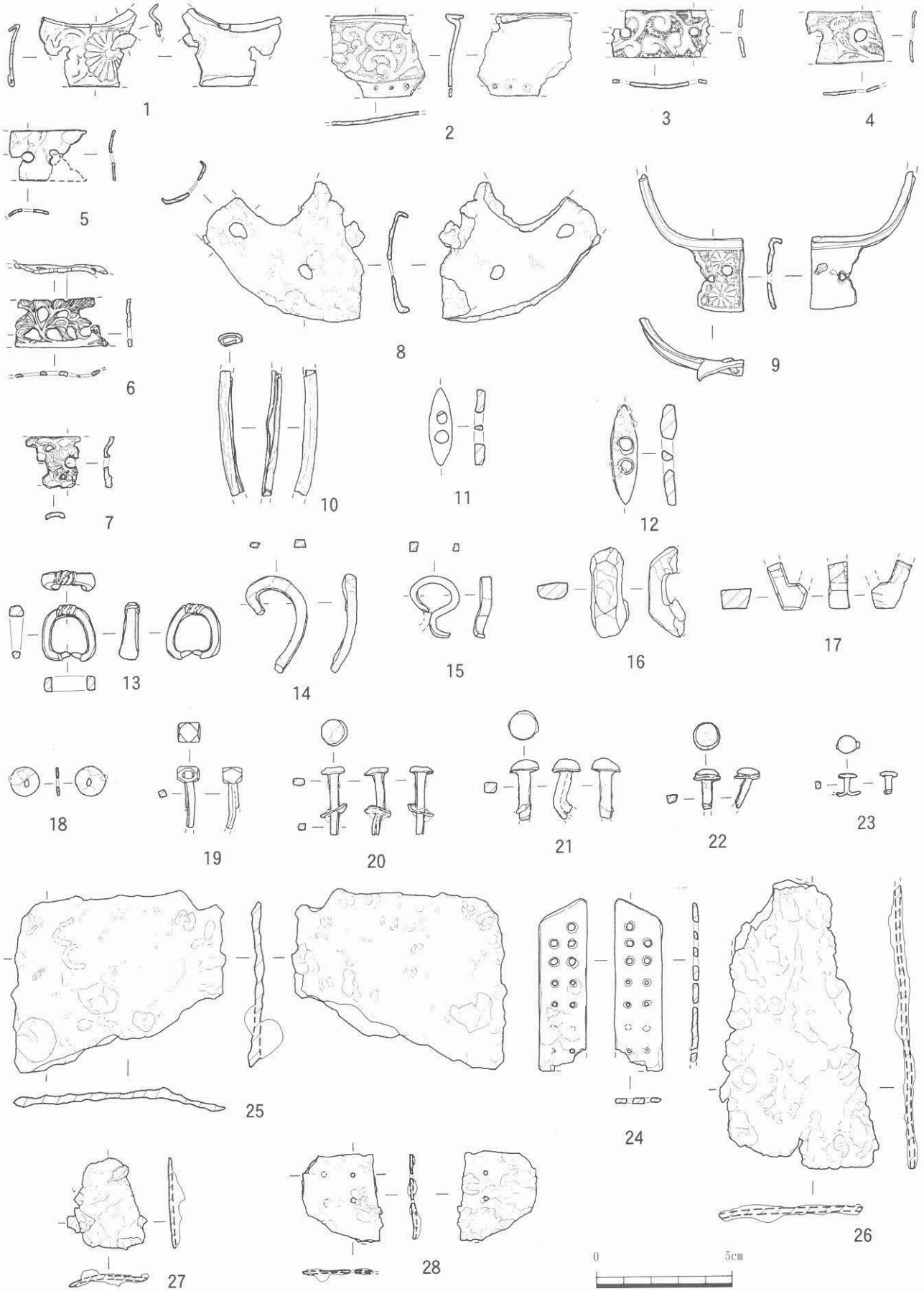
| 図・図 版番号 | 種類 | 材質 | 法量(cm・g) | | | | | | 観察事項 | 出土 地点・層 |
|-------------------|------|----|----------|---------|----------|----------|-------------------|------|-------------------------------------------------------------|------------|
| | | | 頭部 径 | 頭部 厚 | 縦長 縦径 | 横長 横径 | 厚さ | 重量 | | |
| 第36図 図版33 1 | 鍬形台 | 銅製 | - | - | 2.9 | 3.6 | 0.89 | 3.9 | 銅製の鍬形台である。中央に菊文。 | 北3 攪乱層 |
| 2 | 金具廻り | 銅製 | - | - | 3 | 3.5 | 0.1 | 8.6 | 唐草文とその周囲には魚々子文を施す。下端部には約5mm間隔で1mm以下の孔を穿つ。 | 南2 攪乱層 |
| 3 | 飾り金具 | 銅製 | - | - | 1.7 | 3.6 | 0.12 | 3.2 | 唐草文とその周囲には魚々子文を施す。径が3.5mmの孔を2箇所に通す。八双金具か。 | 北3 攪乱層 |
| 4 | 飾り金具 | 銅製 | - | - | 1.9 | 2.9 | 0.13 | 3 | 線刻と魚々子文を施す。八双金具か。 | 北4 III層 |
| 5 | 八双金具 | 銅製 | - | - | 1.9 | 2.9 | 0.12 | 2.2 | 表面に文様は確認できない。 | 北4 攪乱層 |
| 6 | 飾り金具 | 銅製 | - | - | 1.8 | 3.45 | 0.11 ～ 0.17 | 3.5 | 透かし彫りによる唐草文を施した飾り金具である。八双金具か。 | 南2 攪乱層 |
| 7 | 飾り金具 | 銅製 | - | - | 1.9 | 2.1 | 0.19 | 2.2 | 透かし彫りによる文様を施した飾り金具である。八双金具か。 | 北2 II層 |
| 8 | 鍬形台 | 銅製 | - | - | 5.2 | 5.9 | 0.15 | 21.2 | 熱を受けたためか表面は荒れていて文様は不明。一部鉄の付着が見られる。 | 北1 IV層 |
| 9 | 金具廻り | 銅製 | - | - | 2.8 | 5.5 | 0.13 | 7.4 | 菊文と魚々子文を施す。端部には鋌が残る。 | 南2 攪乱層 |
| 10 | 覆輪 | 銅製 | - | - | 4.6 | 0.5 | 0.83 | 2.9 | 銅製の覆輪である。 | 北4 攪乱層 |
| 11 | 笠鞋 | 銅製 | - | - | 2.9 | 0.8 | 0.2 | 3 | 紡錘車型に2点の孔を穿つことから笠鞋と思われる。錆付きが進んでいる。 | 北3 攪乱層 |
| 12 | 笠鞋 | 銅製 | - | - | 3.7 | 0.95 | 0.35 | 5 | 上図と同様の笠鞋と思われる。上図の製品より一回り大きい。 | 北4 攪乱層 |
| 13 | 飾り金具 | 銅製 | - | - | 2.2 | 2 | 0.2～ 0.66 | 5.4 | 環状の飾り金具と思われる製品。環の頂部には螺旋状の彫刻が施され、また先端部は細く尖り、撮み込むような形状になっている。 | 北1 VI層 |
| 14 | 不明 | 鉄製 | - | - | 3.7 | 2.3 | 0.46 | 4.8 | 鉄製の製品で「J」の字状の形状を呈する。 | 北3 攪乱層 |
| 15 | 金具廻り | 銅製 | - | - | 2.3 | 1.8 | 0.4 | 2.8 | 銅製の製品で全体の形状は不明。 | 北1 IV層 |

第32表 金属製品観察一覧(2)

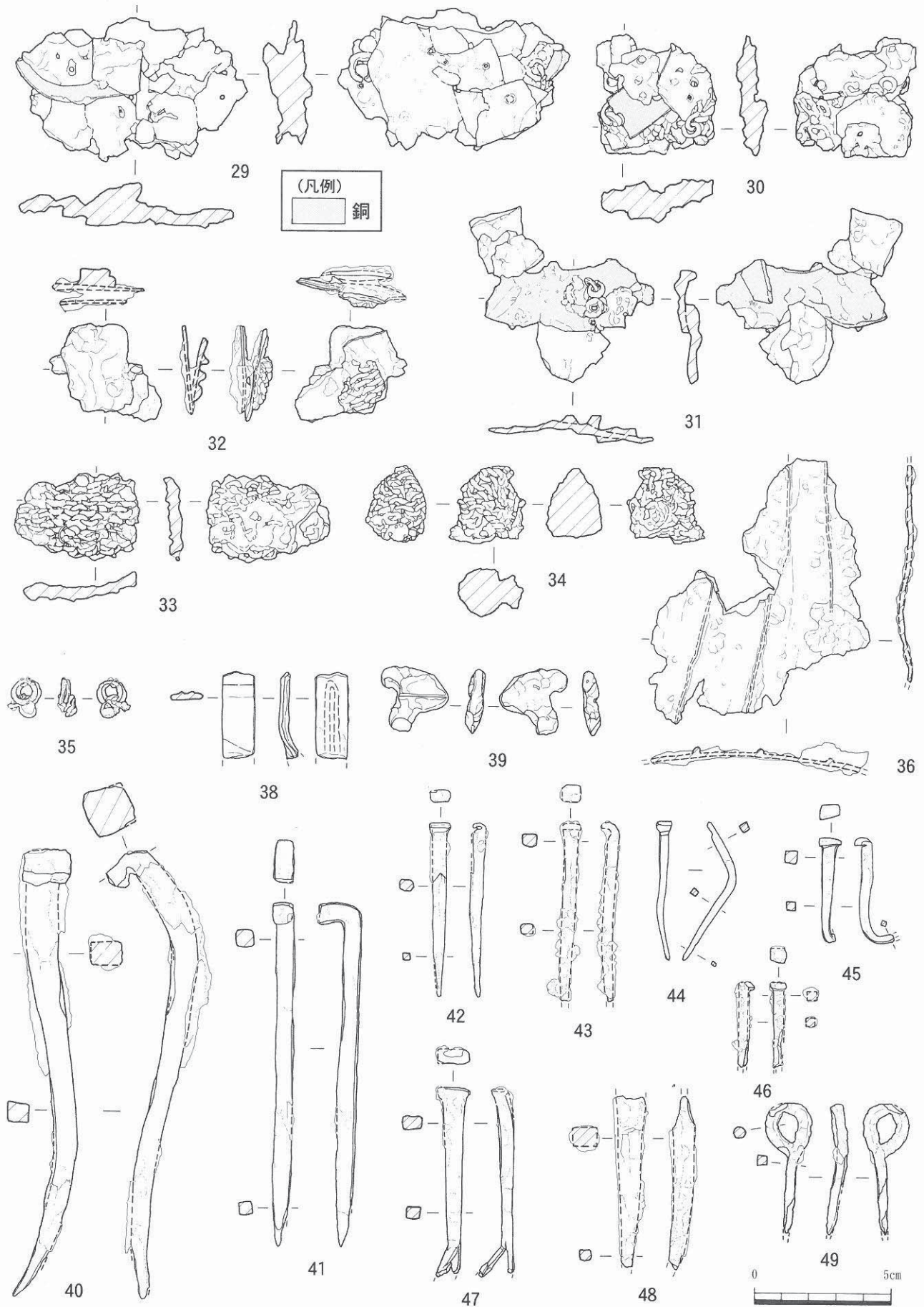
| 図・図 版番号 | 種類 | 材質 | 法量(cm・g) | | | | | | 観察事項 | 出土 地点・層 |
|--------------------|------|-----|-------------|---------|----------|----------|------|------|--------------------------------------------|----------------------|
| | | | 頭部 径 | 頭部 厚 | 縦長 縦径 | 横長 横径 | 厚さ | 重量 | | |
| 第36図 図版33 16 | 金具廻り | 銅製 | - | - | 3.35 | 1.2 | - | 17 | 破損品で形状は不明。錆化が進む。環状の製品か。 | 北1 IV層 |
| 17 | 不明 | 銅製 | - | - | 1.95 | 1.5 | 0.7 | 6.9 | 破損品で形状は不明。厚みのある製品。 | 北4 攪乱層 |
| 18 | 環座 | 銅製 | 1.05 | - | - | - | 0.78 | 0.4 | 鍍金が施されている。全体的に錆化が進み文様等は不明。 | 南2 小岩盤東切 石列内込層 |
| 19 | 切子頭 | 銅製 | 0.6 | 0.5 | 2.3 | - | 0.25 | 2 | 鍍金の施された切子頭である。頭部は横長の長方形で角は面取りが施される。 | 南2 小岩盤東切 石列内込層 |
| 20 | 鋳 | 銅製 | 0.9 | 0.2 | 2.5 | 0.3 | 0.3 | 2.2 | 銅製の鋳。頭部は鍍金。下部には座金具が錆で付着。 | 南2 小岩盤東切 石列内込層 |
| 21 | 鋳 | 銅製 | 1.1 | 0.4 | 2.2 | 0.45 | 0.4 | 3.7 | 2本の基部が取り付け鋳である。頭部直下には座金具が錆により付着する。 | 南2 小岩盤東切 石列内込層 |
| 22 | 鋳 | 銅製 | 1 | 0.5 | 1.5 | - | 0.3 | 1.7 | 断面形が長方形の基部が1本取り付け鋳である。頭部直下に座金具が付着。 | 北4 攪乱層 |
| 23 | 鋳 | 銅製 | 0.75 | 0.2 | 0.8 | - | 0.3 | 0.6 | 2本の基部が取り付け鋳である。基部は中間から横位に曲げられている。 | 北2 II層 |
| 24 | 小札 | 鉄製 | - | - | 6.4 | 1.7 | 0.2 | 9.5 | 先端が三角形になる伊予札。2列の孔が並んで穿たれ下端部に向かうにつれ孔は小型化する。 | 北1 V層 |
| 25 | 武具 | 鉄製 | - | - | 6.7 | 7.9 | 0.26 | 40.4 | 厚さが3mm程の板状の製品。全体に錆が著しい。後立挙か。 | 攪乱層 |
| 26 | 板状製品 | 鉄製 | - | - | 10.75 | 5.9 | 0.35 | 40.6 | 鉄製の板状製品。全体に錆が著しい。図面右側が上部である。畳具足の草摺か。 | 南2 攪乱層 |
| 27 | 板状製品 | 鉄製 | - | - | 3.4 | 2.9 | 0.2 | 4.6 | 鉄製の板状製品。全体に錆が著しい。図面右上が上部である。籠手の上部か。 | 南2 攪乱層 |
| 28 | 小札 | 鉄製 | - | - | 3.4 | 3 | 0.16 | 5.4 | 鉄製の小札。両端部は欠損し錆も著しい。図面左側が上部である。肩上の先端部か。 | 南2 攪乱層 |
| 第37図 図版34 29 | 小札ほか | 銅・鉄 | - | - | 5.3 | 8.6 | - | 51 | 多量の鉄製の小札と銅製の覆輪が錆で付着。 | 南2 攪乱層 |
| 30 | 小札ほか | 銅・鉄 | - | - | 4.4 | 4.6 | - | 28.3 | 鉄製の小札・鎖製品と、裏面のため判然としないが銅製の八双金具が錆により付着。 | 南2 攪乱層 |
| 31 | 不明 | 銅・鉄 | - | - | 6.5 | 6.8 | - | 27.5 | 板状の銅製品に鉄製の鎖と板状製品が付着。錆が著しい。 | 南2 攪乱層 |
| 32 | 小札 | 銅・鉄 | - | - | 3.2 | 4.2 | - | 15 | 鉄製の小札と思われる板状の製品に銅製の鎖製品が付着。 | 北4 攪乱層 |
| 33 | 鎖製品 | 鉄製 | - | - | 3.3 | 4.5 | - | 18.5 | 径約8mmの輪をつなぎ合わせた鎖製品。錆化し付着する。 | 北4 攪乱層 |
| 34 | 鎖製品 | 鉄製 | - | - | 2.8 | 2.9 | - | 17.1 | 径約7mmの輪をつなぎ合わせた鎖製品。錆付き付着する。 | 北4 攪乱層 |
| 35 | 鎖製品 | 鉄製 | 0.7・ 0.3 | - | 1.5 | - | - | 0.5 | 最大径約1cmの輪をつなげたと思われる製品。鎖状になるか。 | 北4 III層 |

第33表 金属製品観察一覧(3)

| 図・図 版番号 | 種類 | 材質 | 法量(cm・g) | | | | | | 観察事項 | 出土 地点・層 |
|--------------------|----|-----|----------|---------|----------|---------------|------|-------|-------------------------------------------------------------------------|------------|
| | | | 頭部 径 | 頭部 厚 | 縦長 縦径 | 横長 横径 | 厚さ | 重量 | | |
| 第37図 図版34 36 | 武具 | 銅・鉄 | - | - | 9.9 | 8.2 | 0.3 | 42.9 | 板状の鉄を重ね成形。微弱な湾曲が見られる。兜の鉢残欠か。 | 北4 II層 |
| — 図版34 37 | 武具 | 鉄製 | - | - | 26 | 16 | - | 517.4 | 伊予札と鎖が大量に付着。付着した伊予札は向きに規則性がみられない。 | 南2 攪乱層 |
| 38 | 不明 | 銅製 | - | - | 3.2 | 1.2 | 0.25 | 6.4 | 板状の銅製品である。表面には陽刻の文様がみられる。 | 北1 VI層 |
| 39 | 不明 | 銅製 | - | - | 2.4 | 2.2 | 0.51 | 11.9 | 表面に断面「V」字状の線刻、下端部には研磨を施したような形跡がみられる。 | 北3 攪乱層 |
| 40 | 釘 | 鉄製 | - | - | 16.55 | 1.6 | 1.4 | 92.4 | 断面形は方形の角釘。頭部は折り曲げて一方に突出する。完品。 | 北3 III層 |
| 41 | 釘 | 鉄製 | - | - | 12.8 | 0.75 | 0.65 | 31.2 | 頭部を折り曲げて一方に突出する角釘。完品。 | 北1 攪乱層 |
| 42 | 釘 | 鉄製 | - | - | 6.5 | 0.6 | 0.43 | 4.7 | 頭部を折り曲げて一方に突出する角釘。錆が著しい。 | 北3 攪乱層 |
| 43 | 釘 | 鉄製 | - | - | 6.7 | 0.8 | 0.48 | 6.3 | 頭部を折り曲げて一方に突出する角釘。錆が著しい。 | 南2 攪乱層 |
| 44 | 釘 | 鉄製 | - | - | 5.1 | 0.35 | 0.32 | 2.3 | 頭部は折り曲げず板状に直立。錆はほとんどみられない。 | 南2 攪乱層 |
| 45 | 釘 | 鉄製 | - | - | 3.9 | 0.5 | 0.4 | 3.8 | 頭部を折り曲げて一方に突出する角釘。錆はほとんどみられない。 | 北4 攪乱層 |
| 46 | 釘 | 鉄製 | - | - | 3.2 | 0.6 | 0.5 | 1.6 | 頭部を折り曲げて一方に突出する角釘。錆が著しい。 | 北2 II層 |
| 47 | 釘 | 鉄製 | - | - | 7.1 | 0.8 | 0.48 | 11.4 | 断面形は他の製品に比べて扁平。頭部の形状は欠損し判然としない。 | 北3 攪乱層 |
| 48 | 不明 | 鉄製 | - | - | 6.4 | 1.1 | 0.97 | 13 | 錆付きと破損のため形状は不明。上端に向かい薄くなる。 | 北1 IV層 |
| 49 | 鋳 | 鉄製 | - | - | 4.9 | 1.74・ 0.52 | 0.43 | 4.19 | 頭部が環状の鋳である。環は長軸1.2cm、短軸0.8cmを測りやや楕円形を呈する。壁に打ち込み先端の環にフック状の製品を掛けるものと思われる。 | 南2 攪乱層 |



第36図 金属製品 (1)



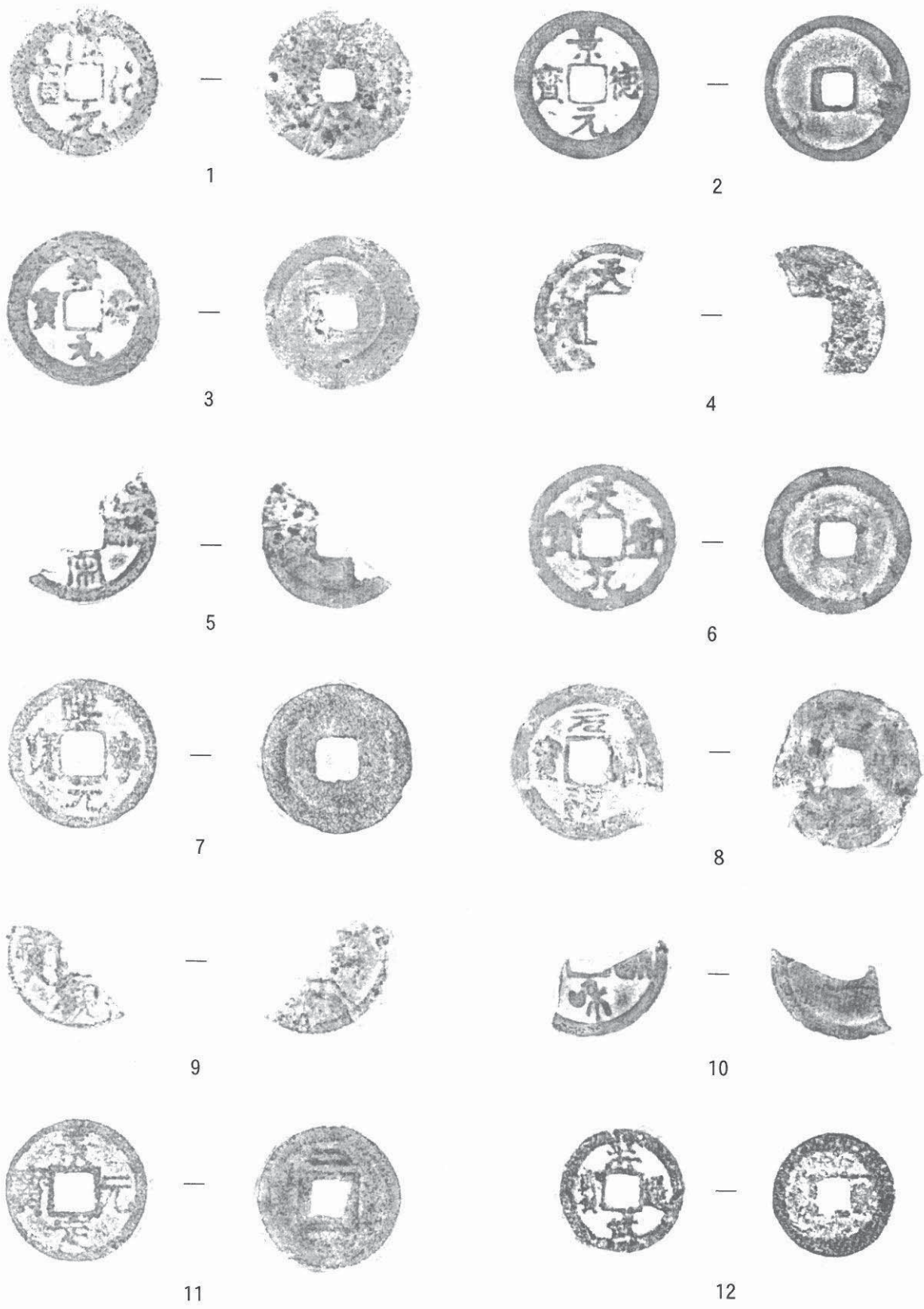
第37図 金属製品 (2)

第13節 錢貨 (第34・37・56表、第38・39図、図版35・36)

錢貨は89点が出土している。そのうち24点を図化した。初鑄年を見ると淳化元寶(990年)がもっとも古く寛永通寶が最も新しい。有文錢は中国錢と日本錢があり中国錢では量的には北宋錢が最も多く出土している。日本錢は寛永通寶のみが出土している。無文錢は径の大きいいわゆる鳩目錢と径の小さいいわゆる輪錢があり年代は不明である。

第34表 錢貨観察一覧

| 図・図版 番号 | 錢文 (○:不明) | 書体 | 初鑄年 | 法量(mm・g) | | | | | | 出土地点・層 | |
|--------------|--------------|------|------|---------------------------------|-------|-------|------|------|------|--------|---------|
| | | | | 外径 | | 孔径・幅 | | 厚最大 | 重量 | | |
| | | | | 縦 | 横 | 縦 | 横 | | | | |
| 第38図 図版35 | 1 | 淳化元寶 | 行書 | 北宋990 | 25.1 | 24.95 | 5.03 | 5.79 | 1.46 | 3.2 | 北4 IV層 |
| | 2 | 景德元寶 | 真書 | 北宋1004 | 24.66 | 24.53 | 5.41 | 5.38 | 1.36 | 4 | 北3 IV層 |
| | 3 | 祥符元寶 | 真書 | 北宋1009 | 25.75 | 25.49 | 5.61 | 5.53 | 1.1 | 3.8 | 北4 II層 |
| | 4 | 天○○寶 | 真書 | 北宋1023 | — | — | — | — | 1.18 | 1.7 | 北3 IV層 |
| | 5 | 皇宋通寶 | 篆書 | 北宋1038 | — | — | — | — | 1.16 | 1.4 | 北4 攪乱層 |
| | 6 | 天聖元寶 | 真書 | 北宋1023 | 24.69 | — | 5.7 | — | 1.32 | 3.5 | 北3 攪乱層 |
| | 7 | 熙寧元寶 | 真書 | 北宋1068 | 24.91 | — | 7.28 | — | 1 | 3.2 | 北3 IV層 |
| | 8 | 元祐通寶 | 篆書 | 北宋1086 | 25.65 | — | 6.1 | — | 1.41 | 3.7 | 南2 攪乱層 |
| | 9 | 大觀通寶 | 真書 | 北宋1107 | — | — | — | — | 1.37 | 1.1 | 北4 III層 |
| | 10 | 宣和通寶 | 篆書 | 北宋1119 | — | — | — | — | 1.47 | 1.5 | 北4 攪乱層 |
| | 11 | 景定元寶 | 真書 | 南宋1260 | 24.02 | — | 5.69 | — | 1.32 | 3.7 | 北4 II層 |
| | 第39図 図版36 | 12 | 洪武通寶 | 真書 | 明1368 | 20.47 | — | 5.19 | — | 1.89 | 3.9 |
| 13 | | 永樂通寶 | 真書 | 明1408 | 25.22 | — | 5.3 | — | 1.23 | 3.7 | 北3 IV層 |
| 14 | | ○○元寶 | 真書 | 不明 | — | — | — | — | 1.3 | 1.5 | 北1 II層 |
| 15 | | 寛永通寶 | 真書 | Ⅱ期新寛永 1668~1683 | 25.59 | — | 5.96 | — | 1.35 | 2.7 | 北3 攪乱層 |
| 16 | | 寛永通寶 | 真書 | Ⅲ期新寛永 1697~1747 1767~1781 | 22.21 | — | 6.36 | — | 0.91 | 1.9 | 北1 III層 |
| 17 | | 無文錢 | — | 不明 | 22.18 | — | 7.33 | — | 0.76 | 1.7 | 南2 攪乱層 |
| 18 | | 無文錢 | — | 不明 | 17.94 | — | 8.14 | — | 0.43 | 0.6 | 北3 攪乱層 |
| 19 | | 無文錢 | — | 不明 | 14.13 | — | 7.2 | — | 0.99 | 1.08 | 北4 攪乱層 |
| 20 | | 無文錢 | — | 不明 | 12.49 | — | 7.84 | — | 0.46 | 0.2 | 北4 IV層 |
| 21 | | 無文錢 | — | 不明 | 12.34 | — | 6.16 | — | 0.8 | 0.4 | 北4 攪乱層 |
| 22 | | 輪錢 | — | 不明 | 9.31 | — | 5.67 | — | 0.77 | 0.1 | 北2 III層 |
| 23 | | 輪錢 | — | 不明 | 10.5 | — | 7.13 | — | 0.44 | 0.2 | 南2 攪乱層 |
| 24 | | 輪錢 | — | 不明 | 6.91 | — | 4.67 | — | 0.6 | 0.1以下 | 埋土 |



第38圖 錢貨 (1)



13



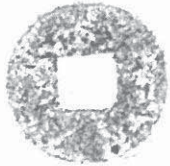
14



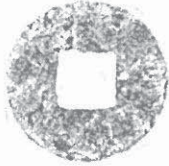
15



16



17



18



19



20



21



22



23



24



第39圖 錢貨 (2)

第14節 煙管・円盤状製品・貝製品・骨製品・石器・石製品・石造製品

(第35～37・57表、第40図、図版37)

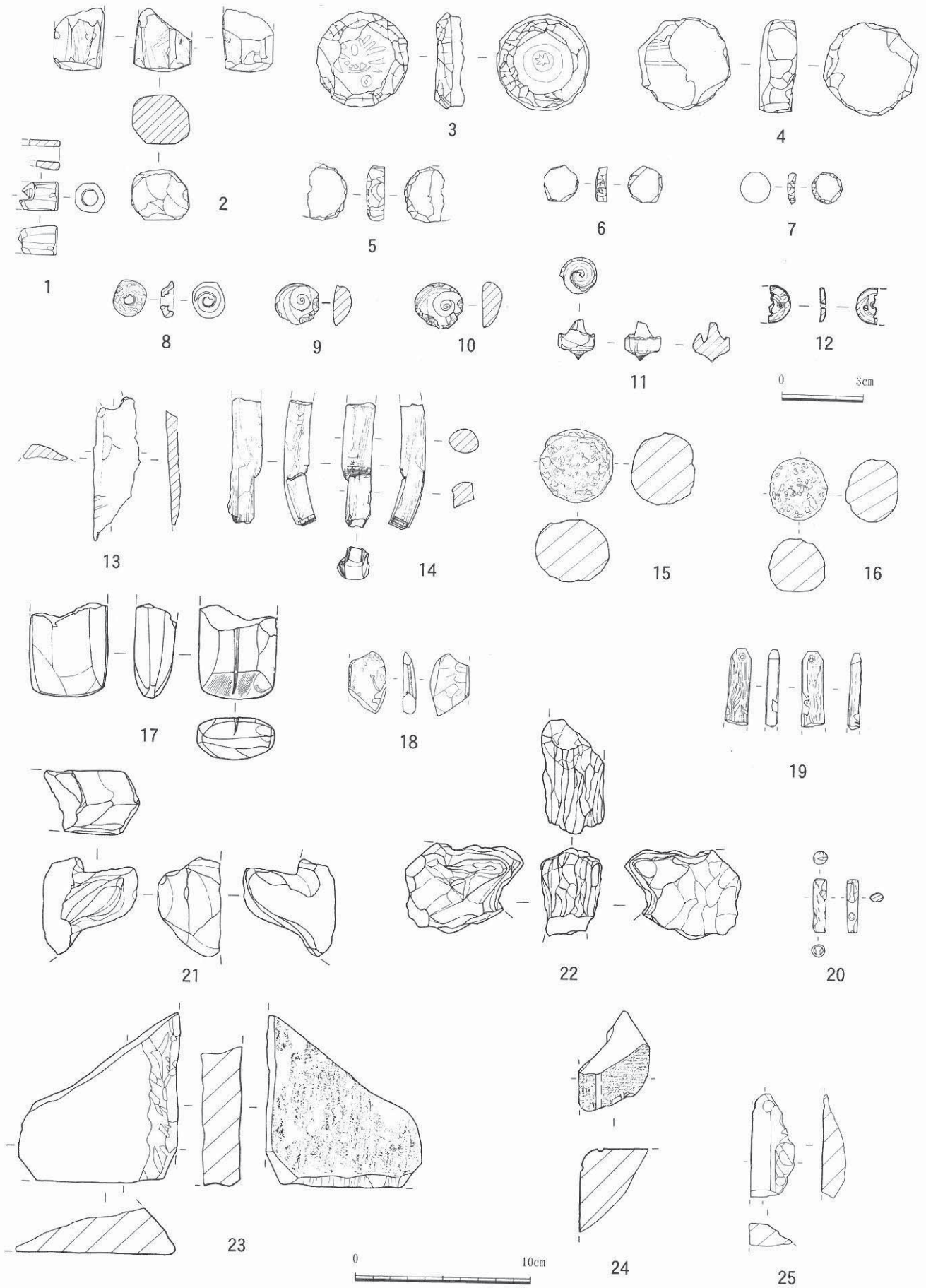
煙管は雁首(1)と雁首未製品(2)とがあり、(1)は沖縄産無釉陶器製、(2)は磚の転用加工未製品とともに八角形に面取りされている。円盤状製品は白磁(3、7)、明朝系灰瓦(4)、中国産褐釉陶器(5)、青磁(6)などを用いて製作されており、形状はすべて円形を呈する。貝製品にはマガキガイを用いたビード(8)、チョウセンサザエの縁辺部を打ち搔いた螺蓋製品(9、10)、マガキガイを用いた独楽(11)などがみられる。骨製品はボタン(12)、ウシと思われる骨を刃状に仕上げた製品(13)、ジュゴンの肋骨を断面方形に加工した未成品(14)などがある。石器、石製品、石造製品は石球(15、16)、石斧(17)、砥石(18、19)、石造製品(21～25)などが出土している。各資料の詳細は観察表に譲る。

第35表 煙管・円盤状製品・貝製品・骨製品・石器・石製品・石造製品観察一覧(1)

| 図・図版 番号 | 名称 | 材質 | 部位 ・ 残存 | 法量(mm・g) | | 観察事項 | 出土 地点・層 |
|-------------------|------------|----------------|---------------|---------------------------|------|---------------------------------------------------------|------------|
| | | | | 縦・横・高 (厚) | 重量 | | |
| 第40図 図版37 1 | 煙管 | 沖縄産 無釉陶器 | 雁首 | 縦(2.2) 横(1.6) (1.6) | 5.7 | 褐色を呈し、八角形に面取りされる。 | 北4 攪乱層 |
| 2 | 煙管 | 磚 | 未製品 | 縦(3.4) 横(3.2) (2.8) | 29.7 | 灰色の磚を雁首に転用加工途中の製品。八角形に面取りされるが、孔はあいていない。 | 北4 攪乱層 |
| 3 | 円盤状 製品 | 中国産白磁 | 完形 | 縦5.4 横5.3 1.7 | 46.7 | 皿の底部を利用したものと思われる。表面、裏面双方からの打割がみられ、整形は雑である。表面に花文が施されている。 | 北3 攪乱層 |
| 4 | 円盤状 製品 | 明朝系灰色瓦 | 完形 | 縦5.3 横5.1 2 | 51.7 | 表面、裏面双方からの打割がみられる。整形が雑なため、やや角ばった円形を呈する。 | 北4 Ⅲ層 |
| 5 | 円盤状 製品 | 褐釉陶器 (中国産) | 半欠 | 縦(3.2) 横(2.4) 1 | 9.4 | 3分の1が欠損している。表面・裏面双方からの打割がみられる。整形は丁寧で、円形を呈する。 | 南2 Ⅱ層 |
| 6 | 円盤状 製品 | 中国産青磁 | 完形 | 縦2.1 横2 0.7 | 3.2 | 表面・裏面双方からの打割がみられるが、表面からの打割がめだつ。整形が雑なため、いびつな円形を呈す。 | 南2 攪乱層 |
| 7 | 円盤状 製品 | 本土産白磁 | 完形 | 長1.8 短1.5 0.4 | 1.6 | 表面、裏面双方からの打割がみられる。整形は丁寧で、円形を呈する。 | 北2 攪乱層 |
| 8 | ビード | マガキガイ | 完形 | 幅 8.5～2.1 | 2.4 | 螺頭部を丁寧に研磨している。 | 南1 攪乱層 |
| 9 | 螺蓋 製品 | チョウセン サザエの蓋 | 完形 | 幅 2.3～2.5 | 7.5 | 縁辺部を主に裏面から打ち欠いている。 | 北2 攪乱層 |
| 10 | 螺蓋 製品 | チョウセン サザエの蓋 | 完形 | 幅 2.6～2.8 | 9.6 | 縁辺部を主に裏面から打ち欠いている。 | 北4 Ⅵ層 |
| 11 | 貝製品・ 独楽 | マガキガイ | 独楽 | 幅2.1 高2.3 | 6.9 | 体層部を打ち抜いて螺軸を残し、独楽状に整形する。 | 北2 Ⅱ層 |
| 12 | ボタン | 骨 | 半欠 | 縦1.4 横(0.8) (0.2) | 0.3 | 2分の1を欠損している。径2mの穴を4箇所穿孔する。表面、裏面とも丁寧に研磨されている。 | 客土 |
| 13 | 骨製品 | 骨(ウシ骨か) | 不明 | 縦(8.2) 横(2.0) (0.7) | 10.2 | 骨の両端部を打ち欠き、一方を尖らせることで刃状に仕上げている。上端部を半円形にくりぬいている。 | 南2 攪乱層 |

第36表 煙管・円盤状製品・貝製品・骨製品・石器・石製品・石造製品観察一覧(2)

| 図・図版 番号 | 名称 | 材質 | 部位 ・ 残存 | 法量(mm・g) | | 観察事項 | 出土 地点・層 |
|--------------------|------|-------------|---------------|---------------------------|------|------------------------------------------------------------------------|-------------------|
| | | | | 縦・横・高 (厚) | 重量 | | |
| 第40図 図版37 14 | 骨製品 | ジュゴンの 肋骨 | 未製品 | 縦(7.1) 横(1.7) (1.9) | 15.5 | 側面を削りだし、約半分まで断面方形に面取りしている。削り痕が明瞭に残るため未製品と思われる。用途不明。類似品が首里城管理用道路地区より出土。 | 南1 黒色土層 |
| 15 | 石球 | 石質不明 | 完形 | 4.2 4.1 3.7 | 46.7 | 形状はほぼ球形を呈するが、一部で平坦な面も見られる。敲打と研磨は全体的に施される。 | 北4 IV層 |
| 16 | 石球 | 石質不明 | 完形 | 3.6 3.2 3 | 20.8 | 形状は楕円形を呈する。全体的に敲打と研磨を施すが一部は強い研磨を施し平坦面を形成する。 | 北1 攪乱層 |
| 17 | 石斧 | 石質不明 | 基部 | - 4.4 2.4 | 96.9 | 磨製石斧の基部。比較的小型で全体的に丁寧な研磨を施す。砥石として転用されたためか表面には縦位に断面V字状の使用痕が確認できる。 | 北4 攪乱層 |
| 18 | 砥石 | 石質不明 | 端部 | - - - | 6.8 | 砥石と思われる資料である。2面は研磨され平滑である。表裏面は剥離が見られる。 | 南2 攪乱層 |
| 19 | 砥石 | 石質不明 | 端部 | - 1.2 6.5 | 7.4 | 砥石と思われる資料。断面形は長方形で側面は丁寧な研磨を施し平滑。上部は台形に成形され中央部に直径約3mmの円形の穿孔が施される。 | 南1 切石南 黒色土層 |
| 20 | 不明 | サングか | 完形 | - - - | 1.8 | 用途不明の製品。上下端部とも研磨される。全面に緑青色に変色し、鉄錆も付着。 | 南2 攪乱層 |
| 21 | 石造製品 | 細粒砂岩 | 不明 | - - - | 89.3 | 石造製品の装飾の一部と思われる資料。正面には中央に稜線を有する蓮華状の突起がある。全体に丁寧な研磨を施す。 | 北4 II層 |
| 22 | 石造製品 | 細粒砂岩 | 不明 | - - - | 112 | 石造製品の装飾の一部と思われる資料。正面には5条の沈線を掘り込む突起を有する。 | 北1 IV層 |
| 23 | 石造製品 | 細粒砂岩 | 角部 | - - - | 240 | 石造製品の未製品破片。側面には丸鑿による加工痕が粗く、裏・下面には鑿切りによる条痕が残り、角部に面取りが施される。全体形は不明。 | 北4 IV層 |
| 24 | 石造製品 | 細粒砂岩 | 角部 | - - - | 75 | 方形の石柱の一部と思われる資料。角は丸く成形され、縁辺は浅い段差を形成。側面の平坦面には横位の細かな条痕が見られる。 | 北4 IV層 |
| 25 | 石造製品 | 細粒砂岩 | 角部 | - - - | 20.9 | 柱状の石造製品の一部と思われる資料。側面は細かい斜位の条痕が見られる。正面は平坦に研磨され破断面には研磨を途中まで施し角を作り出している。 | 北4 攪乱層 |



第40図 煙管・円盤状製品・貝製品・骨製品・石器・石製品・石造製品

第15節 貝類遺存体 (第37・58・59表・図版38～40)

貝類は巻貝で47種、二枚貝で23種が得られているが、調査面積が小規模であることと、本調査区が廃棄場を含めた生活の場でなく、首里城下之御庭に位置する拝所としての機能を有すること及び、これら貝類が貝層を形成せず、出土量も多くないという点からも、周辺からの流れ込み等によりもたらされた可能性が考えられる。そのため、貝種や出土量から傾向等を分析するには試料不足といえるが、ここで出土量が多い貝類個体数をあげると、巻貝（完形+殻頂）ではカンギク（59点）、マガキガイ（17点）、オキナワヤマタニシ（323点）があり（第58表）、二枚貝（多い方の完形+殻頂）ではアラスジケマンガイ（46点）が多く出土している状況が見える（第59表）。

巻貝の中で、ヤコウガイは破片数が78点と多いが、殻頂部が3点であり個体数的に多いとは言い難い。また、オキナワヤマタニシの出土量は群を抜いているが（323点）、その生息域が陸域の林内・林縁部（生息地分類：V-8）にあることから、絵図記録等に見られる首里森御嶽に樹木が繁茂している点と、京の内という森林を擁した聖域が近接することで（第42図）、そこに生息していたオキナワヤマタニシが自然に混入した可能性や、後世の攪乱により混入したことも考えられる。なお、貝類生息地分類は下表を基に行った。

貝類生息地の分類（黒住1987）

| 外洋～内湾 | | 水深 | | 底質 | |
|-------|--------------|----|---------------------------|----|------------|
| I | 外洋・サンゴ礁域 | 0 | 潮間帯上部（Iではノッチ、IIIではマングローブ） | a | 岩盤 |
| | | 1 | 潮間帯中・下部 | b | 転石 |
| II | 内湾・転石地域 | 2 | 亜潮間帯上縁部（Iではイノー） | c | 岩礫底、砂泥底、砂底 |
| | | 3 | 干潟（Iにのみ適用） | d | マングローブ植物上 |
| III | 河口干潟・マングローブ域 | 4 | 礁斜面およびその下部 | e | 淡水の流入する礫底 |
| IV | 淡水域 | 5 | 止水 | | |
| | | 6 | 流水 | | |
| V | 陸域 | 7 | 林内 | | |
| | | 8 | 林内・林縁部 | | |
| | | 9 | 林縁部 | | |
| | | 10 | 海浜域 | | |
| VI | その他 | 11 | 打ち上げ物 | | |
| | | 12 | 化石 | | |

第16節 脊椎動物遺体 (第37・60～68表・図版41・42)

脊椎動物遺体についても、貝類遺存体同様に出土量が少なく、総数で144点となっている。その種別は魚類、爬虫類、鳥類、哺乳類であり、内訳はサカナ（56点）、ウミガメ（12点）、ニワトリ（8点）、トリ（2点）、ネズミ（5点）、ブタ（19点）、ウシ（38点）、ヤギ（3点）、不明（1点）となる。魚骨の種としては、ハタ科（6点）、クロダイ（1点）、ハマフエフキ（6点）、カンムリベラ（1点）、ブダイ類（7点）、不明（35点）である。しかし、これらの骨類についても、本調査区が生活の場でないことから、他地区からの混入の可能性も否めない。

第37表 首里森御嶽遺物出土状況

| 出土地 | | | 北1 | | | | | | | | | | | | | | | 北2 | | | | |
|---------|-------|---------|------|-----|----|-----|----------|---------|----------|--------|---------|------------|-----|-----|------|-----|---------|----|--|--|--|--|
| 種別 | 産地 | 種類 | 北1 | | | | | | | | | | | | | | | 北2 | | | | |
| | | | III層 | IV層 | V層 | VI層 | III層+IV層 | III層+V層 | III層+攪乱層 | IV層+V層 | IV層+VI層 | IV層+V層+VI層 | 攪乱層 | II層 | III層 | IV層 | II層+攪乱層 | | | | | |
| 陶磁器 | 中国産 | 青磁 | | 22 | 4 | 20 | | | | | 1 | | | 12 | 14 | 5 | | 1 | | | | |
| | | 白磁 | 3 | 4 | 1 | | | | | | | | | 4 | | 2 | | | | | | |
| | | 染付 | 1 | 3 | 4 | | | | | | | | | 13 | 2 | 2 | | | | | | |
| | | 褐釉 | 22 | 86 | 27 | 3 | 1 | | | | | 1 | | 39 | 27 | 18 | | | | | | |
| | | 瑠璃釉 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 三彩 | 4 | 4 | | | | | | | | | | 11 | 1 | | | | | | | |
| | | 施釉 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 黒釉陶器 | 1 | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 白地鉄絵 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 無釉陶器 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 鉄釉磁器 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | タイ産 | 褐釉陶器 | 3 | 25 | 4 | 1 | | | | | | | | 16 | 4 | 13 | | | | | | |
| | | 無釉陶器 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ベトナム産 | 染付 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 白磁 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 本土産 | 色絵 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 陶器 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 施釉 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 褐釉(サツマ) | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 印判染付 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 現代 | | | | 1 | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | |
| 施釉 | | | | 3 | | | | | | 1 | | 1 | 9 | 3 | 4 | | | | | | | |
| 沖繩産 | 無釉 | 6 | 5 | 3 | | | | | 1 | | | 10 | 1 | 4 | | | | | | | | |
| | 施釉 | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 産地不明 | 不明 | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | |
| | 不明 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 陶質土器 | | | | 1 | 1 | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | |
| 瓦質土器 | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 土器 | | | 7 | 17 | 5 | 10 | | | | | | 1 | | | | | | | | | | |
| カムイヤキ | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 埴塙 | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 高麗系瓦 | | | 2 | 9 | 6 | 1 | | | | | | 5 | 5 | 1 | | | | | | | | |
| 大和系瓦 | | | 1 | 4 | 1 | 1 | | | | | | 1 | 4 | | | | | | | | | |
| 大和系瓦・現代 | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | |
| 軒瓦 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 明朝系丸瓦 | | | 4 | 6 | 2 | | | | | | | 125 | 1 | | | | | | | | | |
| 明朝系平瓦 | | | 5 | 11 | 6 | | | | | | | 257 | 1 | | | | | | | | | |
| 埴 | | | 1 | 13 | 3 | | | | | | | 3 | 1 | | | | | | | | | |
| 金属製品 | | | | 16 | 1 | 2 | | | | | | 5 | 22 | | | | | | | | | |
| 銭貨 | | | 1 | 4 | | 2 | | | | | | 1 | 6 | 2 | | | | | | | | |
| 煙管 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 円盤状製品 | | | 2 | 2 | | 1 | | | | | | 1 | 1 | | | | | | | | | |
| 貝製品 | | | | | 1 | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | |
| 骨製品 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 石器 | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | |
| 石製品 | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 石造製品 | | | | 1 | | | | | | | | 1 | | | | 1 | | | | | | |
| 自然遺物 | 貝類 | 巻貝 | 4 | 13 | 7 | 2 | | | | | | | 7 | 18 | 3 | | | | | | | |
| | | 二枚貝 | 1 | 2 | 3 | | | | | | | | | 8 | 1 | | | | | | | |
| | 脊椎動物 | 魚 | 1 | | | 1 | | | | | | | 2 | 1 | | | | | | | | |
| | | ウミガメ | | 1 | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | ニワトリ | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | トリ | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | ネズミ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | ブタ | | 3 | | | | | | | | | | 2 | | | | | | | | |
| | | ウシ | | 3 | 1 | 2 | | | | | | | 2 | 2 | | | | | | | | |
| | | ヤギ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 不明 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | | | 71 | 259 | 87 | 49 | 1 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 528 | 127 | 55 | 1 | 1 | | | | | |

| 攪乱層 | 北3 | | | | | | 北4 | | | | | | 南1 | | | | | |
|-----|------|-----|-----|-----------------|------|-----|-----|------|-----|-----|------|------------------|-----------------|-----------------|-----|----|------|------|
| | III層 | IV層 | VI層 | IV層 + 攪乱層 | 栗石礫層 | 攪乱層 | II層 | III層 | IV層 | VI層 | VII層 | II層 + III層 | II層 + 攪乱層 | VI層 + 攪乱層 | 攪乱層 | 不明 | 黑色礫土 | 黑色土層 |
| 10 | 2 | 8 | | | | 18 | 4 | 3 | 2 | 11 | 12 | | | 1 | 16 | | | |
| 1 | | 4 | | | | 5 | | | | | | | | | 1 | | | |
| 2 | | 3 | 2 | | | 11 | 3 | 1 | | | | | | | 4 | | | |
| 25 | 11 | 36 | 2 | | 1 | 60 | 16 | 9 | 12 | 1 | 2 | | 2 | | 42 | | | |
| 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 | 1 | 3 | | | | 6 | | | | | | | | | 1 | | | |
| | | | | | | | 1 | 1 | | | | | | | | | | |
| | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | |
| 1 | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | |
| 6 | 4 | 8 | 2 | | | 13 | 5 | 8 | 2 | 2 | | | | | 14 | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | 3 | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | 3 | | | | | | | | 1 | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | |
| | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | 2 | | 1 | | | | | | | | | | |
| 1 | | | | | | 2 | | | | | | | | | | | | |
| | 1 | 4 | 1 | | | 15 | 5 | | | | | | | | 8 | | | |
| 2 | 2 | 4 | 1 | | | 20 | 3 | 4 | 1 | 1 | | | | | 7 | 1 | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 | 2 | 2 | 1 | | | 3 | 4 | | | | | | | | 2 | | | |
| 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 | 1 | 3 | 14 | | | 11 | 3 | 2 | | 2 | | | | | 4 | | 1 | 5 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 | 1 | 4 | | | | 15 | 5 | 5 | 2 | 1 | | | | | 7 | | | |
| 3 | 1 | 3 | | | | 4 | 1 | 5 | 1 | 1 | | | | | 3 | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 2 | | | | 4 | 2 | | | | | | | | 2 | | | |
| 1 | 8 | 17 | | 1 | | 71 | 25 | 1 | 2 | | | 1 | | | 12 | | | |
| 4 | 15 | 35 | 2 | | | 129 | 26 | 10 | 11 | 1 | | 1 | | | 13 | | | |
| 4 | 8 | 9 | 4 | | | 14 | 27 | 2 | 1 | 1 | | | | | 2 | | | |
| 6 | 2 | 2 | | | | 13 | 4 | 25 | 126 | 2 | | | | | 97 | | | |
| 1 | 1 | 4 | | | 1 | 5 | 8 | 9 | 7 | 3 | | | | | 18 | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | 2 | | | |
| 2 | 1 | | | | | 6 | 1 | 1 | | | | | | | 3 | | | |
| 2 | | | | | | | 1 | | | 1 | | | | | 2 | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | | | | | | 1 | | | | | | | | 1 | | | |
| | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | |
| | | 1 | | | | 4 | 1 | 1 | | | | | | | 1 | | | |
| 50 | | 17 | 4 | | | 13 | 9 | 9 | 2 | 4 | 1 | | | | 102 | | | 1 |
| 5 | | 7 | | | | 6 | 11 | 4 | 1 | 2 | 1 | | | | 15 | | | |
| 2 | 1 | | | | | 2 | 3 | 4 | | 1 | | | | | 12 | | | |
| 1 | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | 2 | 2 | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | |
| 1 | | | 1 | | | 1 | 2 | | 1 | | | | | | 5 | | | |
| 3 | | | | | | 1 | | | | | 1 | | | | 1 | | | |
| 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | |
| 143 | 64 | 176 | 34 | 1 | 2 | 454 | 183 | 107 | 172 | 34 | 18 | 2 | 2 | 1 | 400 | 1 | 1 | 7 |

| 出土地 | | グリッド 層序 | 南1 | | | | | | | 南2 | | | 南3 | 北1Ⅲ層 +北3攪 乱層 | 北1攪乱 層+ 北3Ⅲ層 | 北1攪乱 層+ 北3攪乱 層 | | |
|------|---------|------------|----|-----------|-------------|-------------|---------------------------|-----------------------------|-------------|--------------------|-----|------------|--------------------|--------------------|--------------------|-------------------------|---|---|
| 種別 | 産地 | | 種類 | 切石 黒色土 | 切石西 黒色礫層 | 切石南 黒色土層 | 切石石列 西黒褐色 (赤土) 層 | 汚れパ イ ア 東黒褐 色礫層 | 南西隅 黒色土層 | 南西隅 黒色土+ 攪乱層 | 攪乱層 | 黒色土 (上) | 小岩盤東 切石列 内込層 | 攪乱層 | 小岩盤東 褐色礫層 | | | |
| 陶磁器 | 中国産 | 青磁 | | | 2 | | | | | 4 | 1 | | 36 | | | | | |
| | | 白磁 | | | 3 | | 1 | | | 2 | | | 6 | | | | | |
| | | 染付 | | | | | | | | 1 | | | 9 | | | | | 1 |
| | | 褐釉 | | 2 | | | | 1 | | | 11 | | | 88 | | | | |
| | | 瑠璃釉 | | | | | | | | | | | | 1 | | | 1 | |
| | | 三彩 | | | | | | | | | 2 | | | 4 | | | | |
| | | 施釉 | | | | 1 | | | | | | | | 1 | | | | |
| | | 黒釉陶器 | | | | | | | | | | | | 1 | | | | |
| | | 白地鉄絵 | | | | | | | | | | | | | 1 | | | |
| | 無釉陶器 | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | |
| | 鉄釉磁器 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | タイ産 | 褐釉陶器 | | | | | | | | | 7 | | 2 | 32 | | | | |
| | | 無釉陶器 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ベトナム産 | 染付 | | | | | | | | | | | | | 1 | | | |
| | | 白磁 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 本土産 | 色絵 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 陶器 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 施釉 | | | | | | | | | 2 | | | | | | | |
| | | 褐釉(サツマ) | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 印判染付 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 沖縄産 | 現代 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 施釉 | | | | 1 | | | | | 4 | | | 9 | | | 1 | | |
| 産地不明 | 無釉 | | | | 1 | | | | | 7 | | | 9 | | | | | |
| | 施釉 | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | |
| | 陶質土器 | | 1 | | | | | 1 | | 2 | | | 11 | | | | | |
| | 瓦質土器 | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | |
| | 土器 | | 4 | 33 | 6 | | | 8 | | 42 | | 3 | 11 | | | | | |
| | カムイヤキ | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | |
| | 埴埴 | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | |
| | 高麗系瓦 | | | | | | | | | 12 | | | 24 | | | | | |
| | 大和系瓦 | | | | | | | | | 5 | | | 17 | | | | | |
| | 大和系瓦・現代 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 軒瓦 | | | | | | | | | 2 | | | 1 | | | | | |
| | 明朝系丸瓦 | | | | | | | | | 14 | | | 10 | | | | | |
| | 明朝系平瓦 | | | | | | | | | 30 | | | 14 | | | | | |
| | 埴 | | | | | | | | | 2 | | | | | | | | |
| | 金属製品 | | | | | | | | | | | 4 | 342 | 8 | | | | |
| | 銭貨 | | | | | | | | | 1 | | 1 | 8 | | | | | |
| | 煙管 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 円盤状製品 | | | | | | | | | 1 | | | 2 | | | | | |
| | 貝製品 | | | | 1 | | | | | 2 | | | | | | | | |
| | 骨製品 | | | | | | | | | 1 | | | 1 | | | | | |
| | 石器 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 石製品 | | | | 1 | | | | | | | | 2 | | | | | |
| | 石造製品 | | | | | | | | | | | | 2 | | | | | |
| 自然遺物 | 貝類 | 巻貝 | | 34 | 45 | | | | 1 | 19 | | 1 | 328 | | | | | |
| | | 二枚貝 | | 2 | 16 | | | | | 11 | | 1 | 57 | | | | | |
| | 脊椎動物 | 魚 | | 1 | | | | | 1 | 6 | | | 17 | | | | | |
| | | ウミガメ | 1 | | | | | | 1 | 3 | | | 3 | | | | | |
| | | ニワトリ | | | | | | | | 2 | | | 1 | | | | | |
| | | トリ | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | ネズミ | | 2 | 1 | | | | | | | | 1 | | | | | |
| | | ブタ | | | | | | | | | | 1 | 2 | | | | | |
| | | ウシ | 1 | 3 | 10 | | | | 2 | 1 | 4 | | | 1 | | | | |
| | | ヤギ | | | | | | | | | 1 | | | 1 | | | | |
| 不明 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | | | 2 | 49 | 114 | 6 | 2 | 14 | 1 | 202 | 2 | 12 | 1056 | 8 | 1 | 1 | 1 | |

| 北1IV層 + 北4IV層 | 北1IV層 + 北4II層 | 北1IV層 + 北3VI層 | 北2II層 + 南2攪亂 層+ 北4攪亂 層 | 南1攪亂 層 + 北3IV層 | 礫層 岩盤北東 | 礫層 | 客土 | 表採 | 不明 | 捨土 | 攪亂層 | 合計 |
|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------------------------|-------------------------|------------|----|----|----|----|----|-----|------|
| | | | | | | | 8 | 1 | 5 | 2 | | 225 |
| | | | | | | | 2 | | 2 | | | 41 |
| | | | | | | | 8 | | 1 | | | 71 |
| 1 | | | 1 | | | | 2 | | 2 | 1 | 1 | 552 |
| | | | | | | | | | | | 1 | 4 |
| | | | | | | 1 | | | | 1 | | 39 |
| | | | | | | | | | | | | 4 |
| | | | | | | | | | | | | 4 |
| | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | | | | | | | | | | | 2 |
| | | | | | | | 1 | | | | | 1 |
| | | | | 1 | | | 8 | | | | 2 | 182 |
| | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | | | | | | | | 2 | | | 5 |
| | | | | | | | | | | | | 6 |
| | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | | | | | | 2 | | | | | 2 |
| | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | | | | | | | | | | | 2 |
| | | | | | | | | | | | | 4 |
| | | | | | | | | | | | | 3 |
| | | | | | | | 1 | | | | | 3 |
| | | | | | | | 6 | | 2 | | | 78 |
| | | | | | | 2 | 1 | | | | | 96 |
| | | | | | | | | | | | | 2 |
| | | | | | | | 1 | | 2 | | | 5 |
| | 1 | | | | | | | | 1 | | | 36 |
| | | | | | | | | | | | 1 | 4 |
| | | 1 | | | | | | | 8 | | | 205 |
| | | | | | | | | | | | | 2 |
| | | | | | | | | | | | | 2 |
| | | | | | | | 2 | | | | 2 | 112 |
| | | | | | | | 1 | | | | 1 | 58 |
| | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | | | | | | 3 | | | | | 16 |
| | | | | | | 1 | 4 | | | | 2 | 308 |
| | | | | | | 2 | 15 | | | | 2 | 590 |
| | | | | | | 2 | 2 | | 1 | | | 100 |
| | | | | | | | 1 | | | | 5 | 683 |
| | | | | | | 1 | 4 | | 1 | | | 89 |
| | | | | | | | | | | | | 2 |
| | | | | | | | | | | | | 24 |
| | | | | | | | | | | | | 11 |
| | | | | | | | 1 | | | | | 4 |
| | | | | | | | | | | | | 3 |
| | | | | | | | | | | | | 5 |
| | | | | | | | | | | | | 13 |
| | | | | | 6 | | 4 | | 2 | | | 706 |
| | | | | | | | 2 | | 2 | | 2 | 160 |
| | | | | | | | | | | | 1 | 56 |
| | | | | | | | | | | | | 12 |
| | | | | | | | | | | | | 8 |
| | | | | | | | | | | | | 2 |
| | | | | | | | | | | | | 5 |
| | | | | | | | | | | | | 19 |
| | | | | | | | | | | | | 38 |
| | | | | | | | | | | | | 3 |
| | | | | | | | | | | | | 1 |
| 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 6 | 9 | 79 | 1 | 31 | 4 | 20 | 4613 |

第38表 中国産青磁出土状況一覽

| 出土地 | | | グリッド | | | 北1 | | | | 北2 | | | | | | | | | |
|--------|--------|---------|---------|--------|--------|-----|-----|----|-----|-----|--------|-----|------|---------|-----|------|--|---|--|
| 器種 | 部位 | 器形 | 外体面 | 内体面 | 施文方法 | 内底面 | IV層 | V層 | VI層 | 攪乱層 | IV層+V層 | II層 | III層 | II層+攪乱層 | 攪乱層 | III層 | | | |
| 碗 | 口縁部 | 直口 | 蓮弁文 | 無文 | 片切彫 | | | | | | | 1 | | | | | | | |
| | | | 蓮弁文 | 無文 | 丸子彫・線描 | | | | | | | | | | | | | 1 | |
| | | | 雷文 | 草花文 | ヘラガキ | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 雷文・蓮弁文 | 雷文・樽 | 印花 | | | | 1 | | | | | | | | | | |
| | | | 雷文・蓮弁文 | 草花文 | ヘラガキ | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 雷文・蓮弁文 | 雷文・ヲ蓮弁文 | 印花 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 雷文・ヲ蓮弁文 | 草花文 | 片切彫 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 雷文・蓮弁文 | 圈線二条 | 片切彫 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 雷文・波濤文 | 雷文・波濤文 | 印花 | | | | | | | | | | 1 | | | | | |
| | | 雷文 | 不明 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 圈線二条 | 不明 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 波濤文 | 無文 | | | | | | | | 1 | | | | | | | | |
| | | 不明 | 雷文 | 印花 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 無文 | 無文 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 外反 | 蓮弁文 | 草花文 | 片切彫 | | | | | | | | | | 1 | | | | |
| | 蓮弁文 | | | 無文 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 蓮弁文 | | | 草花文 | 片切彫 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 蓮弁文 | | | 不明 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 蓮弁文 | | | 草花文 | 片切彫 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 有文文様不明 | | 有文文様不明 | 四方樽 | 片切彫 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 有文文様不明 | 雷文・波濤文 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 有文文様不明 | 圈線一条 | ヘラガキ | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 有文文様不明 | 無文 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 有文文様不明 | 無文 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 玉縁 | 蓮弁文 | 草花文 | 片切彫 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 蓮弁文 | 草花文 | 片切彫 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 蓮弁文 | 草花文 | 片切彫 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 蓮弁文 | 無文 | 線描 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 蓮弁文 | 不明 | 片切彫 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 胴部 | 蓮弁文 | 蓮弁文 | 草花文 | 片切彫 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 蓮弁文 | 草花文 | 片切彫 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 蓮弁文 | 無文 | 線描 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 蓮弁文 | 不明 | 片切彫 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 蓮弁文 | 草花文 | 片切彫 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 有文文様不明 | 有文文様不明 | 人形手 | 型押 | | | | | | | | | | | | | | |
| 有文文様不明 | | | 無文 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 有文文様不明 | | | 無文 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 有文文様不明 | | | 無文 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 有文文様不明 | | | 不明 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 底面 | | 蓮弁文 | 草花文 | 片切彫 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 蓮弁文 | 草花文 | 片切彫 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 蓮弁文 | 無文 | 線描 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 蓮弁文 | 不明 | 片切彫 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 蓮弁文 | 草花文 | 片切彫 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 底面 | 蓮弁文 | 不明 | 型押 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 蓮弁文 | 不明 | 無文 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 蓮弁文 | 不明 | 無文 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 蓮弁文 | 不明 | 無文 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 蓮弁文 | 不明 | 無文 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 底面 | 草花文 | 有文文様不明 | 印花文 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 無文 | 無文 | 圈線一条 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 無文 | 不明 | 印花文 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 無文 | 不明 | 無文 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 不明 | 不明 | 印花文 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 小碗 | 口縁部 | 直口 | 蓮弁文 | 草花文 | 片切彫 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 外反 | 無文 | 無文 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 胴部 | 口縁~底面 | 口折 | 蓮弁文 | 無文 | 片切彫 | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口折 | 蓮弁文 | 無文 | 片切彫 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 外反 | 蓮弁文 | 無文 | 外片・内丸 | | | | | | | | | | | | | | |
| 皿 | 口縁部 | 綾花 | 有文文様不明 | 無文 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 草花文 | 草花文 | 片切彫 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 胴部 | 蓮弁文 | 草花文 | 片切彫 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 蓮弁文 | 無文 | 片切彫 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 蓮弁文 | 草花文 | 片切彫 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 底面 | 蓮弁文 | 蓮弁文 | 有文文様不明 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 不明 | 不明 | 無文 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 小皿 | 胴部 | 蓮弁文 | 不明 | 片切彫 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 蓮弁文 | 不明 | 片切彫 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 口縁部 | 鐔縁 | 蓮弁文 | 無文 | 片切彫 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 蓮弁文 | 無文 | 片切彫 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 不明 | 蓮弁文 | 線描 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 盤 | 胴部 | 蓮弁文 | 草花文 | 片切彫 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 有文文様不明 | 蓮弁文 | 丸子彫 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底面 | 蓮弁文 | 有文文様不明 | 丸子彫 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 鉢 | 胴部 | 蓮弁文 | 不明 | 片切彫 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 不明 | 不明 | 片切彫 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底面 | 蓮弁文 | 不明 | 片切彫 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 蓮弁文 | 不明 | 片切彫 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 蓮弁文 | 不明 | 片切彫 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 酒会壺 | 胴部 | 草花文 | 草花文 | 片切彫 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 蓮弁文 | 蓮弁文 | 線描 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底面 | 草花文 | 無文 | 片切彫 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 有文文様不明 | 無文 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 蓮弁文 | 蓮弁文 | 線描 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 瓶か壺 | 胴部 | 蓮弁文 | 草花文 | 片切彫 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 有文文様不明 | 蓮弁文 | 丸子彫 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底面 | 蓮弁文 | 不明 | 丸子彫 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 不明 | 不明 | 丸子彫 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 不明 | 不明 | 丸子彫 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 鉢 | 甲部 | 蓮弁文 | 不明 | 印花文 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 不明 | 不明 | 印花文 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 底面 | 蓮弁文 | 不明 | 印花文 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 不明 | 不明 | 印花文 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 不明 | 不明 | 印花文 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 不明 | 口縁部 | 直口 | 無文 | 無文 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 蓮弁文 | 無文 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 胴部 | 蓮弁文 | 無文 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 蓮弁文 | 無文 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 蓮弁文 | 不明 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

凡例：
 被熱した遺物含む
 被熱した遺物

第39表 中国産白磁出土状況一覧

| 出土地 グリッド | 層序 部位 | 北1 | | | | 北2 | | 北3 | | 北4 | | 南1 | | 南2 | | 客土 | 不明 | 合計 |
|-------------|----------|----|----|----|-----|----|-----|----|-----|-----|-------------|---------------------|-----|-----|---|----|----|----|
| | | Ⅲ層 | Ⅳ層 | Ⅴ層 | 攪乱層 | Ⅲ層 | 攪乱層 | Ⅳ層 | 攪乱層 | 攪乱層 | 切石南 黒色土層 | 汚れバイ ブ東黒褐 色礫層 | 攪乱層 | 攪乱層 | | | | |
| | | 器種 | 部位 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 碗 | 口縁部 | | 2 | | | | | | 1 | | 2 | | | 1 | | 2 | | 8 |
| | 胴部 | 2 | | 1 | 1 | 2 | | 1 | 1 | 1 | | 1 | 1 | 1 | | | | 12 |
| | 底部 | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 小碗 | 口縁部 | | | | | | | | 1 | | 1 | | | 1 | | | | 3 |
| | 胴部 | | | | | | | 2 | | | | | | 2 | | | | 4 |
| 小杯 | 口縁部 | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 皿 | 口縁部 | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | | | 2 |
| | 胴部 | | | | | | | 1 | | | | | | 1 | | | | 2 |
| | 底部 | | | | 1 | | 1 | | 2 | | | | | | | | | 4 |
| 香炉 | 底部 | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | 1 |
| 不明 | 胴部 | 1 | 1 | | 1 | | | | | | | | | | | | | 3 |
| 合計 | | 3 | 4 | 1 | 4 | 2 | 1 | 4 | 5 | 1 | 3 | 1 | 2 | 6 | 2 | 2 | | 41 |

第40表 中国産染付出土状況一覧

| 出土地 グリッド | 層序 部位 | 北1 | | | | 北2 | | | 北3 | | | 北4 | | | 南1 | 南2 | 北1 攪乱層 + 北3 攪乱層 | 客土 | 不明 | 合計 |
|-------------|----------|----|----|----|-----|----|----|-----|----|----|-----|----|----|-----|-----|-----|-----------------------------|----|----|----|
| | | Ⅲ層 | Ⅳ層 | Ⅴ層 | 攪乱層 | Ⅱ層 | Ⅲ層 | 攪乱層 | Ⅳ層 | Ⅴ層 | 攪乱層 | Ⅱ層 | Ⅲ層 | 攪乱層 | 攪乱層 | 攪乱層 | | | | |
| | | 器種 | 部位 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 碗 | 口縁部 | | | | 5 | | | | | | 3 | 1 | | 1 | 1 | 2 | 1 | | | 14 |
| | 胴部 | | 2 | 3 | 8 | 1 | 2 | 1 | 2 | 2 | 2 | 2 | 1 | 2 | | | | 5 | | 33 |
| | 底部 | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | 1 |
| 小碗 | 口縁部 | | | | | | | 1 | | | | | | | | 2 | | | | 3 |
| 皿 | 口縁部 | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | 1 |
| | 胴部 | | | | 1 | | 1 | | | | 3 | | | | | 2 | | 1 | | 8 |
| | 底部 | 1 | 1 | | | | | | | | | | | 1 | | 1 | | 1 | 1 | 6 |
| 鉢 | 口縁部 | | | | | | | | | | 1 | | | | | 2 | | | | 3 |
| 瓶か壺 | 胴部 | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | 2 |
| 合計 | | 1 | 3 | 4 | 13 | 2 | 2 | 2 | 3 | 2 | 11 | 3 | 1 | 4 | 1 | 9 | 1 | 8 | 1 | 71 |

第41表 中国産褐釉陶器出土状況一覽

| 出土地 グリッド | | | 北1 | | | | | | 北2 | | | | 北3 | | | | 北4 | | |
|----------|-----|-----|----|----|----|----|-------|-------|-----|----|----|-----|----|----|----|------|-----|----|----|
| | | | Ⅲ層 | Ⅳ層 | Ⅴ層 | Ⅵ層 | Ⅲ層+Ⅳ層 | Ⅵ層+Ⅳ層 | 攪乱層 | Ⅱ層 | Ⅲ層 | 攪乱層 | Ⅲ層 | Ⅳ層 | Ⅵ層 | 累石礫層 | 攪乱層 | Ⅱ層 | Ⅲ層 |
| 産地 | 器種 | 部位 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 中国産 | 壺 | 口縁部 | | 2 | | | | | | 1 | 2 | | | | | | | | |
| | | 胴部 | 22 | 79 | 27 | 3 | 1 | 1 | 36 | 23 | 17 | 24 | 10 | 33 | 2 | 1 | 55 | 16 | 8 |
| | | 底部 | | 4 | | | | | | 1 | | | | 2 | | | | | |
| | | 耳 | | 1 | | | | | | 2 | | | | | | | | | |
| | 甕 | 口縁部 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 播鉢 | 胴部 | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | |
| | 鍋 | 胴部 | | | | | | | | | | 1 | 1 | | | | | | |
| | 袋物 | 胴部 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 瓶か壺 | 胴部 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 不明 | 胴部 | | | | | | | | 1 | 1 | | | 1 | | | 4 | | 1 |
| 合計 | | | 22 | 86 | 27 | 3 | 1 | 1 | 39 | 27 | 18 | 25 | 11 | 36 | 2 | 1 | 60 | 16 | 9 |

| 出土地 グリッド | | | 北4 | | | | | 南1 | | | 南2 | | 北2Ⅱ層+南2攪乱層+北4攪乱層 | | 北1Ⅳ層+北4Ⅳ層 | | 客土 | 捨土 | 攪乱層 | 不明 | 合計 | | |
|----------|-----|-----|----|----|----|--------|-----|-------------------|-----------------|-----|-----|---|------------------|---|-----------|---|----|----|-----|----|----|-----|----|
| | | | Ⅳ層 | Ⅵ層 | Ⅶ層 | 攪乱層+Ⅱ層 | 攪乱層 | 汚ハイ 東黒褐色 礫層 | 切石西 黒色礫 層 | 攪乱層 | 攪乱層 | | | | | | | | | | | | |
| 産地 | 器種 | 部位 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 中国産 | 壺 | 口縁部 | 1 | | 1 | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | 8 | |
| | | 胴部 | 10 | 1 | 1 | | 38 | 1 | 1 | 10 | 86 | | | | | 2 | 1 | 1 | 2 | | | 512 | |
| | | 底部 | 1 | | | 2 | 3 | | | | | 1 | | | | | | | | | | | 14 |
| | | 耳 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 |
| | 甕 | 口縁部 | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | 1 |
| | 播鉢 | 胴部 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | 鍋 | 胴部 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| | 袋物 | 胴部 | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | 瓶か壺 | 胴部 | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | 1 |
| | 不明 | 胴部 | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | 9 |
| 合計 | | | 12 | 1 | 2 | 2 | 42 | 1 | 1 | 11 | 88 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 2 | | 1 | 2 | | 552 | |

第42表 その他の輸入陶磁器出土状況一覧

| 出土地 | | グリッド | | 北1 | | | | | | 北2 | | 北3 | | | | | |
|-------|----------|---------|-----|-----|--|------|-----|----|-----|---------|-----|-----|-----|------|-----|-----|---|
| 産地 | 種類 | 器種 | 部位 | 層序 | | III層 | IV層 | V層 | VI層 | III層+V層 | 攪乱層 | II層 | 攪乱層 | III層 | IV層 | 攪乱層 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 中国産 | 瑠璃釉 | 小碗 | 口～底 | | | | | | | | | | | 1 | | | |
| | | | 口縁部 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 胴部 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 三彩 | 水注 | 胴部 | | | 3 | | | | | | 3 | 1 | | | 2 | 6 |
| | | | 肩部 | | | | | | | | | 1 | | | | | |
| | | | 底部 | | | 1 | | | | | | | | | | | |
| | | | 注口 | | | | | | | | | 1 | | | | | |
| | | | 取手 | | | | | | | | | | | | | 1 | |
| | | | 水滴 | 胴部 | | | 4 | | | | | | 2 | | | | 1 |
| | 施釉 | 不明 | 底部 | | | | | | | | 4 | | | | | | |
| | | | 口縁部 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 胴部 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 黒釉陶器(天目) | 小碗 | 胴部 | | | 1 | | | | | | | | | | | |
| | | | 胴部 | | | | | | 1 | | | | | | | | |
| 白地鉄絵 | 壺 | 胴部 | | | | | | | | | | | 1 | | | | |
| | | 胴部 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 無釉陶器 | 袋物 | 底部(直興窯) | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 底部(直興窯) | | | | | | | | | | | | | | | |
| 鉄釉磁器 | 小碗 | 口縁部 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁部 | | | | | | | | | | | | | | | |
| タイ産 | 無釉 | 壺 | 口縁部 | | | | | | | | | 1 | | | | | |
| ベトナム産 | 染付 | 不明 | 碗 | 口縁部 | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 壺 | 底部 | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 瓶か壺 | 胴部 | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 壺 | 胴部 | | | | | | | | | | | | | |
| 産地不明 | 不明 | 不明 | 胴部 | | | | 2 | | | | | | | | | | |
| | | | 胴部 | | | | | | | | 1 | | | | | | |
| | | | 胴部 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 底部 | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | | | | | | 5 | 4 | 2 | 1 | 1 | 11 | 2 | 1 | 2 | 3 | 7 | |

| 出土地 | | グリッド | | 北4 | | 南1 | | 南2 | | 北1 攪乱層+III層 | | 客土 | | 捨土 | | 不明 | | 合計 | |
|-------|----------|---------|-----|-----|--|-----|------|-----|---------|-------------|-----|-----|-----|----|----|----|----|----|----|
| 産地 | 種類 | 器種 | 部位 | 層序 | | II層 | III層 | 攪乱層 | 切石南黒色土層 | 攪乱層 | 攪乱層 | 攪乱層 | 攪乱層 | 客土 | 捨土 | 不明 | 不明 | 合計 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 中国産 | 瑠璃釉 | 小碗 | 口～底 | | | | | | | | | | | | | | | 1 | |
| | | | 口縁部 | | | | | | | | | 1 | | 1 | | | | | 2 |
| | | | 胴部 | | | | | | | | | | | 1 | | | | | 1 |
| | 三彩 | 水注 | 胴部 | | | | | | | | 2 | 4 | | | | | 1 | | 22 |
| | | | 肩部 | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | | 底部 | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | | 注口 | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | | 取手 | | | | | | | | | 1 | | | | | | | 2 |
| | | | 水滴 | 胴部 | | | | | | | | | | | | | | | 6 |
| | 施釉 | 不明 | 底部 | | | | | | | | | | | | 1 | | | 6 | |
| | | | 口縁部 | | | | | | | | 1 | | | | | | | 1 | |
| | | | 胴部 | | | | | | | | | | 1 | | | | | 1 | |
| | 黒釉陶器(天目) | 小碗 | 胴部 | | | | | | | | | | 1 | | | | | 3 | |
| | | | 胴部 | | | | | | | | | | | | | | | 1 | |
| 白地鉄絵 | 壺 | 胴部 | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | |
| | | 胴部 | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | |
| 無釉陶器 | 袋物 | 底部(直興窯) | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | |
| | | 底部(直興窯) | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | |
| 鉄釉磁器 | 小碗 | 口縁部 | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | |
| | | 口縁部 | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | |
| タイ産 | 無釉 | 壺 | 口縁部 | | | | | | | | | | | | | | 1 | | |
| ベトナム産 | 染付 | 不明 | 碗 | 口縁部 | | | | | | | | | | | | | 2 | 2 | |
| | | | 壺 | 底部 | | | 1 | | | | | | | | | | | 1 | |
| | | | 瓶か壺 | 胴部 | | | 1 | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | | 壺 | 胴部 | | | 1 | | | | | | | | | | | | 1 |
| 産地不明 | 不明 | 不明 | 胴部 | | | | | | | | | | | | | | | 2 | |
| | | | 胴部 | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | | 胴部 | | | | | | | | | | | | | | | 2 | 2 |
| | | | 底部 | | | | | | | | | | | | 1 | | | | 1 |
| 産地不明 | 不明 | 不明 | 底部 | | | | | | | | | | | | | | 1 | | |
| | | | 不明 | | | | | | | | | | | | | | | 1 | |
| 合計 | | | | | | 4 | 1 | 2 | 1 | 2 | 9 | 1 | 1 | 3 | 1 | 4 | 68 | | |

第43表 タイ産褐釉陶器出土状況一覧

| 出土地 グリッド 層序 | | | 北1 | | | | | 北2 | | | 北3 | | | | 北4 |
|----------------|----|-----|----|----|----|----|-----|----|----|-----|----|----|----|-----|----|
| | | | Ⅲ層 | Ⅳ層 | Ⅴ層 | Ⅵ層 | 攪乱層 | Ⅱ層 | Ⅲ層 | 攪乱層 | Ⅲ層 | Ⅳ層 | Ⅵ層 | 攪乱層 | Ⅱ層 |
| 産地 | 器種 | 部位 | | | | | | | | | | | | | |
| タイ産 | 壺 | 口縁部 | | | | | | | | 1 | | | | | |
| | | 胴部 | 3 | 22 | 4 | 1 | 15 | 4 | 11 | 4 | 4 | 8 | 1 | 13 | 5 |
| | | 底部 | | 2 | | | 1 | | | | 1 | | | | |
| | | 頸部 | | 1 | | | | | 1 | 1 | | | | | |
| | | 耳 | | | | | | | | | | | | | |
| 不明 | 胴部 | | | | | | | | | | | 1 | | | |
| 合計 | | | 3 | 25 | 4 | 1 | 16 | 4 | 13 | 6 | 4 | 8 | 2 | 13 | 5 |

| 出土地 グリッド 層序 | | | 北4 | | | | 南1 | 南2 | | 南1 攪乱層 +北3 Ⅳ層 | 客土 | 攪乱層 | 合計 | |
|----------------|----|-----|----|----|----|-----|-----|------------------------|-----|------------------|----|-----|----|-----|
| | | | Ⅲ層 | Ⅳ層 | Ⅵ層 | 攪乱層 | 攪乱層 | 小岩盤 東切石 列内込 層 | 攪乱層 | | | | | |
| 産地 | 器種 | 部位 | | | | | | | | | | | | |
| タイ産 | 壺 | 口縁部 | | | | | | | | 1 | | 1 | 3 | |
| | | 胴部 | 8 | 2 | 2 | 14 | 7 | 2 | 30 | | 1 | 7 | 2 | 170 |
| | | 底部 | | | | | | | | | | | | 4 |
| | | 頸部 | | | | | | | | | | | | 3 |
| | | 耳 | | | | | | | | 1 | | | | 1 |
| 不明 | 胴部 | | | | | | | | | | | | 1 | |
| 合計 | | | 8 | 2 | 2 | 14 | 7 | 2 | 32 | | 1 | 8 | 2 | 182 |

第44表 本土産陶磁器出土状況一覧

| 出土地 | | | グリッド 層序 | 北1 | | | 北2 | 北3 | | 北4 |
|----------------|-----|------|------------|-----|----|-----|-----|----|-----|----|
| 種類 | 器種 | 部位 | | IV層 | V層 | 攪乱層 | 攪乱層 | Ⅲ層 | 攪乱層 | Ⅱ層 |
| 染付 | 皿 | 胴部 | 1 | | | | | | | |
| | 不明 | 胴部 | | | | | | | | 3 |
| 白磁 | 不明 | 口縁部 | | | | | | | | |
| 色絵 | 不明 | 胴部 | | | | | | | | |
| 施釉陶器 | 土鍋 | 蓋・摘み | | | | | | 1 | | |
| | 小碗 | 口～底部 | | | | | | | | |
| | 皿 | 口縁部 | | | | | | | | |
| 褐釉 | サツマ | 壺 | 1 | | | | | | 2 | |
| 印判染付 (型紙摺り) | 不明 | 口縁部 | | | | | 1 | | | |
| | | 胴部 | | | | | | | 2 | |
| 現代 | 不明 | 口縁部 | | 1 | | | | | | |
| | | 胴部 | | | | | | | | |
| | | 底部 | | | | 1 | | | | |
| 合計 | | | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 4 | 3 | |

| 出土地 | | | グリッド 層序 | 北4 | | 南1 | 南2 | 客土 | 合計 |
|----------------|-----|------|------------|----|-----|-----|-----|----|----|
| 種類 | 器種 | 部位 | | Ⅲ層 | 攪乱層 | 攪乱層 | 攪乱層 | | |
| 染付 | 皿 | 胴部 | | | | | | | 1 |
| | 不明 | 胴部 | | 1 | | 1 | | | 5 |
| 白磁 | 不明 | 口縁部 | | 1 | | | | | 1 |
| 色絵 | 不明 | 胴部 | | | | | 2 | | 2 |
| 陶器 | 土鍋 | 蓋・摘み | | | | | | | 1 |
| 施釉 | 小碗 | 口～底部 | | | | 1 | | | 1 |
| | 皿 | 口縁部 | | | | 1 | | | 1 |
| 褐釉 | サツマ | 壺 | 1 | | | | | | 4 |
| 印判染付 (型紙摺り) | 不明 | 口縁部 | | | | | | | 1 |
| | | 胴部 | | | | | | | 2 |
| 現代 | 不明 | 口縁部 | | | | | | | 1 |
| | | 胴部 | | | | | 1 | | 1 |
| | | 底部 | | | | | | | 1 |
| 合計 | | | 1 | 2 | 2 | 1 | 3 | | 22 |

第45表 沖縄産施釉陶器出土状況一覧

| 出土地 | グリッド | 層序 | 北1 | | | | 北2 | | 北3 | | |
|-----|------|----|----|--------|------------|-----|-----|------|------|-----|-----|
| | | | V層 | IV層+V層 | IV層+V層+VI層 | 攪乱層 | II層 | III層 | III層 | IV層 | VI層 |
| 器種 | 部位 | | | | | | | | | | |
| 碗 | 口縁部 | | | | | | | | | | 1 |
| | 胴部 | | | | | | | | | 1 | 2 |
| 小碗 | 口～底 | | | | | | | | | | |
| | 口縁部 | 1 | | | | 2 | 1 | | 2 | | |
| | 胴部 | | | | 1 | | 3 | | 1 | | 1 |
| 皿 | 底部 | 1 | | | | | | | | | 1 |
| | 胴部 | | | | | | | | | | 1 |
| 鉢 | 底部 | | | | 1 | | | | | | 2 |
| | 胴部 | | | | | | | | | | 1 |
| 急須 | 口縁部 | | | | | | | | | | 1 |
| | 耳 | | | | 1 | | | | | | |
| 急須蓋 | 縁部 | | | | | | | | | | |
| 瓶 | 口～縁部 | | | | | | | | | | |
| | 胴部 | 1 | | | | | | | | | 1 |
| 瓶か壺 | 胴部 | | | | | | | | | | |
| 鍋 | 口縁部 | | | 1 | | | | | | | |
| | 底部 | | | | | | | | | | |
| 土鍋 | 胴部 | | | | 1 | | | | | | |
| 火炉 | 口縁部 | | | | | | | | | | 1 |
| | 胴部 | | | | | | | | | | |
| | 底部 | | | | | | | | | | |
| 袋物 | 胴部 | | | 1 | 1 | | | | 1 | | 3 |
| 不明 | 胴部 | | | | 4 | 1 | | | | | |
| 合計 | | 3 | 1 | 1 | 9 | 3 | 4 | 1 | 4 | 1 | 15 |

| 出土地 | グリッド | 層序 | 北4 | | 南1 | | 南2 | 北1 III層 + 北3 攪乱層 | 客土 | 不明 | 合計 |
|-----|------|----|-----|-----|-----|---------|-----|------------------------|----|----|----|
| | | | II層 | 攪乱層 | 攪乱層 | 切石南黒色土層 | 攪乱層 | | | | |
| 器種 | 部位 | | | | | | | | | | |
| 碗 | 口縁部 | | | | | | | | | | 1 |
| | 胴部 | | | 1 | 1 | | 1 | | | | 6 |
| 小碗 | 口～底 | | | | | | 1 | | | | 1 |
| | 口縁部 | 2 | | | 1 | | 1 | | 1 | | 11 |
| | 胴部 | 1 | | 1 | | | 1 | | 1 | | 10 |
| 皿 | 底部 | 1 | 1 | | | | | | | 1 | 5 |
| | 胴部 | | | | | | | | | | 1 |
| 鉢 | 口縁部 | | | | | | | | | 1 | 1 |
| | 胴部 | | | 1 | | | | | | | 2 |
| | 底部 | | | | | | | | | | 1 |
| 急須 | 口縁部 | | | | | | | | | | 1 |
| | 耳 | | | | | | | | | | 1 |
| 急須蓋 | 縁部 | | | 1 | | | | | | | 1 |
| 瓶 | 口～縁部 | | | | | | | 1 | | | 1 |
| | 胴部 | | | | | | | | | | 2 |
| 瓶か壺 | 胴部 | | | | | 1 | | | | | 1 |
| 鍋 | 口縁部 | | | | | | | | | | 1 |
| | 底部 | | | | | | 1 | | | | 1 |
| 土鍋 | 胴部 | | | | | | | | | | 1 |
| 火炉 | 口縁部 | | | | | | | | | | 1 |
| | 胴部 | | | | | | 1 | | 1 | | 2 |
| | 底部 | 1 | | | | | | | | | 1 |
| 袋物 | 胴部 | | | | | | | | 1 | | 7 |
| 不明 | 胴部 | | | 4 | 2 | | 2 | | 2 | | 15 |
| 合計 | | 5 | 8 | 4 | 1 | 9 | 1 | 6 | 2 | | 78 |

第46表 沖縄産無釉陶器出土状況一覧

| 出土地 | グリッド | 層序 | 北1 | | | | | 北2 | | | 北3 | | | |
|-----|------|----|----|----|----|----------------|-----|----|----|-----|----|----|----|-----|
| | | | Ⅲ層 | Ⅳ層 | Ⅴ層 | Ⅲ層 + 攪乱層 | 攪乱層 | Ⅱ層 | Ⅲ層 | 攪乱層 | Ⅲ層 | Ⅳ層 | Ⅴ層 | 攪乱層 |
| 器種 | 部位 | | | | | | | | | | | | | |
| 碗 | 口縁部 | | 1 | | | | 1 | | 1 | | | | | |
| | 口～底 | | | | | | | | | | | | | |
| | 胴部 | | | | | | | | | | | | 1 | |
| | 底部 | | | | | | | | 1 | | | | 1 | |
| 皿 | 口縁部 | | 1 | | | | | 1 | | | | 1 | | |
| | 口～底 | | | | | | | | | | 1 | | | |
| 播鉢 | 口縁部 | | | | | | | | | | | | 1 | |
| | 胴部 | | | | | | 1 | | | | | | | |
| 鉢 | 口縁部 | | | | 1 | | | | 1 | | | | 3 | |
| | 胴部 | 1 | | | | | | | | | | | | |
| 火炉 | 口縁部 | | | | | | | | | | | | 1 | |
| | 胴部 | | | | | | | | | | | | 2 | |
| 瓶 | 口縁部 | 1 | | | | | | | | | | | 1 | |
| | 胴部 | | | | | | 4 | | 1 | | | 1 | 1 | |
| 瓶か壺 | 口縁部 | | | | | | | | | | 1 | 1 | 2 | |
| | 胴部 | 3 | 3 | 1 | | | 4 | | | 1 | 1 | 2 | 5 | |
| | 底部 | | | | | | | | | 1 | | | | |
| 壺 | 胴部 | 1 | | 1 | 1 | | | | | 1 | | | 1 | |
| | 耳 | | | | | | | | | | | | 1 | |
| 蓋 | 甲部 | | | | | | | | | | | | | |
| 不明 | 胴部 | | | | | | | | | | | | 1 | |
| 合計 | | | 6 | 5 | 3 | 1 | 10 | 1 | 4 | 2 | 2 | 4 | 1 | 20 |

| 出土地 | グリッド | 層序 | 北4 | | | | | | 南1 | | 南2 | 客土 | 礫層 | 合計 |
|-----|------|----|----|----|----|----|-----|----|---------|-----|-----|----|----|----|
| | | | Ⅱ層 | Ⅲ層 | Ⅳ層 | Ⅴ層 | 攪乱層 | 不明 | 切石南黒色土層 | 攪乱層 | 攪乱層 | | | |
| 器種 | 部位 | | | | | | | | | | | | | |
| 碗 | 口縁部 | 1 | | | 1 | | | 1 | 1 | | | | 1 | 8 |
| | 口～底 | | | | | | | 1 | | | | | | 1 |
| | 胴部 | | | | | | | | | 1 | | | | 2 |
| | 底部 | | | | | | | | | | | | | 2 |
| 皿 | 口縁部 | | | | | | | 1 | | | | | | 4 |
| | 口～底 | | | | | | | 1 | | | | | | 1 |
| 播鉢 | 口縁部 | | | | | | | | | | 1 | | | 2 |
| | 胴部 | | | | | | | | | | 1 | | | 2 |
| 鉢 | 口縁部 | | 2 | | | | | | | | 1 | | | 8 |
| | 胴部 | | | | | | | | | | 2 | | | 3 |
| 火炉 | 口縁部 | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | 胴部 | | | | | | | | | | | | | 2 |
| 瓶 | 口縁部 | | 1 | | | | | 3 | | | | | | 6 |
| | 胴部 | | | | | | | | | 2 | | 1 | 1 | 13 |
| 瓶か壺 | 口縁部 | | | | | | | | | 1 | | | | 1 |
| | 胴部 | | | | | 1 | | | 1 | 4 | 1 | | | 27 |
| | 底部 | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 壺 | 胴部 | 1 | | | | | | | | | 1 | | | 7 |
| | 耳 | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 蓋 | 甲部 | | | | | | | | | | 1 | | | 1 |
| 不明 | 胴部 | 1 | 1 | | | | | | | | | | | 3 |
| 合計 | | | 3 | 4 | 1 | 1 | 7 | 1 | 1 | 7 | 9 | 1 | 2 | 96 |

第47表 陶質土器・瓦質土器・土器・カムイヤキ・埴塙出土状況一覧

| 出土地 | グリッド | 層序 | 北1 | | | | | 北2 | | 北3 | | | | 北4 | | | | | | |
|-------|------|-----|----|----|----|----|-----|----|-----|----|----|----|-----|----|----|----|-----|---|---|---|
| | | | Ⅲ層 | Ⅳ層 | Ⅴ層 | Ⅵ層 | 攪乱層 | Ⅱ層 | 攪乱層 | Ⅲ層 | Ⅳ層 | Ⅵ層 | 攪乱層 | Ⅱ層 | Ⅲ層 | Ⅵ層 | 攪乱層 | | | |
| 種類 | 器種 | 部位 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 陶質土器 | 碗 | 口縁部 | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | |
| | 鉢 | 口縁部 | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | |
| | | 胴部 | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | |
| | | 底部 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 鍋 | 胴部 | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | |
| | 鍋の蓋 | 縁部 | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | |
| | 土瓶 | 耳 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 胴部 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 口縁部 | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 火炉 | 胴部 | | | 1 | | | | | 1 | 1 | 1 | 2 | 1 | | | 1 | | | 1 |
| 底部 | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | |
| 口縁部 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 土鍋 | 胴部 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 胴部 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | |
| 不明 | 胴部 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | |
| 合計 | | | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 2 | 2 | 2 | 1 | 3 | 4 | 0 | 0 | | 2 | |
| 瓦質土器 | 不明 | 胴部 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 不明 | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | |
| 合計 | | | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 0 | |
| 土器 | 口縁部 | | | | | 1 | | | | | | | 1 | | | | | | | |
| | 胴部 | 6 | 16 | 5 | 9 | 1 | | | 3 | 1 | 3 | 11 | 11 | 3 | 2 | 2 | | 3 | | |
| | 底部 | 1 | 1 | | | | | | | | | 2 | | | | | | 1 | | |
| 合計 | | | 7 | 17 | 5 | 10 | 1 | 0 | 3 | 1 | 3 | 14 | 11 | 3 | 2 | 2 | | 4 | | |
| カムイヤキ | 甞 | 胴部 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 不明 | 胴部 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | | | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 0 | |
| 埴塙 | 不明 | 底部 | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 胴部 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | | | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 0 | |

| 出土地 | グリッド | 層序 | 南1 | | | | | | | 南2 | | 北1Ⅳ層 + 北4Ⅱ層 | 北1Ⅳ層 + 北3Ⅵ層 | 攪乱層 | 不明 | 合計 | | | | |
|-------|------|-----|------|------|---------|---------|--------------|--------|-----|------------|-----|-------------|-------------|-----|----|----|---|---|-----|----|
| | | | 黒色土層 | 黒色礫土 | 切石西黒色礫層 | 切石南黒色土層 | 切石列西黒褐色(赤土)層 | 南西隅黒色土 | 攪乱層 | 小岩盤東切石列内込層 | 攪乱層 | | | | | | | | | |
| 種類 | 器種 | 部位 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 陶質土器 | 碗 | 口縁部 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | 鉢 | 口縁部 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | 胴部 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| | | 底部 | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | 1 |
| | 鍋 | 胴部 | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | |
| | 鍋の蓋 | 縁部 | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | |
| | 土瓶 | 耳 | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | 1 |
| | | 胴部 | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | 1 |
| | | 口縁部 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| | 火炉 | 胴部 | | | | 1 | | | | | | | 3 | | | | | | | 13 |
| 底部 | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | 2 | |
| 口縁部 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | |
| 土鍋 | 胴部 | | | | | | | | | | 1 | 1 | | | | | | 1 | 8 | |
| | 胴部 | | | | | | | | | | 1 | 1 | 5 | | | | | 1 | 1 | |
| 不明 | 胴部 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | |
| 合計 | | | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 2 | 0 | 11 | 1 | 0 | 0 | 1 | | | 36 | |
| 瓦質土器 | 不明 | 胴部 | | | | | | | | 1 | | | | | | | 1 | | 3 | |
| | | 不明 | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | |
| 合計 | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | | | | 4 | |
| 土器 | 口縁部 | | | | | | | | | 4 | | | | | | | | | 6 | |
| | 胴部 | 4 | 1 | 4 | 29 | 6 | 8 | 35 | 3 | 10 | | | 1 | | | | 8 | | 185 | |
| | 底部 | 1 | | | 4 | | | 3 | | 1 | | | | | | | | | 14 | |
| 合計 | | | 5 | 1 | 4 | 33 | 6 | 8 | 42 | 3 | 11 | 0 | 1 | 0 | 8 | | | | 205 | |
| カムイヤキ | 甞 | 胴部 | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | 1 | |
| | 不明 | 胴部 | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | |
| 合計 | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | | 2 | |
| 埴塙 | 不明 | 底部 | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | |
| | | 胴部 | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | 1 |
| 合計 | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | | 2 | |

第48表 高麗系瓦出土状況一覧

| 出土地 グリッド 層序 | | | 北1 | | | | | 北2 | | | 北3 | | | |
|-------------------|-------|--------------|----|----|----|----|-----|----|----|-----|----|----|-----|---|
| | | | Ⅲ層 | Ⅳ層 | Ⅴ層 | Ⅵ層 | 攪乱層 | Ⅱ層 | Ⅲ層 | 攪乱層 | Ⅲ層 | Ⅳ層 | 攪乱層 | |
| 種類 | 部位 | 文様 | | | | | | | | | | | | |
| 丸瓦 | 側面破片 | 羽状打捺文 | | | | | | | 1 | | | | | |
| | | 上下端破片 | | | | | | 1 | | | | | | |
| | 筒部破片 | 玉縁 | | | | | | | | | 1 | | | |
| | | 羽状打捺文 | | | | | | 1 | | | | | 2 | |
| 小計 | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | 1 | 0 | 0 | 2 | |
| 平瓦 | 広端片 | 羽状打捺文 | | | | | | 1 | | | | | | |
| | 狭端片 | | | 1 | | | | | | | | | | |
| | | 羽状打捺文 | | | | | | | | | | | 1 | |
| | 狭端右片 | 羽状打捺文 | | | | | | 1 | | | | | | |
| | 側面破片 | | | | | | | | 1 | | | | | |
| | | 格子状目 | | 1 | | | | | | | | | | |
| | | 天 | | | | | | | | | | | 1 | |
| | 上下端破片 | 羽状打捺文 | 1 | 3 | | | | | | | | 1 | | |
| | | 上 | | | | | | | | | | | | |
| | | 下 | | | | | | 1 | | | | | | |
| | 筒部破片 | 羽状打捺文 | | | | | | | | | | | 1 | |
| | | 有孔 | | | 1 | | | | | | | | | |
| | | 大天 | | | 1 | | | | | 1 | | | | |
| | | 癸酉年 高麗瓦匠造 | | | | | | | | | | | 2 | |
| 羽状打捺文 | | 1 | 3 | 3 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | 8 | | |
| 小計 | | | 2 | 8 | 5 | 1 | 5 | 2 | 1 | 2 | 1 | 4 | 12 | |
| 細片 | | | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 合計 | | | 2 | 9 | 6 | 1 | 5 | 5 | 1 | 3 | 1 | 4 | 15 | |

| 出土地 グリッド 層序 | | | 北4 | | | | | 南1 | 南2 | 攪乱層 | 客土 | 合計 | |
|-------------------|-------|--------------|----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|----|----|-----|
| | | | Ⅱ層 | Ⅲ層 | Ⅳ層 | Ⅵ層 | 攪乱層 | 攪乱層 | 攪乱層 | | | | |
| 種類 | 部位 | 文様 | | | | | | | | | | | |
| 丸瓦 | 側面破片 | 羽状打捺文 | | 1 | | | | | | 1 | | 1 | 4 |
| | | 上下端破片 | | | | | | | 1 | | | | 1 |
| | 筒部破片 | 玉縁 | | | | | | | | | | | 1 |
| | | 羽状打捺文 | | | | | | | | 3 | | | 6 |
| 小計 | | | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5 | 0 | 1 | 13 | |
| 平瓦 | 広端片 | 羽状打捺文 | 1 | | | | | | | | | | 2 |
| | 狭端片 | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | 羽状打捺文 | | | | | | | | 1 | | | 2 |
| | 狭端右片 | 羽状打捺文 | | | | | | | | | | | 1 |
| | 側面破片 | | | | | | | | | 1 | | | 2 |
| | | 格子状目 | | | | | | | | | | | 1 |
| | | 天 | | | | | | | | | | | 1 |
| | 上下端破片 | 羽状打捺文 | 1 | 1 | | | | | 1 | 1 | | 1 | 11 |
| | | 上 | | | | | | | | | | | 1 |
| | | 下 | 1 | | | | | | | | | | 2 |
| | 筒部破片 | 羽状打捺文 | | | | | | | | | | | 1 |
| | | 有孔 | | | | | | | | | | | 1 |
| | | 大天 | | | | | | | | | | | 1 |
| | | 癸酉年 高麗瓦匠造 | | | | | | | | | | 1 | 3 |
| 羽状打捺文 | | 1 | 3 | 2 | 1 | 6 | 11 | 12 | 1 | | | 59 | |
| 小計 | | | 4 | 4 | 2 | 1 | 6 | 12 | 15 | 2 | 1 | 90 | |
| 細片 | | | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 4 | 0 | 0 | | 9 |
| 合計 | | | 5 | 5 | 2 | 1 | 7 | 12 | 24 | 2 | 2 | | 112 |

第49表 大和系瓦出土状況一覧

| 出土地 | | | グリッド | | 北1 | | | | | 北2 | | 北3 | | |
|------|-------|-------|------|-----|----|-----|-----|-----|-----|------|-----|-----|--|--|
| 種類 | 部位 | 文様 | III層 | IV層 | V層 | VI層 | 攪乱層 | II層 | 攪乱層 | III層 | IV層 | 攪乱層 | | |
| 軒丸瓦 | | 巴 | | | | | | | | | | | | |
| 軒平瓦 | | | | | | | | | | | | | | |
| 丸瓦 | 側面破片 | 羽状打捺文 | 1 | | | | | | | | | | | |
| | | 網目打捺文 | | | 1 | 1 | | | | | | | | |
| | 筒部破片 | 羽状打捺文 | | | | | | 1 | | | | | | |
| | | 網目打捺文 | | | | | | | | | | 1 | | |
| その他 | | | | | | | | | | | | 1 | | |
| 小計 | | | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | | |
| 平瓦 | 広端左片 | | | | | | | | | | | 1 | | |
| | 広端右片 | | | | | | | | | | | 1 | | |
| | 側面破片 | | | 1 | | | | | | | | 1 | | |
| | 上下端破片 | 上 | | | | | | | | | | | | |
| | 下 | | | | | | | | | | | | | |
| 筒部破片 | | | | 3 | | | 1 | 2 | 3 | 1 | | 3 | | |
| 小計 | | | 0 | 4 | 0 | 0 | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 4 | | |
| 雁振瓦 | 玉縁有り | | | | | | | 1 | | | | | | |
| 合計 | | | 1 | 4 | 1 | 1 | 1 | 4 | 3 | 1 | 3 | 4 | | |

| 出土地 | | | グリッド | | 北4 | | | | | 南1 | 南2 | 客土 | 攪乱層 | 合計 |
|------|-------|-------|------|------|-----|-----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|----|
| 種類 | 部位 | 文様 | II層 | III層 | IV層 | VI層 | 攪乱層 | 攪乱層 | 攪乱層 | | | | | |
| 軒丸瓦 | | 巴 | | | | | | | 1 | | | | | 1 |
| 軒平瓦 | | | | | | | | | 0 | | | | | 0 |
| 丸瓦 | 側面破片 | 羽状打捺文 | | 1 | | | 1 | | 1 | | 1 | | | 4 |
| | | 網目打捺文 | | | | | | 1 | | | 1 | | | 2 |
| | 筒部破片 | 羽状打捺文 | | | | | | 1 | | | 1 | | | 3 |
| | | 網目打捺文 | | | | | | 1 | | | 1 | | | 1 |
| その他 | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 小計 | | | 0 | 1 | 0 | 1 | 3 | 1 | 3 | 0 | 1 | | 15 | |
| 平瓦 | 広端左片 | | | | | | | | 1 | | | | | 2 |
| | 広端右片 | | | 1 | | | | | | 1 | | | | 2 |
| | 側面破片 | | | 2 | | | | | 1 | 4 | | | | 10 |
| | 上下端破片 | 上 | | | | | | | | 3 | | | | 3 |
| | 下 | | | | | | | | | 1 | | | | 1 |
| 筒部破片 | | | 1 | 1 | 1 | | | 1 | 6 | | | | 23 | |
| 小計 | | | 1 | 4 | 1 | 0 | 0 | 3 | 14 | 1 | 0 | | 41 | |
| 雁振瓦 | 玉縁有り | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 合計 | | | 1 | 5 | 1 | 1 | 3 | 5 | 17 | 1 | 1 | | 58 | |

第50表 大和系瓦（現代）出土状況一覧

| 出土地 | グリッド | 北1 | 合計 |
|----------|------|-----|----|
| 種類・部位・層序 | | 攪乱層 | |
| 平瓦 | 筒部破片 | 1 | 1 |
| 合計 | | 1 | 1 |

第51表 軒瓦出土状況一覧

| 出土地 | | | | グリッド | | 北3 | | 北4 | | 南1 | 南2 | 客土 | 合計 |
|-----|----|----|-----|------|-----|-----|-----|-----|-----|----|----|----|----|
| 種類 | 部位 | 分類 | 層序 | IV層 | 攪乱層 | II層 | 攪乱層 | 攪乱層 | 攪乱層 | | | | |
| 軒丸瓦 | 灰色 | 瓦当 | I | 1 | | | | | | | | | 1 |
| | | | II | 1 | | 1 | | 1 | | | | 3 | |
| | | | 不明 | | 2 | | | | 1 | | | | 3 |
| | 赤色 | 瓦当 | III | | 2 | 1 | | | | | | | 3 |
| | | | 不明 | | | | 1 | | | | | 2 | 3 |
| | | | 側面 | | | | | 1 | | | | | 1 |
| 小計 | | | | 2 | 4 | 2 | 2 | 1 | 1 | 2 | 14 | | |
| 軒平瓦 | 赤色 | 瓦当 | 不明 | | | | | 1 | | | | 1 | |
| 合計 | | | | 2 | 4 | 2 | 2 | 2 | 1 | 3 | 16 | | |

分類凡例：上原静分類
 I：軒丸（灰）第I文様系IB03
 II：軒丸（灰）第III文様系III08
 III：軒丸（赤）第IV文様系C02

第53表 明朝系平瓦出土状況一覽

| 出土地 | | | | グリッド | | 北1 | | 北2 | | 北3 | | 北4 | | | | 南1 | 南2 | 磔層 | 客土 | 攪乱層 | 合計 | | | | | | | | | | |
|-------------------|--------|-----------|---------|---------|---------|--------|------|----|-----|-----|-----|------|-----|----|-----|-----|------|-----|----|----------|-----|-----|-----|----|----|-----|-----|----|----|----|----|
| 種類・部位・分類・面取り幅・付着物 | | | | 層序 | | III層 | IV層 | V層 | 攪乱層 | II層 | 攪乱層 | III層 | IV層 | V層 | 攪乱層 | II層 | III層 | IV層 | V層 | II層+III層 | 攪乱層 | 攪乱層 | 攪乱層 | 磔層 | 客土 | 攪乱層 | 合計 | | | | |
| 灰色 | 広端 | aタイプ | 2~3cm未満 | 右片 | 漆喰付着 | 有 | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | |
| | | | 3~4cm未満 | 左片 | 漆喰付着 | 有 | 1 | | 2 | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | 4 | | |
| | | | 不明 | 右片 | 漆喰付着 | 有 | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | |
| | | | | 左片 | 漆喰付着 | 有 | | | | 1 | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | 1 | |
| | | | bタイプ | 3~4cm未満 | 右片 | 漆喰付着 | 有 | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | 1 | |
| | | | | 不明 | 左片 | 漆喰付着 | 有 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | |
| | | 右片 | | | 漆喰付着 | 無 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | |
| | | 紐圧痕無し・小破片 | | 左片 | 漆喰付着 | 無 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | |
| | | 不明 | | 3~4cm未満 | 左片 | 漆喰付着 | 無 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | |
| | | | | 幅広帯状 | 左片 | 漆喰付着 | 無 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | |
| | | 狭端 | | 不明 | 左片 | 漆喰付着 | 有 | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 4 | | |
| | | | | | 右片 | 漆喰付着 | 有 | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 | | |
| | 側面破片 | | | | 上 | 漆喰付着 | 有 | 1 | | 6 | | | 2 | | | | 7 | 3 | | | | | | | | 2 | 2 | | 1 | 24 | |
| | | | | | 下 | 漆喰付着 | 有 | 1 | | 3 | | | 4 | 12 | | | 3 | 5 | 2 | 1 | 1 | | | 2 | 4 | | | | 4 | 42 | |
| | 上下端破片 | | | | 上 | 漆喰付着 | 有 | 2 | 1 | 2 | | | | | | | 2 | 3 | | | | | | | | | | 1 | 2 | 14 | |
| | | | | | 下 | 漆喰付着 | 有 | | | 3 | | | 3 | | | | | 4 | | | 2 | | | | | | 2 | 4 | 2 | 20 | |
| | 筒部破片 | | | 二重円状 | 刻印 | 漆喰付着 | 有 | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | |
| | | | | | 刻印 | 漆喰付着 | 無 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | |
| | | | | 筒部破片 | | 漆喰付着 | 有 | 1 | 1 | 2 | 4 | | | 1 | 2 | 1 | 5 | 1 | 2 | | | | | | | | | | 1 | 22 | |
| | | | | | | マンガン付着 | 有 | 1 | 1 | 2 | 6 | | | 3 | 2 | 4 | | 13 | 4 | 5 | 4 | | | | 2 | 5 | 3 | | | 55 | |
| | | | | | | 漆喰付着 | 有 | | | | | 1 | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | 3 |
| | | | | | | マンガン付着 | 有 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 平瓦 | 広端 | aタイプ | 2~3cm未満 | 左片 | 漆喰付着 | 有 | | | 3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | |
| | | | | 右片 | 漆喰付着 | 有 | | | | 5 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 6 | | |
| 3~4cm未満 | | | | 左片 | 漆喰付着 | 有 | | | | 8 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 10 | |
| | | | | 左片+右片 | 漆喰付着 | 有 | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | |
| 不明 | | | | 右片 | 漆喰付着 | 有 | | | | 4 | | | 1 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | 7 | |
| | | | | 右片 | 漆喰付着 | 無 | | | | 3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 | |
| bタイプ | | | 3~4cm未満 | 右片 | 漆喰付着 | 有 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | |
| | | | 不明 | 左片 | 漆喰付着 | 有 | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 | | |
| | | | | 右片 | 漆喰付着 | 有 | 1 | | | 6 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 11 | | |
| | | | 筒部破片 | | 漆喰付着 | 有 | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 | |
| | | | | | マンガン付着 | 有 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | | 狭端 | aタイプ | 3~4cm未満 | 右片 | 漆喰付着 | 有 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | |
| 右片 | | 漆喰付着 | | | | 有 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | |
| 不明 | | 左片 | | | 漆喰付着 | 有 | | | | | | | | | | | 2 | | | | | | | | | | | | 6 | | |
| | | 右片 | | | 漆喰付着 | 有 | | | | 4 | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | 3 | | |
| | | | | | 漆喰付着 | 有 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | |
| | | | | | マンガン付着 | 有 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 筒部破片 | | | | 漆喰付着 | 有 | | | | 18 | | | 1 | | | 3 | | | | | | | | | | | | | | 22 | | |
| | | | | | 無 | | | | 3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 | |
| | | | | 側面破片 | | 漆喰付着 | 有 | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | | | | | マンガン付着 | 有 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | 漆喰付着 | 有 | | | | 21 | | | | 1 | | 2 | | | 1 | | | | | | | | | 2 | | 26 |
| | | | | | | マンガン付着 | 有 | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 側面破片 | | | 漆喰付着 | 有 | 2 | | | 44 | | | 1 | | | 12 | | | | | | | | | | 1 | 3 | | | 63 | | | |
| | 無 | | | 1 | | | 8 | | | 2 | | | | 9 | | | | 1 | | | | 1 | 1 | 1 | | | 24 | | | | |
| | マンガン付着 | | 有 | | | | 4 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 4 | | |
| | | | 無 | | | | 4 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 5 | | |
| | 上下端破片 | | | 上 | 漆喰付着 | 有 | 1 | | 12 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 17 | | |
| | | | | 下 | 漆喰付着 | 有 | | | 8 | | | | 1 | | | 4 | 1 | | | | | | | 2 | | | 1 | | 17 | | |
| | | 漆喰付着 | 有 | | | | 1 | 12 | | | 2 | | | 3 | | | | | | | | | | | | | 18 | | | | |
| | | | 無 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | | | |
| 筒部破片 | | 漆喰付着 | 有 | 2 | | | 33 | | | 1 | 1 | | 14 | | | | | | | | | 1 | 2 | | | 1 | 56 | | | | |
| | | | 無 | | | | 7 | | | | | | | | 12 | | | | 1 | | | 1 | 1 | | | 4 | 27 | | | | |
| 飾瓦 灰色 | 雲形 | 漆喰付着 | 有 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | |
| | | | 有 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | |
| 合計 | | | | | | 5 | 11 | 6 | 257 | 1 | 4 | 15 | 35 | 2 | 129 | 26 | 10 | 11 | 1 | 1 | 13 | 30 | 14 | 2 | 15 | 2 | 590 | | | | |

第54表 埴出土状況一覧

| 出土地 グリッド 種類・形状・色調・厚さ | | | | 北1 | | | | 北2 | | 北3 | | | | |
|-------------------------|----|----|---|------|-----|----|-----|-----|-----|------|-----|-----|-----|---|
| | | | | III層 | IV層 | V層 | 攪乱層 | II層 | 攪乱層 | III層 | IV層 | VI層 | 攪乱層 | |
| 埴 | 方形 | 灰色 | 中 | | | | | | | | 1 | 2 | 1 | |
| | | 褐色 | 中 | | | | | | | | | | | |
| | 三角 | 灰色 | 中 | | 2 | | 1 | 1 | 3 | 3 | 1 | 1 | | |
| | | | 薄 | | | | | | | 1 | | | | |
| | 有段 | 褐色 | 中 | | | | | | | | | | | |
| | | | 中 | | 1 | | 1 | | | | | | | |
| | 不明 | 灰色 | 厚 | | | | | | | | | | | 2 |
| | | | 中 | 1 | 7 | 3 | 2 | | 2 | 5 | 4 | 1 | 9 | |
| | | 褐色 | 中 | | 2 | | | | 1 | | | | | 1 |
| | | | 薄 | | 1 | | | | | | | | | |
| 合計 | | | | 1 | 13 | 3 | 3 | 1 | 4 | 8 | 9 | 4 | 14 | |

| 出土地 グリッド 種類・形状・色調・厚さ | | | | 北4 | | | | 南1 | | 礫層 | 客土 | 不明 | 合計 | | |
|-------------------------|----|----|---|-----|------|-----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|----|---|
| | | | | II層 | III層 | IV層 | VI層 | 攪乱層 | 攪乱層 | | | | | | |
| 埴 | 方形 | 灰色 | 中 | 2 | | | | | | | 1 | 1 | 8 | | |
| | | 褐色 | 中 | 1 | | | | | | | | | | 1 | |
| | 三角 | 灰色 | 中 | 7 | | | | | 1 | | | | | 20 | |
| | | | 薄 | | | | | | | | | | | | 1 |
| | 有段 | 褐色 | 中 | 2 | 1 | | | | | | | | | 3 | |
| | | | 中 | | | | | | | | | | | | 2 |
| | 不明 | 灰色 | 厚 | | | | | | 1 | | | | | 3 | |
| | | | 中 | 14 | 1 | 1 | 1 | 1 | | 1 | 1 | | | 54 | |
| | | 褐色 | 中 | 1 | | | | | 1 | 1 | | | | | 7 |
| | | | 薄 | | | | | | | | | | | | 1 |
| 合計 | | | | 27 | 2 | 1 | 1 | 2 | 2 | 2 | 2 | 1 | 100 | | |

厚：5~6cm
 中：4~5cm
 薄：3cm前後

第55表 金属製品出土状況一覧

| 出土地 | | グリッド | 北1 | | | | 北2 | | 北3 | | 北4 | | | |
|----------|-------|--------|------|----|-----|-----|-----|-----|------|-----|-----|-----|---|---|
| | | | IV層 | V層 | VI層 | 攪乱層 | II層 | 攪乱層 | III層 | IV層 | 攪乱層 | II層 | | |
| 材質 | 種類 | 層序 | | | | | | | | | | | | |
| 鍍金製品 | 飾り金具 | 不明 | | | | | | | | | | | | |
| | | 座金具 | | | | | | | | | | | | |
| | 銅製品 | 兜金具 | 飾り金具 | 1 | | | | | | | | | 1 | |
| | | | 小札接着 | | | | | | 1 | | | 1 | | |
| | | 鍍金具 | 覆輪 | | | | | | 1 | | | | | |
| | | | 八双金具 | | | | | | 1 | | | | | |
| | | | 飾り金具 | | | | 1 | | | | | | | |
| | | | 鍍金具 | | | | | | | | 1 | | | |
| | | | 金具廻 | 2 | | | 1 | | | | | | | 1 |
| | | | 笠鞋 | | | | | | | | | | 1 | |
| | | 鎖 | | | | | | | | | | | | |
| | | 不明 | | | | | | | 2 | | | | | |
| | 鍍金具 | | | | | | | | | | | | | |
| | 釘 | | | | | | | | | | | | | |
| 不明 | 棒状製品 | 1 | | | | | | | | | | | | |
| 座金具・鍍金接着 | | 4 | | | 1 | | 2 | 4 | 1 | | | 5 | | |
| 小計 | | | 8 | 0 | 2 | 3 | 8 | 1 | 1 | 2 | 7 | 1 | | |
| 鉄製品 | 兜金具 | 兜 | | | | | | | | | | 1 | 1 | |
| | | 筋兜鉢 | 2 | | | | 2 | | | | | | | |
| | 鍍金具 | 小札類 | | | | | | | | | | | | |
| | | 小札接着 | | | | | | | | | | | | |
| | | 三日小札接着 | | | | | | | | | | | | |
| | 本小札 | | | 1 | | | | | | 1 | | | | |
| | 鎖 | | | | | | | | | | | 1 | | |
| 金具廻 | 4 | | | | | | 3 | 1 | | | 1 | 2 | | |
| 鍍金具 | | | | | | | | | | | | | | |
| 鍍金具 | | | | | | | | | | | | | | |
| 釘 | 1 | | | | | 1 | 1 | | | 1 | | 2 | | |
| 不明 | | 1 | | | | | 1 | 8 | 3 | | | 1 | | |
| 小計 | | | 8 | 1 | 0 | 2 | 14 | 5 | 1 | 0 | 6 | 3 | | |
| 銅・鉄混合 | 小札接着 | | | | | | | | | | | | | |
| 鉄か銅 | 金具廻接着 | | | | | | | | | | | | | |
| 不明 | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | | | 16 | 1 | 2 | 5 | 22 | 6 | 2 | 2 | 13 | 4 | | |

| 出土地 | | グリッド | 北4 | | | | 南2 | | 南3 | 客土 | 攪乱層 | 合計 | |
|----------|-------|--------|------|-----|-----|-----|------------|-----|----------|-----|-----|-----|---|
| | | | III層 | IV層 | VI層 | 攪乱層 | 小岩盤東切石列内込層 | 攪乱層 | 小岩盤東褐色礫層 | | | | |
| 材質 | 種類 | 層序 | | | | | | | | | | | |
| 鍍金製品 | 飾り金具 | 不明 | | | | | 3 | | | | | 3 | |
| | | 座金具 | | | | | | 1 | | | | 1 | |
| | 銅製品 | 兜金具 | 鍍金具 | | | | | | | 2 | | | 2 |
| | | | 鍍金具 | | | | | | | | | | 2 |
| | | 飾り金具 | 1 | | | | | | | | | 1 | |
| | | 小札接着 | | | | | | | | | 1 | | |
| | | 覆輪 | 4 | | | | 3 | | 1 | | | 10 | |
| | | 八双金具 | | | | | | | | 4 | | 8 | |
| | | 鍍金具 | | | | | | | | | | 1 | |
| | | 鍍金具 | | | | 1 | | 7 | | 7 | | 27 | |
| | | 鍍金具 | 12 | | | | | | | 2 | | 6 | |
| | | 金具廻 | | | | | | | | | | 2 | |
| | 笠鞋 | | | | | | 1 | | | | 2 | | |
| | 鎖 | 1 | | | | | | | | | 2 | | |
| 不明 | | | | | | | | 1 | | 1 | | | |
| 鍍金具 | | | | | | 4 | 1 | | | 8 | | | |
| 釘 | 1 | | | | | | | | | 1 | | | |
| 不明 | 棒状製品 | | | | | | | | | | 1 | | |
| 座金具・鍍金接着 | | 3 | | | | 6 | | 7 | | 1 | 34 | | |
| 小計 | | | 22 | 0 | 1 | 27 | 4 | 23 | 0 | 1 | 0 | 111 | |
| 鉄製品 | 兜金具 | 兜 | | 1 | | | | | | | | 1 | |
| | | 筋兜鉢 | | 27 | 1 | 1 | | 60 | 4 | | 2 | 101 | |
| | 鍍金具 | 小札類 | | 24 | | | 33 | | 72 | 3 | | 132 | |
| | | 小札接着 | | | | | 1 | | | | | 1 | |
| | | 三日小札接着 | | | | | | | | | | 4 | |
| | 本小札 | | | | | | | | 2 | | | 4 | |
| | 鎖 | 2 | 9 | | | 8 | | 34 | | | 54 | | |
| 金具廻 | 1 | 49 | | | 16 | | 131 | 1 | | 209 | | | |
| 鍍金具 | | | | | | | | | | 1 | | | |
| 鍍金具 | | | | | | | | | | 1 | | | |
| 釘 | | | | | | 1 | | | | 9 | | | |
| 不明 | | | | | | 7 | | 12 | | 34 | | | |
| 小計 | | | 3 | 110 | 1 | 67 | 0 | 314 | 8 | 0 | 3 | 546 | |
| 銅・鉄混合 | 小札接着 | | 16 | | | 1 | | 4 | | | 21 | | |
| 鉄か銅 | 金具廻接着 | | | | | 2 | | | | | 2 | | |
| 不明 | | | | | | | | 1 | | | 3 | | |
| 合計 | | | 25 | 126 | 2 | 97 | 4 | 342 | 8 | 1 | 5 | 683 | |

第56表 錢貨出土状況一覧

| 出土地 グリッド 層序 | | | | 北1 | | | | 北2 | | | 北3 | | | 北4 | |
|----------------|------|------|------|----|----|----|-----|----|----|-----|-------|----|----|-----|----|
| | | | | Ⅲ層 | Ⅳ層 | Ⅵ層 | 攪乱層 | Ⅱ層 | Ⅲ層 | 攪乱層 | 栗石礫層? | Ⅲ層 | Ⅳ層 | 攪乱層 | Ⅱ層 |
| 産地 | 初鑄年 | 銭文 | 完破 | | | | | | | | | | | | |
| 中国 | 990 | 淳化元寶 | 一部欠損 | | | | | | | | | | | | |
| | 1004 | 景德元寶 | 完形 | | | | | | 1 | | | | | | |
| | 1009 | 祥符元寶 | 完形 | | | | | | | | | | 1 | | |
| | 1023 | 天□□寶 | 1/2 | | | | | | | | | | | | |
| | 1023 | 天聖元寶 | 完形 | | | | | | | | 1 | | | | |
| | 1038 | 皇宋通寶 | 1/2 | | | | | | | | | 1 | | | |
| | 1068 | 熙寧元寶 | 完形 | | | | | | | | | | | | |
| | 1086 | 元祐通寶 | 変形 | | | | | | | | | 1 | | | |
| | | | 1/2 | | | | | | | | | | | | |
| | 1107 | 大觀通寶 | 1/3 | | | | | | | | | | | | |
| | 1119 | 宣和通寶 | 1/3 | | | | | | | | | | | | |
| | 1253 | 皇宋元寶 | 破片 | | | | | | | | | | | | |
| | 1260 | 景定元寶 | 完形 | | | | | | | | | 1 | | | |
| | 1368 | 洪武通寶 | 完形 | | | | | | | | | | 1 | | |
| | | | 破片 | | | | | | | | | | | | |
| 1408 | 永樂通寶 | 完形 | | | | | | | | | 2 | | | | |
| 不明 | ○○元寶 | 1/3 | | 1 | | | | | | | | | | | |
| 日本 | 2期 | 寛永通寶 | 完形 | | | | | | | | | 1 | | | |
| | | | 1/2 | | | | | | | | | | | | |
| | 3期 | 寛永通寶 | 完形 | 1 | | | | | 1 | | | | | | |
| | 不明 | 無文銭 | 完形 | | | | | 1 | | 1 | | 1 | | | |
| | | | 破片 | | | | | | | | 1 | | | | |
| 不明 | 輪銭 | 完形 | | | | | | 1 | | | | | | | |
| | | 破片 | | 1 | | | | | | | | 2 | | | |
| 不明 | | 完形 | | | | | | | | | | 1 | | | |
| | | 破片 | | 1 | 2 | 1 | 5 | | 1 | | | 2 | | | |
| | | 溶着 | | 1 | | | | | | | | | | | |
| 合計 | | | | 1 | 4 | 2 | 1 | 6 | 2 | 1 | 1 | 1 | 4 | 5 | 8 |

| 出土地 グリッド 層序 | | | | 北4 | | | | 南1 | 南2 | | 礫層 | 客土 | 不明 | 合計 |
|----------------|------|------|------|----|----|----|-----|-----|------------|-----|----|----|----|----|
| | | | | Ⅲ層 | Ⅳ層 | Ⅵ層 | 攪乱層 | 攪乱層 | 小岩盤東切石列内込層 | 攪乱層 | | | | |
| 産地 | 初鑄年 | 銭文 | 完破 | | | | | | | | | | | |
| 中国 | 990 | 淳化元寶 | 一部欠損 | | 1 | | | | | | | | | |
| | 1004 | 景德元寶 | 完形 | | | | | | | | | | 1 | |
| | 1009 | 祥符元寶 | 完形 | | | | | | | | | | 1 | |
| | 1023 | 天□□寶 | 1/2 | | | | | | | | | | 1 | |
| | 1023 | 天聖元寶 | 完形 | | | | | | | | | | 1 | |
| | 1038 | 皇宋通寶 | 1/2 | | | | 1 | | | | | | 1 | |
| | 1068 | 熙寧元寶 | 完形 | | | | | | | | | | 1 | |
| | 1086 | 元祐通寶 | 変形 | | | | | | | 1 | | | 1 | |
| | | | 1/2 | | | | | | | | | | 1 | |
| | 1107 | 大觀通寶 | 1/3 | | 1 | | | | | | | | 1 | |
| | 1119 | 宣和通寶 | 1/3 | | | | | 1 | | | | | 1 | |
| | 1253 | 皇宋元寶 | 破片 | | | | | | | | | | 1 | |
| | 1260 | 景定元寶 | 完形 | | | | | | | | | | 1 | |
| | 1368 | 洪武通寶 | 完形 | | | 1 | | | | | | | 1 | |
| | | | 破片 | | | | | | | | | | 1 | |
| 1408 | 永樂通寶 | 完形 | | | | | | | | 1 | | 1 | | |
| 不明 | ○○元寶 | 1/3 | | | | | | | | | | 1 | | |
| 日本 | 2期 | 寛永通寶 | 完形 | | | | | | | | | | 1 | |
| | | | 1/2 | | | | | | | | | | 1 | |
| | 3期 | 寛永通寶 | 完形 | | | | | | | | | | 1 | |
| | 不明 | 無文銭 | 完形 | | 1 | 2 | 1 | | | 1 | | | 8 | |
| | | | 破片 | | | | | | | 2 | | | 3 | |
| 不明 | 輪銭 | 完形 | | | 1 | | | | 1 | 1 | | 4 | | |
| | | 破片 | | | | | | | | | | 3 | | |
| 不明 | | 完形 | | | | | | | | | | | 1 | |
| | | 破片 | | 8 | 4 | | 14 | 1 | 1 | 2 | 1 | 2 | 45 | |
| | | 溶着 | | | | | | | | 1 | | | 3 | |
| 合計 | | | | 9 | 7 | 3 | 18 | 1 | 1 | 8 | 1 | 4 | 1 | 89 |

銭文判例 ○:不明、□:欠損

第57表 煙管・円盤状製品・貝製品・骨製品・石器・石製品・石造製品出土状況一覧

| 種別 | 出土地 | グリッド 層序 | 北1 | | | | | 北2 | | | 北3 | | | 北4 | |
|-------|------------|------------|------|-----|----|-----|-----|-----|-----|-----|------|-----|-----|-----|---|
| | | | III層 | IV層 | V層 | VI層 | 攪乱層 | II層 | IV層 | 攪乱層 | III層 | IV層 | 攪乱層 | II層 | |
| 煙管 | 沖繩産施釉 埴 | 雁首 | | | | | | | | | | | | | |
| | | 未製品 | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 円盤状製品 | 沖繩産瓦(明朝) | 沖繩産土器 | 2 | 1 | | | | | | | | | | 3 | |
| | | 中国産褐釉 | | 1 | | 1 | | | | | 1 | | | 1 | 1 |
| | | 中国産染付 | | | | | | 1 | | | | | | | |
| | | 中国産白磁 | | | | | | | | | | | | 1 | |
| | | 中国産青磁 | | | | | | | | | | | | | |
| | | タイ産褐釉 | | | | | | | 1 | | 1 | | | | |
| | | 本土産磁器 | | | | | | | | | 1 | | | | |
| 合計 | | | 2 | 2 | 0 | 1 | 1 | 1 | 0 | 2 | 1 | 0 | 6 | 1 | |
| 貝製品 | 玉状(ビード)製品 | 独楽状製品 | | | | | | 1 | | 1 | | | | | |
| | | 螺蓋製品 | | | 1 | | | | | 1 | | | | 1 | |
| | | 合計 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 1 | |
| 骨製品 | ボタン | 不明 | | | | | | | | | | | | | |
| | | 未製品 | | | | | | | | | | | | | |
| | | 合計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 石器 | 石斧 | 石球 | | | | | | 1 | | | | | | 1 | |
| | | 合計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 石製品 | 硯 | 砥石 | | 1 | | | | | | | | | | | |
| | | 合計 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 5 |
| 石造製品 | 形象物 | 不明 | | 1 | | | | 1 | | 1 | | 1 | | 3 | |
| | | 合計 | 0 | 2 | 0 | 0 | 2 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 5 | |

| 種別 | 出土地 | グリッド 層序 | 北4 | | | | 南1 | | 南2 | 客土 | 合計 | |
|-------|------------|------------|------|-----|-----|-----|------|-------------|-----|----|----|-----|
| | | | III層 | IV層 | VI層 | 攪乱層 | 黒色土層 | 切石南 黒色土層 | 攪乱層 | | | 攪乱層 |
| 煙管 | 沖繩産施釉 埴 | 雁首 | | | | 1 | | | | | 1 | |
| | | 未製品 | | | | 1 | | | | | 1 | |
| 合計 | | | | | | 2 | | | | 2 | | |
| 円盤状製品 | 沖繩産瓦(明朝) | 沖繩産土器 | 1 | | | 2 | | | 1 | | 10 | |
| | | 中国産褐釉 | | | | 1 | | | | 1 | 7 | |
| | | 中国産染付 | | | | | | | | | 1 | |
| | | 中国産白磁 | | | | | | | | 1 | 1 | |
| | | 中国産青磁 | | | | | | | | 1 | 1 | |
| | | タイ産褐釉 | | | | | | | | | 2 | |
| | | 本土産磁器 | | | | | | | | | 1 | |
| 合計 | | | 1 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 | 1 | 2 | 0 | 24 |
| 貝製品 | 玉状(ビード)製品 | 独楽状製品 | | | | 1 | | | 1 | | 2 | |
| | | 螺蓋製品 | | | 1 | | | 1 | 1 | | 5 | |
| | | 合計 | 0 | 0 | 1 | 2 | 0 | 1 | 2 | 0 | 0 | 11 |
| 骨製品 | ボタン | 不明 | | | | | 1 | | | 1 | 1 | |
| | | 未製品 | | | | | | | 1 | | 1 | |
| | | 合計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 1 | 1 | 4 |
| 石器 | 石斧 | 石球 | | | | 1 | | | | | 1 | |
| | | 合計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 1 | 1 | 4 |
| 石製品 | 硯 | 砥石 | 1 | | | | | 1 | | 2 | 4 | |
| | | 合計 | 1 | 1 | | 1 | | | | 2 | 2 | 11 |
| 石造製品 | 形象物 | 不明 | 1 | 1 | | 1 | | | | 2 | 11 | |
| | | 合計 | 2 | 1 | 0 | 2 | 0 | 1 | 0 | 4 | 0 | 21 |

第59表 貝類出土状況一覧（二枚貝）

| 出土地 グリッド | | | | 北1 | | | | | | | | | 北2 | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------|------|----------|--------------|---------|----|---|-----|---|----|----|---|----|-----|----|----|------|----|---|----|----|---|----|---|----|---|---|---|---|---|
| | | | | III層 | | | IV層 | | | V層 | | | II層 | | | III層 | | | | | | | | | | | | | |
| No. | 網名 | 種類 科名 | 貝種名 | 生息地 | 完形 | | 殻頂 | | 破片 | 完形 | | 殻頂 | | 破片 | 完形 | | 殻頂 | | 破片 | 完形 | | 殻頂 | | 破片 | | | | | |
| | | | | | L | R | L | R | | L | R | L | R | | L | R | L | R | | L | R | L | R | | L | R | L | R | |
| 1 | 二枚貝網 | フネガイ科 | エガイ | I-1-a | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 | | ベニエガイ | I-2-a | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 | | ウグイスガイ科 | クロチョウガイ | I-4-a | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4 | | マクガイ科 | マクガイ | III-1-b | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | |
| 5 | | イタヤガイ科 | キンチャクガイ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 6 | | イタヤガイ科 | イタヤガイ科不明 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 7 | | ウミギク科 | メンガイの一種 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 8 | | ツキガイ科 | ウラキツキガイ | II-2-c | | | 1 | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 9 | | キクザルガイ科 | カネツケザル | I-1-a | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 10 | | キクザルガイ科 | キクザルガイ科の一種 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 11 | | ザルガイ科 | カワラガイ | II-2-c | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 12 | | シャコガイ科 | ヒレシャコガイ | I-2-a | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 13 | | シャコガイ科 | シャコガイ科不明 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | |
| 14 | | ニッコウガイ科 | リュウキュウシラトリ | II-1-c | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 15 | | シオサザナミ科 | リュウキュウマスホウガイ | II-1-c | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 16 | | シジミ科 | シレナシジミ | III-0-c | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 17 | | マルスダレガイ科 | スノメガイ | II-1-c | | | | | | | | | | | | | | | 2 | | | | | | | | | | |
| 18 | | | アラスジケマンガイ | III-1-c | | | | | 1 | | | | | 1 | | | 1 | 1 | | 2 | 1 | | | | | | | | |
| 19 | | | ホソスジイナミガイ | II-1-e | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 20 | | | イオウハマグリ | II-1-e | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 21 | | | オイノカガミ | II-1-c | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 22 | | ハマグリ | II-1-c | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 23 | | オキシジミ | I-e | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | | | | | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 2 | 2 | 2 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| | | | | | 1 | | | 2 | | | 3 | | | 8 | | | 1 | | | | | | | | | | | | |

| 出土地 グリッド | | | | 北4 | | | | | | | | | 南1 | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------|------|----------|--------------|---------|----|---|------|---|----|-----|----|----|---------|----|----|---------|----|---|----|----|---|----|---|----|---|---|---|---|---|
| | | | | VI層 | | | VII層 | | | 攪乱層 | | | 切石西黒色礫層 | | | 切石南黒色土層 | | | | | | | | | | | | | |
| No. | 網名 | 種類 科名 | 貝種名 | 生息地 | 完形 | | 殻頂 | | 破片 | 完形 | | 殻頂 | | 破片 | 完形 | | 殻頂 | | 破片 | 完形 | | 殻頂 | | 破片 | | | | | |
| | | | | | L | R | L | R | | L | R | L | R | | L | R | L | R | | L | R | L | R | | L | R | | | |
| 1 | 二枚貝網 | フネガイ科 | エガイ | I-1-a | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 | | ベニエガイ | I-2-a | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 | | ウグイスガイ科 | クロチョウガイ | I-4-a | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4 | | マクガイ科 | マクガイ | III-1-b | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5 | | イタヤガイ科 | キンチャクガイ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 6 | | イタヤガイ科 | イタヤガイ科不明 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 7 | | ウミギク科 | メンガイの一種 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 8 | | ツキガイ科 | ウラキツキガイ | II-2-c | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 9 | | キクザルガイ科 | カネツケザル | I-1-a | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 10 | | キクザルガイ科 | キクザルガイ科の一種 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 11 | | ザルガイ科 | カワラガイ | II-2-c | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 12 | | シャコガイ科 | ヒレシャコガイ | I-2-a | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 13 | | シャコガイ科 | シャコガイ科不明 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 14 | | ニッコウガイ科 | リュウキュウシラトリ | II-1-c | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 15 | | シオサザナミ科 | リュウキュウマスホウガイ | II-1-c | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 16 | | シジミ科 | シレナシジミ | III-0-c | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 17 | | マルスダレガイ科 | スノメガイ | II-1-c | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 18 | | | アラスジケマンガイ | III-1-c | | | | | 1 | | | | | 5 | 3 | 3 | 4 | | | 1 | | | 4 | 6 | 1 | | | | |
| 19 | | | ホソスジイナミガイ | II-1-e | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | | | | |
| 20 | | | イオウハマグリ | II-1-e | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 21 | | | オイノカガミ | II-1-c | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 22 | | ハマグリ | II-1-c | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 23 | | オキシジミ | I-e | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | | | | | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 5 | 3 | 3 | 4 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 6 | 8 | 1 | 1 | 0 |
| | | | | | 2 | | | 1 | | | 15 | | | 2 | | | 16 | | | | | | | | | | | | |

第60表 魚骨出土状況

| 出土地 | | グリッド 層序 | 北1 | | | | | | 北2 | | | | | | 北3 | | | | | | 北4 | | | | | |
|-------|---------|------------|--------|---|-----|---|-----|---|----|---|-----|---|------|---|-----|---|-----|---|------|---|----|---|---|--|--|--|
| | | | III層 | | VI層 | | 攪乱層 | | 2層 | | 攪乱層 | | III層 | | 攪乱層 | | II層 | | III層 | | | | | | | |
| | | | R | L | R | L | R | L | R | L | R | L | R | L | R | L | R | L | R | L | R | L | | | | |
| スズキ目 | ハタ科 | 前上顎骨 | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 角骨 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | |
| | | 擬鎖骨 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | タイ科 | クロダイ | 方骨 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 歯骨 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | フェフキダイ科 | ハマフェフキ | 主鯉蓋骨 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 前上顎骨 | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 歯骨 | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 方骨 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ベラ科 | カンムリベラ | 角骨 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 前上顎骨 | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ブダイ科 | ブダイ類 | 前上顎骨 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 主上顎骨 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 種不明 | | 尾椎 | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | |
| | | | 背鰭棘 | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | |
| | | | 臀鰭血管間棘 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | |
| 第2臀鰭棘 | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | |
| 脊椎骨 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | | | 2 | | | | |
| 種不明 | | 脊椎骨 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 椎体・神経棘 | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | |
| 合計 | | | | 1 | | 1 | | | 2 | | | 1 | | | 2 | | | 1 | | 2 | 3 | 4 | | | | |

| 出土地 | | グリッド 層序 | 北4 | | | | 南1 | | | | 南2 | | | | 合計 | | | | | | | | | |
|-------|---------|------------|--------|---|-----|----|------------|---|-------------|---|-----|---|-----|---|----|---|---|----|--|---|--|----|----|---|
| | | | VI層 | | 攪乱層 | | 南西隅 黒色土 | | 切石西 黒色礫層 | | 攪乱層 | | 攪乱層 | | | | | | | | | | | |
| | | | R | L | R | L | R | L | R | L | R | L | R | L | R | L | R | L | | | | | | |
| スズキ目 | ハタ科 | 前上顎骨 | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | | |
| | | 角骨 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | |
| | | 擬鎖骨 | | 1 | | | | | | | | | | | | | ① | | | | | | 2 | |
| | タイ科 | クロダイ | 方骨 | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | |
| | | | 歯骨 | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | 1 |
| | フェフキダイ科 | ハマフェフキ | 主鯉蓋骨 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 前上顎骨 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 |
| | | | 歯骨 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | | 方骨 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | ベラ科 | カンムリベラ | 角骨 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | |
| | | | 前上顎骨 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 |
| | ブダイ科 | ブダイ類 | 前上顎骨 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 |
| | | | 主上顎骨 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 |
| | 種不明 | | 尾椎 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 7 |
| | | | 背鰭棘 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 |
| | | | 臀鰭血管間棘 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| 第2臀鰭棘 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 | |
| 脊椎骨 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 19 | |
| 種不明 | | 脊椎骨 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 椎体・神経棘 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | |
| 合計 | | | | 1 | | 12 | | | 1 | | | 1 | | | 6 | | | 17 | | 1 | | 56 | | |

○キズあり

第61表 ウミガメ出土状況

| 出土地 | | グリッド 層序 | 北1 | | | | | | 北2 | | | | | | 北3 | | | | | | 南1 | | | | | |
|------|------|------------|-----|---|----|-----|---|----|-----|---|----|-----|---|----|-----|---|----|-----|---|----|----|---|----|--|--|--|
| | | | IV層 | | | VI層 | | | 攪乱層 | | | 攪乱層 | | | 攪乱層 | | | 攪乱層 | | | | | | | | |
| | | | 右 | 左 | 不明 | 右 | 左 | 不明 | 右 | 左 | 不明 | 右 | 左 | 不明 | 右 | 左 | 不明 | 右 | 左 | 不明 | 右 | 左 | 不明 | | | |
| ウミガメ | 前鳥口骨 | 骨体 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 上腕骨 | 破片 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 指骨 | 破片 | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 肋骨板 | 破片 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 | | | | |
| | 剣状突起 | 破片 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 不明 | 破片 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | 3 | | | | |

| 出土地 | | グリッド 層序 | 南1 | | | | | | 南2 | | | | | | 合計 | | | | | | | |
|------|------|------------|--------|---|----|-------|---|----|-----|---|----|-----|---|----|-----|---|----|--|--|--|--|----|
| | | | 南西隅黒色土 | | | 切石黒色土 | | | 攪乱層 | | | 攪乱層 | | | 攪乱層 | | | | | | | |
| | | | 右 | 左 | 不明 | 右 | 左 | 不明 | 右 | 左 | 不明 | 右 | 左 | 不明 | 右 | 左 | 不明 | | | | | |
| ウミガメ | 前鳥口骨 | 骨体 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 上腕骨 | 破片 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | 指骨 | 破片 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 肋骨板 | 破片 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 6 |
| | 剣状突起 | 破片 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | 不明 | 破片 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 12 |

第62表 ニワトリ出土状況

| 出土地 | | | グリッド | | 北1 | | 北3 | | 北4 | | 南1 | | 南2 | | 合計 | |
|-----|---------|----|------|-----|---------|---|-----|---|-----|---|-----|---|-----|---|----|---|
| | | | | | VI層 | | 攪乱層 | | II層 | | 攪乱層 | | 攪乱層 | | | |
| 種類 | 部位 | 完破 | 層序 | | 右 | 左 | 右 | 左 | 右 | 左 | 右 | 左 | 右 | 左 | 右 | 左 |
| | | | ニワトリ | 上腕骨 | 近位部～遠位部 | | | | | | | | | 1 | | |
| 大腿骨 | 近位端～遠位部 | | | | | 1 | | | | | | | | | | 1 |
| | 骨体 | | | | | | | | | | 1 | | | | | 1 |
| 脛骨 | 遠位端 | 1 | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | 近位部～骨体 | | | | | | | | | ① | | | | | | 1 |
| | 骨体～遠位端 | | | | | | | | | | | | 1 | | | 1 |
| 中足骨 | 遠位部 | | | | | | | | 1 | | | | | | | 1 |
| | 完存 | | | | | 1 | | | | | | | | | 1 | |
| 合計 | | | | | 1 | | 2 | | 2 | | 2 | | 1 | | 8 | |

○キズあり

第63表 トリ出土状況

| 出土地 | | | グリッド | | 北1 | | 北4 | | 合計 | |
|---------|----|----|------|-----|--------|---|-----|---|----|---|
| | | | | | V層 | | II層 | | | |
| 種類 | 部位 | 完破 | 右 | 左 | 右 | 左 | 右 | 左 | 右 | 左 |
| | | | トリ | 肩甲骨 | 近位端～骨体 | | 1 | | | |
| カモ類 上腕骨 | 完存 | | | | | | 1 | | | 1 |
| 合計 | | | | 1 | | 1 | | | | 2 |

第64表 ネズミ出土状況

| 出土地 | | | グリッド | | 北4 | | 南1 | | | | 南2 | | 合計 | |
|------------|--------|--------|------|-----|------|---|---------|---|---------|---|-----|---|----|---|
| | | | | | VII層 | | 切石西黒色礫層 | | 切石南黒色土層 | | 攪乱層 | | | |
| 種類 | 部位 | 完破 | 右 | 左 | 右 | 左 | 右 | 左 | 右 | 左 | 右 | 左 | 右 | 左 |
| | | | ネズミ | 大腿骨 | 近位端 | | | 1 | | | | | | |
| 近位端～遠位端はずれ | | | | | | | | | | | 1 | | | 1 |
| 完存 | | | | | | | | | 1 | | | | | 1 |
| 脛骨 | 近位端はずれ | | | | | | 1 | | | | | | | 1 |
| | | 骨体～遠位端 | | | 1 | | | | | | | | | 1 |
| 合計 | | | | 1 | | 2 | | 1 | | 1 | | | | 5 |

第65表 ブタ出土状況

| 出土地 | | | グリッド | | 北1 | | | 北2 | | | 北3 | | | 北4 | | | | | | | |
|--------|---------|------------|------|-----|----------------|---|---|-----|---|---|-----|---|---|-----|---|---|-----|---|---|-----|---|
| | | | | | IV層 | | | II層 | | | 攪乱層 | | | VI層 | | | 攪乱層 | | | II層 | |
| 種類 | 部位 | 完破 | 右 | 左 | 不明 | 右 | 左 | 不明 | 右 | 左 | 不明 | 右 | 左 | 不明 | 右 | 左 | 不明 | 右 | 左 | 不明 | |
| | | | ブタ | 上顎骨 | M ^I | | | 2 | | | | | | | | | | | | | |
| 下顎骨 | C | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 肋骨 | 近位端 | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | 1 |
| | 骨体 | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | |
| 上腕骨 | 近位端のみ | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 近位部～遠位端 | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | |
| 寛骨 | 破片 | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 距骨 | 完存 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 中足骨 | III | 近位端～遠位端はずれ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | V | 遠位端はずれ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | IV | 完存 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | |
| 中手・中足骨 | II or V | 遠位端 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | 近位端 | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | | | | | 3 | | 2 | | 1 | | 1 | | 1 | | 1 | | 2 | | | | 1 |

| 出土地 | | | グリッド | | 北4 | | | 南2 | | | 合計 | | | | |
|--------|---------|------------|------|-----|----------------|---|---|-----|---|---|----|---|---|--------|---|
| | | | | | 攪乱層 | | | 攪乱層 | | | | | | 黒色土(上) | |
| 種類 | 部位 | 完破 | 右 | 左 | 不明 | 右 | 左 | 不明 | 右 | 左 | 不明 | 右 | 左 | 不明 | |
| | | | ブタ | 上顎骨 | M ^I | | | | | | | | | | |
| 下顎骨 | C | | | | | 1 | | | | | | 1 | | | |
| 肋骨 | 近位端 | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | |
| | 骨体 | | | | | 4 | | | | | | | | 5 | |
| 上腕骨 | 近位端のみ | | | | | | | | | | | | 1 | | |
| | 近位部～遠位端 | | | | | | | | | | | | | 1 | |
| 寛骨 | 破片 | | | | | | | | | | | | | 1 | |
| 距骨 | 完存 | 1 | | | | | | | | | | 1 | | | |
| 中足骨 | III | 近位端～遠位端はずれ | | | | | | | | 1 | | | | | 1 |
| | V | 遠位端はずれ | | | | | | | 1 | | | | | | 1 |
| | IV | 完存 | | | | | | | | | | | | 1 | |
| 中手・中足骨 | II or V | 遠位端 | | | | | | | | | | | | 1 | |
| | | 近位端 | | | | | | | | | | | | 1 | |
| 合計 | | | | | 5 | | 2 | | 1 | | | | | 19 | |

第6章 総括

以上、首里森御嶽の発掘調査成果について報告を行った。ここであらためて遺構・遺物に大別してまとめ、総括としたい。

1. 遺構

今回の発掘調査は、首里森御嶽の復元整備に伴う遺構確認を目的として行い、明治前～中期に引かれたとされる『沖縄県首里旧城図』（横内家資料・第3図）を基に調査区を設定し、発掘調査を開始した。その結果、目的とした御嶽の位置・形状・規模等を明確に特定するには至らなかったが、上部、下部の新旧に対応すると考えられる遺構が検出されている。その内、上部に位置する石積み遺構は、断片的ではあるが、調査区の基準とした『沖縄県首里旧城図』（横内家資料・第3図）に描かれている御嶽石積みの一部と推測され、これが首里城跡の復元対象時期（1712年～）の遺構になるものと考えられる。

次に、その下部に見られる遺構は、現存する各種絵図等とも符合しないものであることから、当地に上部遺構の前身となる構築物が存在した可能性が考えられ、幾度かの建て替えが行われたことを示している。しかし、今回の調査では、調査範囲が限られたことから、これらの構築年代等を解明するに至らなかった。

2. 遺物

今回の調査により得られた遺物の量は、遺物収納用コンテナで25箱分となり、その種別は、様々な輸入陶磁器をはじめ、瓦類、沖縄産陶器、金属製品、石造製品等多岐にわたる。中でも陶磁器及び金属製品のバリエーションは豊富で、青磁では碗、皿類の資料のほか、壺、瓶等の大型磁器、人形等の希少品が含まれ、華南三彩では水注や水滴が数種確認されている。また、金属製品では鎧の小札をはじめとする武具のパーツがまとまって出土している。遺物の年代としては、青磁で主に15世紀前半から16世紀前半までの製品が得られているが、染付で15～18世紀頃の資料や、近代の沖縄産陶器も出土しており、その幅は広い。

3. 考察

上記のとおり、遺構と遺物についてまとめてきたが、これを総じて首里森御嶽発掘調査の成果について考察してみたい。

首里森御嶽は、首里城下之御庭の南東隅、奉神門西側に位置していた拝所（御嶽）である。創建は不明だが、文献上『おもろさうし』（1531年～1623年）や『中山世鑑』（1650年）等にもその名が見える。また、添継御門（継世門）前の碑文には、1546年に首里森御嶽を整備したことが刻まれていることから、16世紀前半にはすでに御嶽として存在していたことがわかる。

その形状については、17世紀末に描かれたとされる絵図において、「C」の字状に丸く囲われた状態で表現され、『冠船之時御座構之図』（1866年・第41図）及び、友寄筑登之親雲上喜恒による『首里城図』（1881年頃・第42図）では、俯瞰した状態で門の形状も丁寧に描かれている。また、明治前～中期に描かれた『沖縄県首里旧城図』（横内家資料・第3図）においては、詳細な測量平面図として引かれており、その形状や寸法を復元する上で貴重な資料となっている。

ところが、この首里森御嶽は、ある時期から絵図等に記載されなくなる。各種文献によると、1910（明治43）年に着工する首里尋常高等小学校（1912年落成）の校舎建設時に撤去されたとされるが、それ以前の1893（明治26）年頃に編集された『熊本鎮台沖縄分遣隊配置図』及び、1894（明治27）年に描かれたと考えられる嶂山查丕烈による『首里旧城図』に首里森御嶽の姿を見ることはできず、また、加藤三吾による1906（明治39）年刊行の『琉球の研究』所収、「首里城古図」においても、絵図内に御嶽と思しき囲いは見られるものの、「首里森ノ址」として記載され、御嶽はすでにその機能を失い、跡地となっ

ていたことが考えられる。

このことは、絵図資料の年代が正確であること、模写等による加色がされていないことが前提であるが、これだけを見ると、首里森御嶽は1881（明治14）年から1893（明治26）年までの間に、何らかの理由により撤去された可能性が考えられ、その理由は、1879（明治12）年の王国崩壊との関わりも考えることができる。

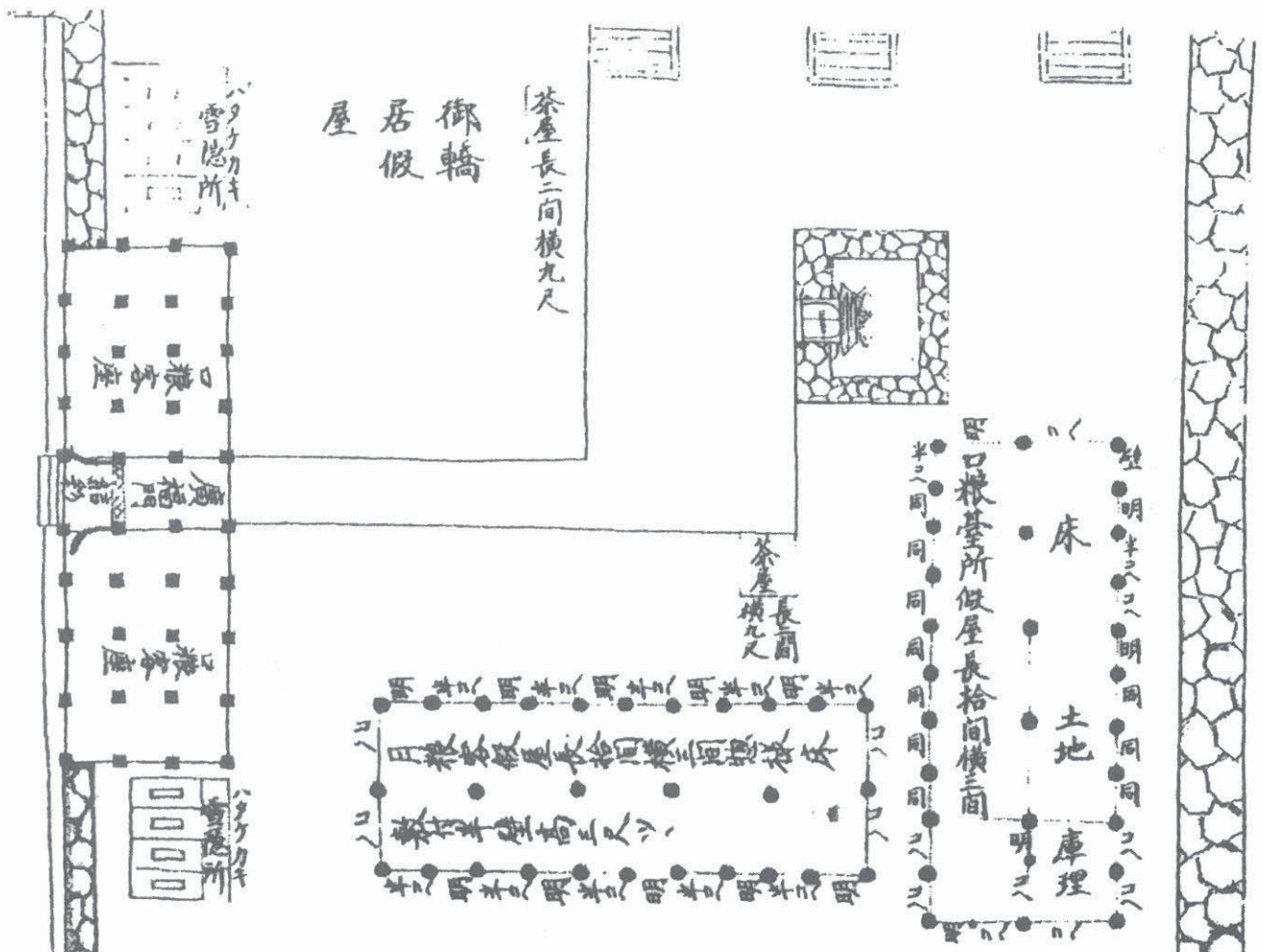
なお、先述した校舎建設時に御嶽が撤去されたとする情報は、おそらく1931（昭和6）年頃に引かれた、『旧首里城図』（阪谷図・第4図）に見える下之御庭のほぼ全面を占める「小学校」と記載のある建造物が、首里森御嶽上に描かれており、御嶽の所在が確認できないことが要因として考えられる。

19世紀末に御嶽が撤去されてからは、その跡地で1910（明治43）年から2ヶ年にわたり首里尋常高等小学校校舎の建設が行われ、1945（昭和20）年の沖縄戦を経て、1950（昭和25）年の琉球大学の設置、1984（昭和59）年の大学移転を経験する。

このように、首里森御嶽の遺構は度重なる攪乱により、残存状況は決して良好といえる状態ではない。しかし、発掘調査により新旧の時期差が認められる遺構が検出され、上部に位置する新規の遺構については、部分的であるが明治前～中期に描かれた『沖縄県首里旧城図』（横内家資料・第3図）と符合する可能性が高い。

これに対して、その下部より検出された古石積み遺構は、各種絵図等と符合しないことから、碑文による1546年に行われた御嶽整備以前の遺構である可能性が考えられるが、これが御嶽としての機能を有していたのか、或いはほかの性格の構築物であったのかは判然としない。

また、出土した輸入陶磁器や沖縄産陶器等の年代から見ると、時期は13世紀から19世紀頃までと幅広



第41図 「冠船之時御座構之図」（部分・1866年）沖縄県立博物館・美術館所蔵

いが、碑文による16世紀中頃（1546年）に御嶽が整備されたのを境として、今回確認された上部・下部遺構の区分が可能であれば、その年代前後の陶磁器がひと通り得られていることから、これらの遺構時期と概ね符合するものと思われる。この出土品の中で特に目立つのが、中国産青磁及び華南三彩、小札類の武具である。

青磁はその種類が多様で、中でも瓶・壺類の大型品・希少品が一定量得られており、更に青磁の被熱資料総数14点の内、11点が瓶・壺類で占められているという結果が得られている。この存在は首里城内の火災との関連があるとともに、近接する京の内倉庫跡との関連も指摘できよう。

次に華南三彩は、本県の出土例から明代後期、15世紀末から16世紀頃に中国南部で焼造されたものとされ、壺や合子・皿等とともに鳥・魚等の動物や人物を象った製品が制作されている。首里森御嶽からは型物の水注・水滴が得られ、水注は鶴形・鴨形の破片及び注口や把手の破片が得られている。水滴では魚と波濤を象った荒磯形や魚形・琴高仙人形と思われる破片が出土し、様々な種類の華南三彩が存在していたことがわかる。

この華南三彩片の出土総数は39点と一見少なく感ずるが、この資料が沖縄県内の首里城をはじめとするグスクや御嶽、ノロ殿内等の信仰と関わりのある限られた空間からの出土・伝世品が比較的多く見受けられるという希少性の高い製品であることから、首里森御嶽からの出土資料も、祭具としての意味合いを持つ可能性がある。

続いて、武具類は鉄製、銅製とがあり、主に小札、鎖類が鉄製、八双金具、覆輪、鞋、鉾の類に銅製が多く、この中には鍍金が施される資料も見られる。また、板状の鉄製品に銅製の鉾が付随するものや、鉄錆により銅製品が巻き込まれた状態の遺物も出土している。とりわけ小札類の出土はまとまっており、錆により密着して塊を成す状態も見える。なお、これと同時に小型の鉄釘も出土していることから、か



第42図 「首里城図」（部分・友寄筑登之親雲上喜恒図・1881年頃）沖縄県立図書館所蔵

つてはこの鎧一式を木製の箱等に収納していたことも想定できる。

これらの武具が首里森御嶽からまとまって出土する理由は判然としない。しかし、近接する京の内倉庫跡でも膨大な陶磁器とともに、武具類の出土も見られるため、この倉庫との関わりを考えることもできるが、御嶽からの出土ということから、華南三彩同様に祭具としての性格も想定できないだろうか。今後の事例を待ちたい。

以上で総括を終えるが、最後に、発掘調査・資料整理作業にあたり協力をいただいた多くの方々に感謝の意を表し、報告を終えたい。

引用・参考文献

- 那覇市総務部市史編集室1970「教育関係資料」『那覇市史 資料編 第2巻中3』那覇市役所
- 那覇市総務部市史編集室1974「第12章 教育の勃興と教育財政の貧困」『那覇市史 通史編 第2巻（近代史）』那覇市役所
- 森田 勉1982「14～16世紀の白磁の分類と編年」『貿易陶磁研究 第2号』日本貿易陶磁研究会
- 上田秀夫1982「14～16世紀の青磁碗の分類と編年」『貿易陶磁研究 第2号』日本貿易陶磁研究会
- 小野正敏1982「14～16世紀の染付碗・皿の分類と編年」『貿易陶磁研究 第2号』日本貿易陶磁研究会
- 沖縄大百科事典刊行事務局1983『沖縄大百科事典 上・中・下』沖縄タイムス社
- 金城亀信1990「豊見城村内確認の明代三彩鶴型水注」『文化課紀要 第6号』沖縄県教育委員会文化課
- 那覇市教育委員会1991『那覇市文化財調査報告書第18集 御細工所跡—城西小学校建設工事に伴う緊急発掘調査報告書—』那覇市教育委員会
- 今帰仁村教育委員会1991『今帰仁村文化財調査報告書第14集 今帰仁城跡発掘調査報告書（Ⅱ）』今帰仁村教育委員会
- 金武正紀1991「沖縄出土のタイ・ベトナム陶磁」『貿易陶磁研究 第11号』日本貿易陶磁研究会
- 沖縄県教育委員会1992『沖縄県文化財調査報告書第107集 首里城跡—首里城正殿跡の遺構調査』沖縄県教育委員会
- 沖縄県教育委員会1993『沖縄県文化財調査報告書第111集 湧田古窯跡（Ⅰ）—県庁舎行政棟建設に係る発掘調査—』沖縄県教育委員会
- 沖縄県教育委員会1995『沖縄県文化財調査報告書第120集 首里城跡—南殿・北殿跡の遺構調査報告—』沖縄県教育委員会
- 長谷部楽爾・今井敦1995『中国の陶磁12 日本出土の中国陶磁』平凡社
- 首里城研究グループ編1997『首里城入門 —その建築と歴史—』ひるぎ社
- 沖縄県教育委員会1998『沖縄県文化財調査報告書第132集 首里城跡—京の内跡発掘調査報告書（Ⅰ）—』沖縄県教育委員会
- 那覇市立壺屋焼物博物館1998『陶磁器に見る大交易時代の沖縄とアジア』那覇市立壺屋焼物博物館開館記念
- 照屋善義2000『沖縄の陶器—技術と科学—』平山印刷withなんくるプロ
- 福岡市美術館2000『交趾焼展 インドネシア・スラウェシ島に渡った三彩』福岡市美術館
- 城南小学校創立120周年記念事業実行委員会2001「学校の沿革」『城南小学校創立120周年記念誌』那覇市立城南小学校（首里第一尋常高等小学校）
- 沖縄県立埋蔵文化財センター 2001『沖縄県立埋蔵文化財センター調査報告書第1集 首里城跡—管理用道路地区発掘調査報告書—』沖縄県立埋蔵文化財センター
- 町田市立博物館2001『町田市立博物館図録第122集 ベトナム青花—大越の至上の華—』町田市立博物館
- 亀井明德編著2002『専修大学アジア考古学報告書1 明代前半期陶磁器の研究—首里城京の内SK01出土品—』専修大学
- 上原 恵2004「琉球諸島出土の明代華南緑釉・三彩陶器について」『南島考古 第23号』沖縄考古学会
- 沖縄県立埋蔵文化財センター 2005『沖縄県立埋蔵文化財センター調査報告書第29集 首里城跡—二階殿地区発掘調査報告書—』沖縄県立埋蔵文化財センター
- 沖縄県立埋蔵文化財センター 2006『沖縄県立埋蔵文化財センター調査報告書第33集 首里城跡—淑順門地区発掘調査報告書—』沖縄県立埋蔵文化財センター
- 沖縄県立埋蔵文化財センター 2007『沖縄県立埋蔵文化財センター発掘調査報告書第42集 真珠道跡—首里城跡真珠道地区発掘調査報告書（Ⅱ）—』沖縄県立埋蔵文化財センター

- 沖縄県立埋蔵文化財センター 2007 『沖縄県立埋蔵文化財センター調査報告書第44集 首里城跡－御内原
西地区発掘調査報告書－』 沖縄県立埋蔵文化財センター
- 沖縄県立埋蔵文化財センター 2007 『沖縄県立埋蔵文化財センター調査報告書第45集 首里城跡－黄金御
殿地区発掘調査報告書－』 沖縄県立埋蔵文化財センター
- 沖縄県立埋蔵文化財センター 2007 『沖縄県立埋蔵文化財センター調査報告書第46集 渡地村跡・臨港道
路那覇1号線整備に伴う緊急発掘調査報告書』 沖縄県立埋蔵文化財センター

版 圖



図版12 発掘状況



塼敷き縁石の外側検出状況
(北より)



上部遺構検出状況(西より)



塼敷き下土層検出状況
(南より)

図版13 遺構検出状況 1



上部石積み・下部古石積み
検出状況（東より）



基壇状中央遺構検出状況
（東より）



岩盤下検出状況（西より）



石積みの検出状況
(東より)



石積みの検出状況
(北より)



石積みの検出状況
(上より)

図版15 上部遺構検出状況 1



石敷き（北より）



塼敷き（東より）



塼敷き（東より）

図版16 上部遺構の検出状況2



基壇状南遺構検出状況
(東より)



基壇状南遺構検出状況
(南より)



基壇状北遺構検出状況
(北より)

図版17 下部遺構の検出状況



上部石積み・下部古石積み
検出状況①（東より）



上部石積み・下部古石積み
検出状況②（東より）

図版18 上部・下部遺構の検出状況



基壇状中央遺構の検出状況
(東より)

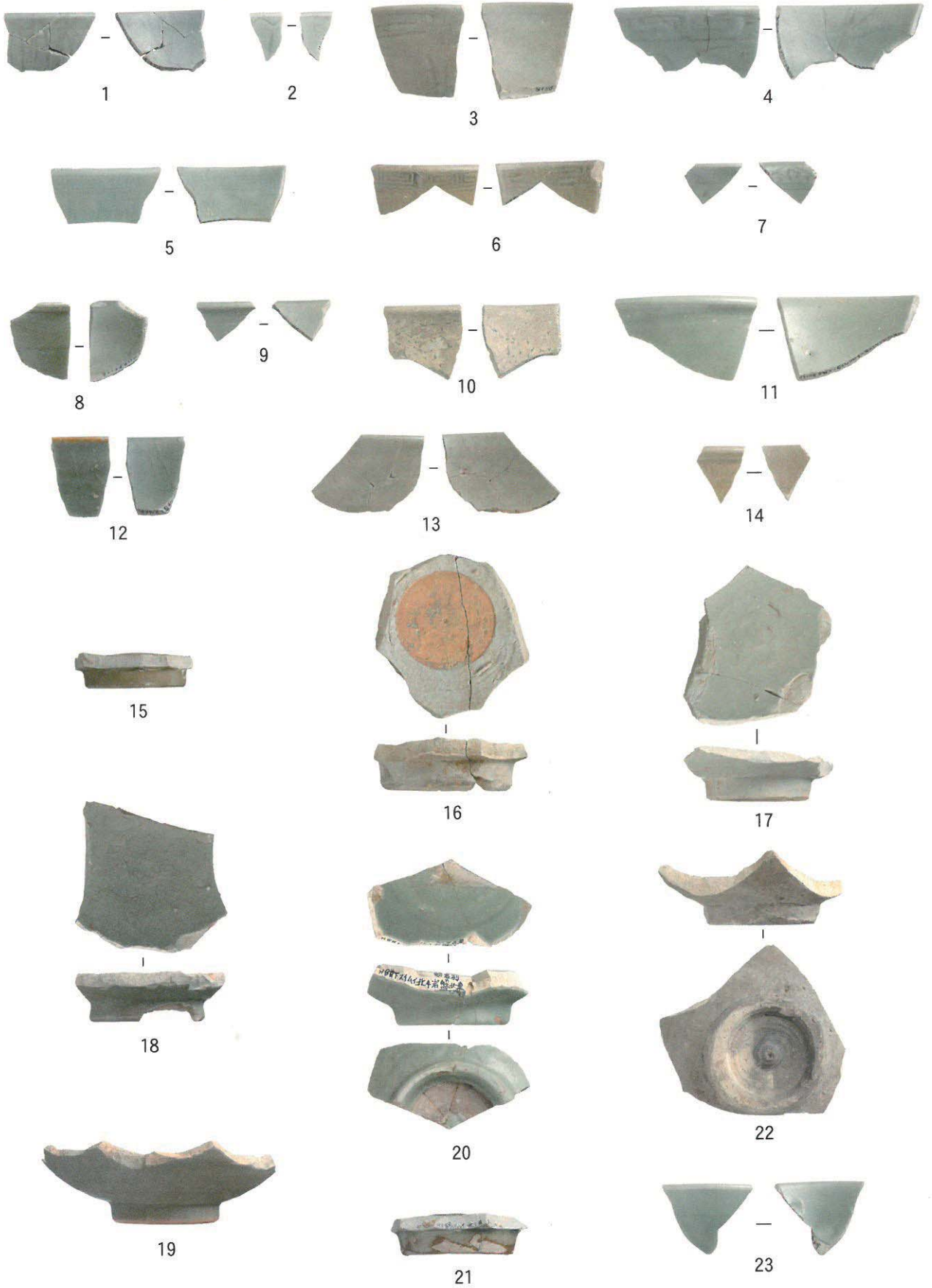


古石積み検出状況(北より)

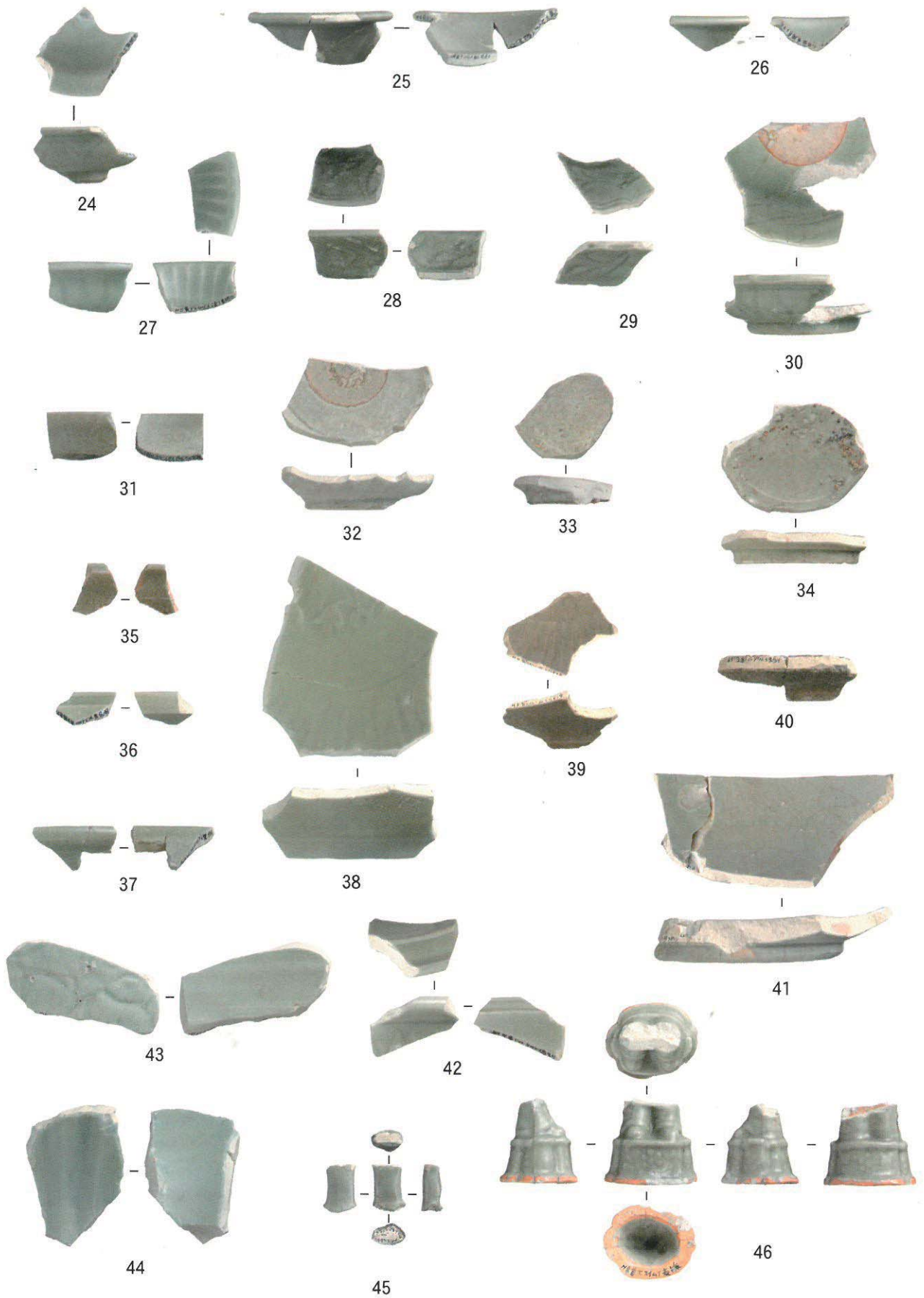


古石積み西側壁面(攪乱部)

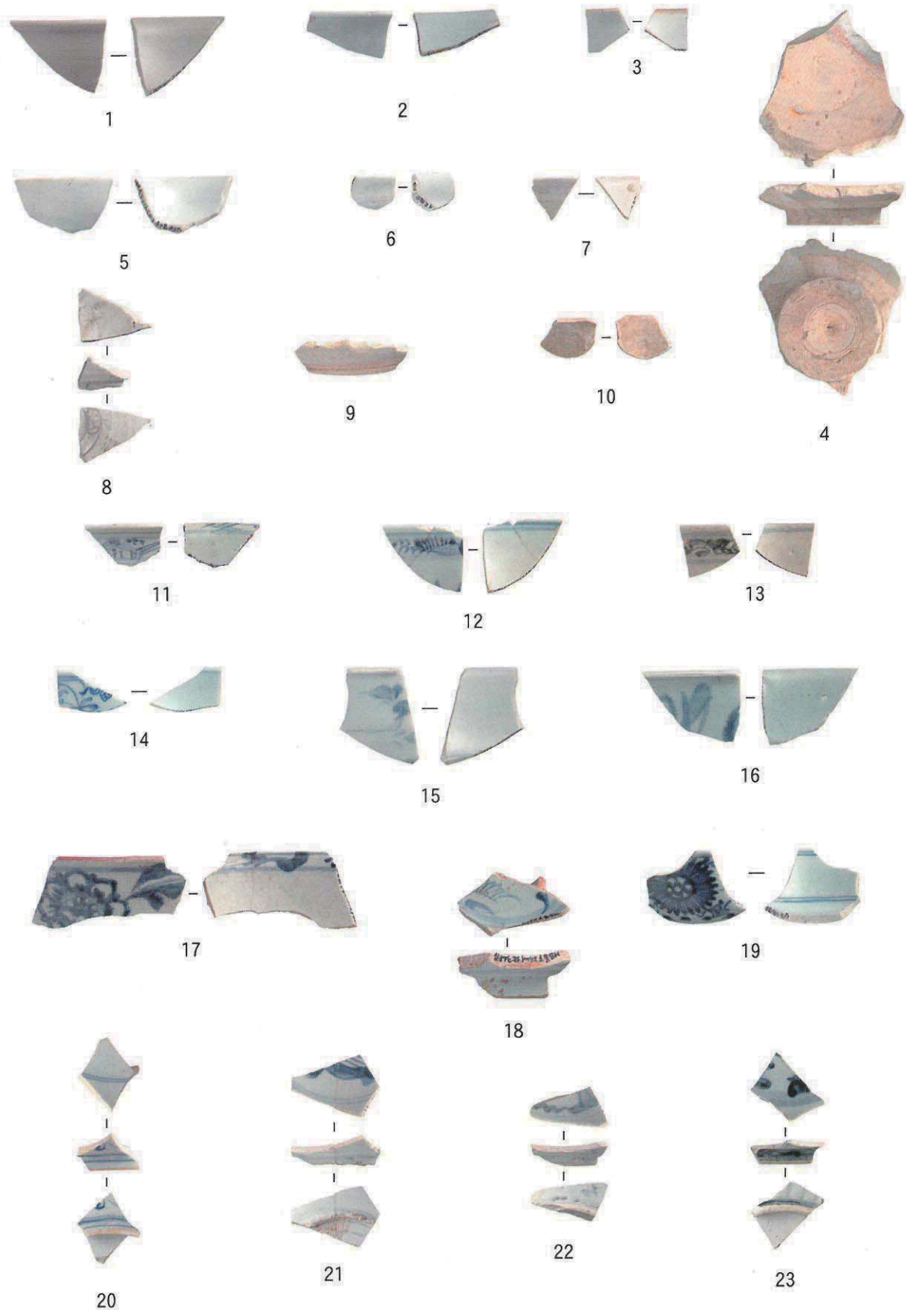
図版19 下部遺構の検出状況



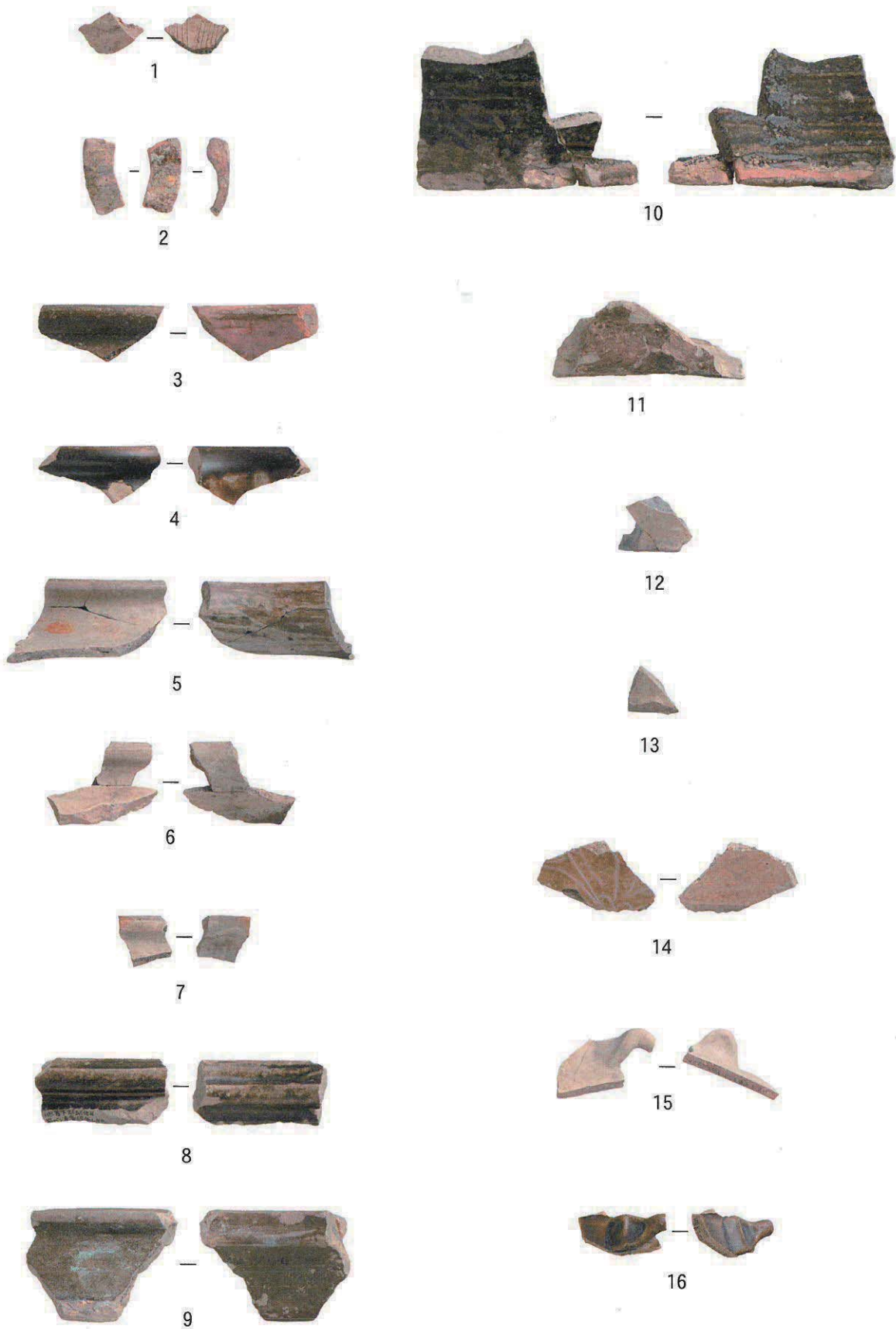
图版20 中国産青磁（1）



图版21 中国産青磁（2）



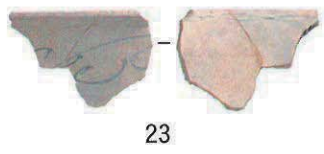
图版22 白磁·染付



图版23 中国産褐釉陶器



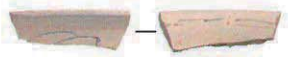
図版24 その他の輸入陶磁器 中国産 瑠璃釉・鉄釉磁器・無釉陶器・黒釉陶器・三彩（1）



23



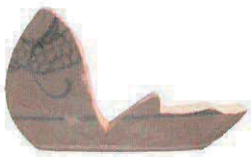
27



24



28



25



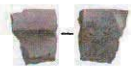
29



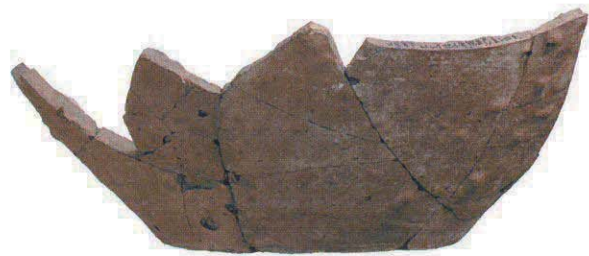
30



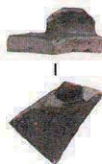
31



26



33

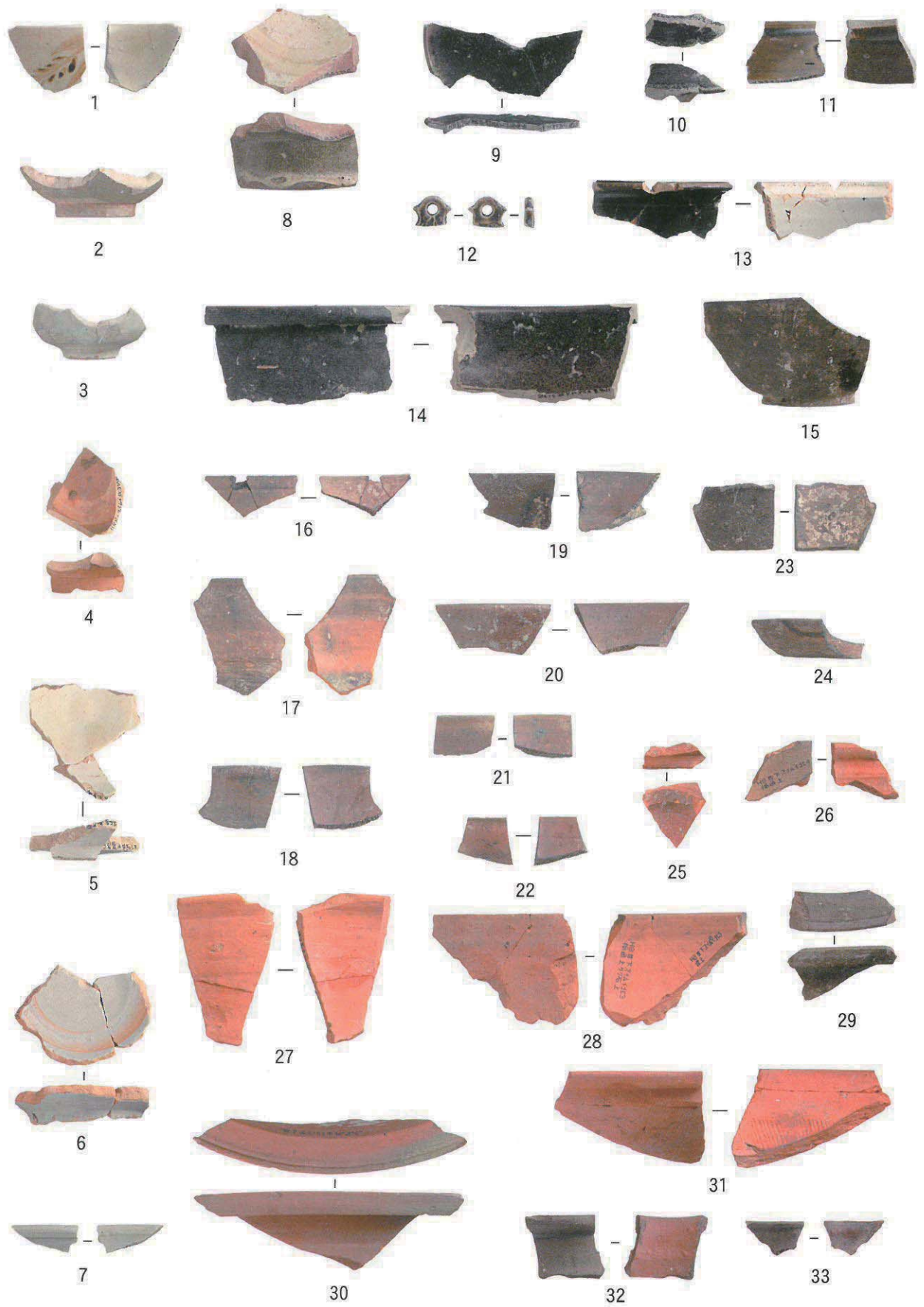


34

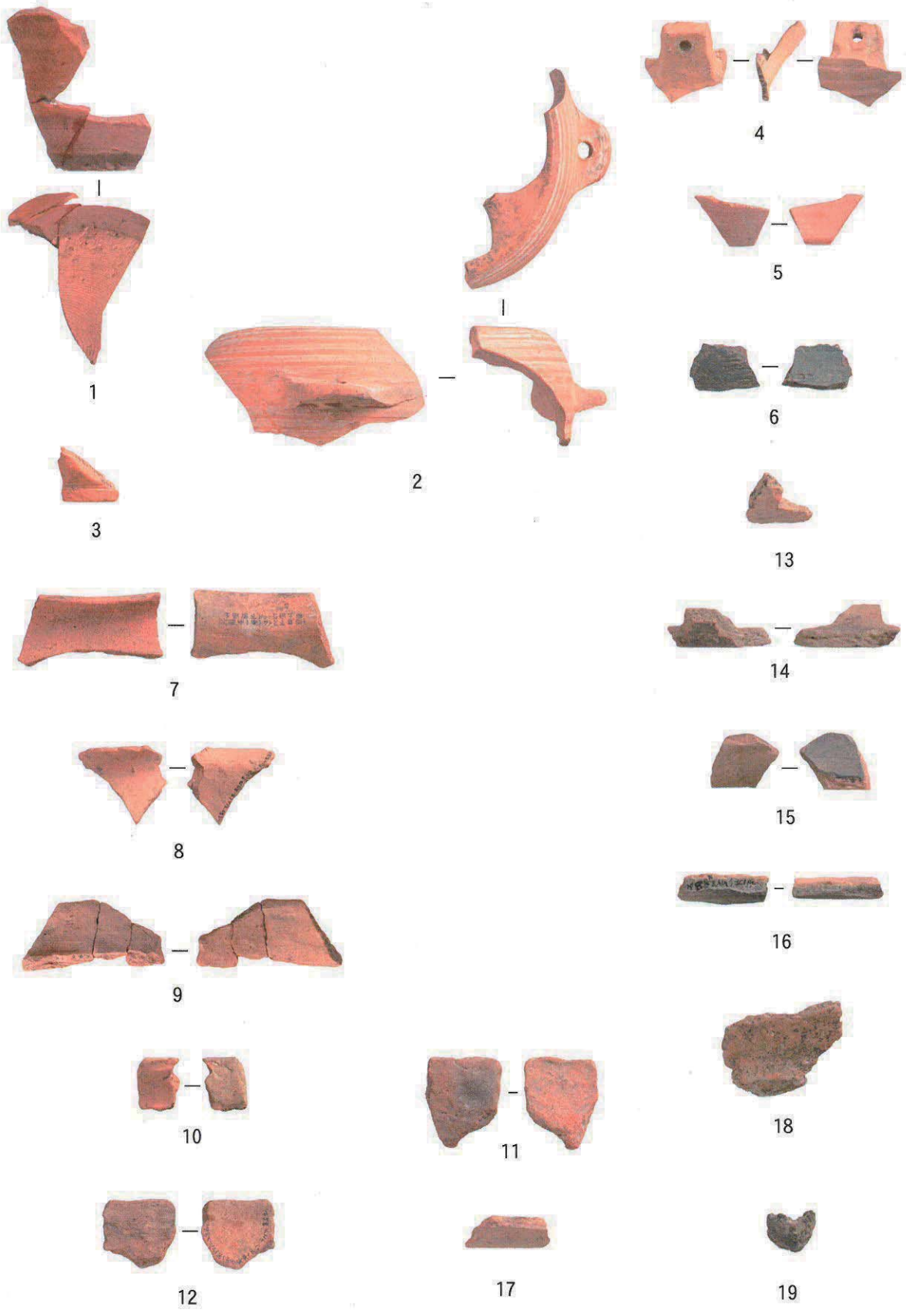


32

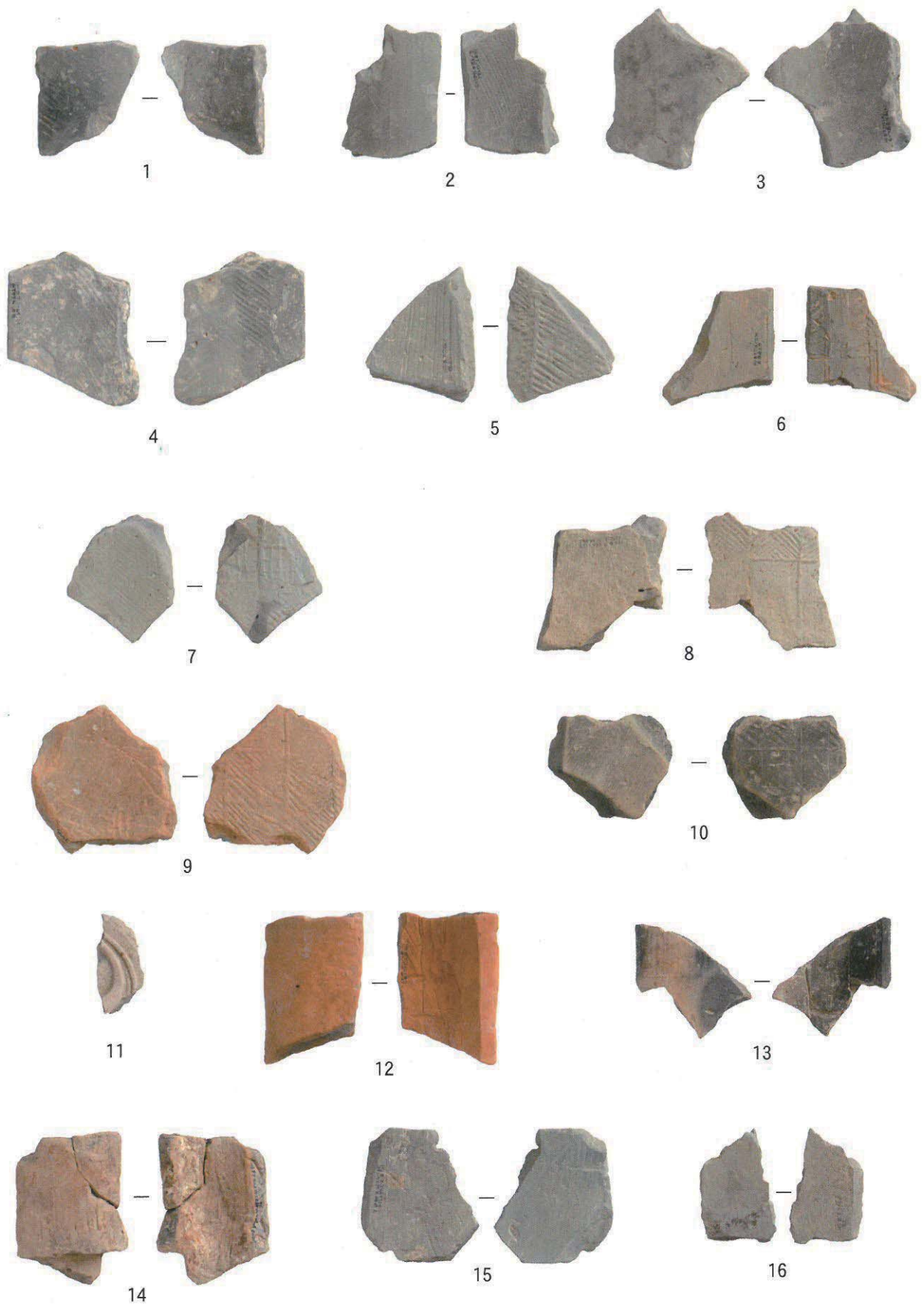
図版25 その他の輸入陶磁器 ベトナム産染付・タイ産無釉、褐釉陶器 (2) 本土産陶器



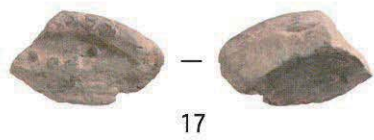
図版26 沖縄産施釉、無釉陶器



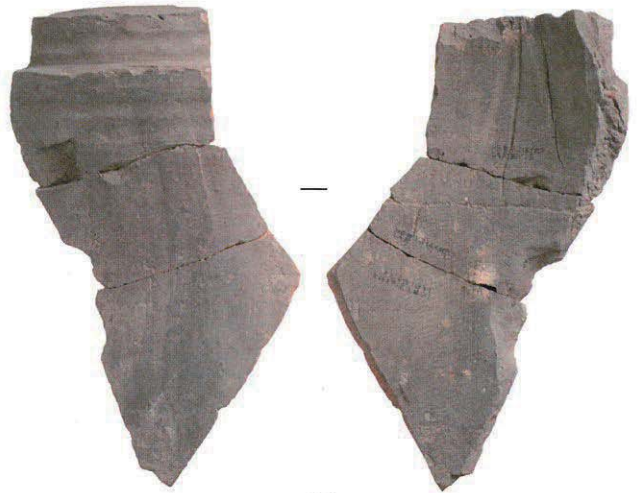
図版27 陶質土器・カムイヤキ・土器・埴埴



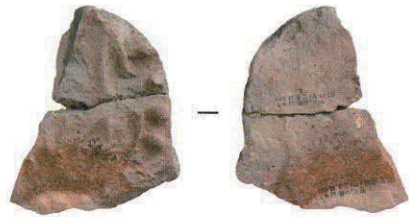
图版28 屋瓦 (1) 高麗系瓦・大和系瓦



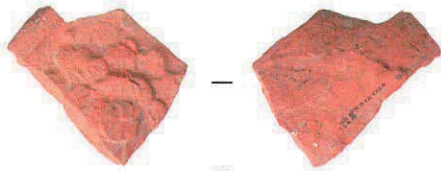
17



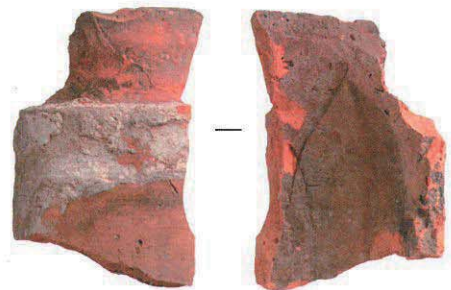
23



18



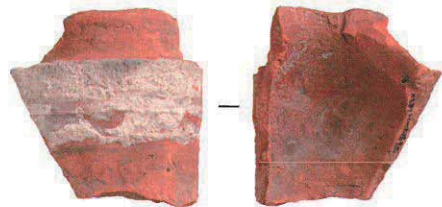
19



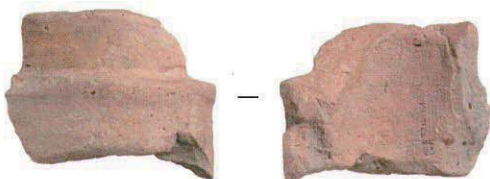
24



20



25



21

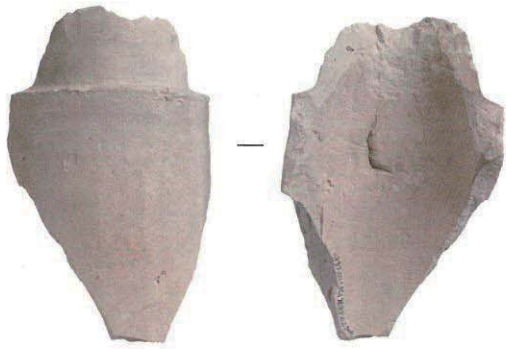


22

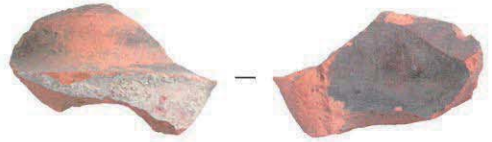


26

图版29 屋瓦（2）明朝系軒丸瓦·丸瓦 1



27



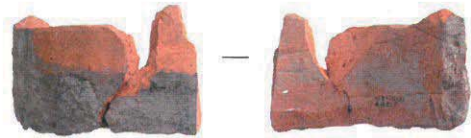
28



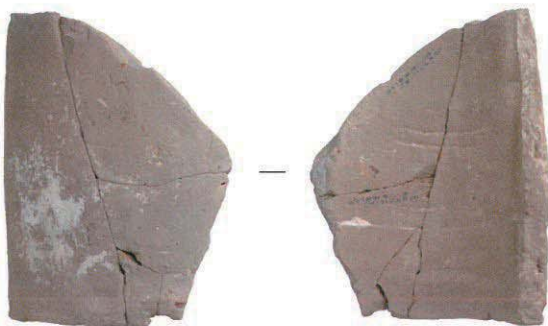
30



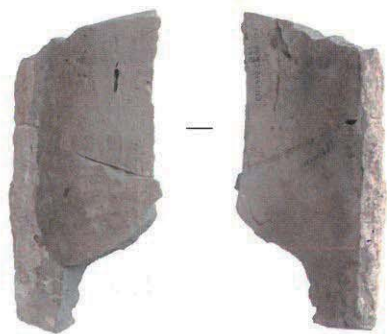
29



31

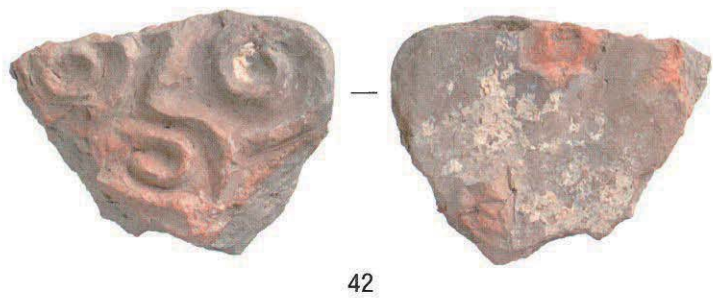
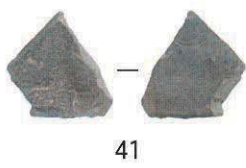
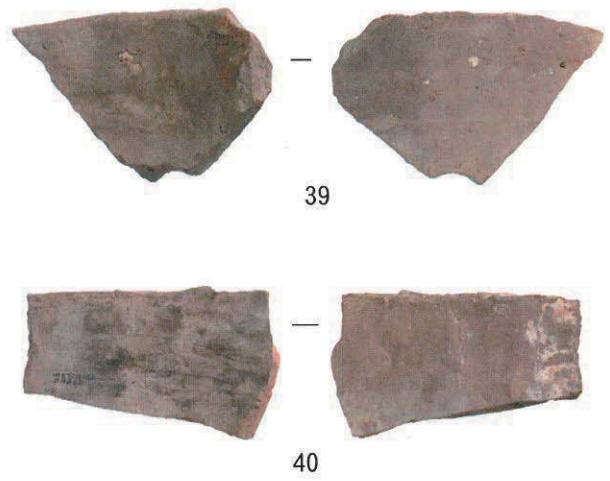
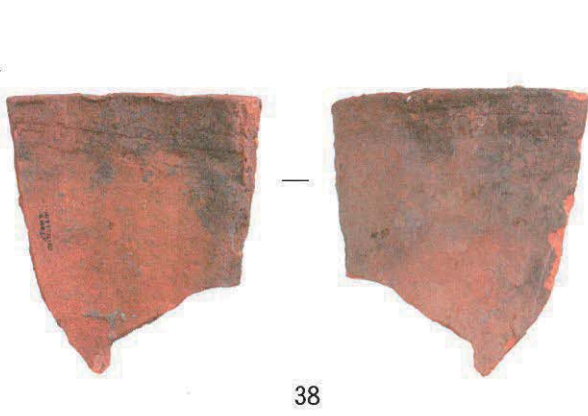
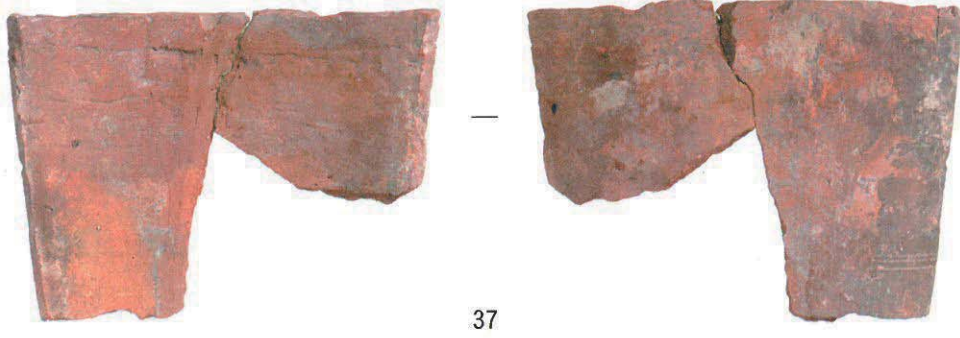
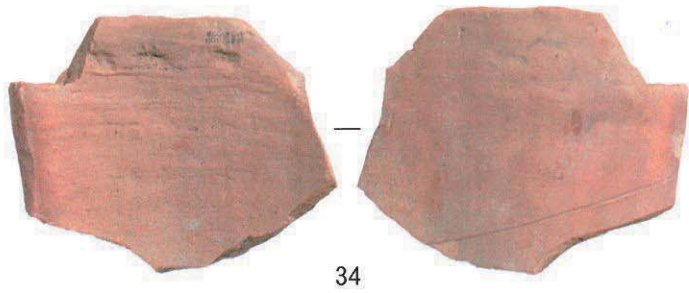


32



33

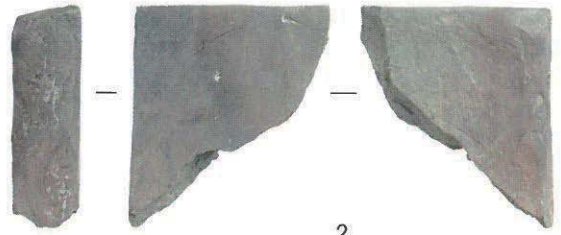
图版30 屋瓦（3）明朝系丸瓦2



図版31 屋瓦（4）明朝系平瓦・飾り瓦



1



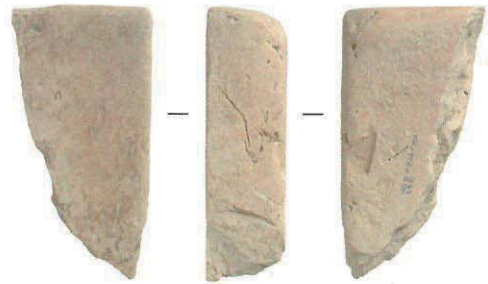
2



1



4

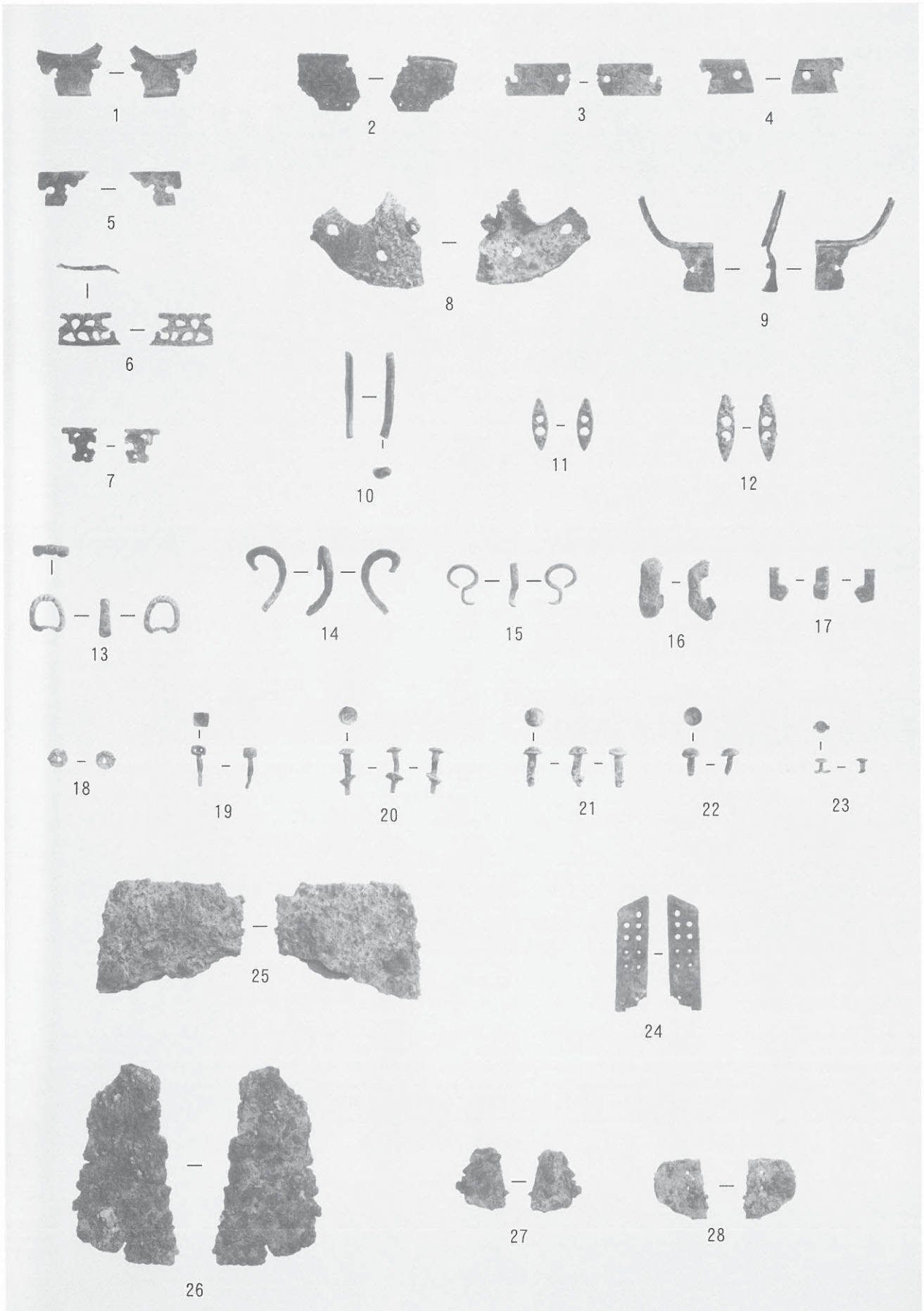


3

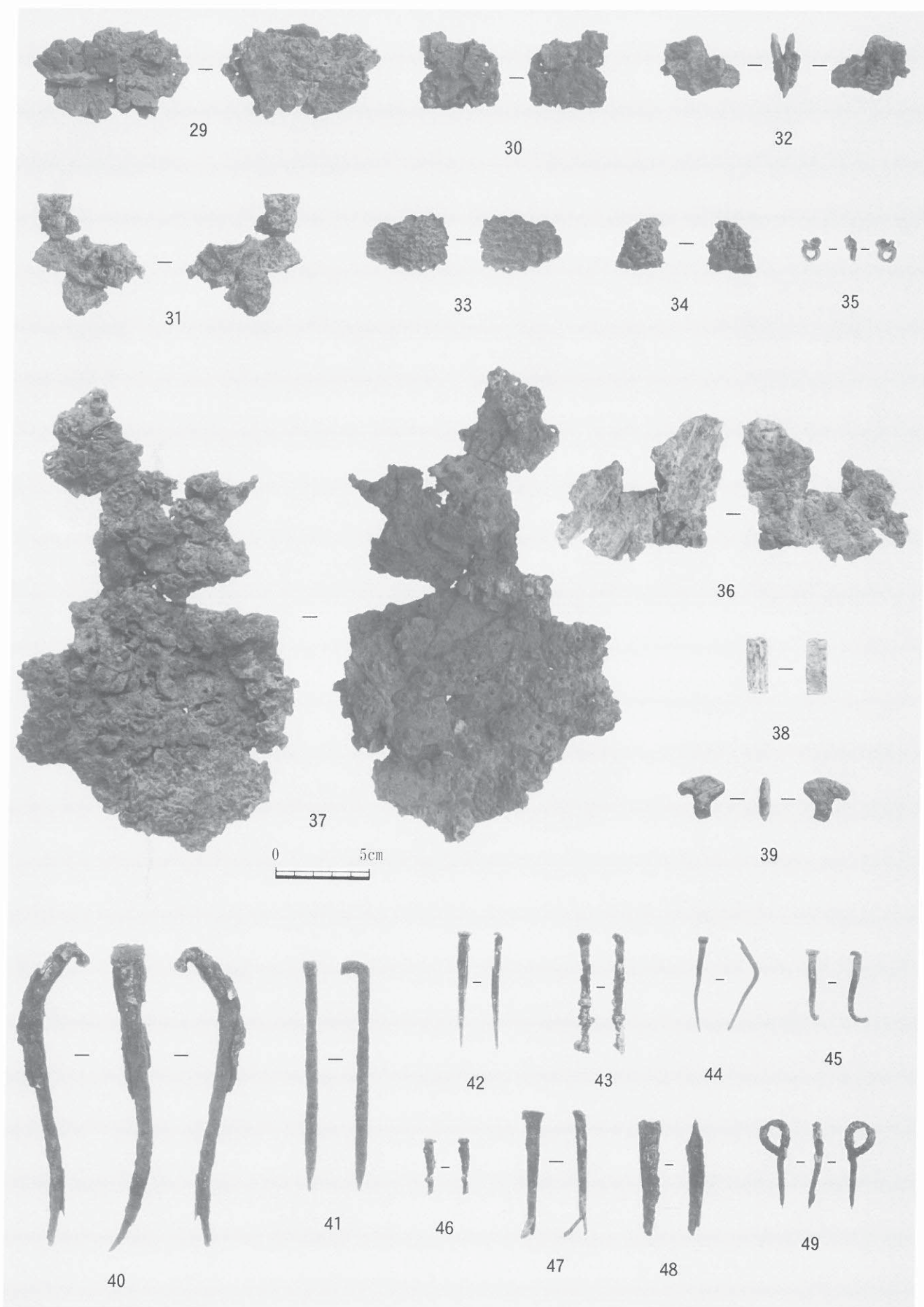


5

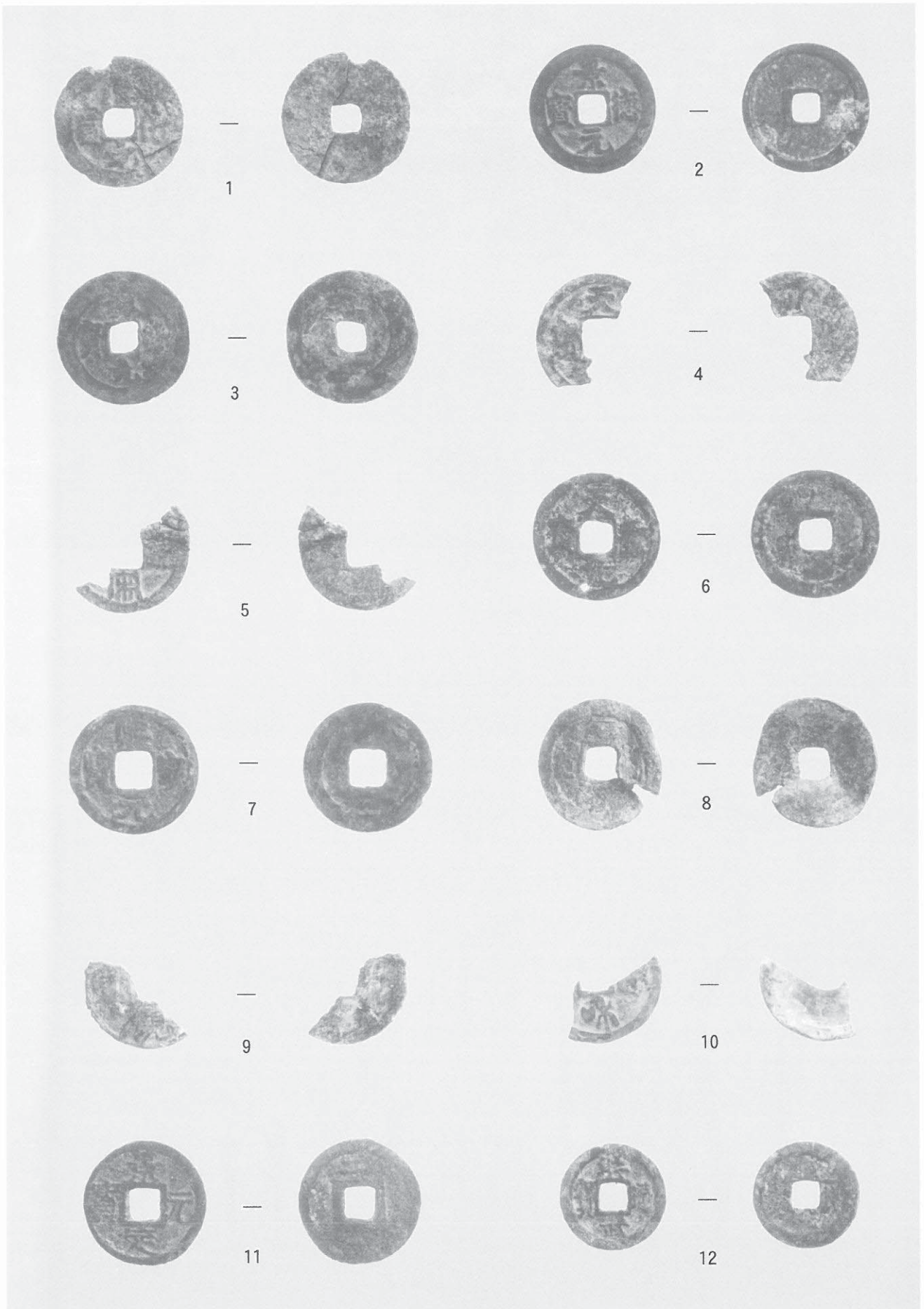




图版33 金属製品 (1)



图版34 金属製品 (2)



圖版35 錢貨 (1)



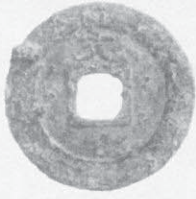
13



14



15



16



17



18



19



20



21



22



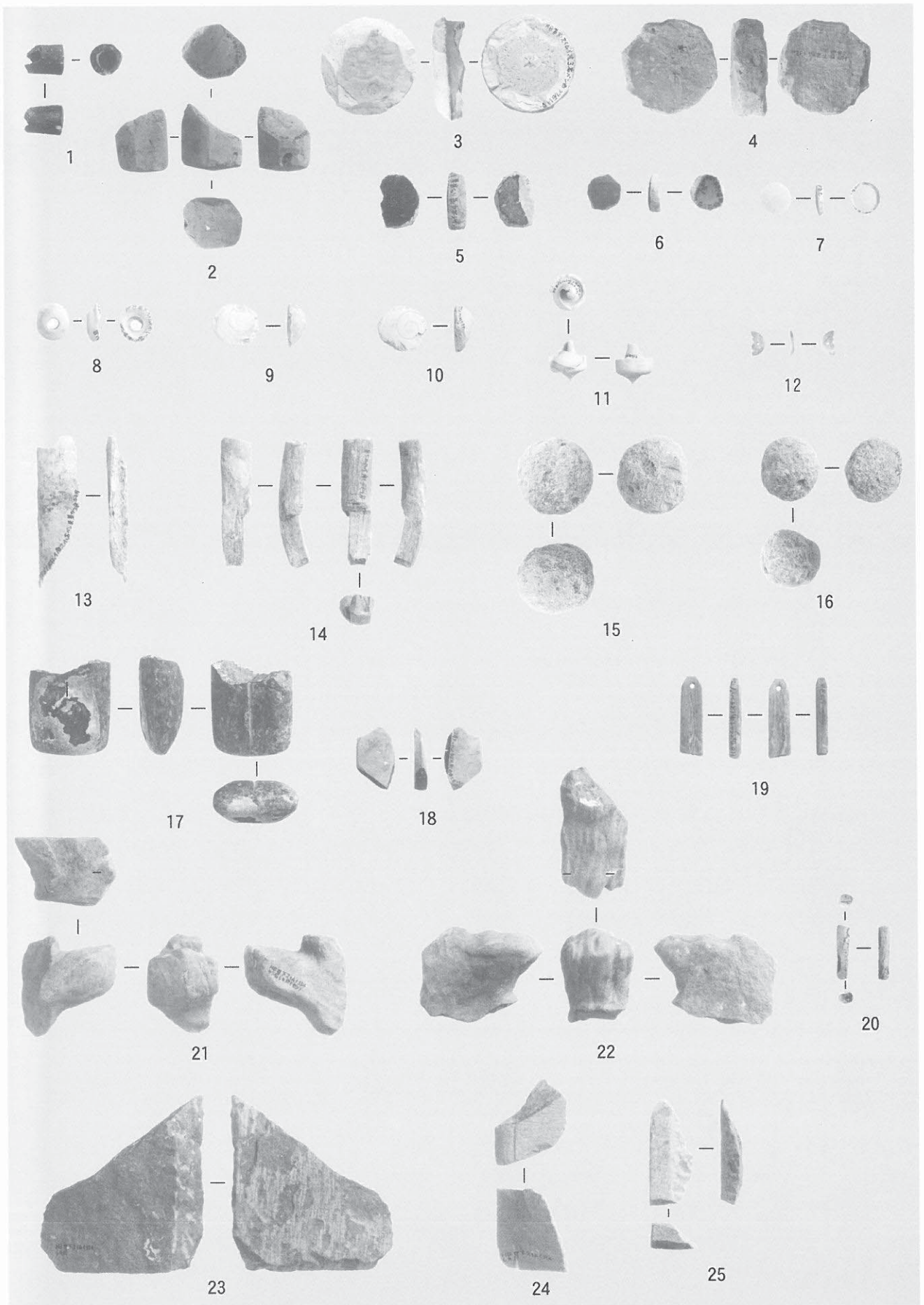
23



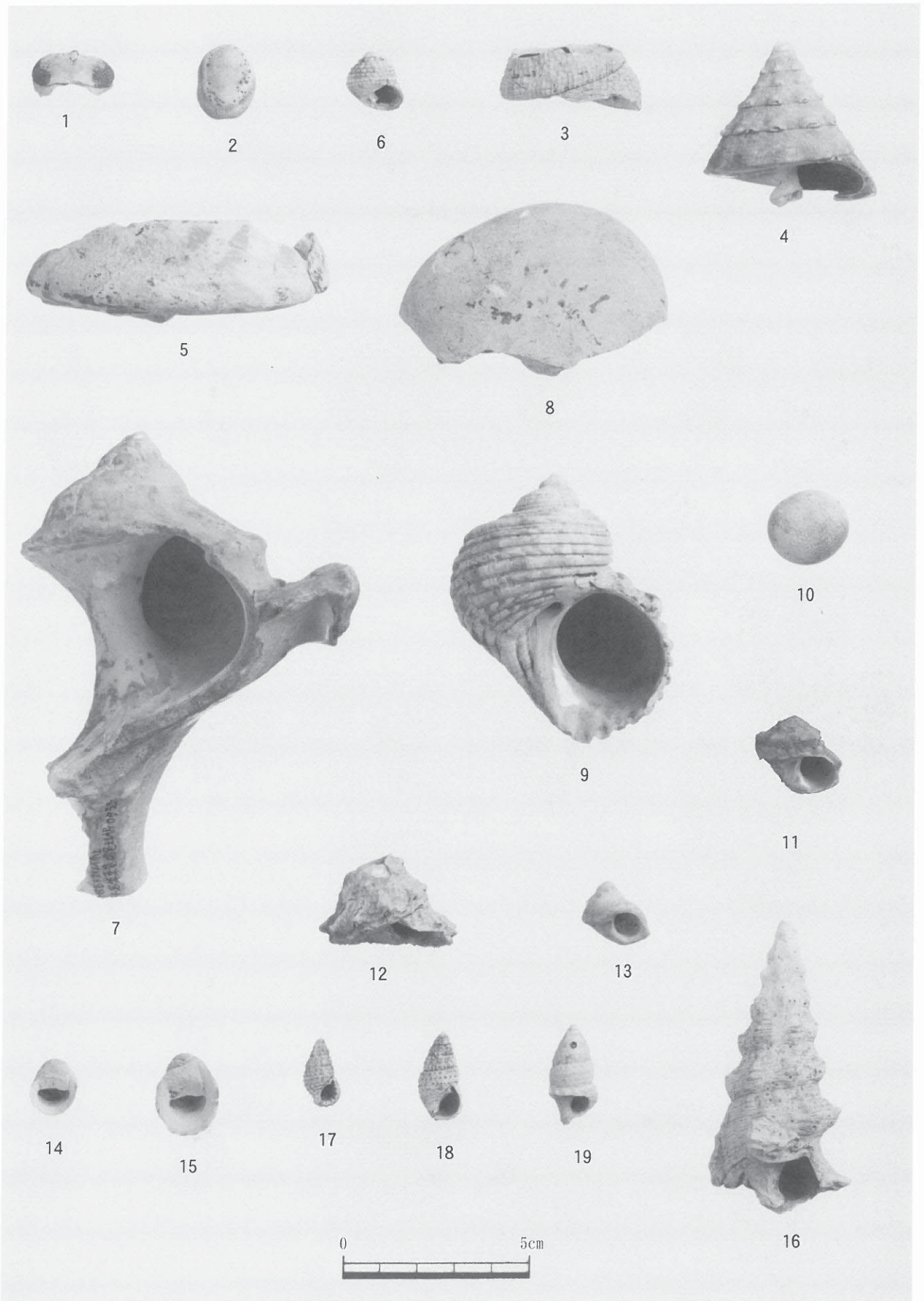
24



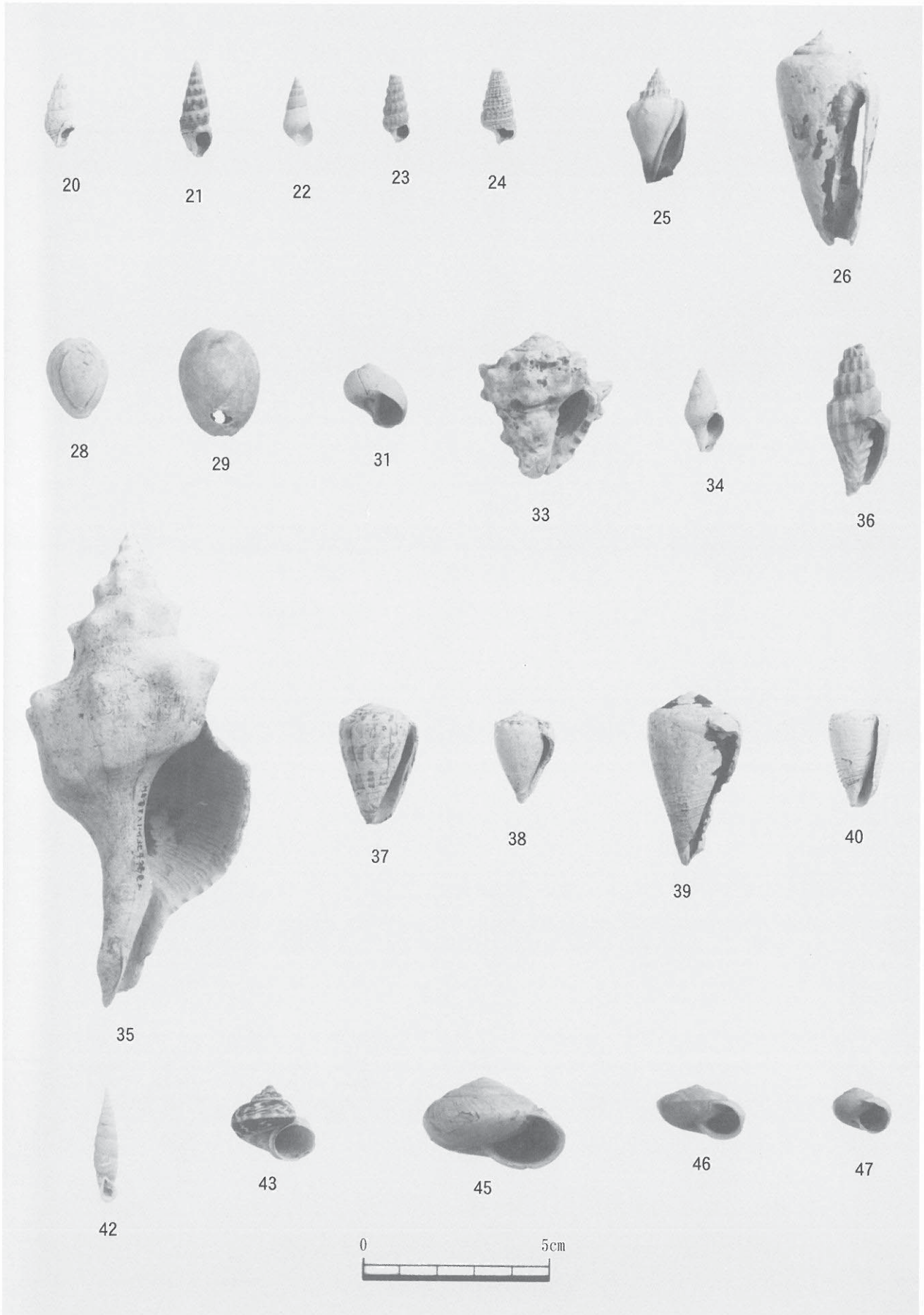
圖版36 錢貨(2)



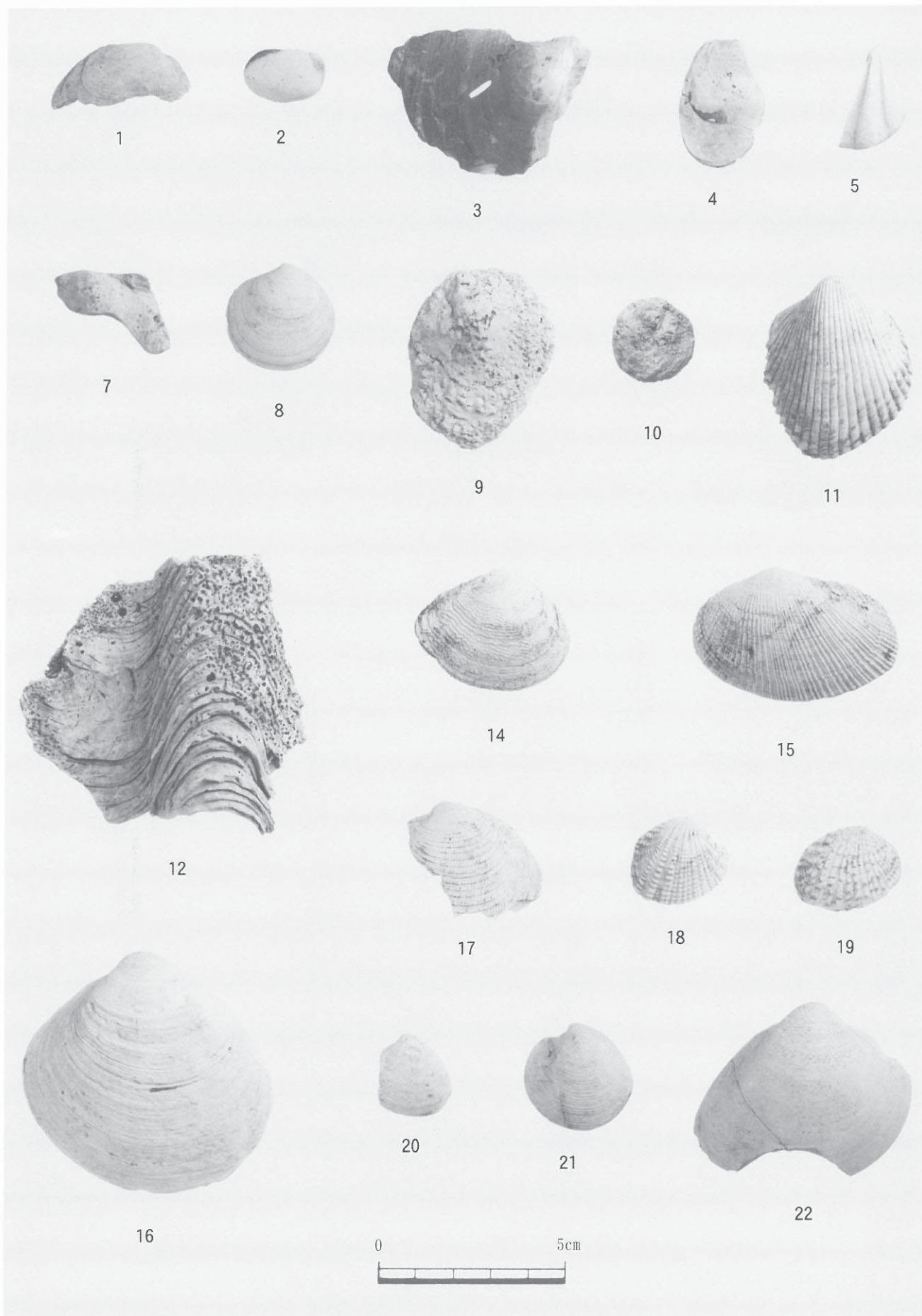
図版37 煙管・円盤状製品・貝製品・骨製品・石器・石製品・石造製品



図版38 貝類遺存体 (1) 巻貝 (番号は表と一致)



図版39 貝類遺存体 (2) 巻貝 (番号は表と一致)

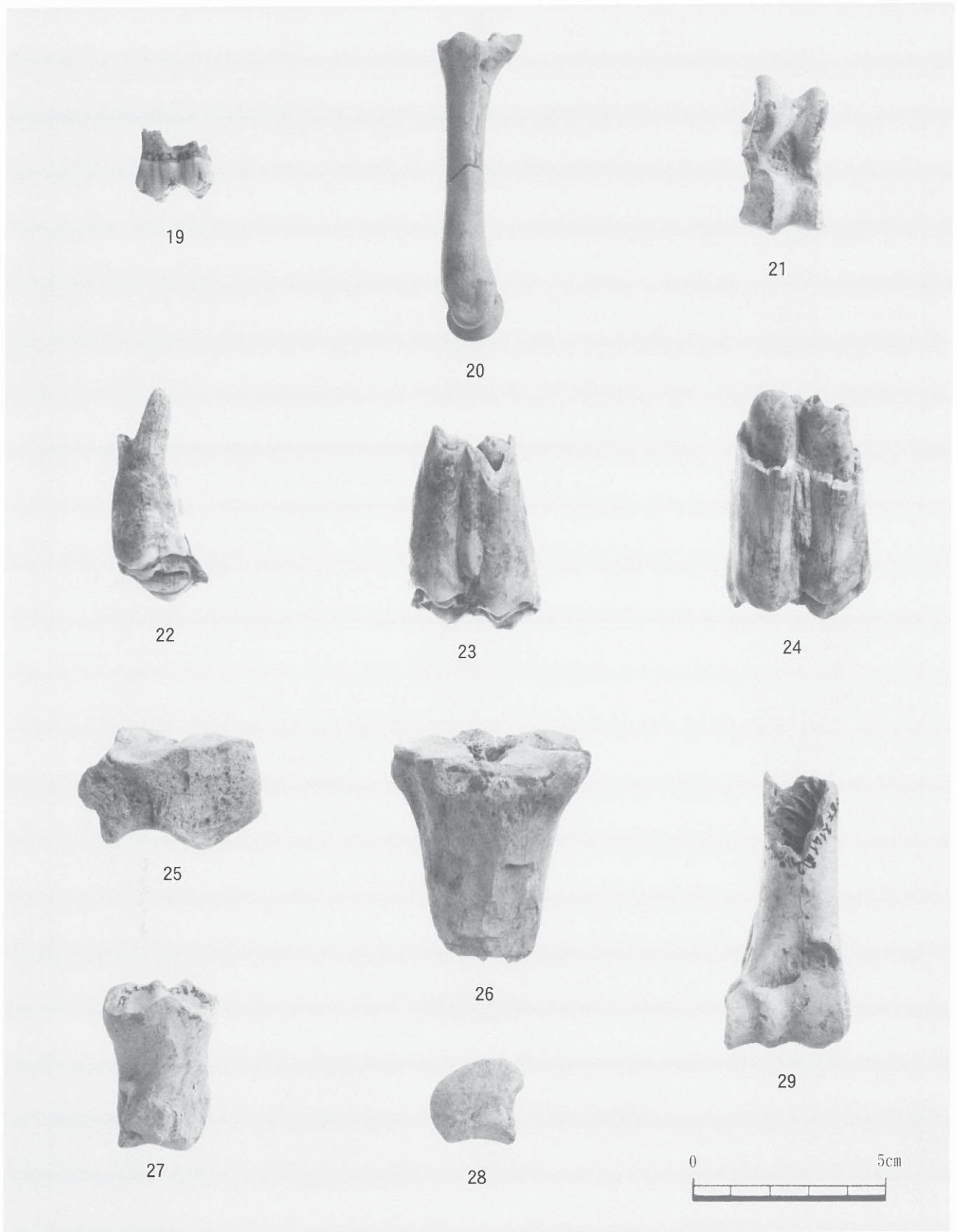


図版40 貝類遺存体 (3) 二枚貝 (番号は表と一致)



図版41 骨(1)

ハタ科 1. 右 前上顎骨 2. 右 角骨 3. 右 方骨 4. 右 擬鎖骨 タイ科 5. 左 歯骨
 ハマフエフキ 6. 左 主鰓蓋骨 7. 左 角骨 カムリベラ 8. 右 前上顎骨
 ブダイ科 9. 右 前上顎骨 10. 右 主上顎骨 ウミガメ 11. 肋骨板 ニワトリ 12. 左 大腿骨
 13. 右 脛骨 14. 右 中足骨 トリ 15. 左 上腕骨 16. 左 肩甲骨 ネズミ 17. 右 大腿骨 18. 左 脛骨



図版42 骨(2)

ブタ 19. 左上顎骨M¹ 20. 左中足骨(IV) 21. 右距骨 ウシ 22. 右上顎骨P²
 23. 右上顎骨M² 24. 右上顎骨M³ 25. 右橈側手根骨 26. 右中足骨 27. 左中節骨
 28. 種子骨 ヤギ 29. 右上腕骨

報 告 書 抄 録

| ふりがな | しゅりじょうあと | | | | | | | |
|------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|----------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|--------------------------|------------------|---------------------|
| 書名 | 首里城跡 | | | | | | | |
| 副書名 | 下之御庭首里森御嶽地区発掘調査報告書 | | | | | | | |
| 巻次 | | | | | | | | |
| シリーズ名 | 沖縄県立埋蔵文化財センター調査報告書 | | | | | | | |
| シリーズ番号 | 第47集 | | | | | | | |
| 編著者名 | 金城透、仲座久宜、岸本竹美、天久瑞香、小橋川 剛 | | | | | | | |
| 編集機関 | 沖縄県立埋蔵文化財センター | | | | | | | |
| 所在地 | 〒903-0125 沖縄県中頭郡西原町字上原193-7 Tel 098-835-8751 | | | | | | | |
| 発行年月日 | 平成20(2008)年3月28日 | | | | | | | |
| ふりがな 所収遺跡名 | ふりがな 所在地 | コード | | 北緯 | 東経 | 調査期間 | 調査面積 | 調査原因 |
| | | 市町村 | 遺跡番号 | ° / ′ / ″ | ° / ′ / ″ | | | |
| しゅりじょうあと 首里城跡 | おきなわけん な ほん しゅ 沖縄県那覇市 しゅりとうのくらしやう 首里当蔵町 | 472018 | - | 26° 13′ 1″ | 127° 43′ 72″ | 1997. 2. 20 ~3. 21 | 64m ² | 国営沖縄記念公園 首里城地区整備 |
| 所収遺跡名 | 種別 | 主な時代 | 主な遺構 | 主な遺物 | | | 特記事項 | |
| 首里城跡 | 城跡 | グスク時代 ～ 近代 | 上部遺構 石積み 石敷き 塼敷き 下部遺構 古石積み 基壇状遺構 | 青磁、白磁、染付 その他の輸入陶磁器 褐釉陶器 本土産陶磁器 沖縄産施釉陶器 沖縄産無釉陶器 陶質土器 瓦質土器 カムイヤキ、土器 瓦、塼 金属製品 銭貨 煙管 円盤状製品 貝製品・骨製品 石器・石製品 石造製品 貝類遺存体 動物遺存体 | | | | |
| 要 約 | <p>首里城に10ヶ所存在したとされる御嶽(十嶽)の中でも、重要な拝所として位置付けられている首里森御嶽は、王国の崩壊後に撤去され、跡地はその後小学校校舎建設、沖縄戦や琉球大学の建設によりダメージを受けるが、発掘調査により新旧に区分できる石積みや塼敷きの遺構が断片的ながら検出されている。また、これに伴い中国産の陶磁器や金属製品をはじめとする多くの出土遺物が得られており、往事の生活、信仰の一端を窺い知ることができる。</p> | | | | | | | |

沖縄県立埋蔵文化財センター調査報告書 第47集

首 里 城 跡

— 下之御庭首里森御嶽地区発掘調査報告書 —

発行年 平成20(2008)年3月28日
編集・発行 沖縄県立埋蔵文化財センター
〒903-0125 沖縄県中頭郡西原町字上原193番地の7
TEL 098(835)8751
印刷 株式会社 アシスト
〒901-1111 沖縄県島尻郡南風原町字兼城577番地
TEL 098(889)6100
本報告書は500部製作し、1部あたりの経費は3,150円です。

©沖縄県立埋蔵文化財センター 2008 Printed in Japan
許可なく本書の無断複製、転載、複写を禁ずる。

